

大田区政に関する世論調査

令和3年7月実施

大 田 区



大田区シンボルマーク

今後の区政運営のために

区は、「大田区基本構想」（平成20年10月策定）で描いた将来像「地域力が区民の暮らしを支え、未来へ躍動する国際都市 おおた」の実現のため、「おおた未来プラン10年」に基づき、多様な施策を展開してまいりました。令和3年度は、「新おおた重点プログラム」（令和3年3月策定版）の下で、新型コロナウイルスや大規模自然災害への対策など緊急課題の克服、並びに従前からの諸課題への対応に取り組んでおります。引き続き、「新たな日常」の実現に向けた変革を踏まえ、区民の皆様のより豊かな生活の実現を目指して、的確かつ着実な区政運営に努めてまいります。

「大田区政に関する世論調査」は、広聴事業のひとつとして実施しており、今回で39回目となります。今回の調査にあたりましては、質問項目を精査し、区民の皆様の意識変化を精緻に把握するため、継続的に調査する項目を多く設定いたしました。また、ご意見を区政により多く反映させるため、調査対象者数を前回から倍増いたしました。

調査の結果は、今後の区政運営のための基礎資料として活用してまいります。

「大田区政に関する世論調査」にご協力くださった区民の皆様に、改めて厚くお礼申し上げます。

令和3年12月

大田区長 松原 忠義

I 調査の概要

1. 調査の目的	3
2. 調査項目	3
3. 調査の設計	3
4. 回収の結果	3
5. 報告書の見方	4
6. 標本誤差について	4
7. 調査対象者の抽出	6

II 調査結果の概要

1. 回答者の属性	11
2. 質問と回答	13

III 調査結果の分析

1. 定住性	31
(1) 居住年数	31
(2) 定住意向	34
(3) ずっと住みたい理由	39
(4) 当分は住みたい期間	42
(5) 住んでいるまちが魅力的か	46
2. 暮らしやすさ	49
(1) 住んでいるまちの暮らしやすさ	49
(2) 生活環境の満足度	52
(3) 住んでいるまちにどのようなしてほしいか	58
3. 緊急対策	61
(1) 「新しい生活様式」に即した行政となるために取り組んでほしいこと	61

《基本目標1 生涯を健やかに安心していきいきと暮らせるまち》

4. 健康に暮らせるまち	64
(1) 健康状態	64
5. 社会的包摂の中で安心して暮らせるまち	67
(1) 男女の地位平等	67
(2) 困りごとや心配ごとがあった場合の相談先	75
6. 学びやスポーツを通じて誰もが生きがいをもって暮らせるまち	78
(1) 日常生活のなかで充実感や張り合いを感じる時	78
(2) 区内の歴史や文化、芸術に親しめる環境への満足度	81

目 次

《基本目標2 まちの魅力と産業が世界に向けて輝く都市^{まち}》

7. 身近な場所で水やみどりと触れ合える、潤いとやすらぎのあるまち	84
（1）身近な場所で水や緑に親しめると感じているか	84
8. 空港臨海部の特性を活かし、世界にはばたき未来へつながるまち	87
（1）羽田空港及び羽田空港跡地の地域経済活性化への貢献度	87
9. 持続可能な国際交流・多文化共生	90
（1）大田区は国際交流、多文化共生が進んだまちと感じているか	90

《基本目標3 地域力と行政の連携がつくる人と地球に優しいまち》

10. 魅力的で住みたいまち	93
（1）地域活動への参加意向	93
（2）区や区民、さまざまな団体の連携・協働が進められることで、住みやすい地域づくりに繋がっていると感じているか	96
11. 災害に強く、防犯力の高い地域づくり	99
（1）防災に対する意識	99
（2）災害情報の入手手段	102
（3）住んでいるまちの治安の変化	104
12. 持続可能な地球環境	107
（1）地球温暖化防止への関心度	107
（2）家庭で取り組んでいる省エネ行動	111
13. 区政への関心と要望	115
（1）大田区等の制度・施策・施設の認知度	115
（2）施策要望	118
（3）区内施設の利用目的	122
（4）区の媒体の利用頻度	125
（5）区の行政サービスや窓口への印象	134
（6）区の行政サービスや窓口が使いやすくなった、便利になったと思う理由	136
（7）区の行政サービスや窓口が使いやすくなった、便利になったと思わない理由	138
（8）区の職員の窓口や電話応対への印象	140
（9）区政への参加意向	142
（10）区政に参加したいと思わない理由	144
14. 自由意見	146
基本目標1 生涯を健やかに安心していきいきと暮らせるまち	146
基本目標2 まちの魅力と産業が世界に向けて輝く都市 ^{まち}	151
基本目標3 地域力と行政の連携がつくる人と地球に優しいまち	158

Ⅳ 調査結果の概観

1. 生活環境の満足度	173
-------------	-----

I 調査の概要

I 調査の概要

1. 調査の目的

大田区の各行政分野における区民の意向・要望・生活実態を把握するとともに、今後の区政運営や政策立案の基礎資料とする。

2. 調査項目

- (1) 定住性
- (2) 暮らしやすさ
- (3) 緊急対策
- (4) 健康に暮らせるまち
- (5) 社会的包摂の中で安心して暮らせるまち
- (6) 学びやスポーツを通じて誰もが生きがいをもって暮らせるまち
- (7) 身近な場所で水やみどりと触れ合える、潤いとやすらぎのあるまち
- (8) 空港臨海部の特性を活かし、世界にはばたき未来へつながるまち
- (9) 持続可能な国際交流・多文化共生
- (10) 魅力的で住み続けたいまち
- (11) 災害に強く、防犯力の高い地域づくり
- (12) 持続可能な地球環境
- (13) 区政への関心と要望

3. 調査の設計

- | | |
|----------|---|
| (1) 調査地域 | 大田区全域 |
| (2) 調査対象 | 大田区内に在住する満 18 歳以上の男女個人（外国人を含む） |
| (3) 標本数 | 4,000 人 |
| (4) 抽出方法 | 層化無作為抽出法 |
| (5) 調査方法 | 郵送調査。ただし、回収方法は郵送回収に加え、スマートフォンおよびパソコンを利用した電子申請からの回答も実施 |
| (6) 調査期間 | 令和 3 年 7 月 14 日（水）～ 8 月 2 日（月） |
| (7) 調査機関 | 株式会社エスピー研 |

4. 回収の結果

- | | | |
|-----------|-----------------------|-------------|
| (1) 回収数 | 2,287 人（電子申請 569 件含む） | （回収率 57.2%） |
| (2) 有効回収数 | 2,284 人（有効回収率 57.1%） | |

5. 報告書の見方

- (1) 集計は小数第2位を四捨五入して算出した。したがって、回答率を合計しても100%にならず、1%の範囲で増減することがある。
- (2) 回答の比率(%)は、その設問の回答者数を基数nとして算出した。したがって、複数回答の設問は、すべての比率を合計すると100%を超えることがある。
- (3) クロス集計の図表では、分析軸となる質問(性別、性/年齢別等)に無回答だった人については掲載していない。そのため、各層のnの合計が総数とは一致しない場合がある。
- (4) 回答者数が30に満たないものについては、図示するに留め、この報告書の中では特に取りあげていない場合がある。
- (5) グラフ・数表上の選択肢表記は、場合によっては語句を簡略化してある。

6. 標本誤差について

この調査の基本誤差(サンプル誤差)はおおよそ下記の表のとおりである。基本誤差は次の式によって得られる。標本誤差の幅は、①比率算出の基数(n)、及び②回答の比率(P)によって異なる。

$$b = \pm 2 \sqrt{\frac{N - n}{N - 1} \times \frac{P(1 - P)}{n}}$$

b = 標本誤差
N = 母集団数(大田区の満18歳以上の男女個人)
n = 比率算出の基数(サンプル数)
P = 回答の比率(%)

※後にかかげる表は $\frac{N - n}{N - 1} \div 1$ として算出した。本調査は層化を行っているので誤差はこの表よりやや小さくなる。

たとえば、回答者総数(2,284人)を100%とする比率について、ある質問の回答率が50%で

あった場合の標本誤差を計算すると、 $b = \pm 2 \sqrt{\frac{0.5 \times (1 - 0.5)}{2,284}} = \pm 2.1\%$ となる。

つまり、回答者総数(2,284人)を100%とする比率について、ある質問の回答率が50%の時、大田区民(満18歳以上の男女)の真の値は47.9%~52.1%の間にあると考えられる。ただし、信頼度は95%であるので、95%の確率で間違いないと判断できるという意味である。

nとPを上記の式に代入すれば、必要な標本誤差はすべて計算できる。

標本誤差早見表は下記の図のとおりである。

図1 標本誤差早見表（信頼度 95%）

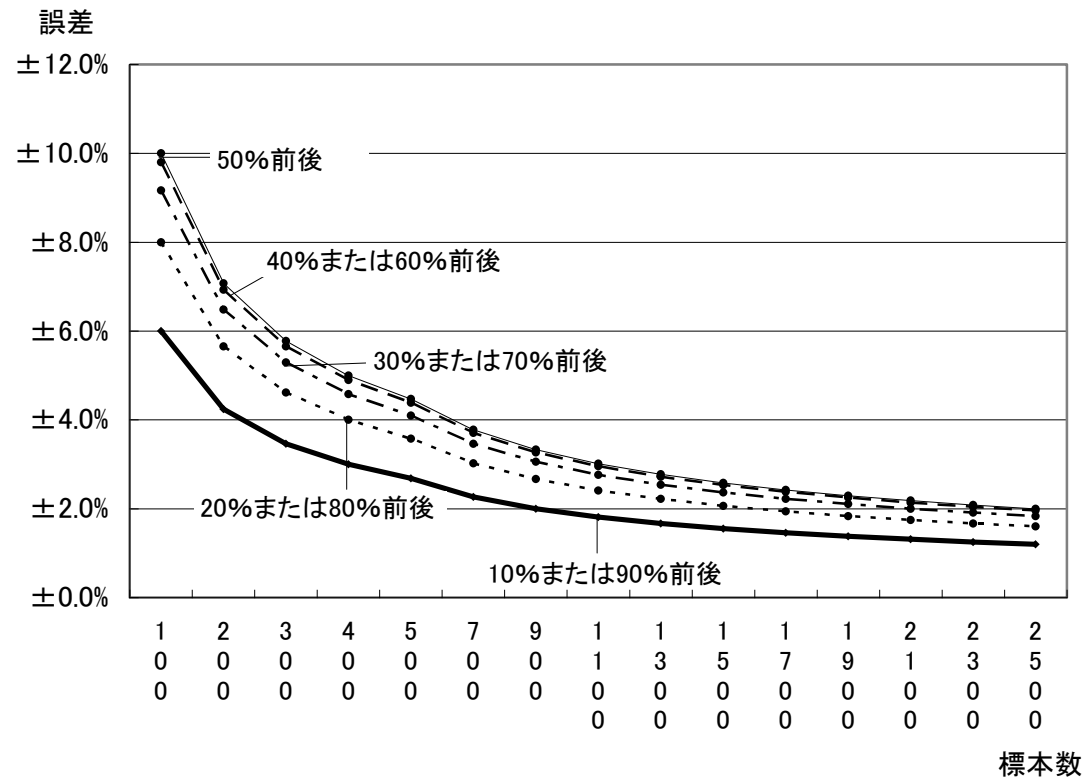


図2 本調査における標本誤差一覧（信頼度 95%）

回答の比率(P)		10%または90%前後	20%または80%前後	30%または70%前後	40%または60%前後	50%前後
基数 (n)						
全 体		2, 284	± 1.3%	± 1.7%	± 1.9%	± 2.1%
地域別	大森地域	788	± 2.1%	± 2.8%	± 3.3%	± 3.5%
	調布地域	544	± 2.6%	± 3.4%	± 3.9%	± 4.2%
	蒲田地域	634	± 2.4%	± 3.2%	± 3.6%	± 3.9%
	糀谷・羽田地域	215	± 4.1%	± 5.5%	± 6.3%	± 6.7%
性別	男 性	883	± 2.0%	± 2.7%	± 3.1%	± 3.3%
	女 性	1, 296	± 1.7%	± 2.2%	± 2.5%	± 2.7%
性／年代別	男性10・20代	114	± 5.6%	± 7.5%	± 8.6%	± 9.2%
	男性30代	109	± 5.7%	± 7.7%	± 8.8%	± 9.4%
	男性40代	162	± 4.7%	± 6.3%	± 7.2%	± 7.7%
	男性50代	165	± 4.7%	± 6.2%	± 7.1%	± 7.6%
	男性60代	137	± 5.1%	± 6.8%	± 7.8%	± 8.4%
	男性70歳以上	195	± 4.3%	± 5.7%	± 6.6%	± 7.0%
	女性10・20代	123	± 5.4%	± 7.2%	± 8.3%	± 8.8%
	女性30代	203	± 4.2%	± 5.6%	± 6.4%	± 6.9%
	女性40代	231	± 3.9%	± 5.3%	± 6.0%	± 6.4%
	女性50代	226	± 4.0%	± 5.3%	± 6.1%	± 6.5%
	女性60代	195	± 4.3%	± 5.7%	± 6.6%	± 7.0%
	女性70歳以上	314	± 3.4%	± 4.5%	± 5.2%	± 5.5%

7. 調査対象者の抽出

- (1) 母集団 大田区内に在住する満18歳以上の男女個人（外国人を含む）
(令和3年4月1日時点)
- (2) 抽出台帳 大田区住民基本台帳
- (3) 標本数 4,000人
- (4) 抽出法 層化無作為抽出法
- (5) 地域区分 区内を、4地域（大森、調布、蒲田、糀谷・羽田）に分類し、それぞれを層とした。

地域名	所管区域
大森地域	大森東特別出張所管内、大森西特別出張所管内、入新井特別出張所管内、馬込特別出張所管内、池上特別出張所管内、新井宿特別出張所管内
調布地域	嶺町特別出張所管内、田園調布特別出張所管内、鶴の木特別出張所管内、久が原特別出張所管内、雪谷特別出張所管内、千束特別出張所管内
蒲田地域	六郷特別出張所管内、矢口特別出張所管内、蒲田西特別出張所管内、蒲田東特別出張所管内
糀谷・羽田地域	糀谷特別出張所管内、羽田特別出張所管内

図3 地域図



- (6) 標本数の配分 各地域における18歳以上の人口（令和3年4月1日現在）に応じて標本数を比例配分した。
- (7) 対象者抽出 1地域ごとに、「(6)」で設定した標本数を無作為抽出した。

以上の結果、地域別の標本数及び有効回収数は次のとおりである。

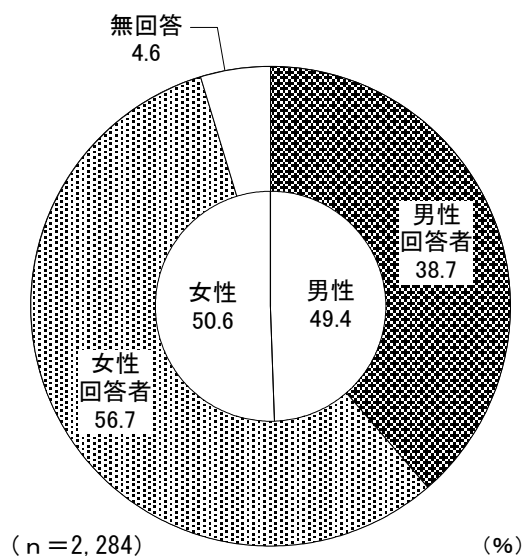
地 域 名	18 歳以上人口 (構成比)	標 本 数	有効回収数 (率)
大 森 地 域	213,922 (33.5%)	1,337	788 (58.9%)
調 布 地 域	163,336 (25.6%)	1,022	544 (53.2%)
蒲 田 地 域	193,158 (30.2%)	1,210	634 (52.4%)
梶 谷 ・ 羽 田 地 域	68,780 (10.8%)	431	215 (49.9%)
無 回 答			103
合 計	639,196 (100.0%)	4,000	2,284 (57.1%)

Ⅱ 調査結果の概要

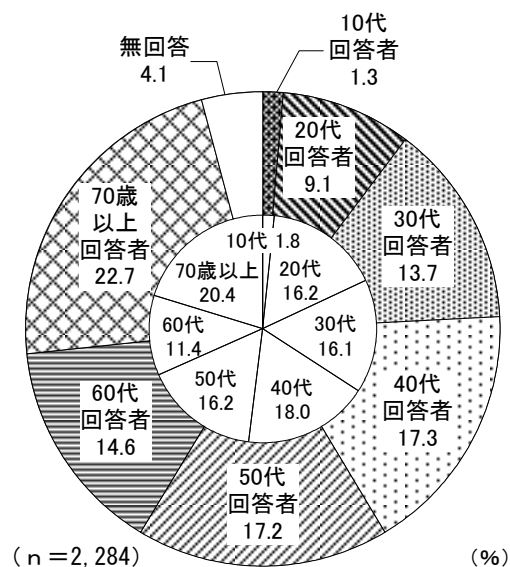
Ⅱ 調査結果の概要

1. 回答者の属性

(1) 性別

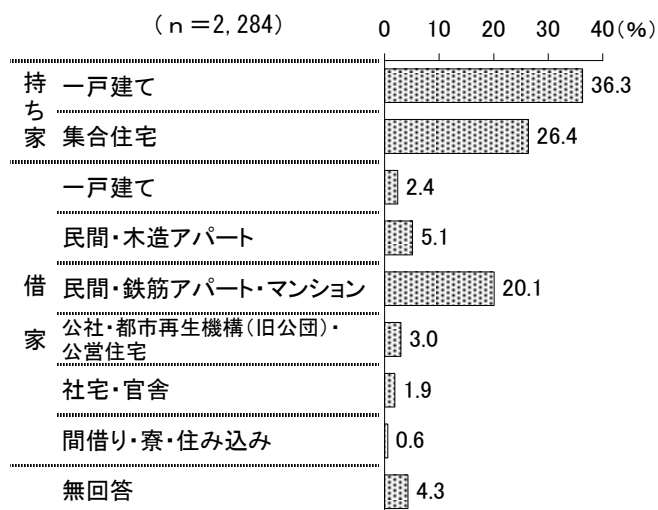


(2) 年齢

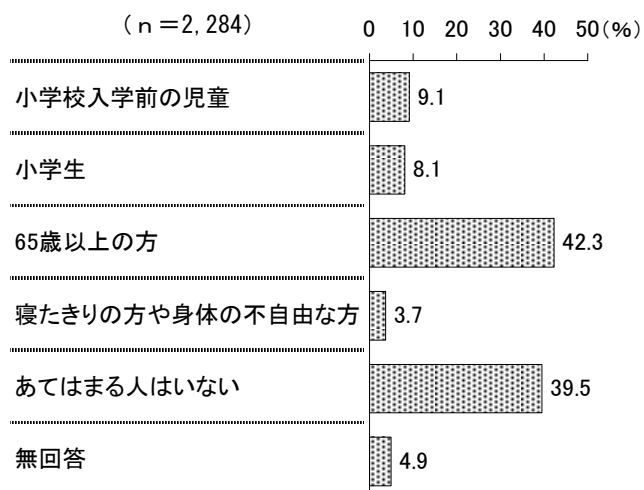


※内円は母集団の、外円は調査回答者の構成比を表している

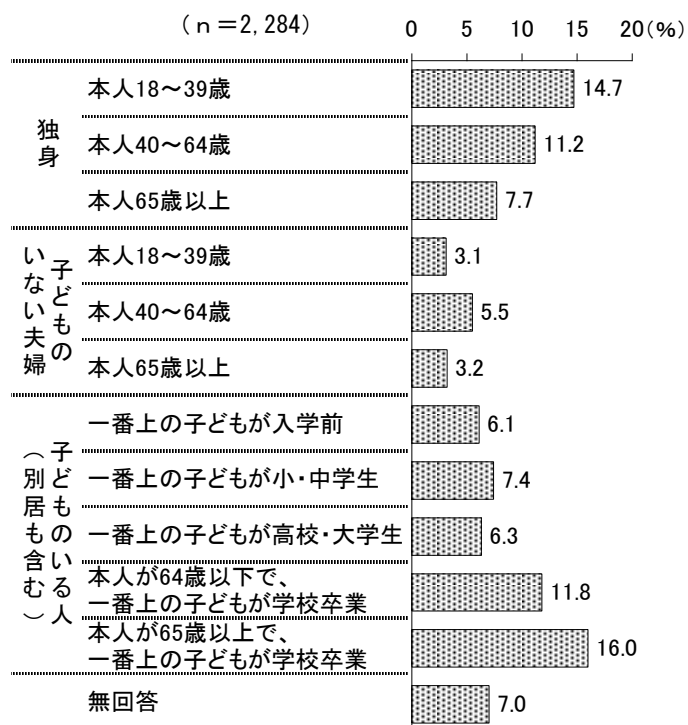
(3) 住居形態



(4) 同居家族



(5) ライフステージ



2. 質問と回答

<定住性>

居住開始時期

問1 あなたは、大田区にお住まいになって何年ですか。(○は1つだけ)

n=2,284

1	2年未満	6.3%	6	20年以上30年未満	13.4%
2	2年以上5年未満	9.3%	7	30年以上40年未満	11.1%
3	5年以上10年未満	9.5%	8	40年以上60年未満	22.7%
4	10年以上15年未満	7.2%	9	60年以上	11.5%
5	15年以上20年未満	8.6%		無回答	0.4%

定住意向

問2 あなたは、これからも大田区に住みたいと思いますか。(○は1つだけ)

n=2,284

1	ずっと住み続けたい	53.9%	3	できれば大田区外へ移りたい	4.5%
2	当分は住み続けたい	28.9%	4	大田区外へ移りたい	1.4%
			5	わからない	11.1%
				無回答	0.4%

(問2で、「1」と回答した方に)

→ 問2-1 「ずっと住み続けたい」理由は何ですか。(○はいくつでも)

n=1,230

1	自分又は配偶者の出身地だから	33.9%	5	子育てしやすいから	4.5%
2	仕事、通勤に都合が良いから	31.3%	6	住環境がよいから	37.8%
3	土地、建物を持っているから	58.0%	7	その他(具体的に)	7.7%
4	都心よりも家賃が安いから	2.8%	8	特にな	3.3%
				無回答	0.7%

(問2で、「2」と回答した方に)

→ 問2-2 「当分は住み続けたい」とはどのくらいの期間で理由は何ですか。(○は1つだけ) n=660

1	1年未満 (理由)	2.7%
2	3年未満 (理由)	17.9%
3	5年未満 (理由)	22.1%
4	10年未満 (理由)	27.3%
5	10年以上 (理由)	27.0%
	無回答	3.0%

問3 あなたは、住んでいるまちが魅力的であると感じていますか。(○は1つだけ)

n=2,284

1	感じている	29.7%	3	あまり感じていない	12.6%	5	どちらともいえない	17.2%
2	やや感じている	36.4%	4	感じていない	2.4%		無回答	1.8%

暮らしやすさ

問4 現在住んでいるまちの暮らしやすさを、どのように感じていますか。(○は1つだけ) n=2,284

1 とても暮らしやすいと感じている	15.6%	4 暮らしにくいと感じている	1.7%
2 暮らしやすいと感じている	61.3%	5 どちらともいえない	9.9%
3 あまり暮らしやすいと感じない	7.4%	無回答	4.2%

問5 住んでいるまちの生活環境について、どの程度満足していますか。(○はそれぞれ1つ)

n=2,284

	満足している	ほぼ満足している	少し不満である	不満である	わからない	無回答
回答例 ⇒	1	2	3	4	5	
(1) 緑の多さ	15.4%	46.7%	22.4%	8.8%	3.6%	3.2%
(2) 道路の整備	13.0%	47.1%	25.4%	8.8%	2.9%	2.8%
(3) 公園や子どもの遊び場	13.9%	39.3%	22.5%	7.8%	13.7%	2.8%
(4) 交通の便	33.0%	45.1%	14.6%	5.2%	0.7%	1.5%
(5) 買い物の便	31.0%	45.9%	14.8%	6.0%	0.7%	1.6%
(6) 町並み・景観	10.2%	47.2%	26.3%	9.1%	4.9%	2.1%
(7) 交通の安全性	9.8%	45.7%	28.2%	10.1%	4.1%	2.1%
(8) 災害時の安全性	6.9%	32.9%	28.1%	11.3%	18.6%	2.2%
(9) 治安のよさ	11.7%	46.8%	24.7%	9.4%	5.3%	2.1%
(10) 病院や診療所の便	21.9%	56.1%	13.4%	3.5%	3.4%	1.7%
(11) スポーツ・レクリエーション施設の数	5.6%	33.5%	24.4%	11.1%	23.3%	2.1%
(12) 図書館・文化施設の数	11.7%	47.0%	19.0%	5.3%	14.7%	2.4%
(13) あなたご自身の住宅事情	17.0%	50.8%	20.3%	8.3%	1.9%	1.7%
(14) 近所付き合い	10.1%	49.4%	15.0%	4.8%	19.2%	1.4%
(15) バリアフリー	4.9%	30.3%	25.5%	9.6%	27.6%	2.1%

問6 あなたは、現在住んでいるまちに対して、今後、どのようなまちになってほしいとお考えですか。
1位から3位までを選んで、下の回答欄に番号を記入してください。 n=2,284

	累計	1位	2位	3位
1 治安の良いまち	54.3%	32.0%	13.4%	8.9%
2 災害に強いまち	44.3%	16.5%	19.8%	8.1%
3 健康に暮らせるまち	29.8%	9.0%	9.2%	11.6%
4 高齢者が活躍するまち	4.7%	1.3%	1.8%	1.6%
5 福祉の充実したまち	22.0%	5.0%	8.7%	8.3%
6 子育てしやすいまち	19.0%	8.2%	6.0%	4.8%
7 産業が活発なまち	5.2%	1.2%	1.9%	2.1%
8 便利に暮らせるまち	36.9%	11.5%	13.4%	12.0%
9 緑の多いまち	16.8%	3.5%	6.3%	7.0%
10 環境にやさしいまち	11.8%	1.4%	3.9%	6.5%
11 区民が支えあうまち	5.9%	0.9%	1.7%	3.3%
12 景観の良いまち	10.6%	1.3%	3.3%	6.1%
13 文化あふれるまち	4.9%	0.8%	1.5%	2.6%
14 国際的に開かれたまち	2.0%	0.4%	0.4%	1.2%
15 行政が身近なまち	5.6%	0.9%	1.1%	3.6%
16 区民の個性が生きるまち	1.5%	0.4%	0.5%	0.6%
17 性別や障がいの有無や国籍などに関わらず誰もが暮らしやすいまち	11.6%	3.5%	2.8%	5.3%
18 人や物の移動がしやすいまち	7.3%	1.0%	2.5%	3.8%
19 多くの来訪者でにぎわうまち	1.0%	0.2%	0.2%	0.7%
無回答	1.2%	1.2%	1.6%	2.0%

〈回答欄〉

1 位		2 位		3 位	
--------	--	--------	--	--------	--

緊急対策

問7 新型コロナウイルスを想定した「新しい生活様式」に即した行政となるために、今後、区に取り組んでほしいことは何ですか。(〇はいくつでも) n=2,284

1 区施設等の感染防止策の徹底	44.0%	5 電子図書館の導入	13.6%
2 キャッシュレス決済の導入	24.4%	6 自転車走行などの環境整備	46.8%
3 電子申請の拡充	33.9%	7 公園等の憩いの場の整備	39.8%
4 AIチャットボット導入等、 相談機能の向上	6.9%	8 特になし	8.0%
		無回答	1.4%

《基本目標 1 生涯を健やかに安心していきいきと暮らせるまち》

健康に暮らせるまちをつくります

問 8 あなたは、現在のご自身の健康状態をどのように感じていますか。(○は1つだけ) n=2,284

1 非常に健康である	15.5%	3 あまり健康ではない	13.3%
2 だいたい健康である	66.0%	4 健康ではない	3.1%
		無回答	2.2%

誰もが社会的包摂の中で、安心して暮らせるまちをつくります

問 9 以下の分野において、男女の地位は平等になっていると思いますか。(○はそれぞれ1つ)

n=2,284

	女性が優遇 されている	やや女性が優遇 されている	平等になっ ている	やや男性が優遇 されている	男性が優遇 されている	無回 答
回答例 ⇒	1	2	3	4	5	
(1) 家庭生活	2.4%	8.3%	48.8%	28.0%	6.5%	6.0%
(2) 職場	1.5%	5.4%	36.1%	34.9%	12.7%	9.5%
(3) 教育の場	0.6%	2.9%	64.2%	19.0%	4.0%	9.4%
(4) 政治の場	0.7%	2.0%	17.8%	39.8%	32.6%	7.1%
(5) 法律や制度	1.3%	4.5%	38.6%	32.7%	15.1%	7.8%
(6) 社会通念や慣習	1.1%	3.7%	24.9%	41.5%	21.1%	7.6%
(7) 地域活動の場 (自治会やNPOなど)	0.8%	4.6%	50.2%	29.3%	6.7%	8.5%

問 10 あなたは、日々の暮らしで困りごとや心配ごとがあった場合、主に誰に相談していますか。

(○はいくつでも) n=2,284

1 家族や親族	82.1%	7 医療機関、介護事業者	13.6%
2 友人や同僚	56.2%	8 区の公的な相談機関の職員	6.9%
3 インターネット上の知り合い	3.4%	9 区以外の公的な相談機関の職員	1.5%
4 先生や上司	5.1%	10 民間の相談機関の相談員	1.4%
5 近所の人	5.9%	11 同じ悩みを抱える人	4.0%
6 自治会・町会などの地域団体	2.2%	12 相談できるところはない	4.9%
		無回答	2.1%

学びやスポーツを通じて、誰もが生きがいをもって暮らせるまちをつくります

問 11 日常生活のなかで、充実感や張り合いを感じるのはどのような時ですか。

1 位から 3 位までを選んで、下の回答欄に番号を記入してください。

n = 2, 284

	累計	1 位	2 位	3 位
1 仕事に打ち込んでいる時	35.0%	18.7%	7.7%	8.6%
2 社会参加をしている時 (PTA 活動、地域行事、ボランティア活動など)	4.8%	1.8%	1.4%	1.6%
3 教養や自己啓発に身を入れている時 (学習、読書、習い事など)	20.2%	5.6%	7.9%	6.7%
4 趣味・娯楽に熱中している時 (趣味活動、鑑賞、旅行、コンサート、スポーツ観戦など)	55.1%	23.6%	18.8%	12.7%
5 スポーツに取り組んでいる時 (体操、運動、各種スポーツなど自分で行うもの)	16.4%	5.3%	6.1%	5.0%
6 ゆったりと休養している時	40.5%	9.2%	16.1%	15.2%
7 家族団らんの時	43.6%	16.9%	15.8%	10.9%
8 友人や知人と会合、雑談をしている時	37.9%	6.1%	14.6%	17.3%
9 健康であると感じる時	32.1%	9.2%	7.4%	15.6%
10 その他 (具体的に)	1.8%	1.0%	0.4%	0.5%
無回答	2.5%	2.5%	3.9%	6.0%

〈回答欄〉

1 位		2 位		3 位	
--------	--	--------	--	--------	--

問 12 あなたは、区内の歴史や文化、芸術に親しめる環境に満足していますか。(○は 1 つだけ)

n = 2, 284

1 満足している	6.6%	3 あまり満足していない	18.2%	5 どちらともいえない	43.9%
2 やや満足している	22.2%	4 満足していない	7.4%	無回答	1.7%

《基本目標2 まちの魅力と産業が世界に向けて輝く都市》

身近な場所で水やみどりと触れ合える、潤いとやすらぎのあるまちをつくります

問13 身近な場所で水や緑に親しめると感じていますか。(○は1つだけ) n=2,284

1	感じている	21.7%	3	あまり感じていない	27.9%	5	どちらともいえない	7.9%
2	やや感じている	31.3%	4	感じていない	10.3%		無回答	0.8%

空港臨海部の特性を活かし、世界にはばたき未来へつながるまちをつくります

問14 羽田空港及び羽田空港跡地（HANEDA GLOBAL WINGS）が、地域経済の活性化に貢献すると感じていますか。(○は1つだけ) n=2,284

1	感じている	16.9%	3	あまり感じていない	27.3%	5	どちらともいえない	18.7%
2	やや感じている	24.0%	4	感じていない	11.9%		無回答	1.2%

「国際都市おおた」の推進により、持続可能な国際交流・多文化共生を育みます

問15 大田区は国際交流、多文化共生が進んだまちと感じていますか。(○は1つだけ) n=2,284

※多文化共生とは、国籍や民族などの異なる人々が、互いの文化的違いを認め合い、対等な関係を築こうとしながら、地域社会の構成員として共に生きていくことです。

1	感じている	4.0%	3	あまり感じていない	39.7%	5	どちらともいえない	20.9%
2	やや感じている	20.2%	4	感じていない	14.1%		無回答	1.1%

《基本目標 3 地域力と行政の連携がつくる人と地球に優しいまち》

地域力を結集し、魅力的で住み続けたいまちをつくります

問 16 あなたは、現在住んでいるまちで何らかの地域活動に参加したいと思いますか。(○は 1 つだけ)
n = 2, 284

1	現在参加している	5.2%
2	ぜひ参加したい	2.1%
3	きっかけや条件が整えば参加してみたい	37.3%
4	参加してみたいが都合により参加できない	12.4%
5	関心がない	26.5%
6	わからない	15.5%
	無回答	1.0%

問 17 あなたは、現在住んでいるまちで、区や区民、さまざまな団体（自治会・町会、ボランティアグループ、NPO、民間企業等）の連携・協働が進められることで、住みやすい地域づくりに繋がっていると感じていますか。(○は 1 つだけ)
n = 2, 284

1	そう思う	8.1%	4	そう思わない	8.9%
2	どちらかというと思う	27.3%	5	わからない	41.3%
3	どちらかというと思わない	13.5%		無回答	0.9%

地域力を最大限発揮して、災害に強く、防犯力の高い地域をつくります

問 18 あなたは、1 年前に比べて防災に対する意識が高まったと思いますか。(○は 1 つだけ)
n = 2, 284

1	高まった	18.4%	3	変わらない	37.4%	5	わからない	8.2%
2	やや高まった	35.0%	4	低くなった	0.2%		無回答	0.7%

問 19 あなたは、災害時における災害情報をどの手段で入手しますか。(○はいくつでも) n = 2, 284

1	区ホームページ	29.2%
2	区公式 SNS（ツイッター、LINE など）	13.6%
3	区民安全・安心メール	11.0%
4	防災行政無線	11.9%
5	広報車	8.3%
6	家族・友人・知人・近所	37.3%
7	緊急速報メール（エリアメールなど）	52.7%
8	インターネット（区以外のホームページなど）	47.0%
9	テレビ（ケーブルテレビ）	60.1%
10	ラジオ	14.2%
11	SNS（区以外のツイッターなど）	20.9%
12	その他（具体的に)	0.8%
	無回答	0.8%

問 20 あなたは、1 年前に比べて現在住んでいるまちの治安はどのように変化したと感じていますか。
(○は 1 つだけ) n=2,284

1	良くなった	2.2%	4	どちらかというが悪くなった	6.3%
2	どちらかというに良くなった	6.5%	5	わからない	13.1%
3	変わらない	71.0%		無回答	0.8%

持続可能な地球環境をみんなで守り、未来へ引き継ぎます

問 21 あなたは、地球温暖化防止に関心がありますか。(○は 1 つだけ) n=2,284

1	関心がある	84.5%	2	関心がない	14.2%		無回答	1.3%
---	-------	-------	---	-------	-------	--	-----	------

問 22 あなたのご家庭で実践している省エネ等の環境配慮行動を教えてください。(○はいくつでも)
n=2,284

1	テレビの画面は明るすぎないように設定する	16.4%
2	冷蔵庫は、季節に合わせて設定温度を調整する	20.2%
3	便座暖房の温度を低めに設定し、夏はオフにする	46.7%
4	エアコンのフィルターは、月 2 回清掃する	15.0%
5	外出時には、マイボトルを持ち歩く	43.4%
6	買い物際には、エコバッグを利用する	85.6%
7	食品は、事前に冷蔵庫内を点検し、必要なものだけを購入する	41.8%
8	食品は、賞味期限・消費期限を確認し、期限の迫っているものから使う	61.3%
9	家電を買い替える時には、省エネ性能の高いものを購入する	42.2%
10	白熱電球を LED 電球に交換した	51.4%
11	その他（具体的に)	4.0%
12	何もしていない	2.5%
	無回答	0.7%

区政への関心と要望

問23 以下の大田区等の制度、施策、施設のうち、あなたがご存知のものをすべて挙げてください。

(○はいくつでも) n=2,284

- | | |
|---|-------|
| 1 「さぽーとぴあ（障がい者総合サポートセンター）」：障がいのある方の暮らしを総合的にサポートする施設であり、地域の方も参加できる余暇活動やイベントを実施 | 17.3% |
| 2 「ヘルプカード」：障がいのある方などが災害時や日常の外出先での緊急時に支援が必要な内容を記載して携帯して手助けを求めるためのカード | 24.2% |
| 3 「『おおむすび』の取組み」：区内障がい者施設が連携し、自主生産品の共同販売や区内企業等からのシール貼りなどの軽作業の共同受注等を促すことにより、作業等に携わる利用者の工賃（給与）向上や社会参加を図る取組み | 3.5% |
| 4 「自立訓練(機能訓練)施設」：脳出血、脳梗塞等の後遺症及び事故や病気などによる脳の損傷による高次脳機能障がいに対する機能回復の訓練をする施設「大田区立志茂田福祉センター(機能訓練係)」、「大田区立障がい者総合サポートセンター（居住支援部門）」 | 5.8% |
| 5 「大田区 生活再建・就労サポートセンター JOBOTA（ジョボタ）」：さまざまな理由により経済的に困り、生活・しごと・住まいなどについてのお悩みを抱えている方の相談窓口 | 10.0% |
| 6 「おおた健康経営事業所」：従業員の健康づくりを経営的視点から戦略的に取り組んでいると、区が認定・表彰している区内事業所 | 1.4% |
| 7 「在宅医療」：自宅等において医師の往診や治療、訪問看護などの医療サービスを受けながら療養生活を送ること | 30.2% |
| 8 「クールアクション」：一人ひとりが「省エネ・3R・環境にやさしい商品の購入」を実践し、地球温暖化の原因となる二酸化炭素の排出を削減する区民運動 | 2.1% |
| 9 「Unique0ta/ユニークおおた」：区の多様な魅力や価値を区内外の方に伝えるシティプロモーションを展開するための「他にはない、大田区ならではのユニークな場所と出会えるまち」という意味が込められたブランドメッセージ | 2.1% |
| 10 どれも知らない | 44.2% |
| 無回答 | 6.0% |

問 24 大田区の施策の中で、特に何に力を入れてほしいと思いますか。(○はいくつでも) n=2,284

《基本目標1 生涯を健やかに安心して いきいきと暮らせるまち》		15 公園・児童遊園の整備	32.1%
1 児童福祉（子育て支援・保育等）	38.3%	16 交通安全対策	37.5%
2 学校教育	34.1%	17 住宅対策	21.7%
3 青少年の健全育成	19.9%	18 国際交流の推進	8.4%
4 保健・健康（休日診療を含む）	41.0%	19 観光振興	6.8%
5 食品衛生	13.4%	20 産業振興	13.7%
6 心身障がい者（児）福祉	15.6%	《基本目標3 地域力と行政の連携がつくる 人と地球に優しいまち》	
7 生涯学習の推進	19.2%	21 地域活動活性化の推進	12.8%
※生涯学習：生涯にわたって文化、スポーツなどを さまざまに学んでいく学習活動		22 消費生活相談・対策	8.2%
8 スポーツの振興	13.5%	23 文化事業の推進	11.7%
9 男女平等の推進	12.5%	24 防災対策	62.8%
10 低所得世帯の援護	22.9%	25 防犯対策	52.6%
11 高齢者福祉	38.1%	26 緑化推進	34.7%
《基本目標2 まちの魅力と産業が世界に 向けて輝く都市》		27 公害対策	22.6%
12 都市再開発の推進	17.2%	28 清掃・リサイクルの推進	36.0%
13 道路の整備	34.8%	29 その他の施策（具体的に ）	2.0%
14 公共交通網の整備	26.9%	30 特にない	1.4%
		無回答	2.5%

問 25 あなたは、どんな目的で大田区の施設を利用することが多いですか。(○は3つまで) n=2,284

1	生活や仕事を営むうえで必要な手続きなどのため	54.6%
2	個人的な困りごとについて相談し、助言を受けるため	5.8%
3	自分の生活をより豊かにするため(健康増進、生涯学習、芸術鑑賞など)	22.0%
4	区政を含む行政情報や、地域情報を積極的に収集するため	2.8%
5	区政に何らかの形で積極的に参加するため	1.2%
6	区民どうし又は地域、団体等との交流を図るため	4.0%
7	自分が(又は家族と一緒に)気軽にのんびり過ごすため	12.1%
8	その他(具体的に)	1.9%
9	区の施設をほとんど利用しないのでわからない	27.5%
	無回答	3.6%

問 26 あなたは区政に関する情報を知りたいとき、それぞれの媒体をどの程度利用して(見て)いますか。(○はそれぞれ1つ) n=2,284

	よく利用している	たまに利用している	利用したことがある	利用したことがない	わからない	無回答
回答例 ⇒	1	2	3	4	5	
(1) おおた区報	20.6%	27.7%	22.5%	21.0%	4.2%	3.9%
(2) 大田区ホームページ	6.7%	29.0%	27.8%	22.3%	5.1%	9.1%
(3) 大田区公式 SNS (ツイッター、LINE など)	1.8%	4.4%	7.4%	66.3%	8.2%	11.9%
(4) 大田区公式チャンネル (YouTube)	0.2%	0.8%	3.3%	75.4%	8.6%	11.7%
(5) ケーブルテレビ番組(「おおたシティニュース」)	0.9%	4.5%	7.6%	68.1%	7.8%	11.1%
(6) デジタルサイネージ(電子掲示板)	0.0%	0.5%	2.5%	73.6%	11.4%	11.9%
(7) 冊子「くらしのガイド」	1.7%	6.5%	17.2%	55.2%	9.3%	10.2%
(8) おおたふれあい情報(区施設や区の掲示板に掲示してある月替わりのポスター)	2.6%	7.4%	14.4%	56.3%	9.8%	9.5%

問 27 あなたは、大田区の行政サービスや窓口は以前に比べて使いやすくなった、便利になったと思いますか。(○は1つだけ) n = 2, 284

1	そう思う	7.7%	3	どちらかといえばそう思わない	7.9%	} 問 27-2 へ
2	どちらかといえばそう思う	25.1%	4	そう思わない	7.9%	
			5	わからない	48.1%	⇒ 問28へ
				無回答	3.2%	

(問 27 で、「1」または「2」と回答した方に)

▶ 問 27-1 そのように思った理由は何ですか。(○はいくつでも) n = 749

1	手続きの事務処理に要する時間が短くなったから	56.3%
2	利用できる場所や時間帯が広がったから	31.1%
3	行政サービスの内容や種類が充実したから	11.5%
4	応対する職員の接遇レベルがよくなったから	40.3%
5	インターネットやオンラインで利用できるサービスが増えたから	31.4%
6	区からの情報発信の方法や内容が充実したから	7.9%
7	その他 (具体的に)	1.5%
	無回答	1.6%

(問 27 で、「3」または「4」と回答した方に)

問 27-2 そのように思った理由は何ですか。(○はいくつでも) n = 362

1	手続きの事務処理に要する時間が変わらないから	52.5%
2	利用できる場所や時間帯が変わらないから	49.4%
3	行政サービスの内容や種類が変わらないから	28.7%
4	応対する職員の接遇レベルが変わらないから	33.4%
5	インターネットやオンラインで利用できるサービスが増えないから	29.0%
6	区からの情報発信の方法や内容が変わらないから	19.6%
7	その他 (具体的に)	6.6%
	無回答	4.7%

問 28 あなたは、大田区の職員の窓口や電話での応対についてどのように感じていますか。
(○は1つだけ) n = 2, 284

1	良い	17.4%	3	どちらかという悪い	6.5%	5	わからない	32.8%
2	どちらかという良い	37.7%	4	悪い	1.8%		無回答	3.7%

問 29 あなたは、何らかの機会や手段を通じて大田区政に参加したいと思いますか。(○は1つだけ)
n = 2, 284

※ここでいう「区政への参加」とは、大田区が実施する区民向けのワークショップや委員会、審議会などの公募委員、区民意見公募手続き（パブリックコメント）への参加のほか、窓口・電話・メールなどを通じた区への意見・要望、住民説明会・意見交換会・シンポジウム・フォーラムへの参加、アンケートへの回答など、区が関係する幅広い機会・手段を指すものとします。

1	そう思う	4. 6%
2	どちらかといえばそう思う	19. 4%
3	どちらかといえばそう思わない	18. 7%
4	そう思わない	25. 1%
5	わからない	27. 8%
	無回答	4. 4%

(問 29 で、「3」または「4」と回答した方に)

問 29- 1 そのように思った理由は何ですか。(○はいくつでも) n = 1, 001

1	区政に関心がないから	15. 0%
2	区政のことはよくわからないから	30. 6%
3	区民の意見が反映されるとは思わないから	22. 1%
4	どのように参加してよいかわからないから	18. 1%
5	時間に余裕がなく参加できるとは思わないから	41. 1%
6	自分には参加するための知識や経験がないと思うから	32. 6%
7	その他（具体的に)	5. 8%
	無回答	0. 4%

自由意見

大田区政についてのご意見・ご要望がありましたら、どのようなことでも結構ですので、ご記入ください。

フェイスシート

- これまでのお答えの内容を統計的に分類するために必要なことをおたずねします。
あなたご自身のことについて、さしさわりのない範囲でお答えください。

F 1 性別／戸籍上の性別に関係なく、ご自身の主観でお答えください。(○は1つだけ) n=2,284

1 男性	38.7%	2 女性	56.7%	無回答	4.6%
------	-------	------	-------	-----	------

F 2 年齢／あなたの年齢は満でいくつですか。(○は1つだけ) n=2,284

1 18～19歳	1.3%	4 40～49歳	17.3%	7 60～64歳	7.7%	10 75歳以上	13.3%
2 20～29歳	9.1%	5 50～54歳	9.4%	8 65～69歳	7.0%	無回答	4.1%
3 30～39歳	13.7%	6 55～59歳	7.8%	9 70～74歳	9.4%		

F 3 住居形態／住宅の種類は、次のどれでしょうか。(○は1つだけ) n=2,284

持ち家	1 一戸建て	36.3%
	2 集合住宅	26.4%
借家	3 一戸建て	2.4%
	4 民間・木造アパート	5.1%
	5 民間・鉄筋アパート・マンション	20.1%
	6 公社・都市再生機構（旧公団）・公営住宅	3.0%
	7 社宅・官舎	1.9%
	8 間借り・寮・住み込み	0.6%
	無回答	4.3%

F 4 同居家族／現在一緒に暮らしているご家族の中で、あなたご自身を含めて、あてはまる方をすべてあげてください。 n=2,284

1 小学校入学前の児童	9.1%	4 寝たきりの方や身体の不自由な方	3.7%
2 小学生	8.1%	5 あてはまる人はいない	39.5%
3 65歳以上の方	42.3%	無回答	4.9%

F 5 ライフステージ／人生にはさまざまな段階がありますが、現在のあなたご自身は、次のどれにあたりますか。(○は1つだけ) n = 2, 284

独 身	1 本人 18～39 歳	14.7%
	2 本人 40～64 歳	11.2%
	3 本人 65 歳以上	7.7%
子どものいない夫婦	4 本人 18～39 歳	3.1%
	5 本人 40～64 歳	5.5%
	6 本人 65 歳以上	3.2%
子どものいる人 (別居も含む)	7 一番上の子どもが入学前	6.1%
	8 一番上の子どもが小・中学生	7.4%
	9 一番上の子どもが高校・大学生	6.3%
	10 本人が 64 歳以下で、一番上の子どもが学校卒業	11.8%
	11 本人が 65 歳以上で、一番上の子どもが学校卒業	16.0%
	無回答	7.0%

F 6 あなたのお住まいの地域はどちらですか。各地域の()内は、管轄する特別出張所です。
(○は1つだけ) n = 2, 284

1 大森地域 (大森東、大森西、入新井、馬込、池上、新井宿)	34.5%
2 調布地域 (嶺町、田園調布、鵜の木、久が原、雪谷、千束)	23.8%
3 蒲田地域 (六郷、矢口、蒲田西、蒲田東)	27.8%
4 糀谷・羽田地域 (糀谷、羽田)	9.4%
無回答	4.5%

Ⅲ 調査結果の分析

Ⅲ 調査結果の分析

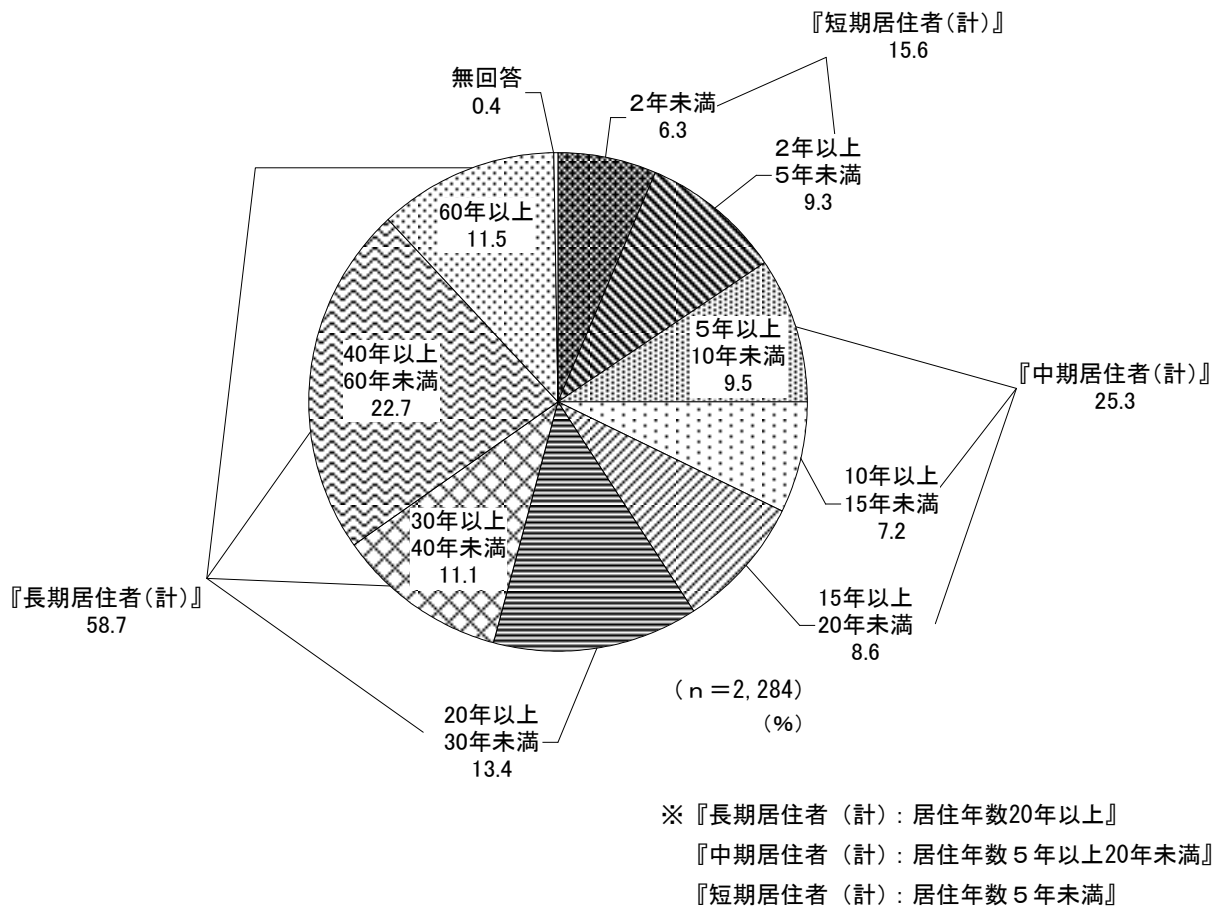
1. 定住性

(1) 居住年数

◇20年以上住んでいる方を表す『長期居住者（計）』は6割近く

問1 あなたは、大田区にお住まいになって何年ですか。（○は1つだけ）

図1-1-1



居住年数を聞いたところ、「40年以上60年未満」（22.7%）が2割を超えて最も高く、これに「20年以上30年未満」（13.4%）、「30年以上40年未満」（11.1%）、「60年以上」（11.5%）を合わせた『長期居住者（計）（居住年数20年以上）』（58.7%）は6割近くとなっている。「5年以上10年未満」（9.5%）、「10年以上15年未満」（7.2%）、「15年以上20年未満」（8.6%）を合わせた『中期居住者（計）（居住年数5年以上20年未満）』（25.3%）は2割半ばで、「2年未満」（6.3%）と「2年以上5年未満」（9.3%）を合わせた『短期居住者（計）（居住年数5年未満）』（15.6%）は1割半ばとなっている。

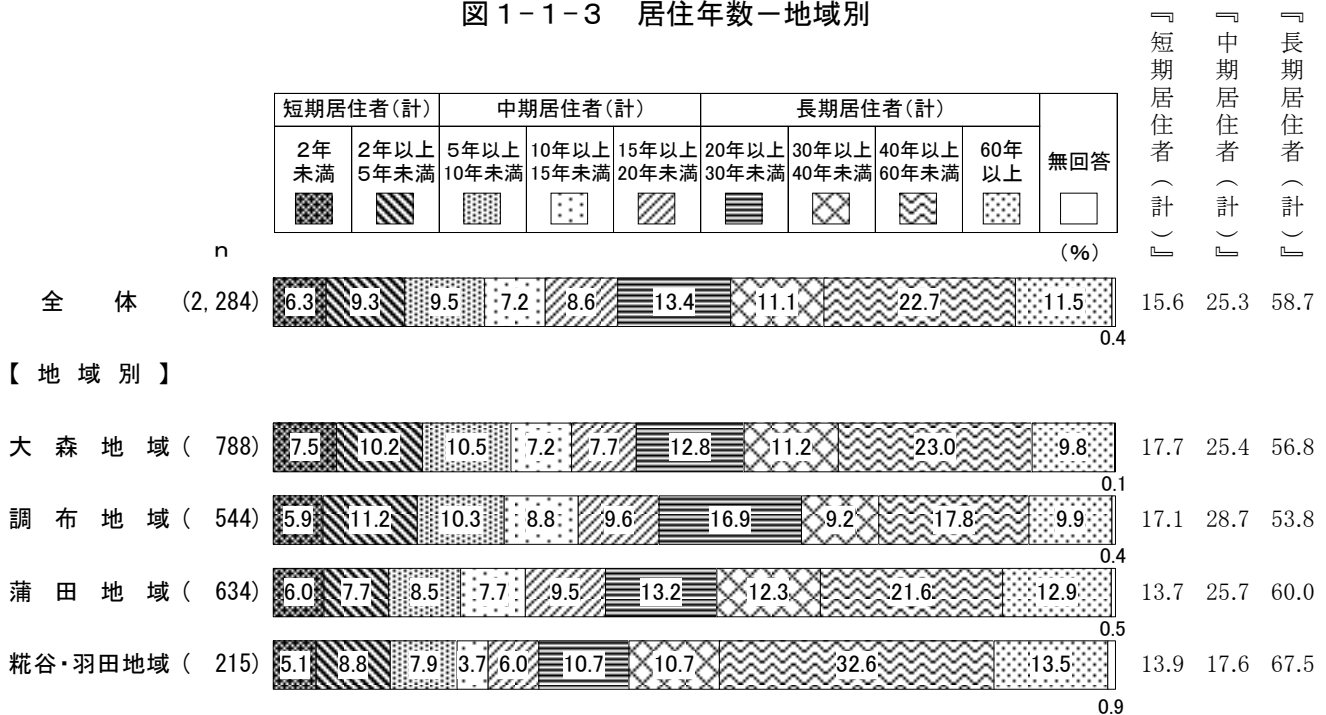
（図1-1-1）

図 1-1-2 居住年数一経年比較



経年比較をみると、『長期居住者(計)』は平成29年以降増加傾向にある。(図1-1-2)

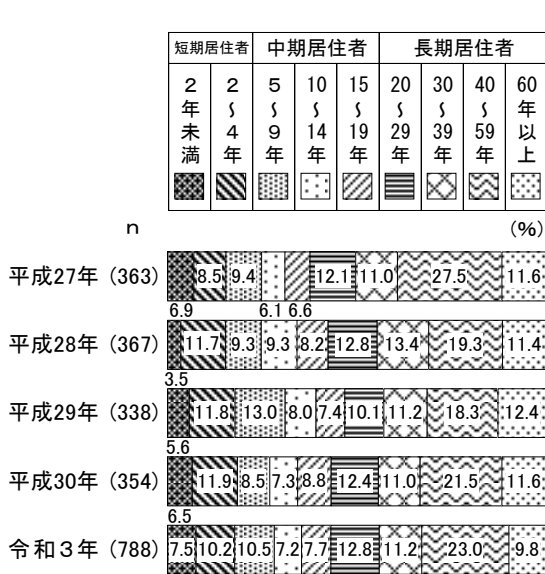
図 1-1-3 居住年数一地域別



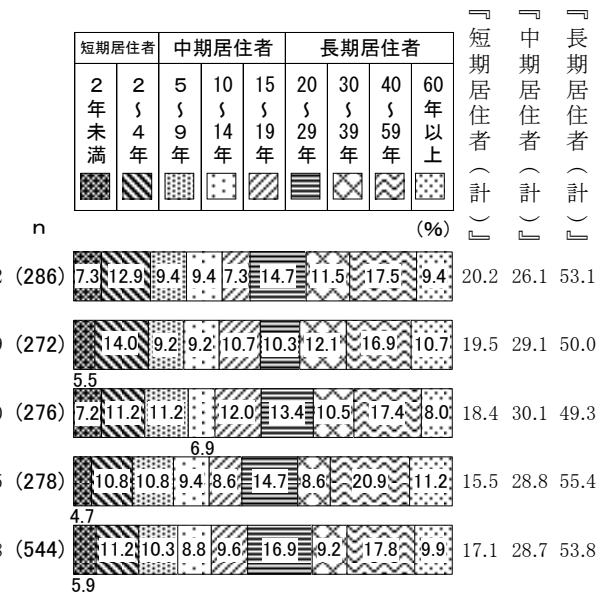
地域別でみると、『長期居住者(計)』は糎谷・羽田地域(67.5%)で7割近くと高くなっている。『中期居住者(計)』は調布地域(28.7%)で3割近くと高くなっている。『短期居住者(計)』は大森地域(17.7%)と調布地域(17.1%)で2割近くとなっている。(図1-1-3)

図 1-1-4 居住年数—地域別（経年比較）

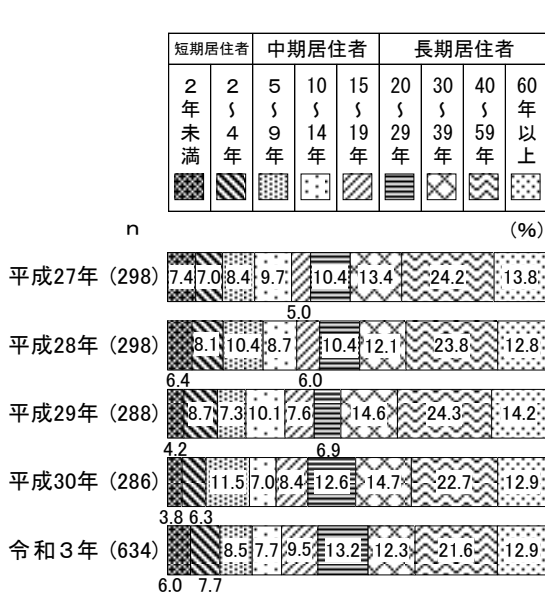
【大森地域】



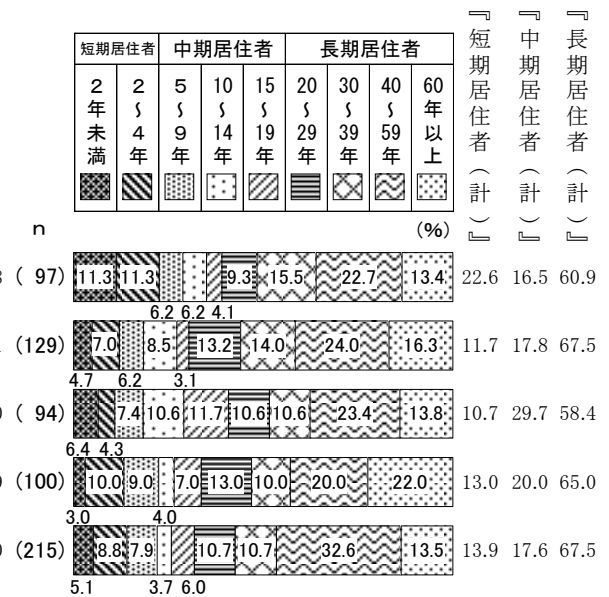
【調布地域】



【蒲田地域】



【糀谷・羽田地域】



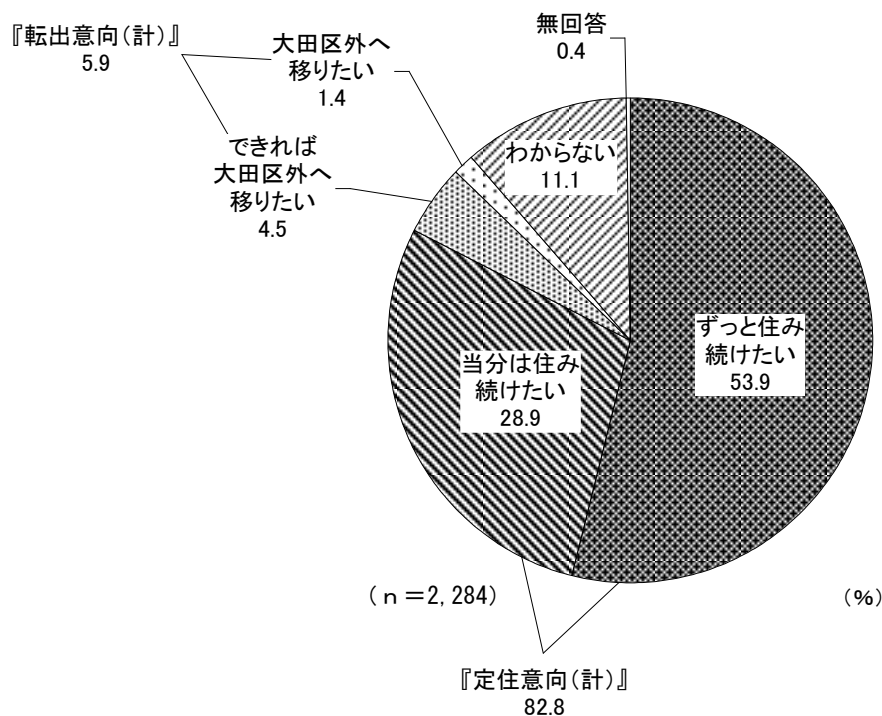
地域別で経年比較をみると、『短期居住者（計）』は蒲田地域で前回より3.6ポイント増加している。（図 1-1-4）

(2) 定住意向

◇「ずっと住み続けたい」と「当分は住み続けたい」を合わせた『定住意向(計)』は8割を超える

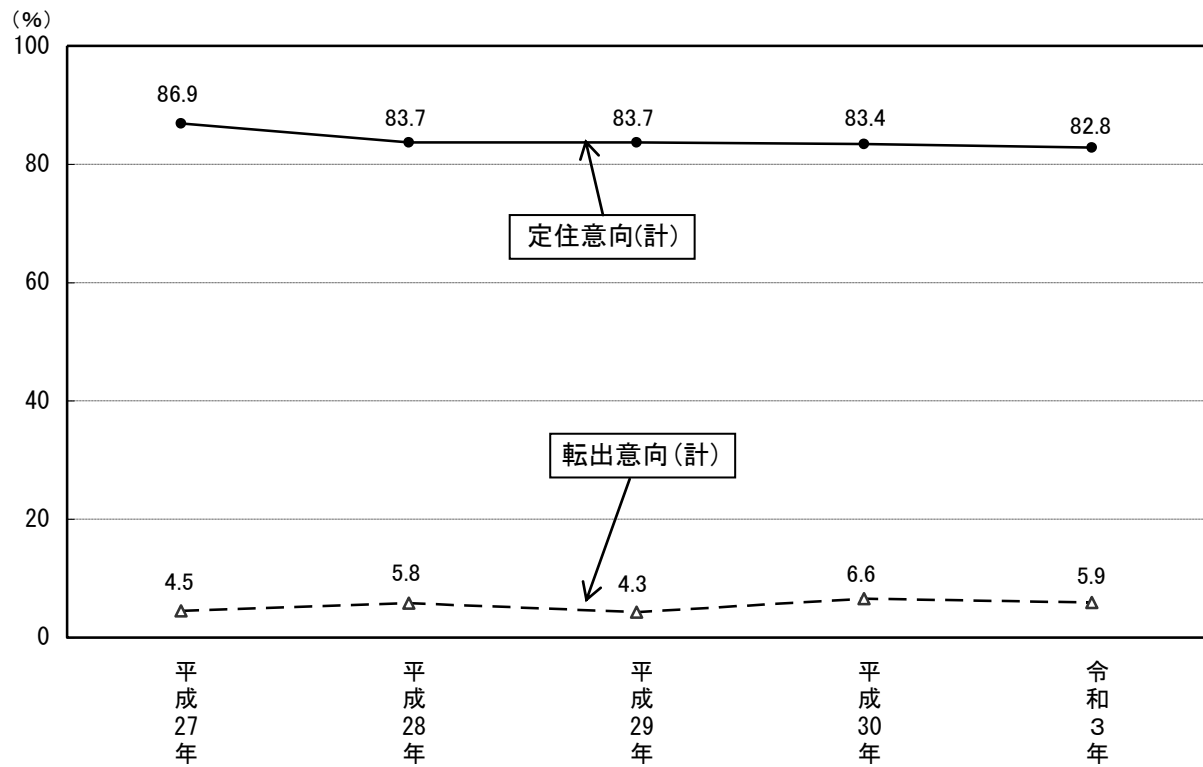
問2 あなたは、これからも大田区に住みたいと思いますか。(○は1つだけ)

図1-2-1



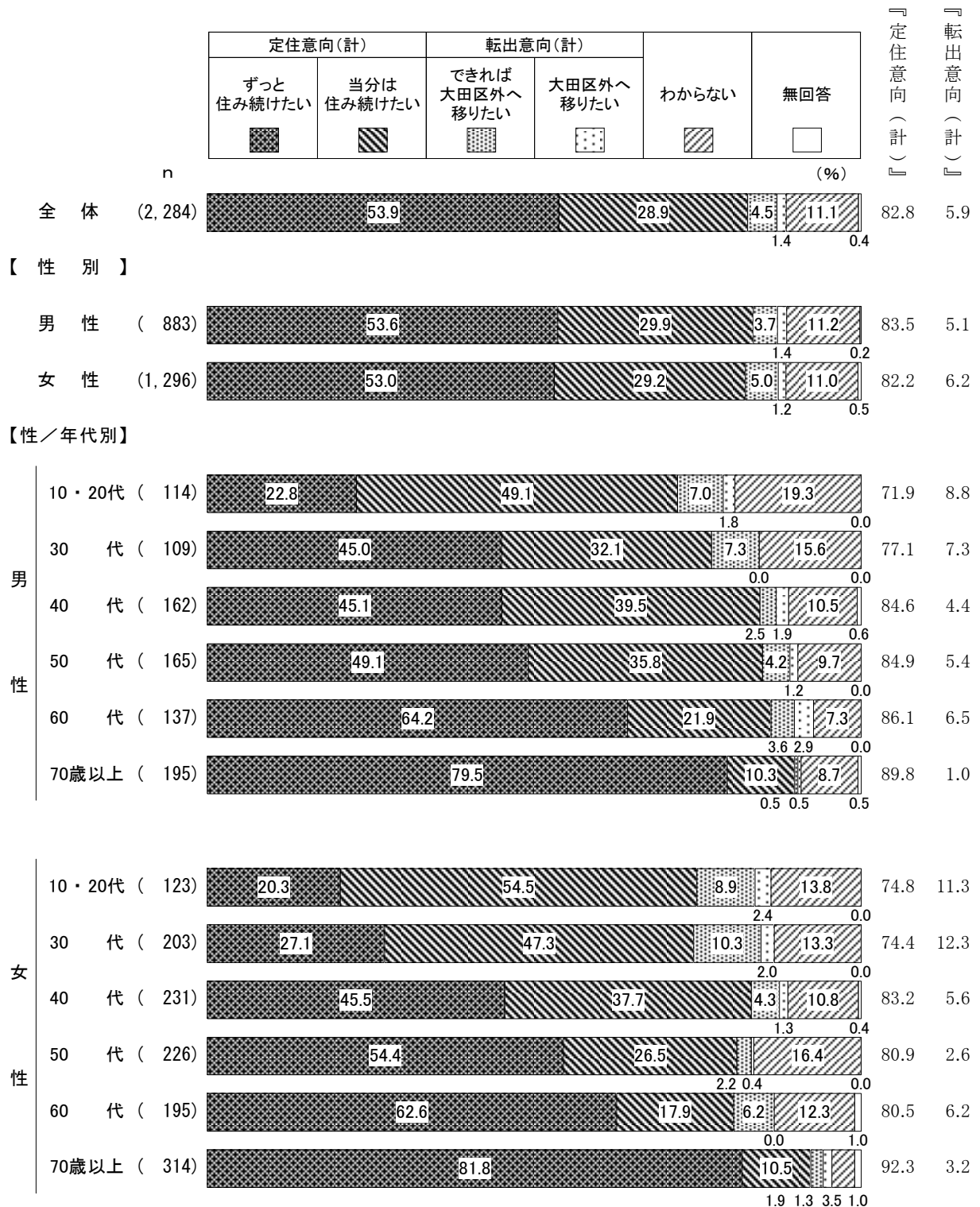
定住意向を聞いたところ、「ずっと住み続けたい」(53.9%)が5割を超えて最も高く、これに「当分は住み続けたい」(28.9%)を合わせた『定住意向(計)』(82.8%)は8割を超えている。一方、「できれば大田区外へ移りたい」(4.5%)と「大田区外へ移りたい」(1.4%)を合わせた『転出意向(計)』(5.9%)は1割未満となっている。(図1-2-1)

図 1-2-2 定住意向－経年比較



経年比較をみると、『定住意向（計）』は平成27年以降8割台で推移している。（図1-2-2）

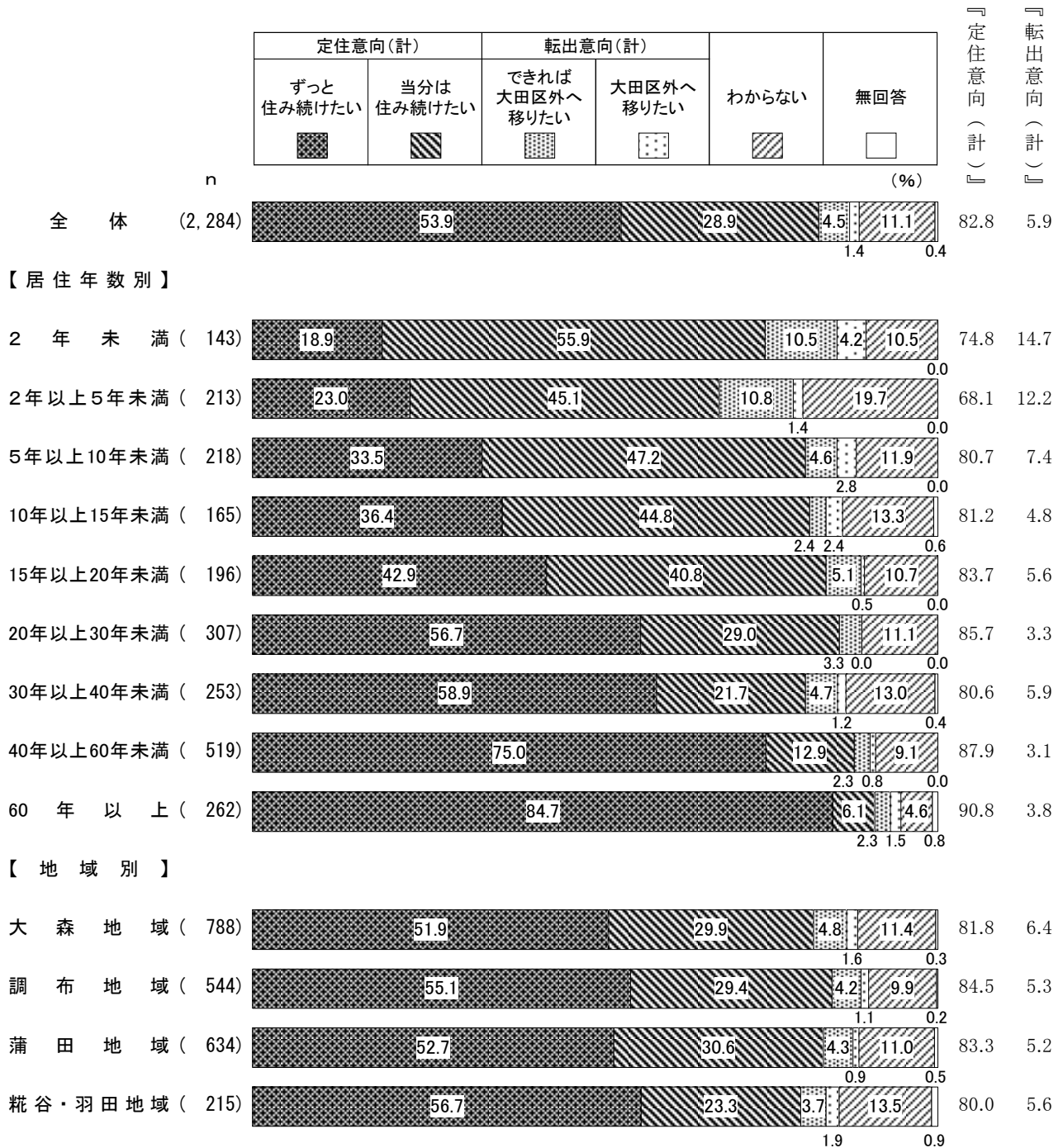
図 1-2-3 定住意向一性／年代別



性別でみると、大きな違いはみられない。

性／年代別でみると、「ずっと住み続けたい」は男女ともに年代が高くなるほど割合が高く、女性70歳以上(81.8%)で8割を超え、男性70歳以上(79.5%)で8割となっている。『定住意向(計)』は女性70歳以上(92.3%)で9割を超えて高くなっている。(図1-2-3)

図 1-2-4 定住意向－居住年数別、地域別

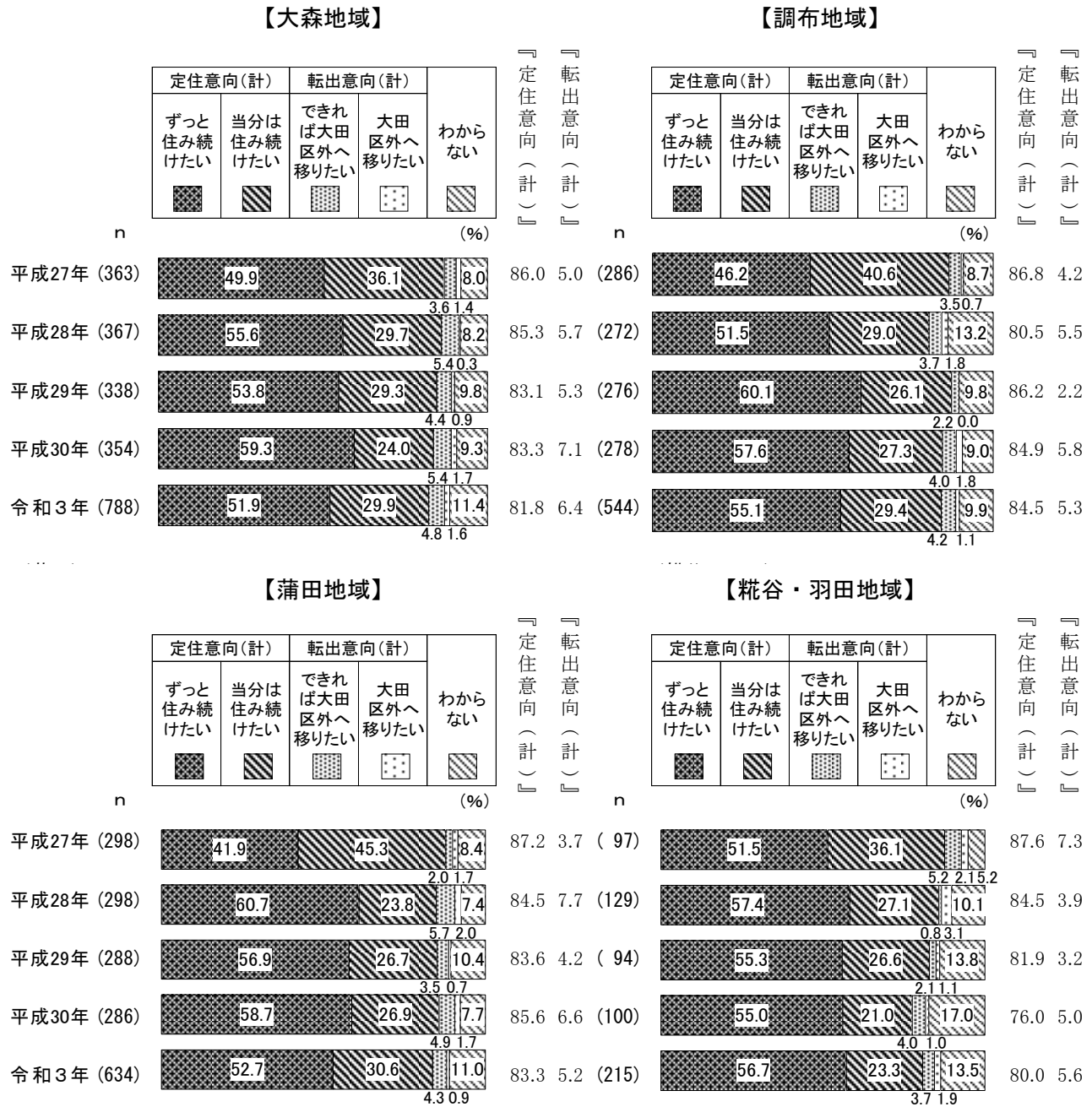


居住年数別でみると、「ずっと住み続けたい」は居住年数が長くなるほど割合が高く、“居住年数60年以上”(84.7%)で8割半ばとなっている。『定住意向(計)』は“居住年数60年以上”(90.8%)で約9割と高くなっている。一方、『転出意向(計)』は“居住年数2年未満”(14.7%)で1割半ばとなっている。

地域別でみると、『定住意向(計)』は調布地域(84.5%)で8割半ばと高くなっている。

(図 1-2-4)

図 1-2-5 定住意向—地域別（経年比較）



地域別で経年比較をみると、『定住意向（計）』は糀谷・羽田地域で前回より4.0ポイント増加している。（図 1-2-5）

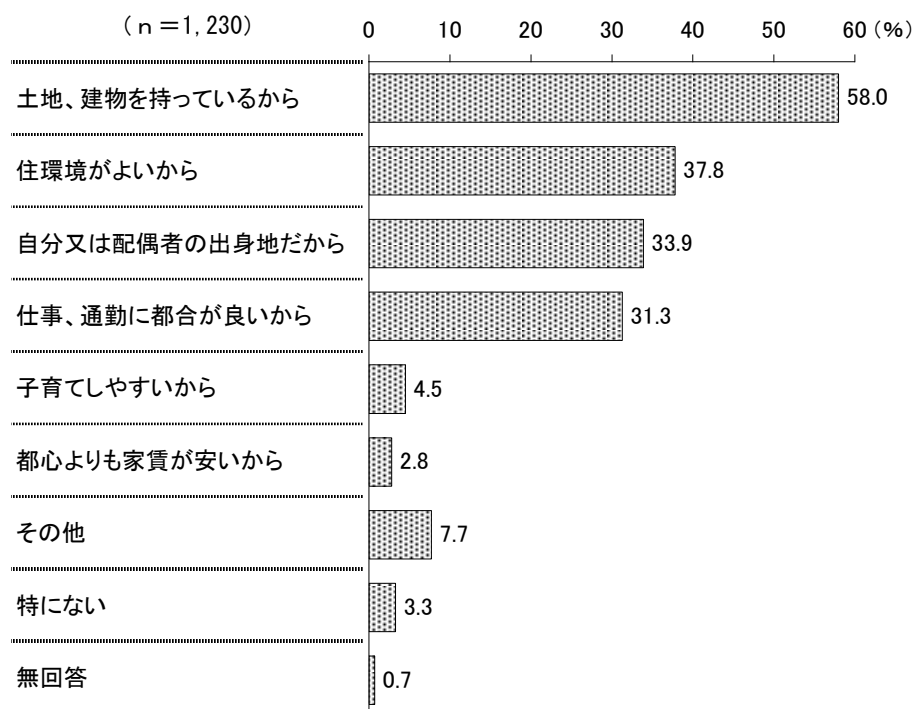
(3) ずっと住みたい理由

◇「土地、建物を持っているから」が6割近く

(問2で、「ずっと住みたい」と回答した方に)

問2-1 「ずっと住みたい」理由は何ですか。(〇はいくつでも)

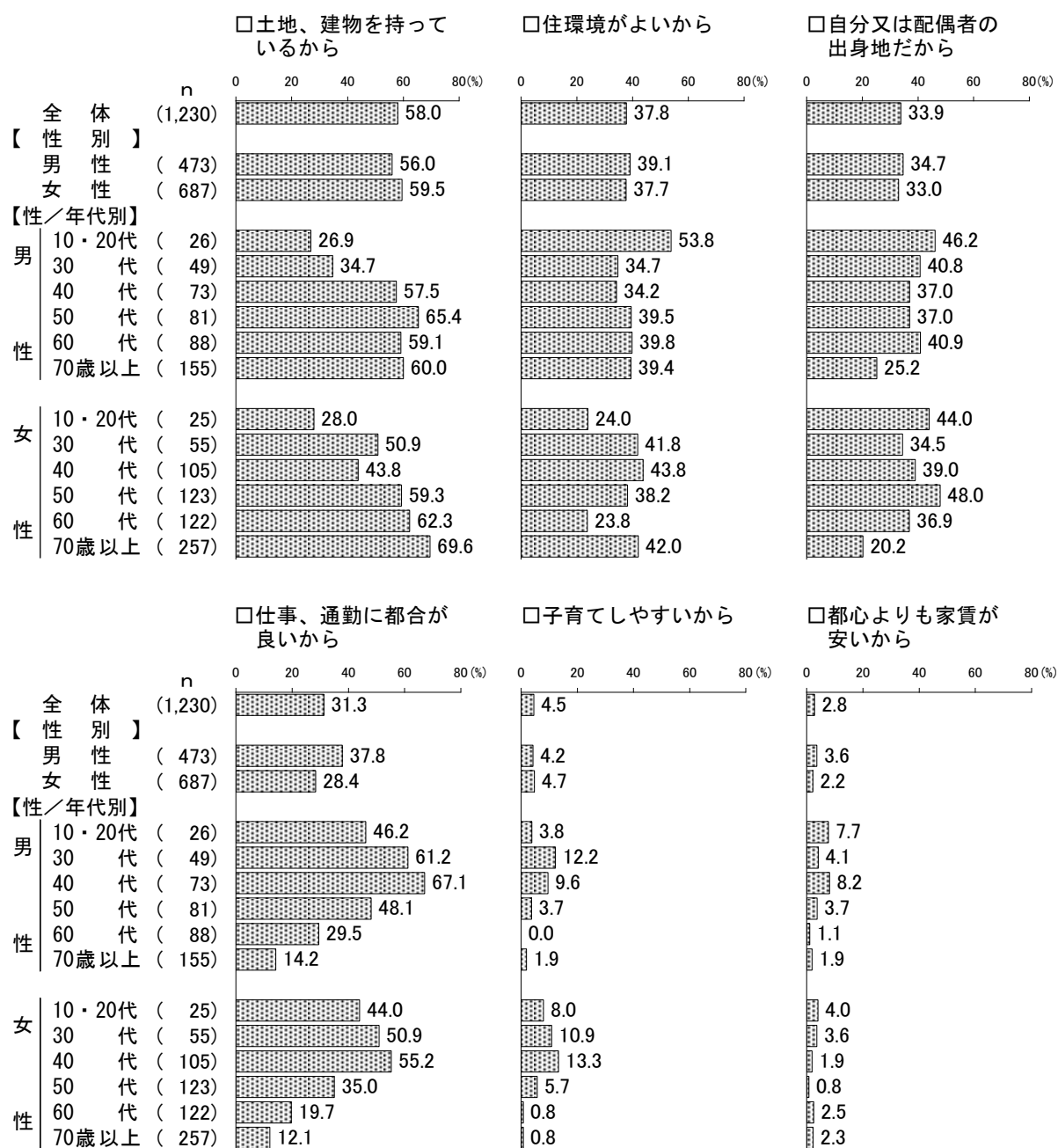
図1-3-1



これからも大田区に「ずっと住みたい」と答えた人(1,230人)に、その理由を聞いたところ、「土地、建物を持っているから」(58.0%)が6割近くで最も高く、次いで「住環境がよいから」(37.8%)、「自分又は配偶者の出身地だから」(33.9%)、「仕事、通勤に都合が良いから」(31.3%)などの順になっている。

「その他」への回答として、「交通の便が良い」、「家族が近くに住んでいる」、「住み慣れている」、「友人が多い」などがあげられている。(図1-3-1)

図 1-3-2 ずっと住み続けたい理由－性／年代別

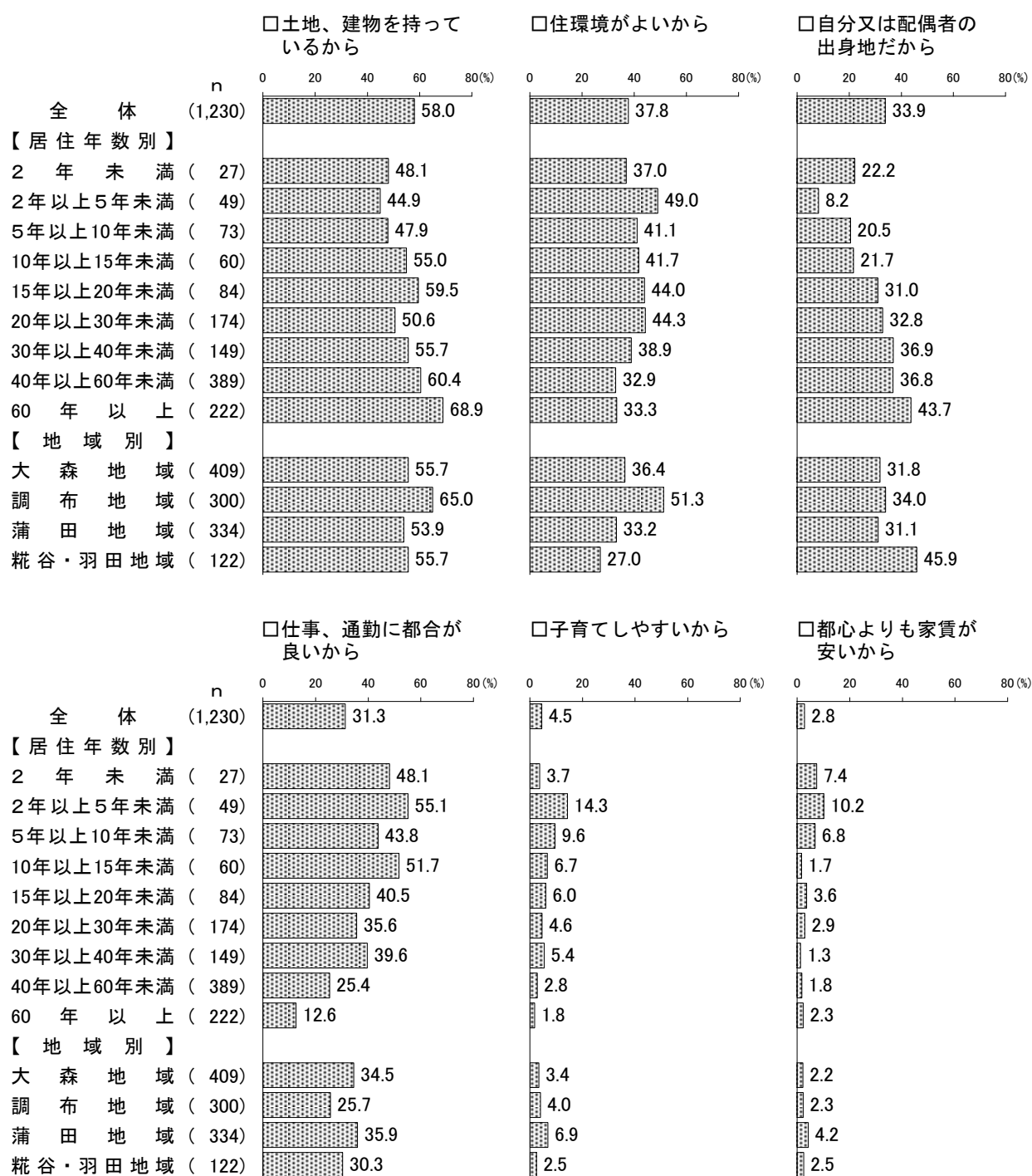


性別でみると、「仕事、通勤に都合が良いから」は男性（37.8%）が女性（28.4%）より9.4ポイント高くなっている。一方、「土地、建物を持っているから」は女性（59.5%）が男性（56.0%）より3.5ポイント高くなっている。

性／年代別でみると、「土地、建物を持っているから」は女性70歳以上（69.6%）で7割と高くなっている。「仕事、通勤に都合が良いから」は男性40代（67.1%）で7割近くと高くなっている。

（図 1-3-2）

図 1-3-3 ずっと住みたい理由－居住年数別、地域別



居住年数別でみると、「土地、建物を持っているから」は「居住年数60年以上」（68.9％）で7割近くと高くなっている。「仕事、通勤に都合が良いから」は「居住年数2年以上5年未満」（55.1％）で5割半ばと高くなっている。

地域別でみると、「土地、建物を持っているから」は調布地域（65.0％）で6割半ばと高くなっている。「住環境がよいから」は調布地域（51.3％）で5割を超えて高くなっている。（図1-3-3）

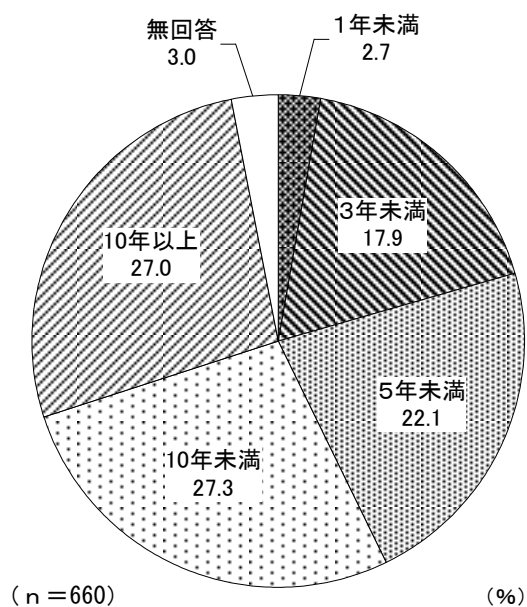
(4) 当分は住み続けたい期間

◇「10年未満」と「10年以上」が3割近く

(問2で、「当分は住み続けたい」と回答した方に)

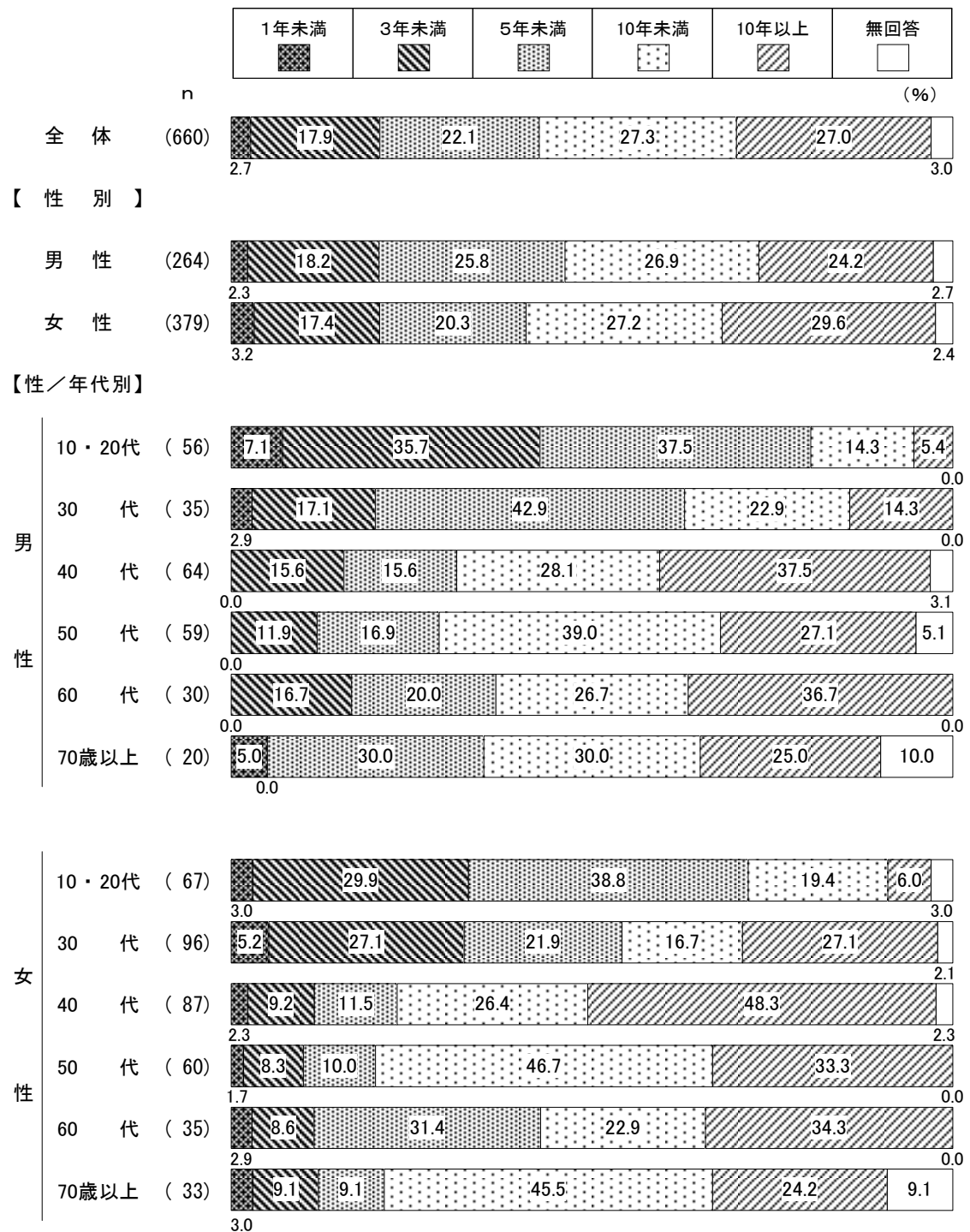
問2-2 「当分は住み続けたい」とはどのくらいの期間で理由は何ですか。(○は1つだけ)

図1-4-1



大田区に「当分は住み続けたい」と答えた人(660人)に、それはどのくらいの期間か聞いたところ、「10年未満」(27.3%)と「10年以上」(27.0%)が3割近くで高く、次いで「5年未満」(22.1%)、「3年未満」(17.9%)などの順になっている。(図1-4-1)

図 1-4-2 当分は住み続けたい期間－性／年代別



性別でみると、「5年未満」は男性（25.8%）が女性（20.3%）より5.5ポイント高くなっている。一方、「10年以上」は女性（29.6%）が男性（24.2%）より5.4ポイント高くなっている。

性／年代別でみると、「5年未満」は男性30代（42.9%）で4割を超えて高くなっている。「10年未満」は女性50代（46.7%）で5割近くと高くなっている。「10年以上」は女性40代（48.3%）で5割近くと高くなっている。（図1-4-2）

また、「当分は住み続けたい」と答えた理由については、529人から567件の回答があった。住み続けたい期間別に分類して整理した結果は以下のとおりである。

①「1年未満」と答えた理由（計18件）

- 転居の予定や可能性があるから…………… 7件
- 仕事や通勤・通学に都合が良いから…………… 3
- 住みやすい、住み慣れている、利便性が良いから…………… 3
- 実家や出身地に戻りたい、戻る予定があるから…………… 1
- 家賃や住宅購入費が高いから…………… 1
- 転勤・転職の可能性があるから…………… 1
- 将来、家が手狭になると思うから…………… 1
- その他…………… 1

②「3年未満」と答えた理由（計102件）

- 仕事や通勤・通学に都合が良いから…………… 21件
- 実家や出身地に戻りたい、戻る予定があるから…………… 14
- 転居の予定や可能性があるから…………… 11
- 転勤・転職の可能性があるから…………… 8
- 住みやすい、住み慣れている、利便性が良いから…………… 6
- マンション等の更新の都合があるから…………… 5
- 住宅を建てる・購入する予定があるから…………… 5
- 子どもの成長や学校の都合に合わせたいから…………… 5
- 実家だから、実家に近いから…………… 3
- 家賃や住宅購入費が高いから…………… 3
- 交通の便が良いから…………… 3
- 社宅の期限があるから…………… 2
- 結婚したら転居する可能性があるから…………… 2
- もっと環境が良い所に住みたいから…………… 2
- その他…………… 12

③「5年未満」と答えた理由（計132件）

- 仕事や通勤・通学に都合が良いから…………… 23件
- 住みやすい、住み慣れている、利便性が良いから…………… 15
- 子どもの成長や学校の都合に合わせたいから…………… 14
- 実家や出身地に戻りたい、戻る予定があるから…………… 10
- 転勤・転職の可能性があるから…………… 9
- 他の場所に住んでみたい、居住環境を変えたいから…………… 5
- 結婚したら転居する可能性があるから…………… 5
- 家を購入したい・購入する予定だから…………… 4
- 交通の便が良いから…………… 4
- 実家だから、実家に近いから…………… 4
- 老後に転居する可能性があるから…………… 3
- 進学・就職・独立するため…………… 3
- 経済的に心配だから…………… 3
- 引っ越したばかりだから…………… 3
- 引っ越す理由や予定がないから…………… 3

- 学校を卒業するまでは住む予定だから…………… 2
- 仕事の区切りがつくまでは住む予定だから…………… 2
- その他…………… 20

④「10年未満」と答えた理由（計164件）

- 子どもの成長や学校の都合に合わせたいから…………… 24件
- 仕事や通勤・通学に都合が良いから…………… 15
- 住みやすい、住み慣れている、利便性が良いから…………… 12
- 実家や出身地に戻りたい、戻る予定があるから…………… 11
- 老後に転居する可能性があるから…………… 10
- 家族・友人・親族がいるから…………… 8
- 交通の便が良いから…………… 6
- 他の場所に住んでみたいから…………… 6
- 不自由なく過ごせているから、満足しているから…………… 6
- 家族の都合によるから…………… 5
- 家を購入したい・購入する予定だから…………… 5
- 将来のことはわからないから…………… 5
- 引っ越す理由や予定がないから…………… 4
- 施設へ入る可能性があるから…………… 4
- 退職するまでは住みたいから…………… 4
- 結婚したら転居する可能性があるから…………… 3
- 土地、建物を持っているから…………… 3
- 将来的にライフスタイルが変わると思うから…………… 3
- 実家だから、実家に近いから…………… 2
- 災害が心配だから…………… 2
- 良い物件があれば引っ越すかもしれないから…………… 2
- その他…………… 24

⑤「10年以上」と答えた理由（計151件）

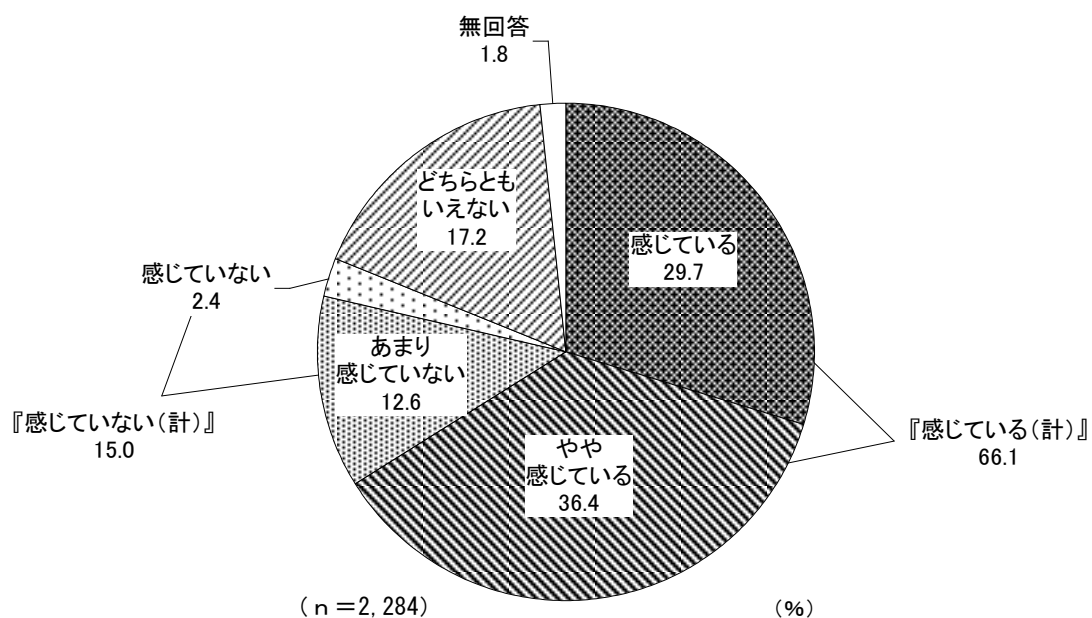
- 子どもの成長や学校の都合に合わせたいから…………… 28件
- 仕事や通勤・通学に都合が良いから…………… 18
- 土地、建物を持っているから…………… 18
- 住みやすい、住み慣れている、利便性が良いから…………… 11
- 老後に転居する可能性があるから…………… 10
- 退職するまでは住みたいから…………… 7
- 実家だから、実家に近いから…………… 5
- 家族・友人・親族がいるから…………… 5
- 不自由なことがないから、気に入っているから…………… 5
- 実家や出身地に戻りたい、戻る予定があるから…………… 4
- 将来のことはわからないから…………… 4
- 他の場所に住んでみたいから…………… 4
- 交通の便が良いから…………… 3
- 治安がいいから…………… 2
- 施設へ入る可能性があるから…………… 2
- その他…………… 25

(5) 住んでいるまちが魅力的か

◇「感じている」と「やや感じている」を合わせた『感じている(計)』は6割半ば

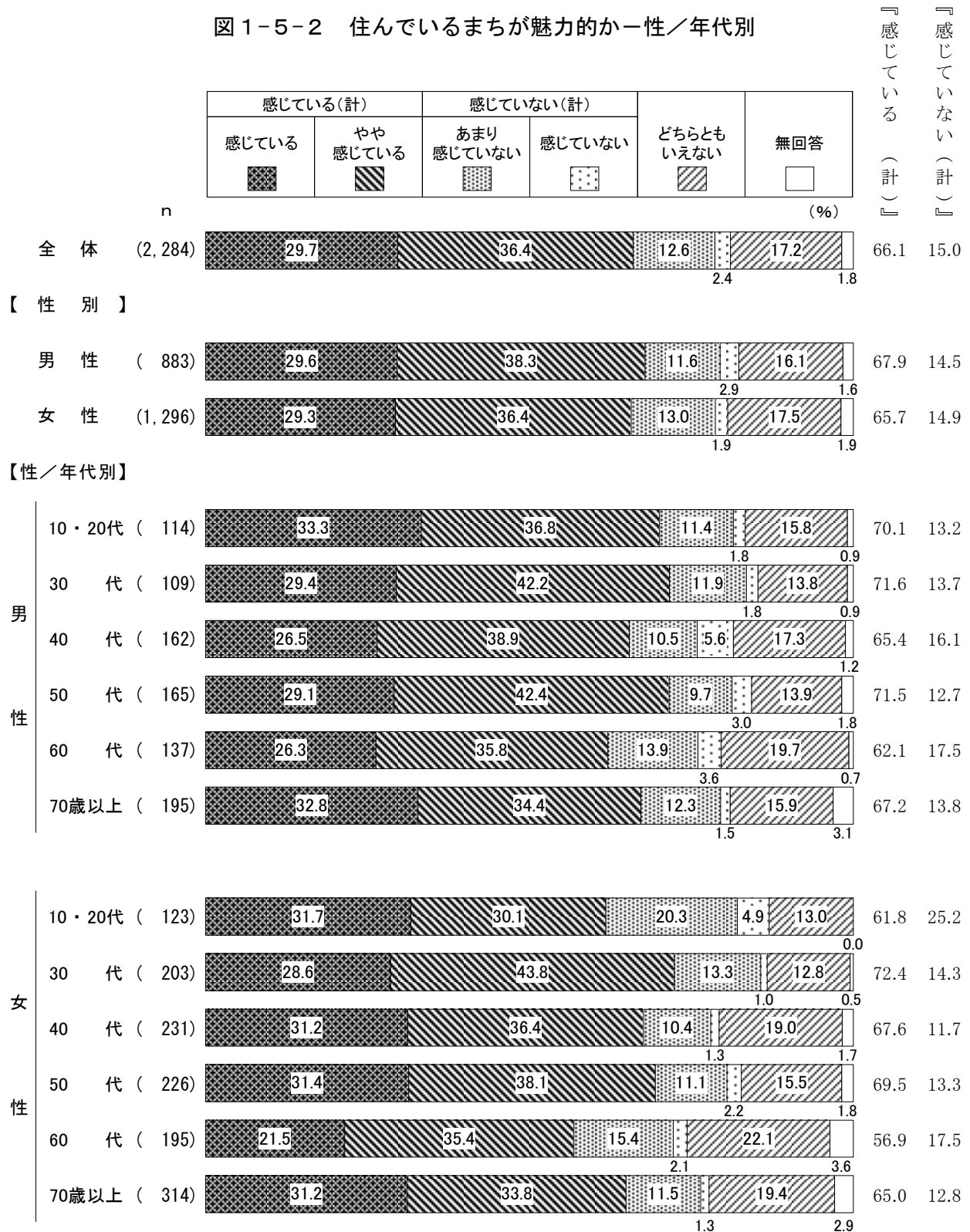
問3 あなたは、住んでいるまちが魅力的であると感じていますか。(○は1つだけ)

図1-5-1



住んでいるまちが魅力的であると感じているか聞いたところ、「感じている」(29.7%)と「やや感じている」(36.4%)を合わせた『感じている(計)』(66.1%)は6割半ばとなっている。一方、「あまり感じていない」(12.6%)と「感じていない」(2.4%)を合わせた『感じていない(計)』(15.0%)は1割半ばとなっている。(図1-5-1)

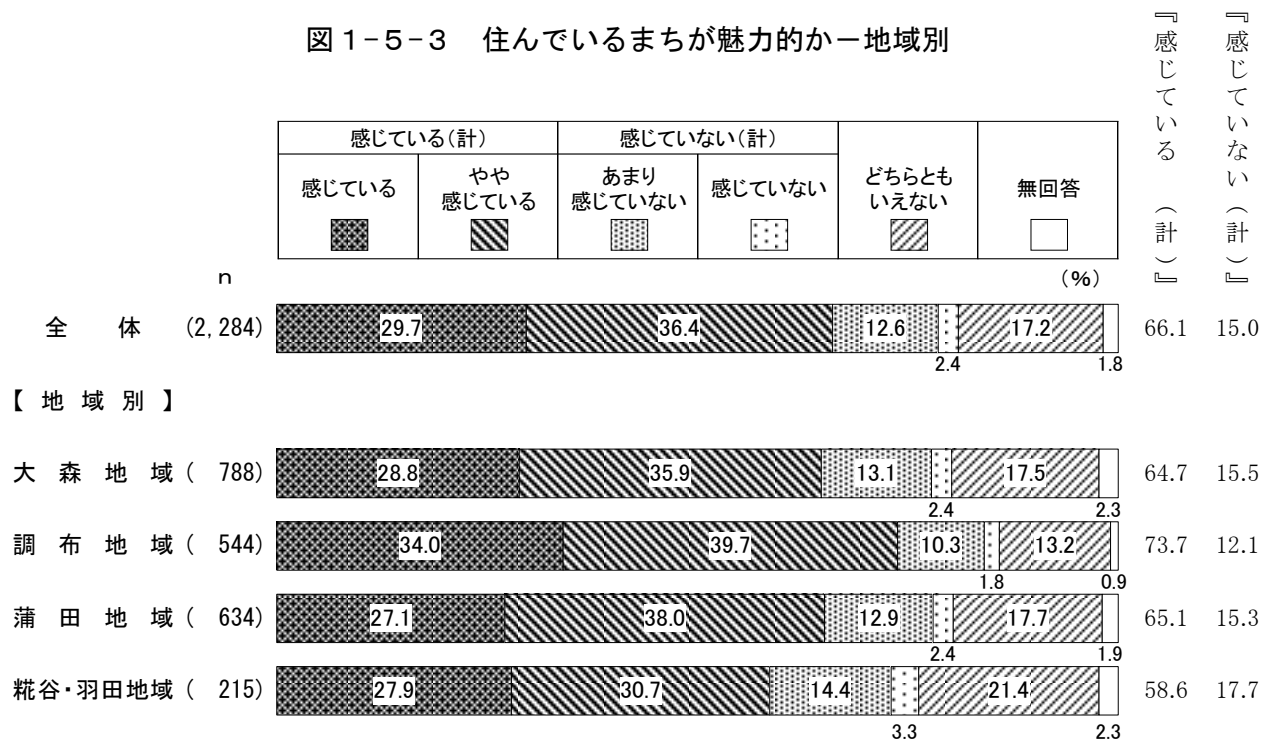
図 1-5-2 住んでいるまちが魅力的かー性／年代別



性別でみると、大きな違いはみられない。

性／年代別でみると、『感じている (計)』は女性30代 (72.4%)、男性30代 (71.6%)、男性50代 (71.5%) で7割を超えて高くなっている。一方、『感じていない (計)』は女性10・20代 (25.2%) で2割半ばと高くなっている。(図 1-5-2)

図 1-5-3 住んでいるまちが魅力的かー地域別



地域別でみると、『感じている(計)』は調布地域(73.7%)で7割を超えて高くなっている。一方、『感じていない(計)』は糀谷・羽田地域(17.7%)で2割近くとなっている。(図1-5-3)

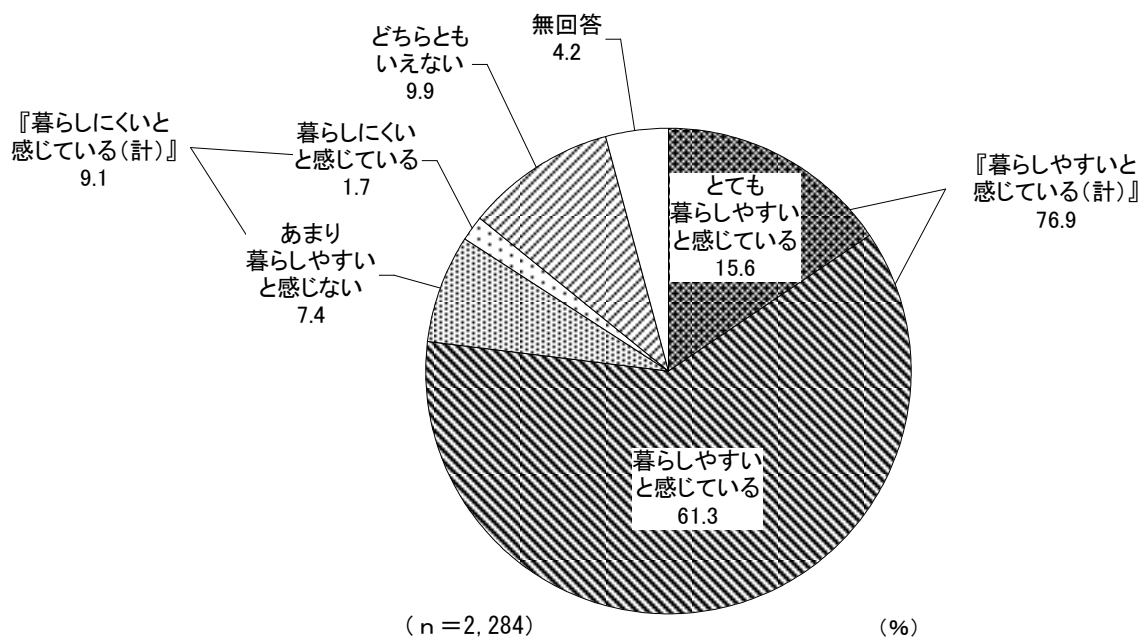
2. 暮らしやすさ

(1) 住んでいるまちの暮らしやすさ

◇「とても暮らしやすいと感じている」と「暮らしやすいと感じている」を合わせた『暮らしやすいと感じている（計）』は8割近く

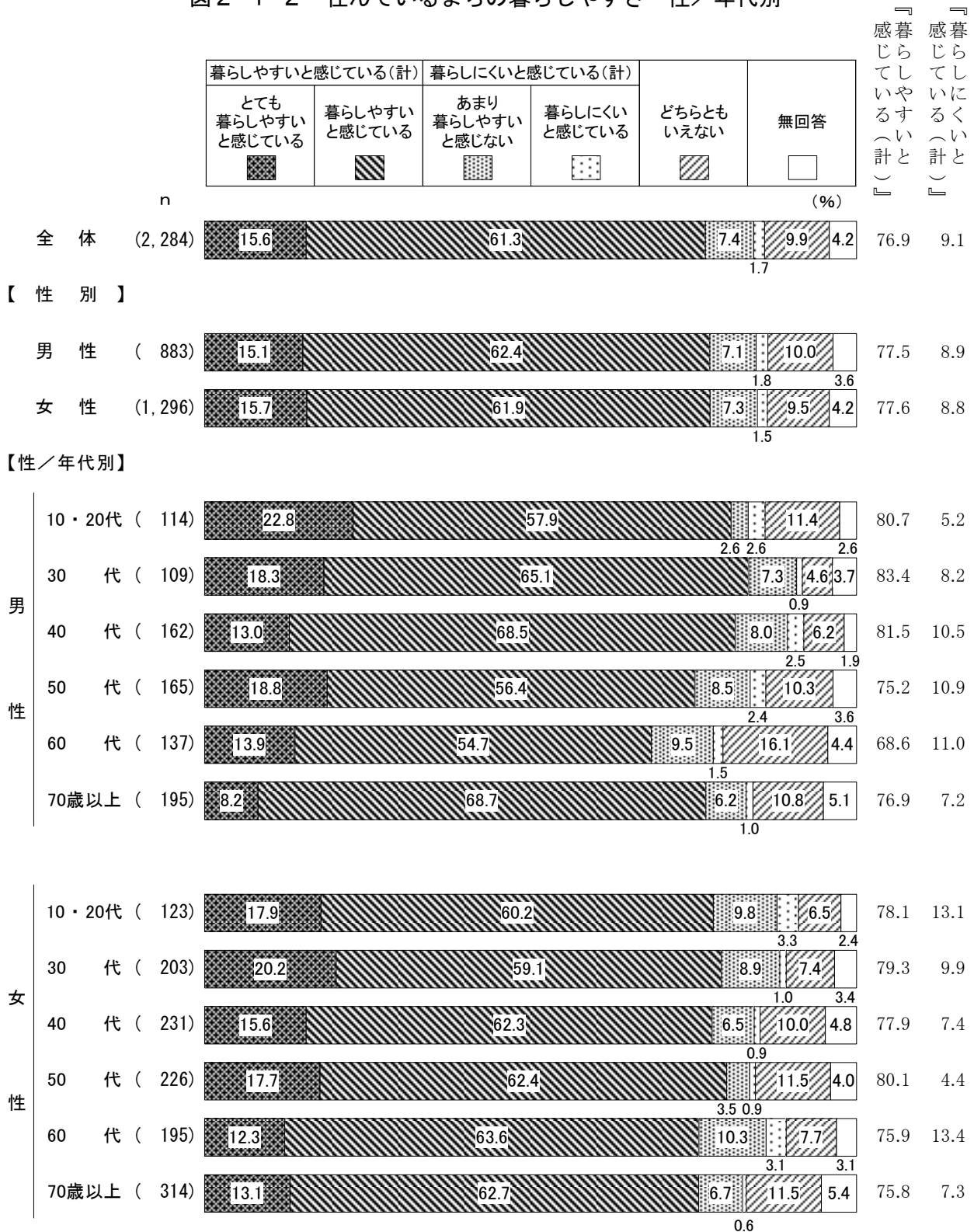
問4 現在住んでいるまちの暮らしやすさを、どのように感じていますか。（○は1つだけ）

図2-1-1



現在住んでいるまちの暮らしやすさについて聞いたところ、「暮らしやすいと感じている」（61.3%）が6割を超えて最も高く、これに「とても暮らしやすいと感じている」（15.6%）を合わせた『暮らしやすいと感じている（計）』（76.9%）は8割近くとなっている。一方、「あまり暮らしやすいと感じない」（7.4%）と「暮らしにくいと感じている」（1.7%）を合わせた『暮らしにくいと感じている（計）』（9.1%）は約1割となっている。（図2-1-1）

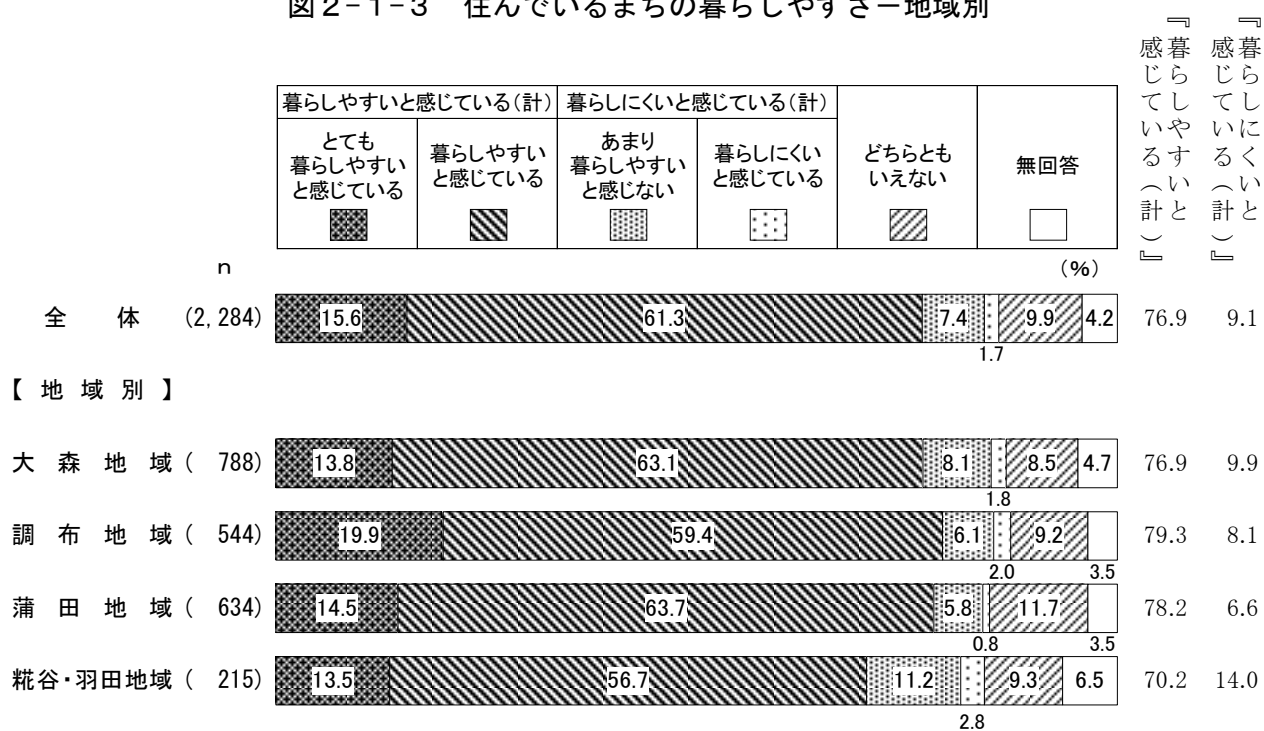
図2-1-2 住んでいるまちの暮らしやすさ－性／年代別



性別でみると、大きな違いはみられない。

性／年代別でみると、『暮らしやすいと感じている(計)』は男性30代(83.4%)と男性40代(81.5%)で8割を超えて高くなっている。(図2-1-2)

図 2-1-3 住んでいるまちの暮らしやすさー地域別



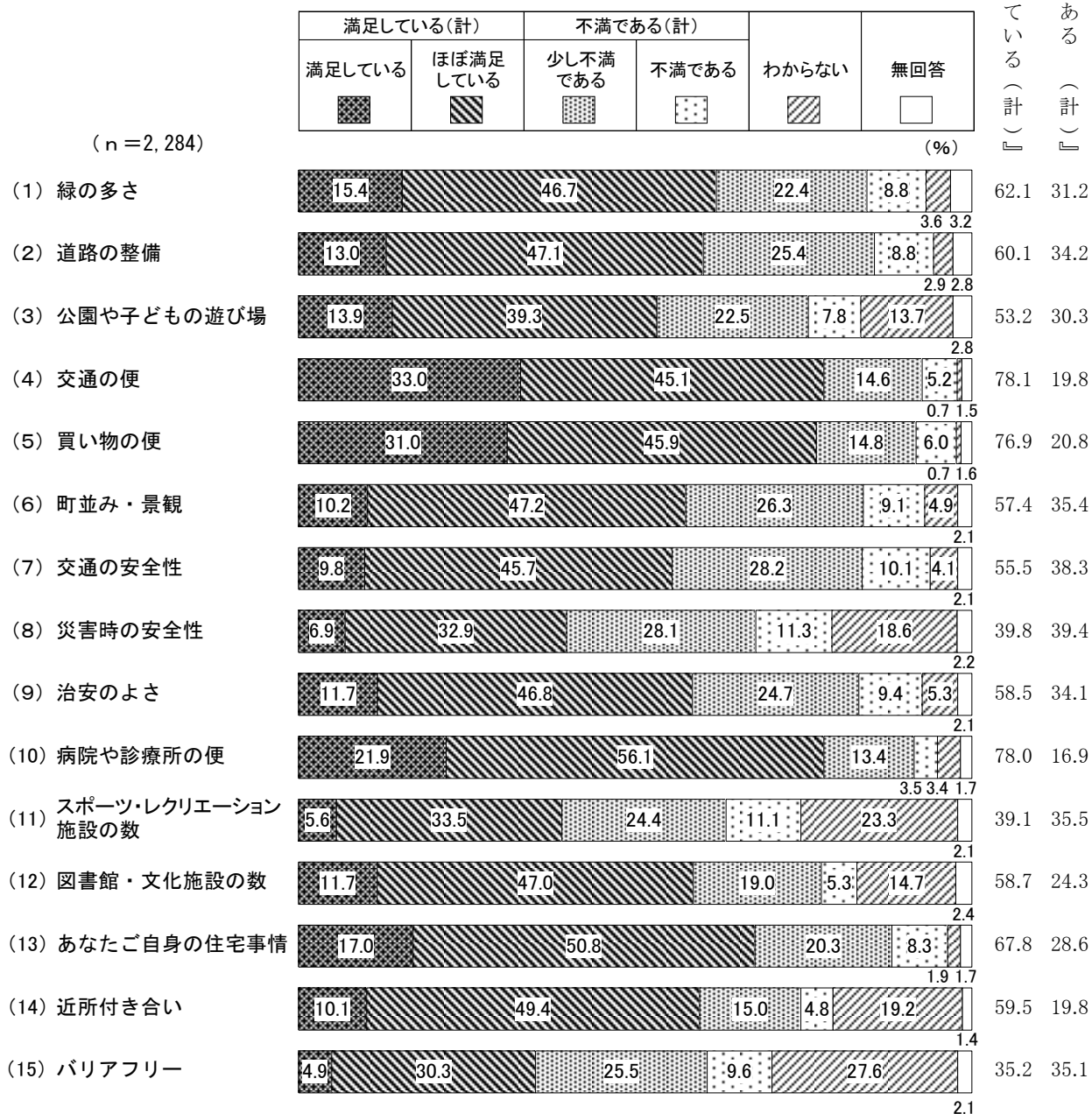
地域別でみると、『暮らしやすいと感じている(計)』は調布地域(79.3%)で約8割と高くなっている。一方、『暮らしにくいと感じている(計)』は梶谷・羽田地域(14.0%)で1割半ばとなっている。(図2-1-3)

(2) 生活環境の満足度

◇「満足している」と「ほぼ満足している」を合わせた『満足している(計)』は「交通の便」、
「病院や診療所の便」、「買い物の便」で8割近く

問5 住んでいるまちの生活環境について、どの程度満足していますか。(〇はそれぞれ1つ)

図2-2-1



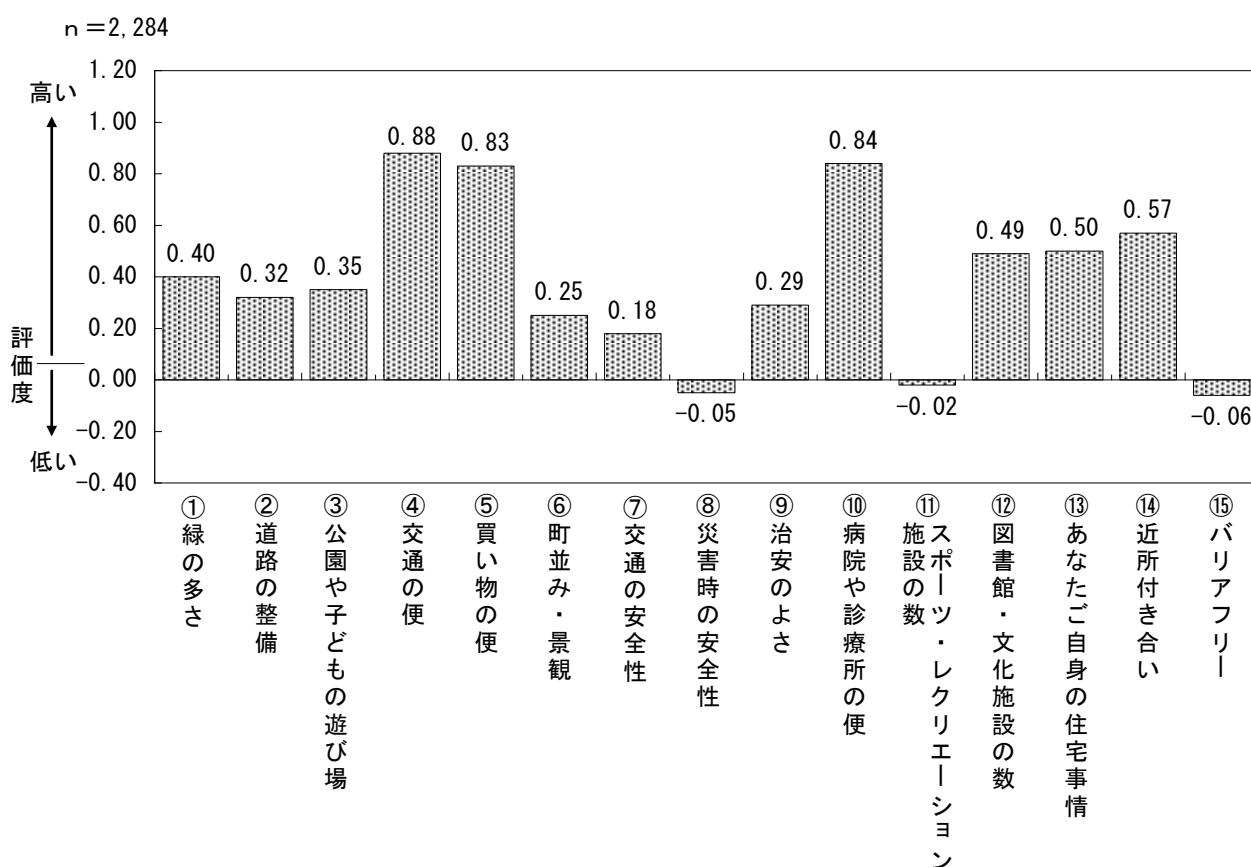
住んでいるまちの生活環境について聞いたところ、「満足している」と「ほぼ満足している」を合わせた『満足している(計)』は「交通の便」(78.1%)、「病院や診療所の便」(78.0%)、「買い物の便」(76.9%)の3項目で8割近くと高くなっている。一方、「少し不満である」と「不満である」を合わせた『不満である(計)』は「災害時の安全性」(39.4%)で約4割と最も高く、次いで「交通の安全性」(38.3%)、「スポーツ・レクリエーション施設の数」(35.5%)などの順になっている。(図2-2-1)

15項目にわたる生活環境の満足度の比較をしやすいように、それぞれの回答を点数化し、下記の計算式で各項目の評価点を求めた。なお、「わからない」は計算から除外した。

$$\text{評価点} = \frac{\text{「満足している」} \times 2 + \text{「ほぼ満足している」} \times 1 + \text{「少し不満である」} \times (-1) + \text{「不満である」} \times (-2)}{\text{回答者数}}$$

15項目の生活環境の満足度を評価点でみると、評価が高いのは「交通の便」(0.88)、「病院や診療所の便」(0.84)、「買い物の便」(0.83)の順になっている。一方、評価が低いのは「バリアフリー」(-0.06)、「災害時の安全性」(-0.05)、「スポーツ・レクリエーション施設の数」(-0.02)の順になっている。(図2-2-2)

図2-2-2 生活環境の満足度（評価点）



以下、生活環境の満足度の評価点を地域別でみる。地域ごとに、全体と比べて評価の高いベスト3の項目と、評価の低いワースト3の項目を表に掲げた。

【大森地域】

全体と比較すると、ベスト3では、「図書館・文化施設の数」が0.10ポイント上回り1位、「スポーツ・レクリエーション施設の数」が0.08ポイント上回り2位、「災害時の安全性」と「バリアフリー」が0.06ポイント上回り3位となっている。

一方、ワースト3では、「交通の便」が1位、「交通の安全性」が2位、「道路の整備」と「あなたご自身の住宅事情」が3位となっている。（図2-2-3、表2-2-1）

図2-2-3 生活環境の満足度－【大森地域】（全体との評価点の比較）

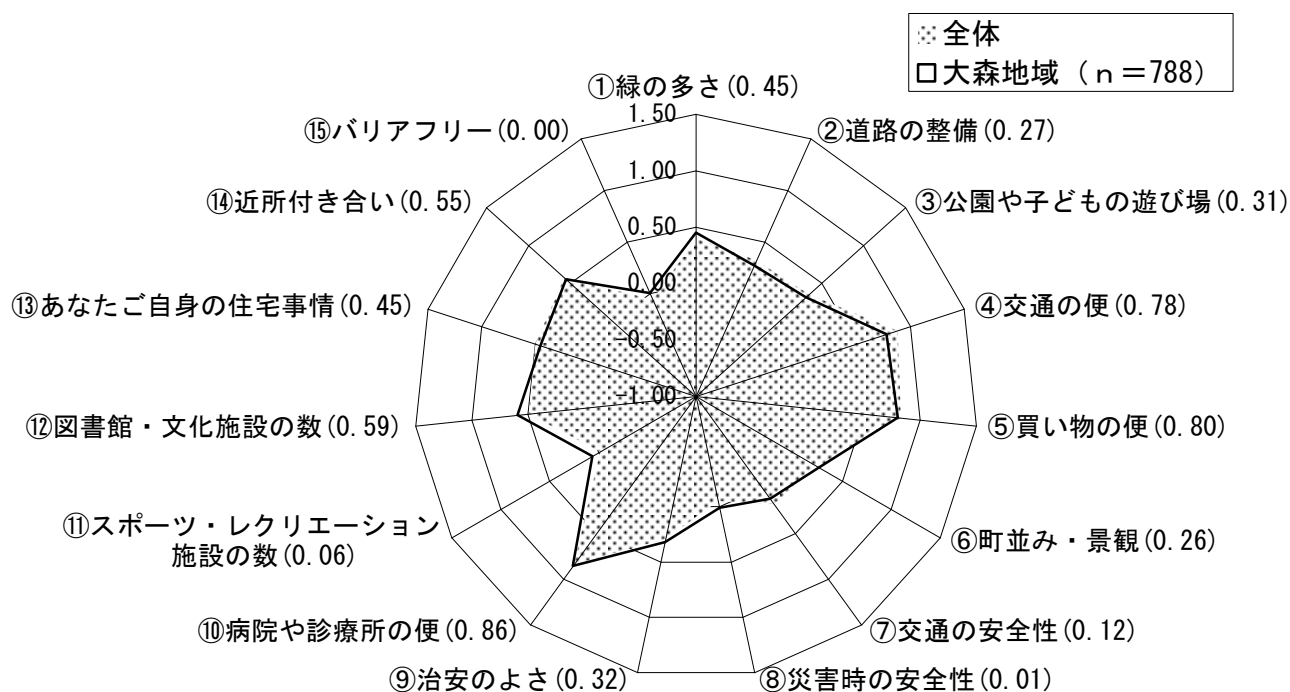


表2-2-1 生活環境の満足度－【大森地域】（全体との評価点の差ベスト3・ワースト3）

全体との差	1 位	2 位	3 位
ベスト 3	⑫図書館・文化施設の数 0.10	⑪スポーツ・レクリエーション施設の数 0.08	⑧災害時の安全性 ／⑮バリアフリー 0.06
ワースト 3	④交通の便 -0.10	⑦交通の安全性 -0.06	②道路の整備／ ⑬あなたご自身の住宅事情 -0.05

【調布地域】

全体と比較すると、ベスト3では、「治安のよさ」が0.55ポイント上回り1位、「災害時の安全性」が0.47ポイント上回り2位、「町並み・景観」が0.39ポイント上回り3位となっている。

一方、ワースト3では、「スポーツ・レクリエーション施設の数」が1位、「買い物の便」が2位、「図書館・文化施設の数」が3位となっている。（図2-2-4、表2-2-2）

図2-2-4 生活環境の満足度－【調布地域】（全体との評価点の比較）

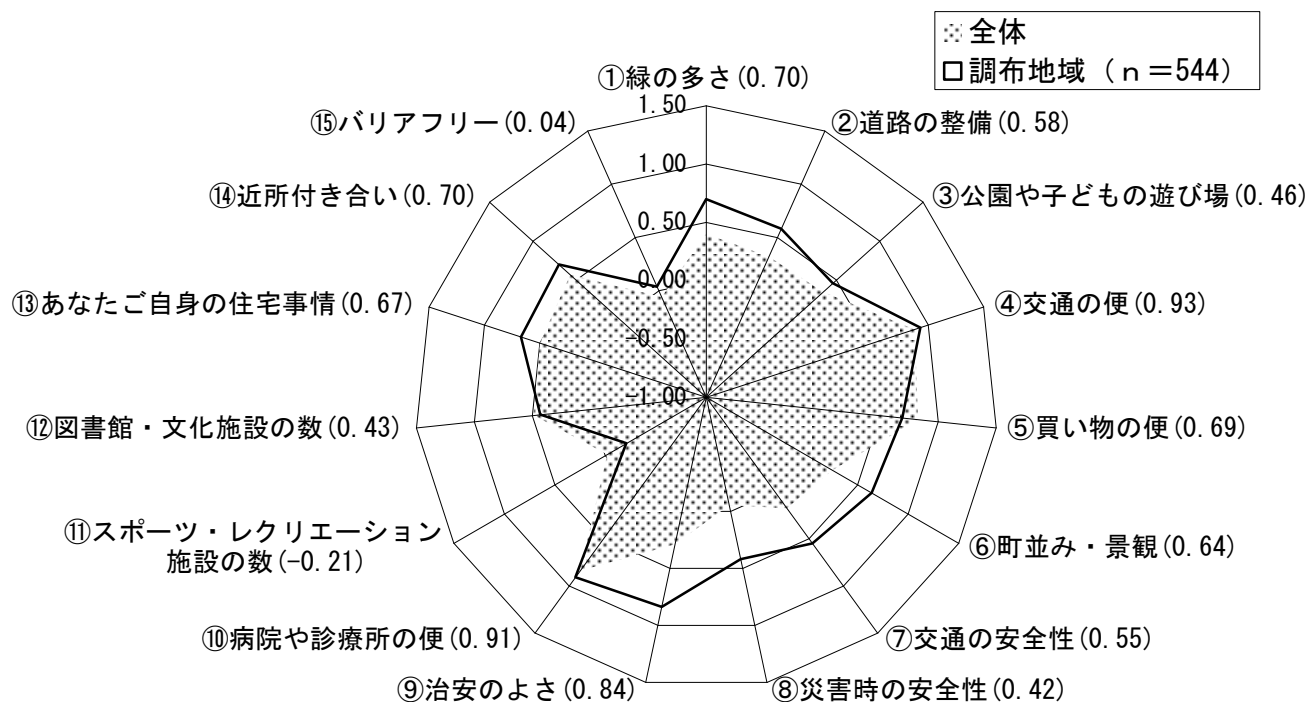


表2-2-2 生活環境の満足度－【調布地域】（全体との評価点の差ベスト3・ワースト3）

全体との差	1 位	2 位	3 位
ベスト3	⑨治安のよさ 0.55	⑧災害時の安全性 0.47	⑥町並み・景観 0.39
ワースト3	⑪スポーツ・レクリエーション施設の数 -0.19	⑤買い物の便 -0.14	⑫図書館・文化施設の数 -0.06

【蒲田地域】

全体と比較すると、ベスト3では、「買い物の便」が0.21ポイント上回り1位、「交通の便」が0.11ポイント上回り2位、「スポーツ・レクリエーション施設の数」が0.04ポイント上回り3位となっている。

一方、ワースト3では、「治安のよさ」が1位、「災害時の安全性」が2位、「町並み・景観」が3位となっている。（図2-2-5、表2-2-3）

図2-2-5 生活環境の満足度－【蒲田地域】（全体との評価点の比較）

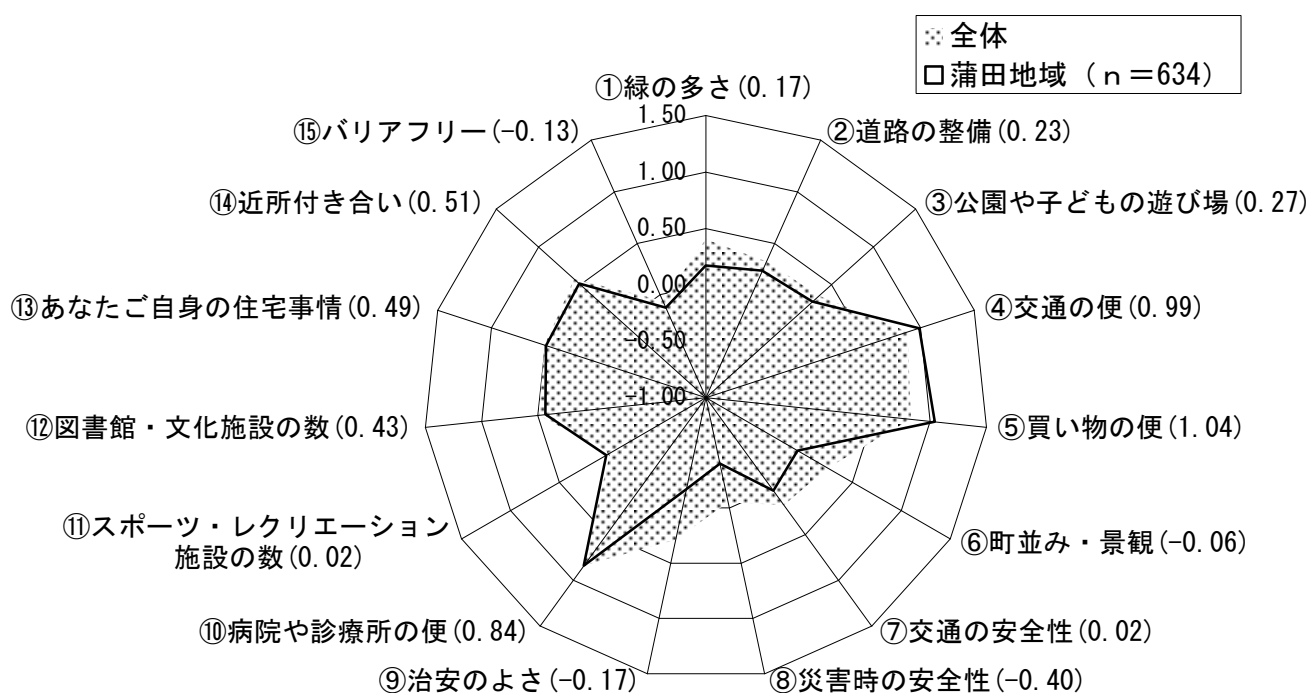


表2-2-3 生活環境の満足度－【蒲田地域】（全体との評価点の差ベスト3・ワースト3）

全体との差	1 位		2 位		3 位	
ベスト3	⑤買い物の便	0.21	④交通の便	0.11	⑪スポーツ・レクリエーション施設の数	0.04
ワースト3	⑨治安のよさ	-0.46	⑧災害時の安全性	-0.35	⑥町並み・景観	-0.31

【糞谷・羽田地域】

全体と比較すると、ベスト3では、「スポーツ・レクリエーション施設の数」が0.13ポイント上回り1位、「図書館・文化施設の数」が0.09ポイント上回り2位、「公園や子どもの遊び場」が0.08ポイント上回り3位となっている。

一方、ワースト3では、「災害時の安全性」が1位、「治安のよさ」が2位、「病院や診療所の便」が3位となっている。（図2-2-6、表2-2-4）

図2-2-6 生活環境の満足度－【糞谷・羽田地域】（全体との評価点の比較）

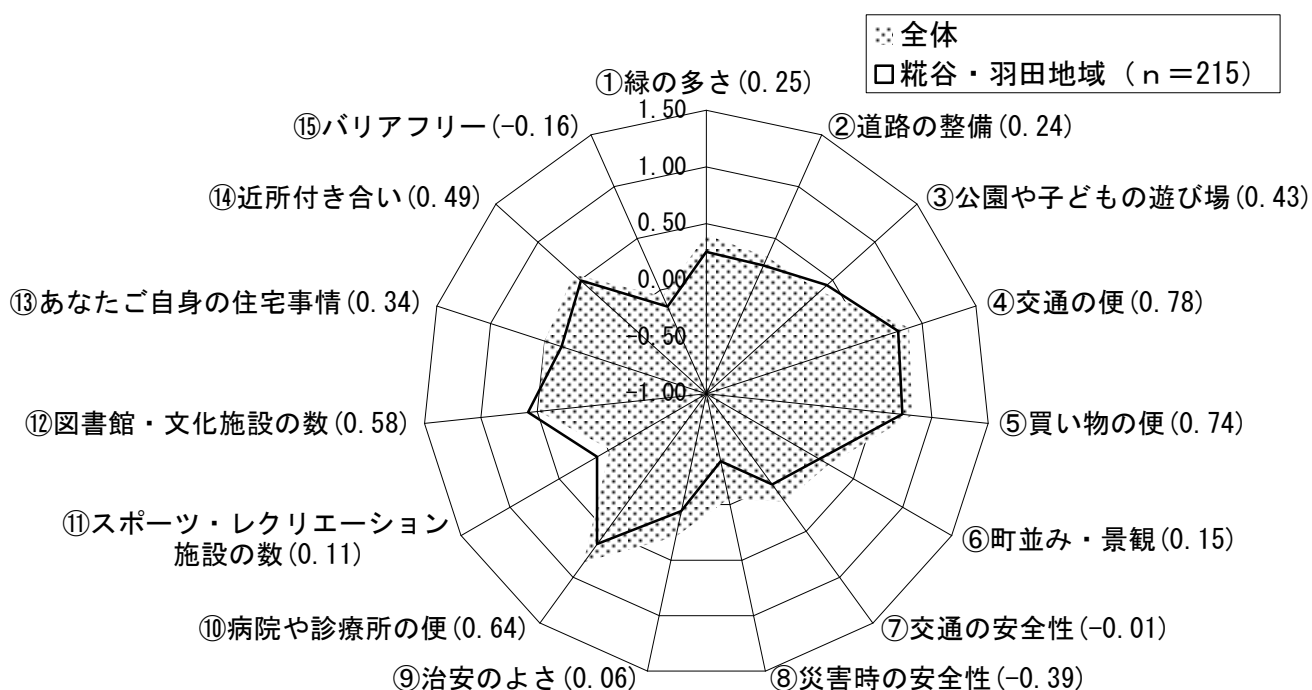


表2-2-4 生活環境の満足度－【糞谷・羽田地域】（全体との評価点の差ベスト3・ワースト3）

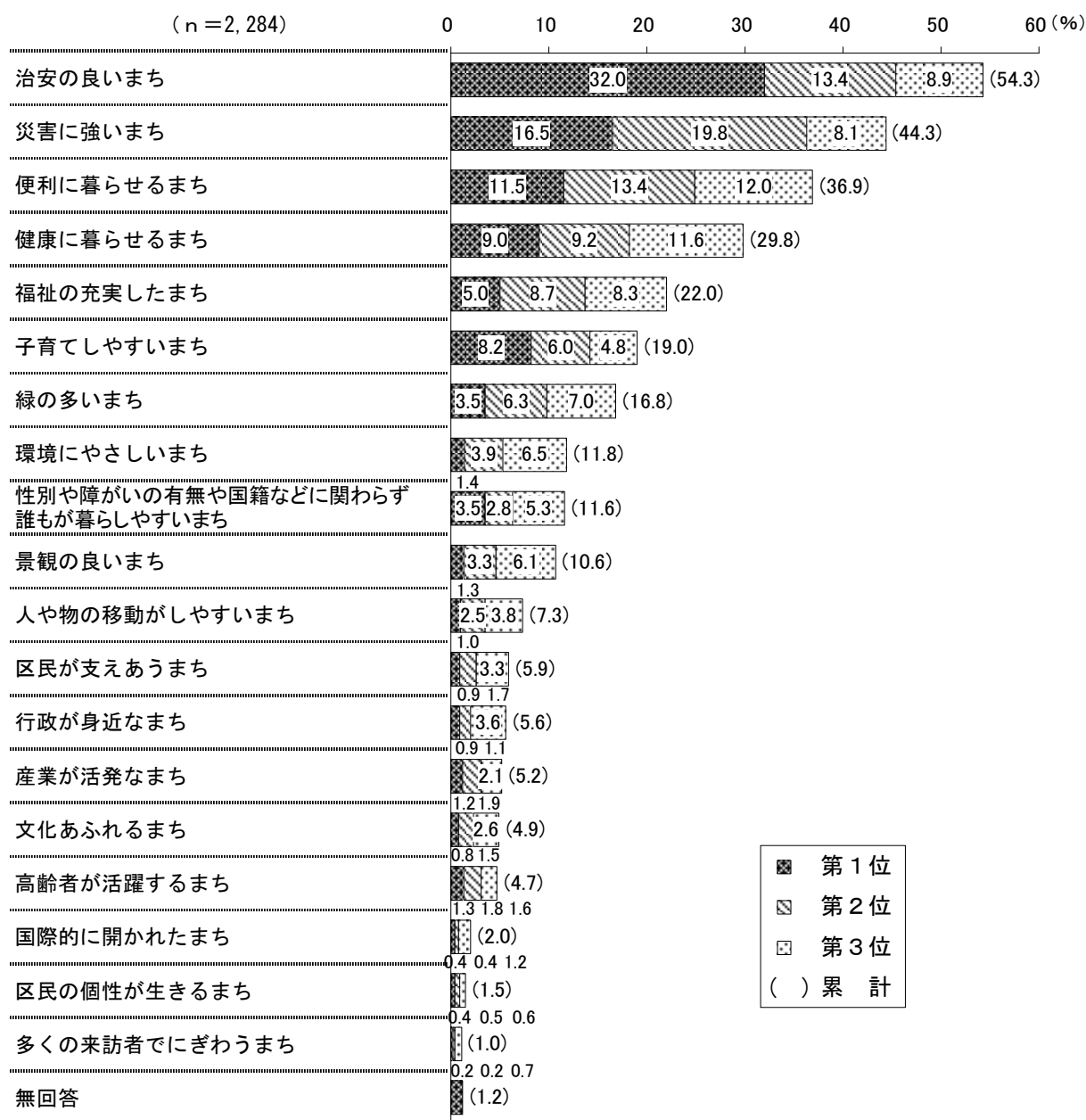
全体との差	1 位	2 位	3 位
ベスト3	⑪スポーツ・レクリエーション施設の数 0.13	⑫図書館・文化施設の数 0.09	③公園や子どもの遊び場 0.08
ワースト3	⑧災害時の安全性 -0.34	⑨治安のよさ -0.23	⑩病院や診療所の便 -0.20

(3) 住んでいるまちにどのようなになってほしいか

◇第1位から第3位までを合わせた《累計》では「治安の良いまち」が5割半ば

問6 あなたは、現在住んでいるまちに対して、今後、どのようなまちになってほしいとお考えですか。1位から3位までを選んで、下の回答欄に番号を記入してください。

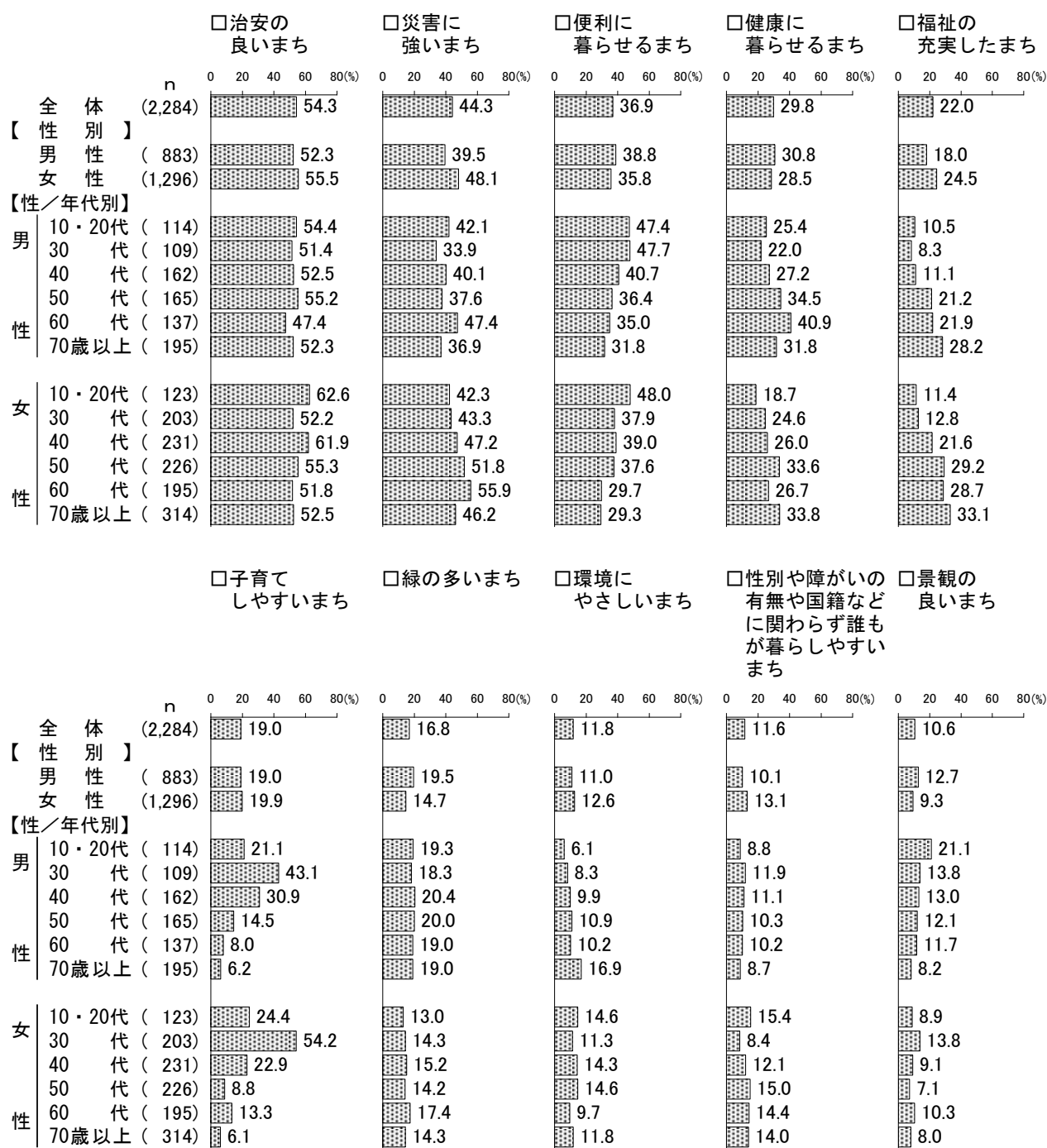
図2-3-1



住んでいるまちにどのようなになってほしいか聞いたところ、第1位では「治安の良いまち」(32.0%)が3割を超えて最も高く、次いで「災害に強いまち」(16.5%)などの順になっている。

また、第1位から第3位までを合わせた《累計》でみると、「治安の良いまち」(54.3%)が5割半ばで最も高く、次いで「災害に強いまち」(44.3%)、「便利に暮らせるまち」(36.9%)、「健康に暮らせるまち」(29.8%)などの順になっている。(図2-3-1)

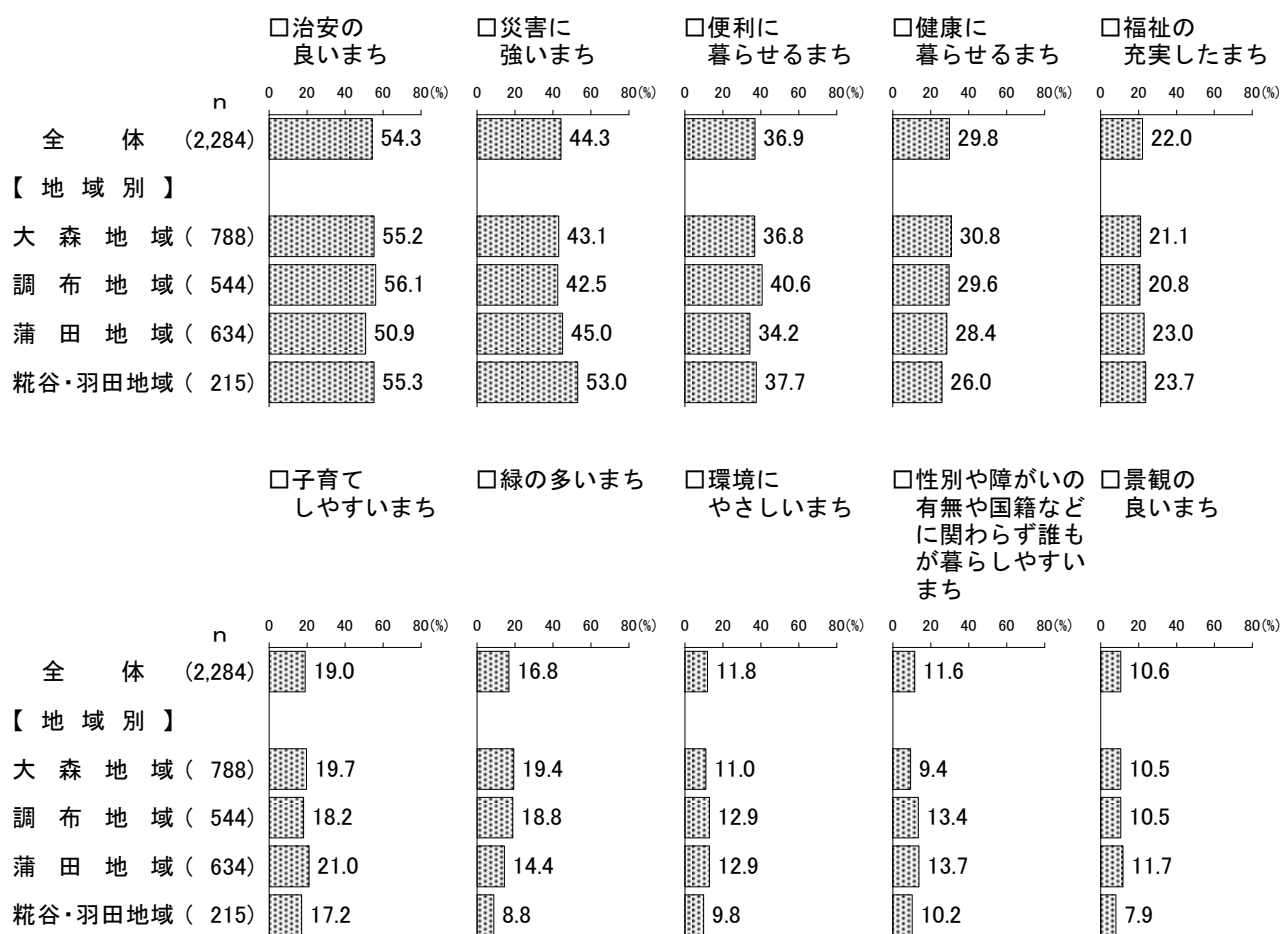
図2-3-2 住んでいるまちにどのようなになってほしいか-性／年代別（累計・上位10項目）



上位10項目を性別で見ると、「災害に強いまち」は女性（48.1％）が男性（39.5％）より8.6ポイント、「福祉の充実したまち」は女性（24.5％）が男性（18.0％）より6.5ポイント、それぞれ高くなっている。一方、「緑の多いまち」は男性（19.5％）が女性（14.7％）より4.8ポイント高くなっている。

性／年代別で見ると、「治安の良いまち」は女性10・20代（62.6％）と女性40代（61.9％）で6割を超えて高くなっている。「災害に強いまち」は女性60代（55.9％）で5割半ばと高くなっている。「子育てしやすいまち」は女性30代（54.2％）で5割半ばと高くなっている。（図2-3-2）

図2-3-3 住んでいるまちにどのようなになってほしいかー地域別（累計・上位10項目）



上位10項目を地域別でみると、「災害に強いまち」は糀谷・羽田地域（53.0%）で5割を超えて高くなっている。「便利に暮らせるまち」は調布地域（40.6%）で約4割と高くなっている。「子育てしやすいまち」は蒲田地域（21.0%）で2割を超えて高くなっている。（図2-3-3）

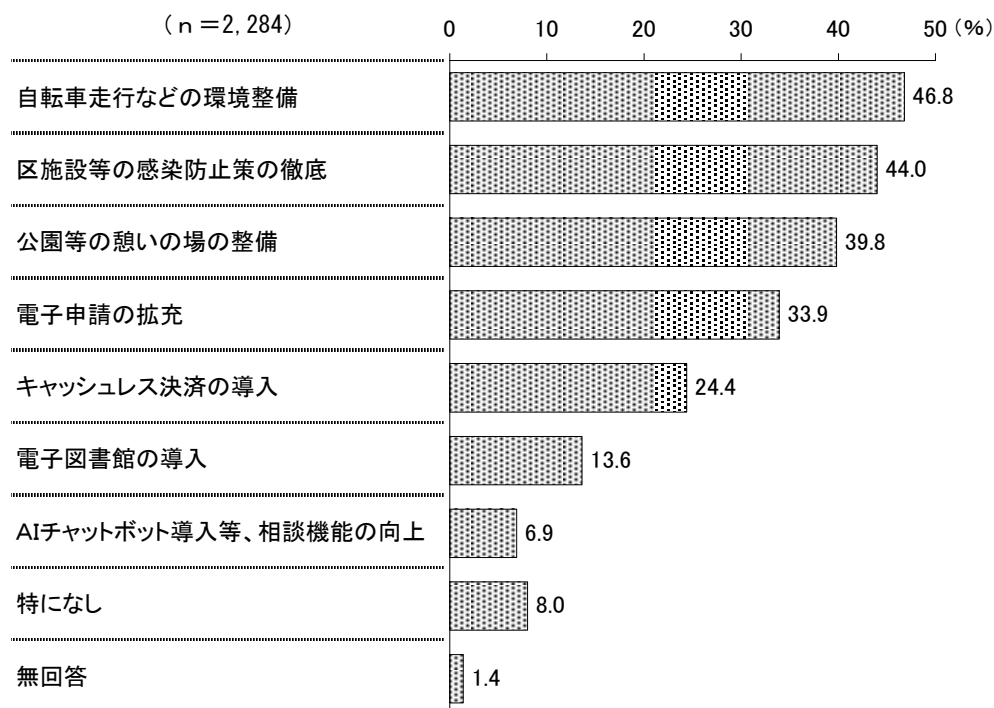
3. 緊急対策

(1) 「新しい生活様式」に即した行政となるために取り組んでほしいこと

◇「自転車走行などの環境整備」が5割近く

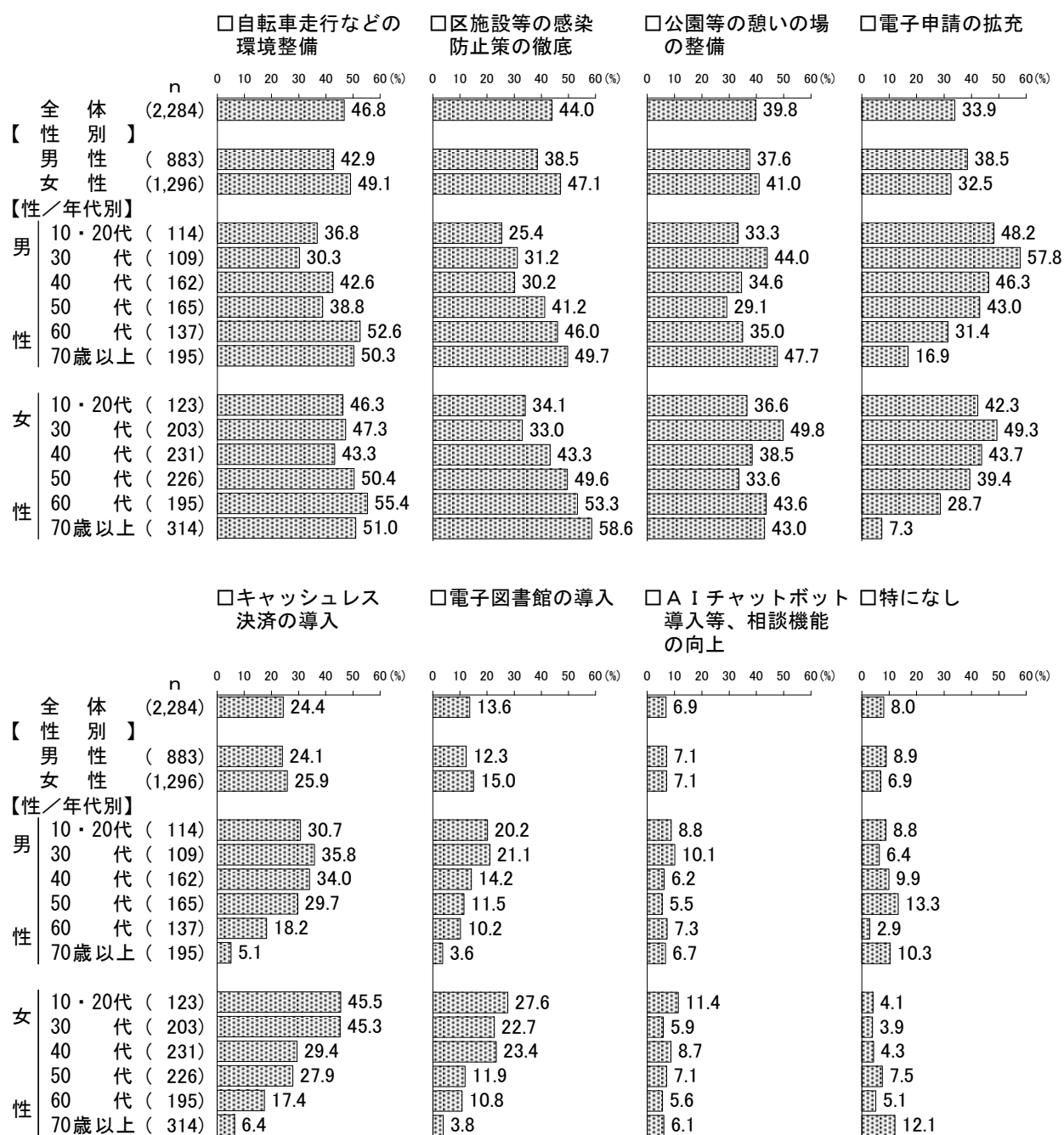
問7 新型コロナウイルスを想定した「新しい生活様式」に即した行政となるために、今後、区に取り組んでほしいことは何ですか。(〇はいくつでも)

図3-1-1



「新しい生活様式」に即した行政となるために取り組んでほしいことを聞いたところ、「自転車走行などの環境整備」(46.8%)が5割近くで最も高く、次いで「区施設等の感染防止策の徹底」(44.0%)、「公園等の憩いの場の整備」(39.8%)、「電子申請の拡充」(33.9%)などの順になっている。(図3-1-1)

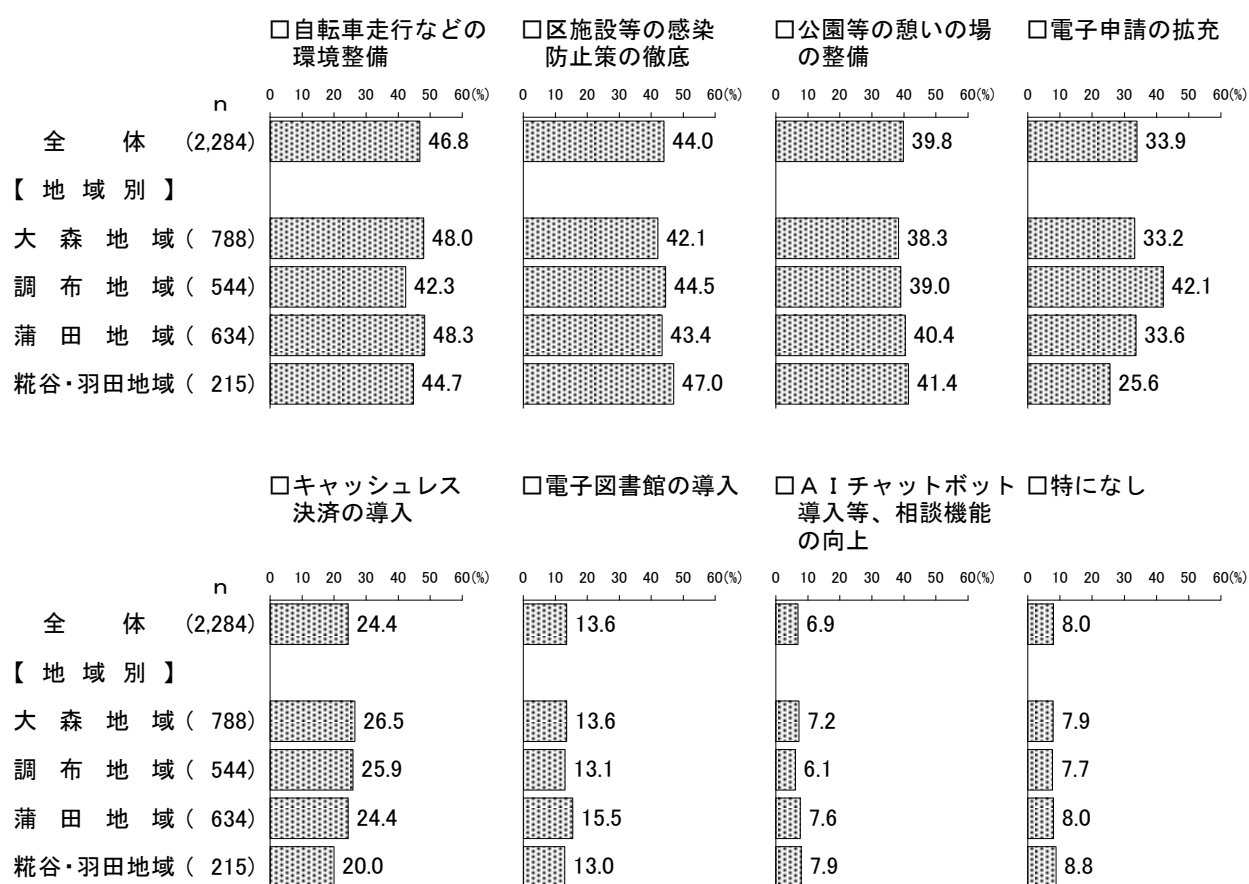
図 3-1-2 「新しい生活様式」に即した行政となるために取り組んでほしいこと－性／年代別



性別でみると、「区施設等の感染防止策の徹底」は女性（47.1％）が男性（38.5％）より8.6ポイント、「自転車走行などの環境整備」は女性（49.1％）が男性（42.9％）より6.2ポイント、それぞれ高くなっている。一方、「電子申請の拡充」は男性（38.5％）が女性（32.5％）より6.0ポイント高くなっている。

性／年代別でみると、「自転車走行などの環境整備」は女性60代（55.4％）で5割半ばと高くなっている。「区施設等の感染防止策の徹底」は男女ともにおおむね年代が高くなるほど割合が高く、女性70歳以上（58.6％）で6割近くとなっている。「電子申請の拡充」は男性30代（57.8％）で6割近くと高くなっている。（図 3-1-2）

図3-1-3 「新しい生活様式」に即した行政となるために取り組んでほしいこと―地域別



地域別でみると、「自転車走行などの環境整備」は蒲田地域（48.3%）と大森地域（48.0%）で5割近くと高くなっている。「区施設等の感染防止策の徹底」は糀谷・羽田地域（47.0%）で5割近くと高くなっている。「電子申請の拡充」は調布地域（42.1%）で4割を超えて高くなっている。

（図3-1-3）

《基本目標 1 生涯を健やかに安心していきいきと暮らせるまち》

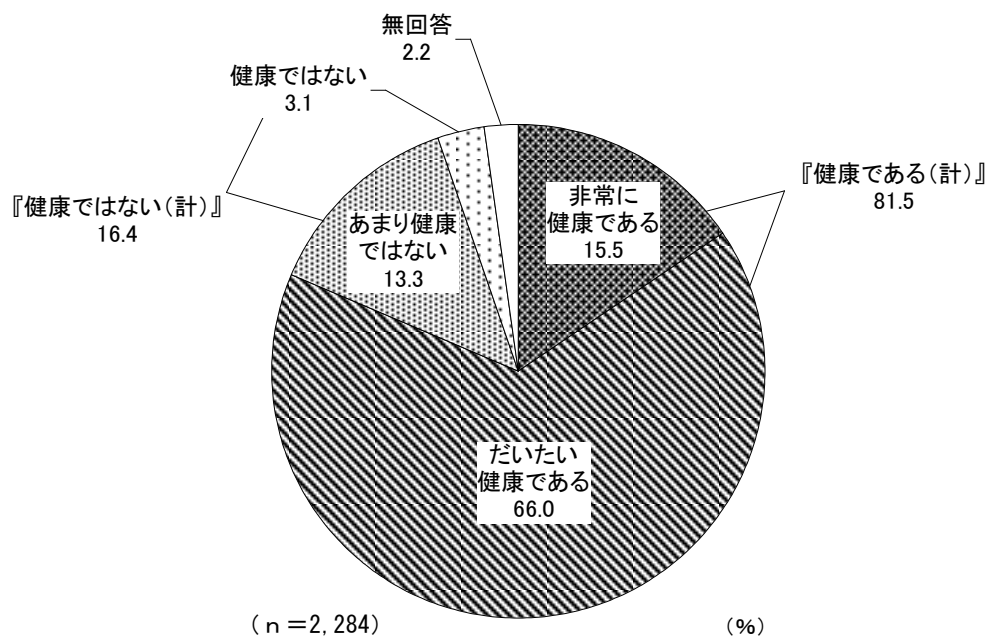
4. 健康に暮らせるまち

(1) 健康状態

◇「非常に健康である」と「だいたい健康である」を合わせた『健康である（計）』は8割を超える

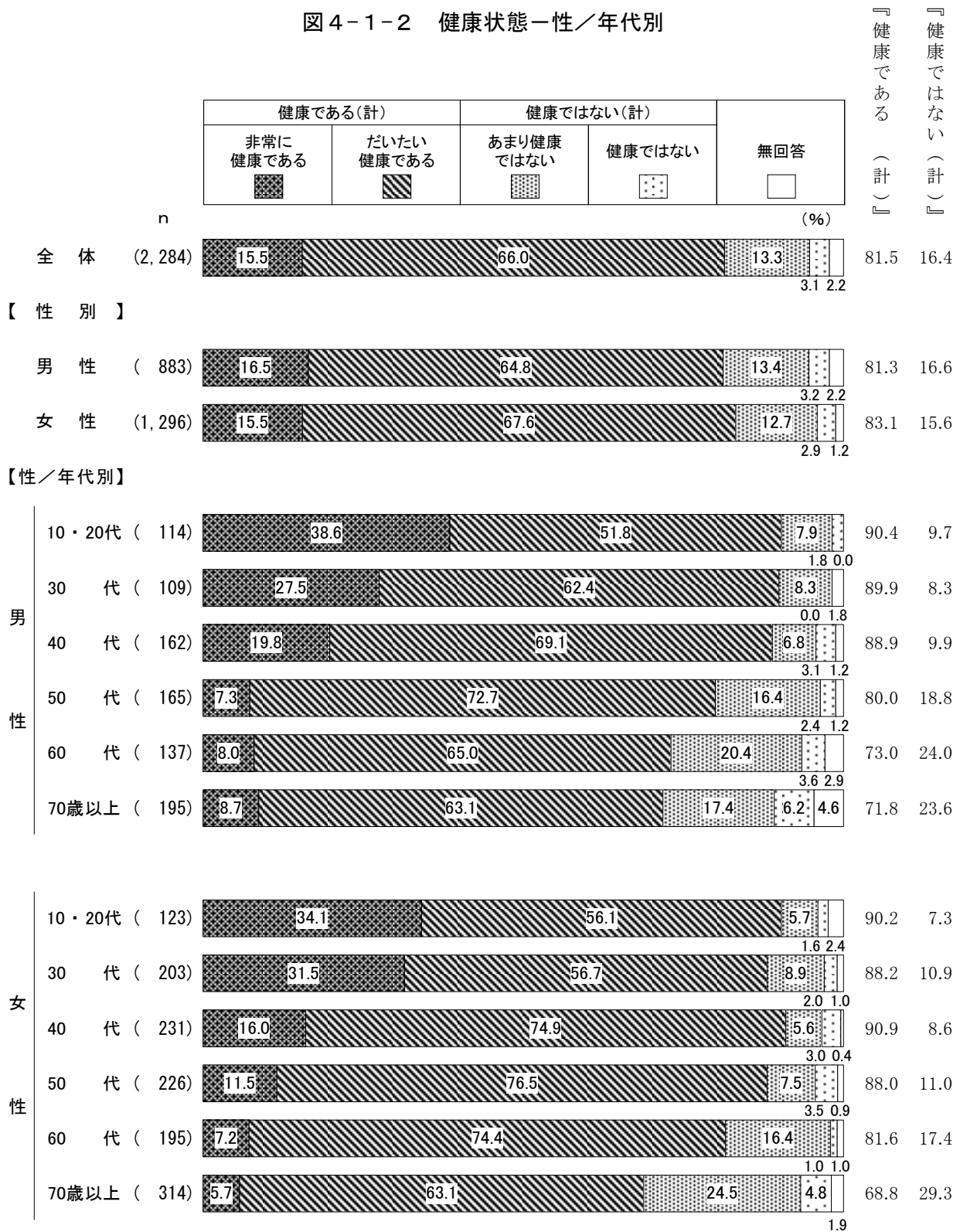
問8 あなたは、現在のご自身の健康状態をどのように感じていますか。（○は1つだけ）

図4-1-1



健康状態をどのように感じているか聞いたところ、「だいたい健康である」(66.0%)が6割半ばで最も高く、これに「非常に健康である」(15.5%)を合わせた『健康である(計)』(81.5%)は8割を超えている。一方、「あまり健康ではない」(13.3%)と「健康ではない」(3.1%)を合わせた『健康ではない(計)』(16.4%)は1割半ばとなっている。(図4-1-1)

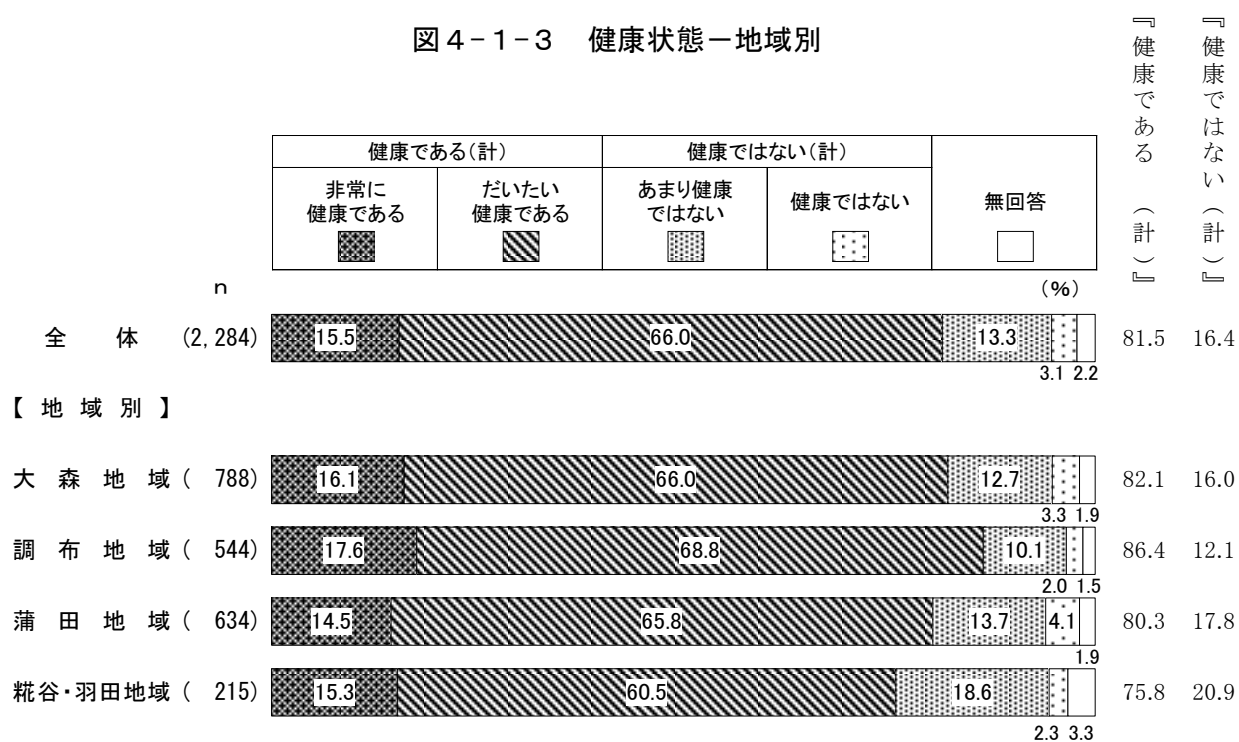
図 4-1-2 健康状態－性／年代別



性別でみると、大きな違いはみられない。

性／年代別でみると、『健康である (計)』は女性10・20代 (90.2%)、女性40代 (90.9%)、男性10・20代 (90.4%)、男性30代 (89.9%) で約9割と高くなっている。一方、『健康ではない (計)』は女性70歳以上 (29.3%) で約3割と高くなっている。(図4-1-2)

図 4-1-3 健康状態—地域別



地域別でみると、『健康である(計)』は調布地域(86.4%)で8割半ばと高くなっている。一方、『健康ではない(計)』は梹谷・羽田地域(20.9%)で約2割と高くなっている。(図4-1-3)

5. 社会的包摂の中で安心して暮らせるまち

(1) 男女の地位平等

◇『女性が優遇されている(計)』は“家庭生活”で約1割

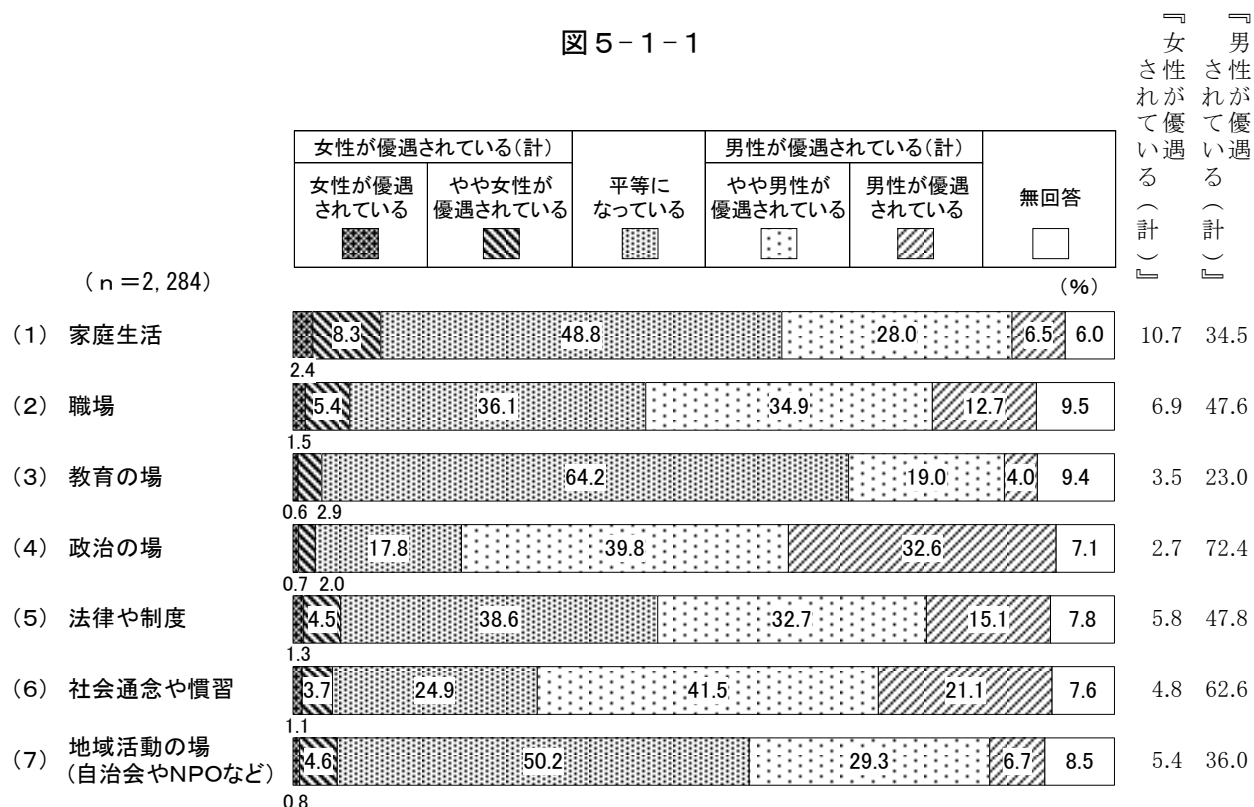
「平等になっている」は“教育の場”で6割半ば

『男性が優遇されている(計)』は“政治の場”で7割を超える

問9 以下の分野において、男女の地位は平等になっていると思いますか。

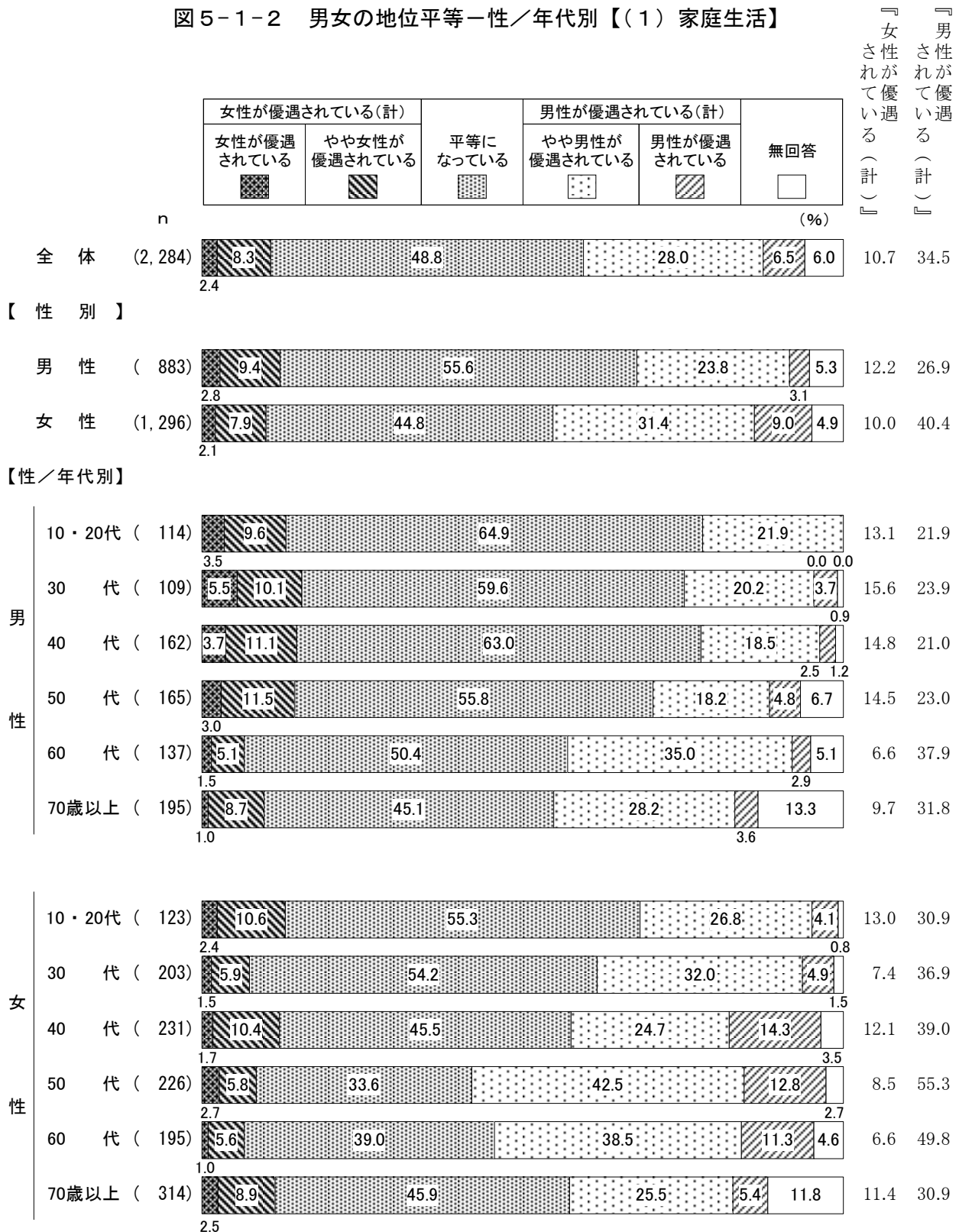
(○はそれぞれ1つ)

図5-1-1



男女の地位について聞いたところ、「女性が優遇されている」と「やや女性が優遇されている」を合わせた『女性が優遇されている(計)』は“家庭生活”(10.7%)で約1割となっている。一方、「やや男性が優遇されている」と「男性が優遇されている」を合わせた『男性が優遇されている(計)』は“政治の場”(72.4%)で7割を超え、“社会通念や慣習”(62.6%)で6割を超えて高くなっている。また、「平等になっている」は“教育の場”(64.2%)で6割半ば、“地域活動の場(自治会やNPOなど)”(50.2%)で5割と高くなっている。(図5-1-1)

図5-1-2 男女の地位平等－性／年代別【(1) 家庭生活】

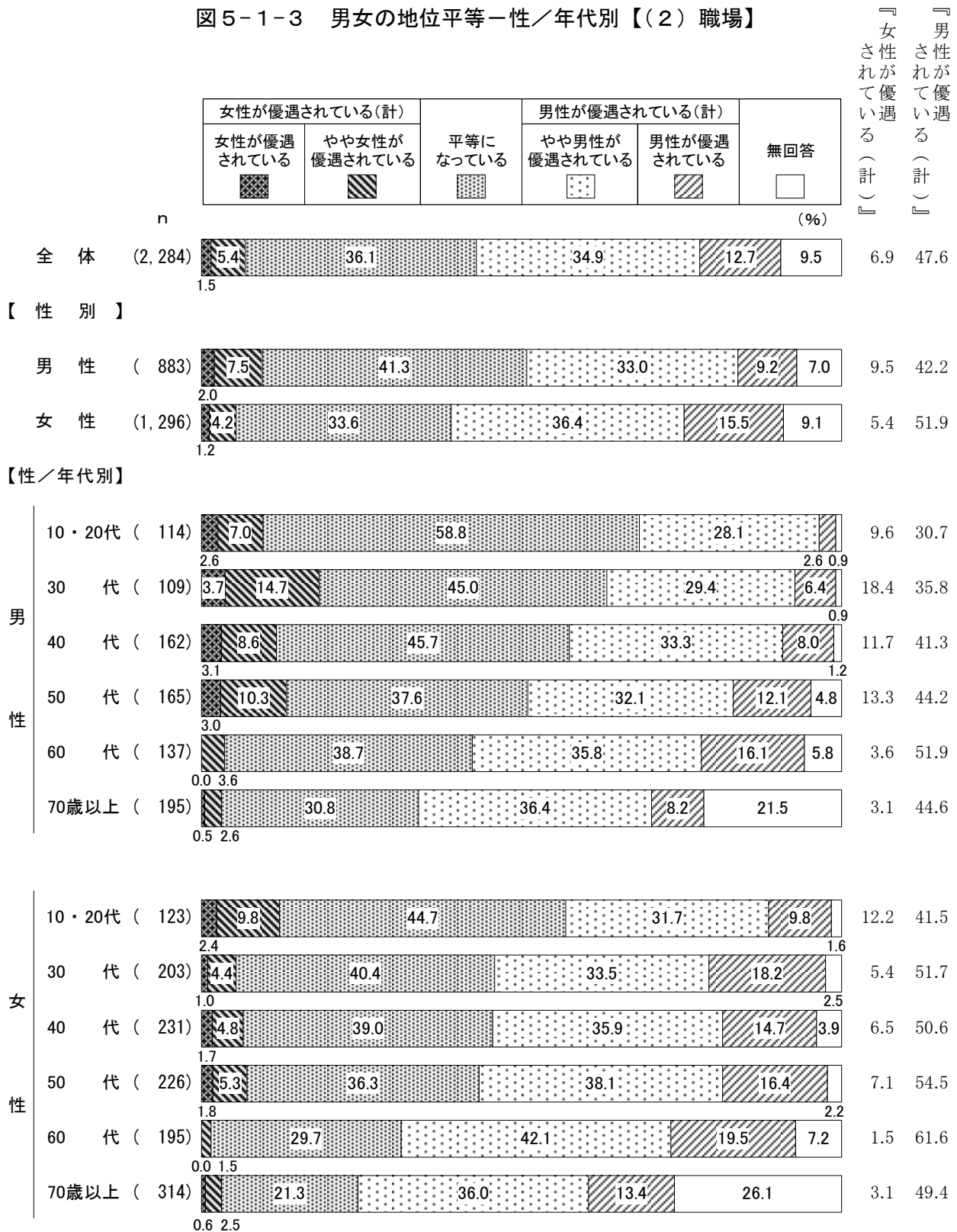


“家庭生活”を性別でみると、『男性が優遇されている(計)』は女性(40.4%)が男性(26.9%)より13.5ポイント高くなっている。

性／年代別でみると、『男性が優遇されている(計)』は女性50代(55.3%)で5割半ばと高くなっている。「平等になっている」は男性10・20代(64.9%)で6割半ばと高くなっている。

(図5-1-2)

図5-1-3 男女の地位平等－性／年代別【(2) 職場】

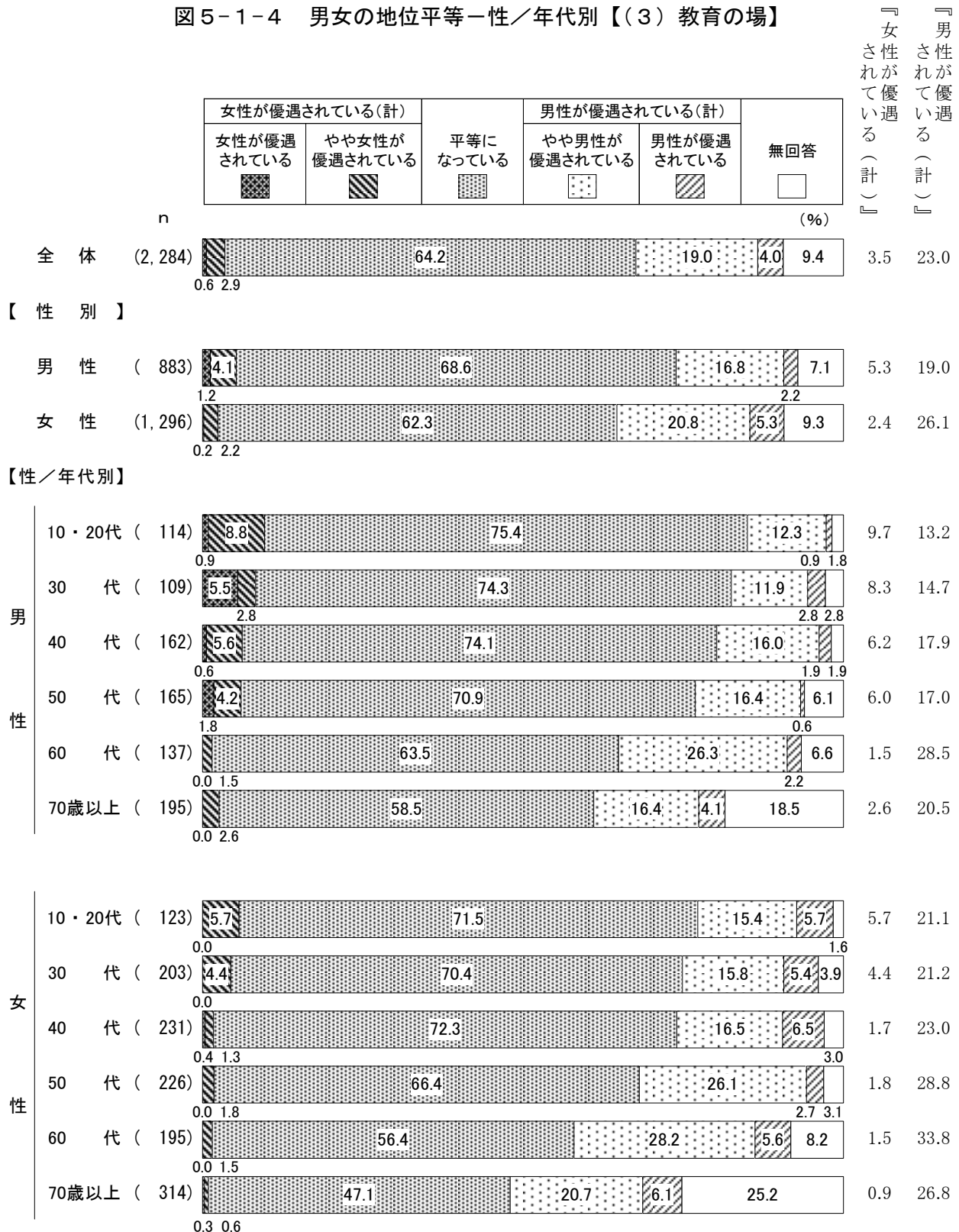


“職場”を性別でみると、『男性が優遇されている(計)』は女性(51.9%)が男性(42.2%)より9.7ポイント高くなっている。

性／年代別でみると、『男性が優遇されている(計)』は女性60代(61.6%)で6割を超えて高くなっている。「平等になっている」は男性10・20代(58.8%)で6割近くと高くなっている。

(図5-1-3)

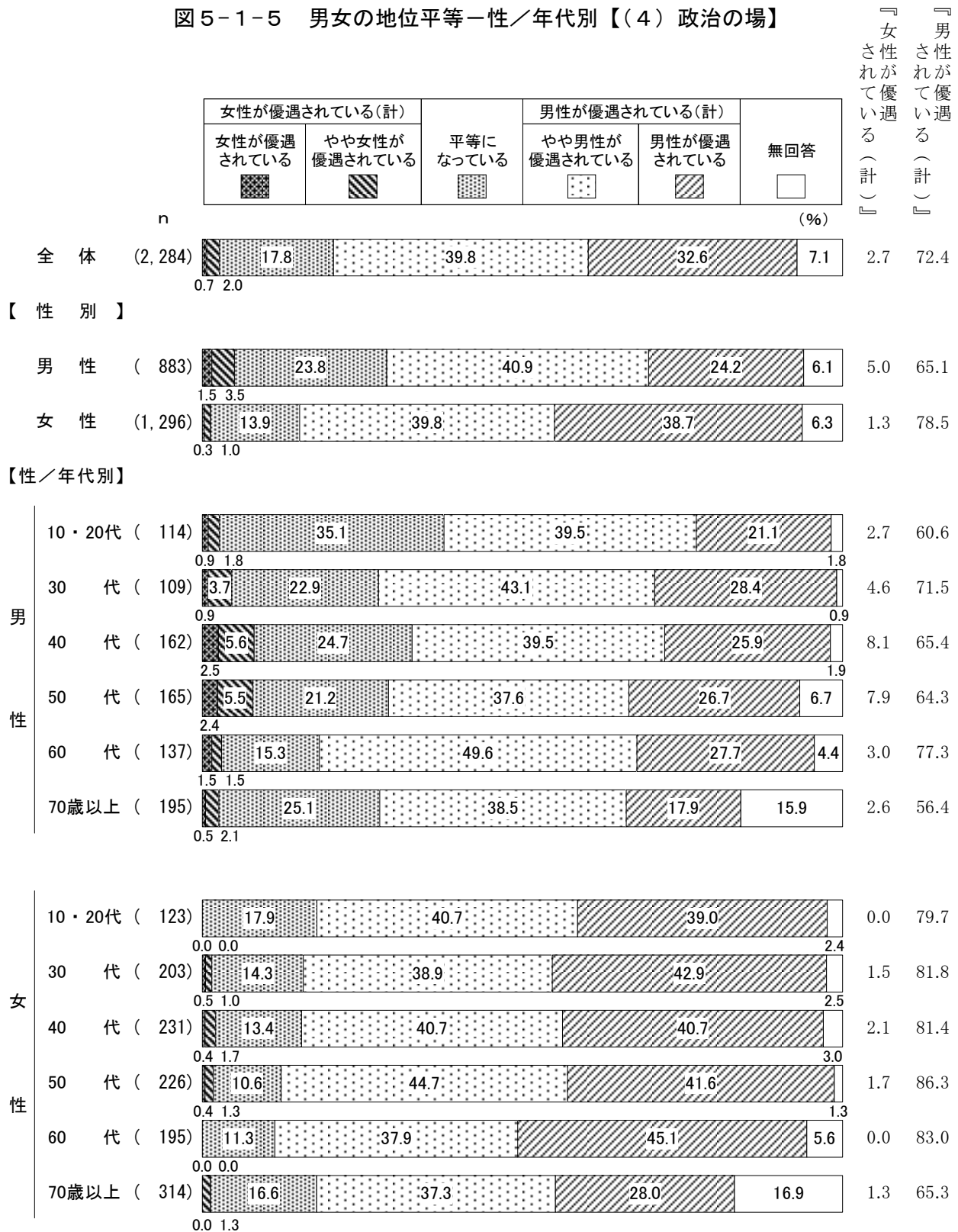
図5-1-4 男女の地位平等－性／年代別【(3) 教育の場】



“教育の場”を性別でみると、『男性が優遇されている(計)』は女性(26.1%)が男性(19.0%)より7.1ポイント高くなっている。

性／年代別でみると、『男性が優遇されている(計)』は女性60代(33.8%)で3割を超えて高くなっている。「平等になっている」は男性の50代以下の年代と女性の40代以下の年代で7割台と高くなっている。(図5-1-4)

図 5-1-5 男女の地位平等－性／年代別【(4) 政治の場】

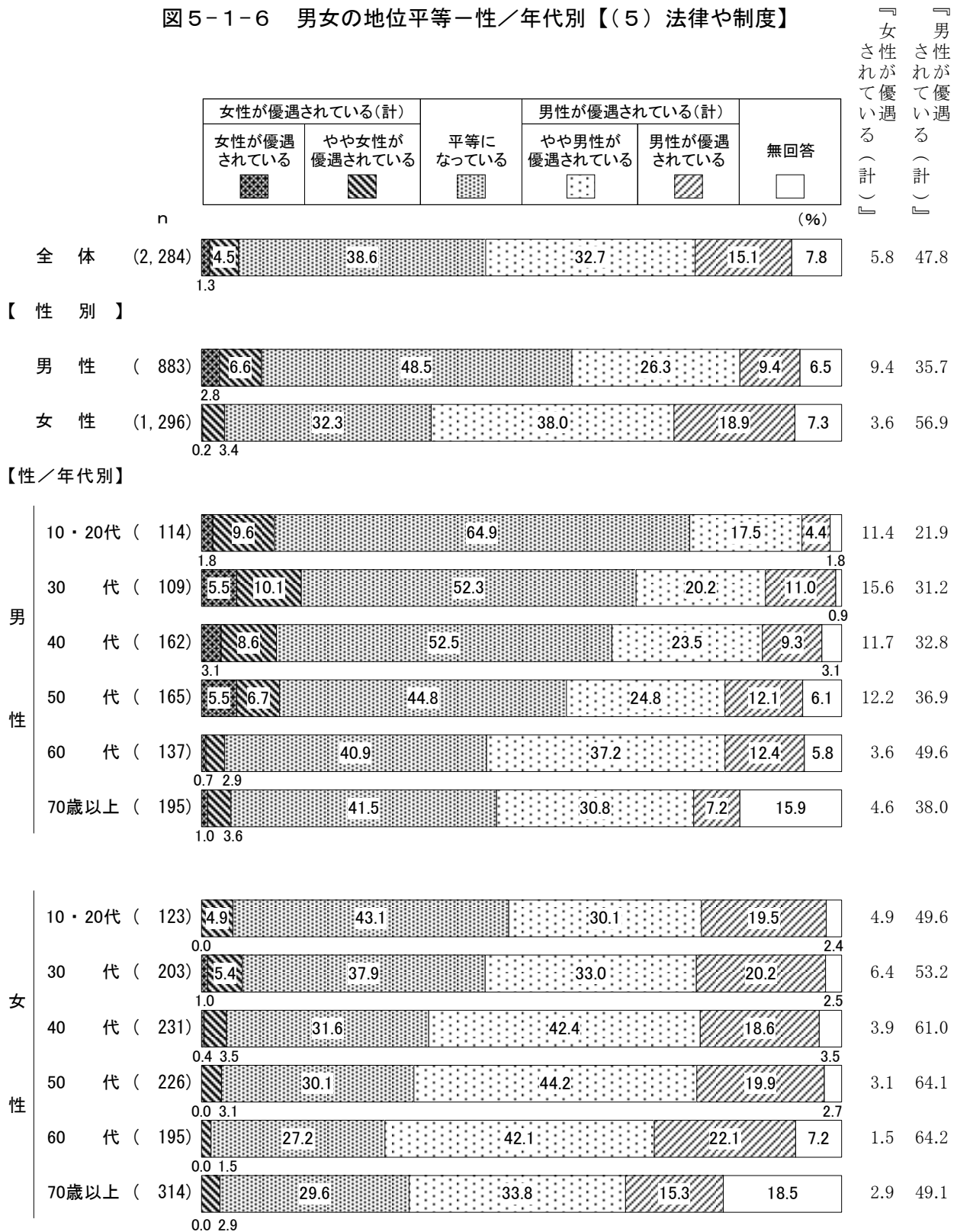


“政治の場”を性別でみると、『男性が優遇されている(計)』は女性(78.5%)が男性(65.1%)より13.4ポイント高くなっている。

性／年代別でみると、『男性が優遇されている(計)』は女性50代(86.3%)で8割半ばと高くなっている。「平等になっている」は男性10・20代(35.1%)で3割半ばと高くなっている。

(図 5-1-5)

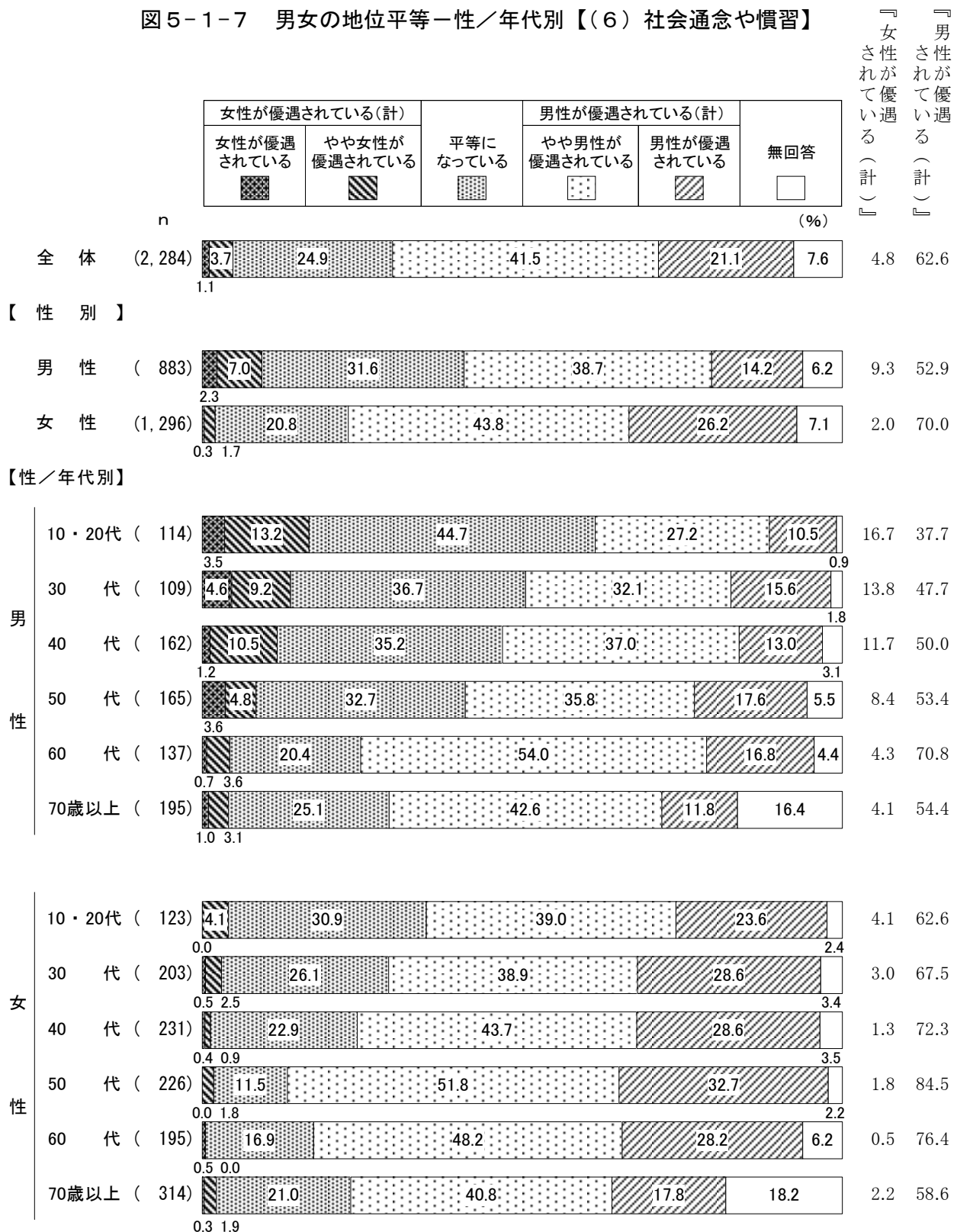
図5-1-6 男女の地位平等－性／年代別【(5) 法律や制度】



“法律や制度”を性別でみると、『男性が優遇されている(計)』は女性(56.9%)が男性(35.7%)より21.2ポイント高くなっている。

性／年代別でみると、『男性が優遇されている(計)』は女性50代(64.1%)と女性60代(64.2%)で6割半ばと高くなっている。「平等になっている」は男性10・20代(64.9%)で6割半ばと高くなっている。(図5-1-6)

図5-1-7 男女の地位平等－性／年代別【(6) 社会通念や慣習】

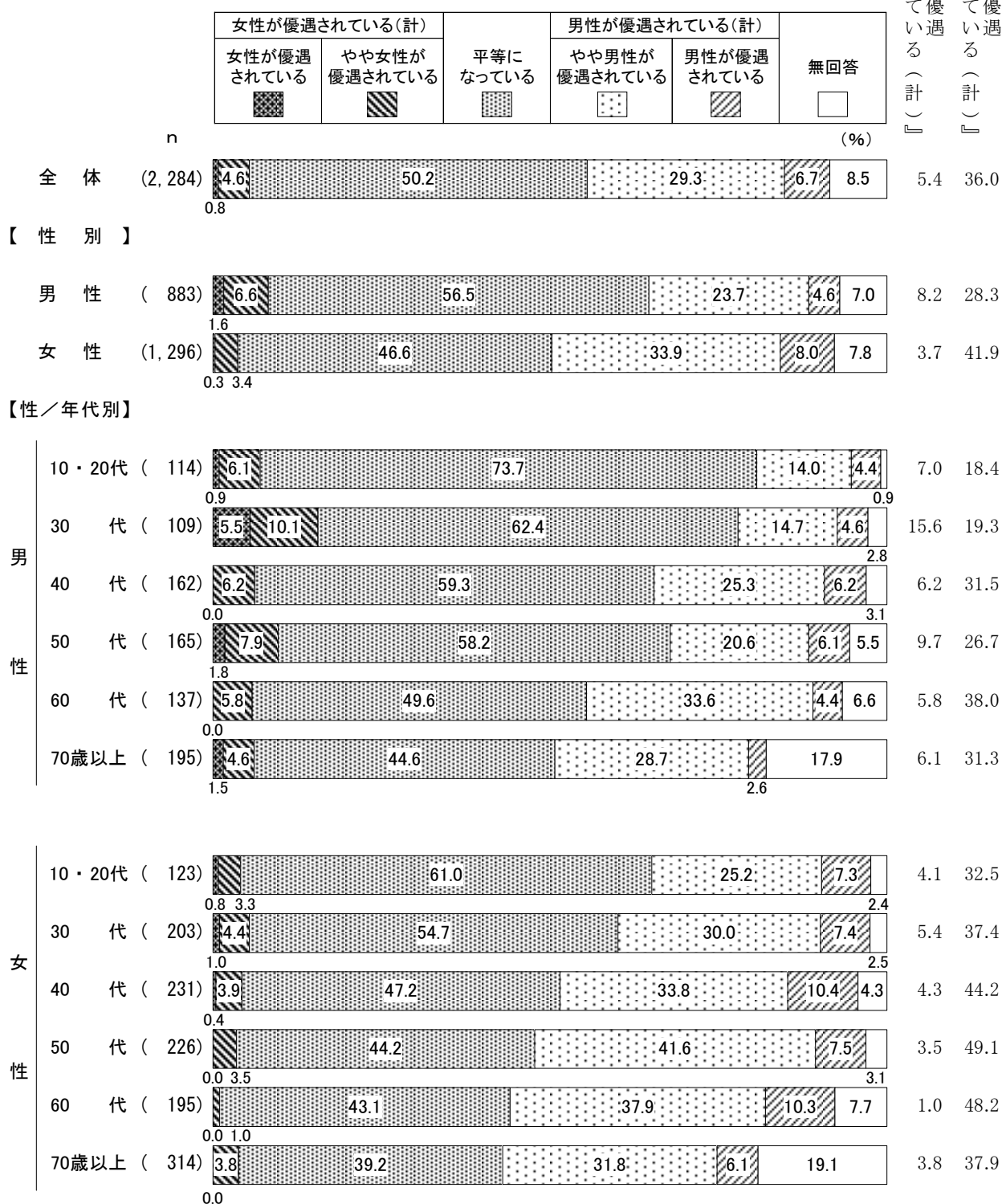


“社会通念や慣習”を性別でみると、『男性が優遇されている(計)』は女性(70.0%)が男性(52.9%)より17.1ポイント高くなっている。

性／年代別でみると、『男性が優遇されている(計)』は女性50代(84.5%)で8割半ばと高くなっている。「平等になっている」は男性10・20代(44.7%)で4割半ばと高くなっている。

(図5-1-7)

図5-1-8 男女の地位平等－性／年代別【(7)地域活動の場(自治会やNPOなど)】『女性』『男性』
『女性』が優遇されている(計)『男性』が優遇されている(計)



“地域活動の場（自治会やNPOなど）”を性別でみると、『男性が優遇されている（計）』は女性（41.9%）が男性（28.3%）より13.6ポイント高くなっている。

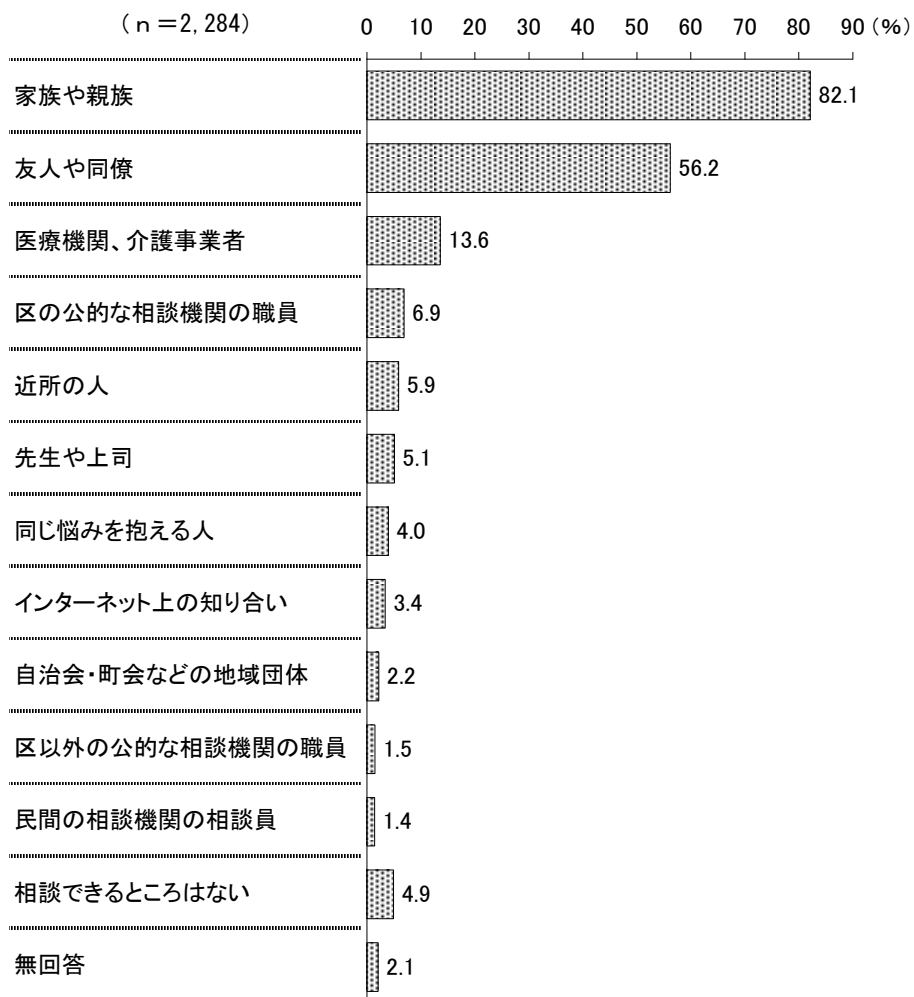
性／年代別でみると、『男性が優遇されている（計）』は女性50代（49.1%）で約5割と高くなっている。「平等になっている」は男性10・20代（73.7%）で7割を超え、男性30代（62.4%）と女性10・20代（61.0%）で6割を超えて高くなっている。（図5-1-8）

(2) 困りごとや心配ごとがあった場合の相談先

◇「家族や親族」が8割を超える

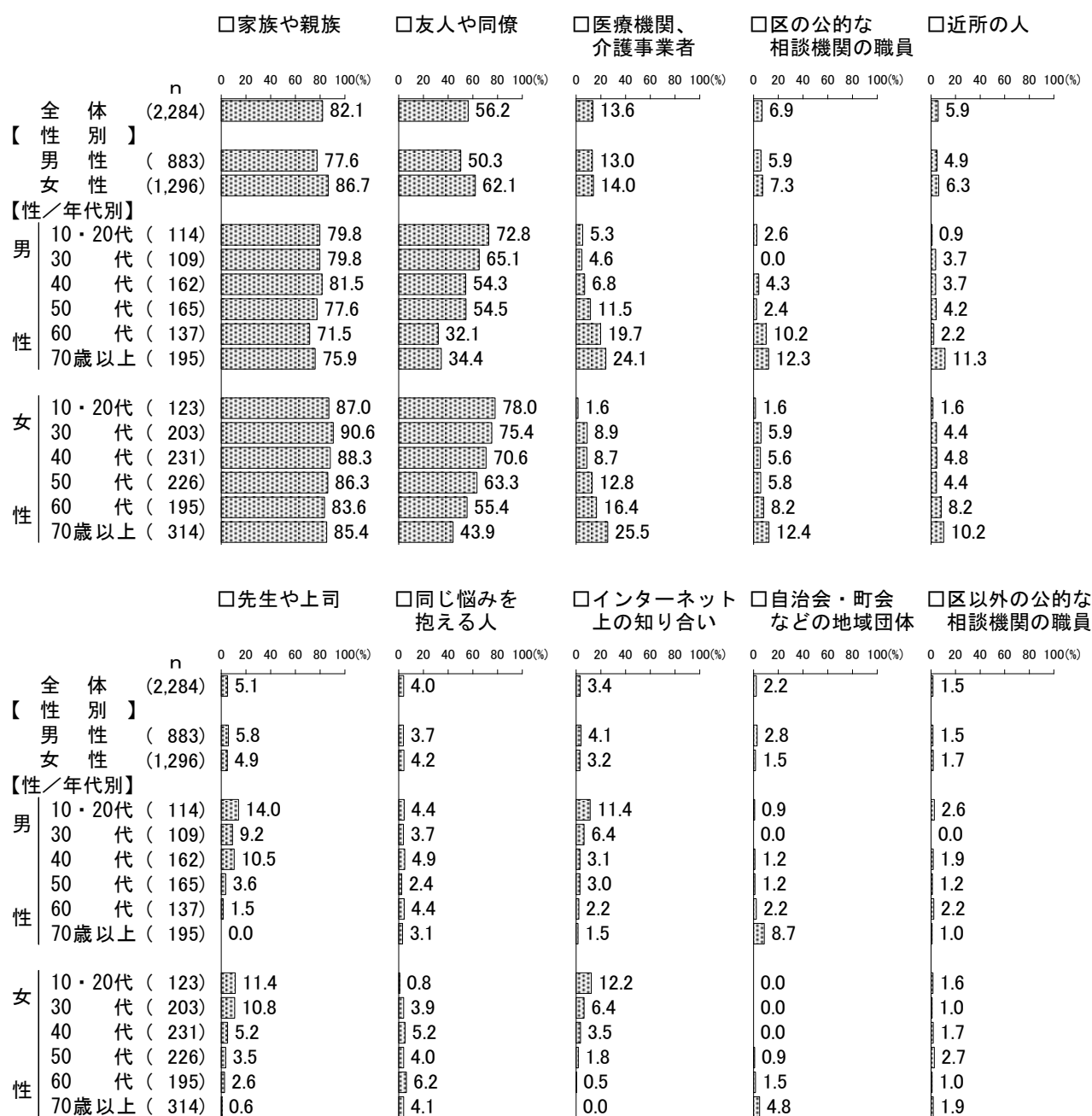
問10 あなたは、日々の暮らしで困りごとや心配ごとがあった場合、主に誰に相談していますか。(〇はいくつでも)

図 5-2-1



日々の暮らしで困りごとや心配ごとがあった場合、主に誰に相談しているか聞いたところ、「家族や親族」(82.1%)が8割を超えて最も高く、次いで「友人や同僚」(56.2%)、「医療機関、介護事業者」(13.6%)などの順になっている。(図 5-2-1)

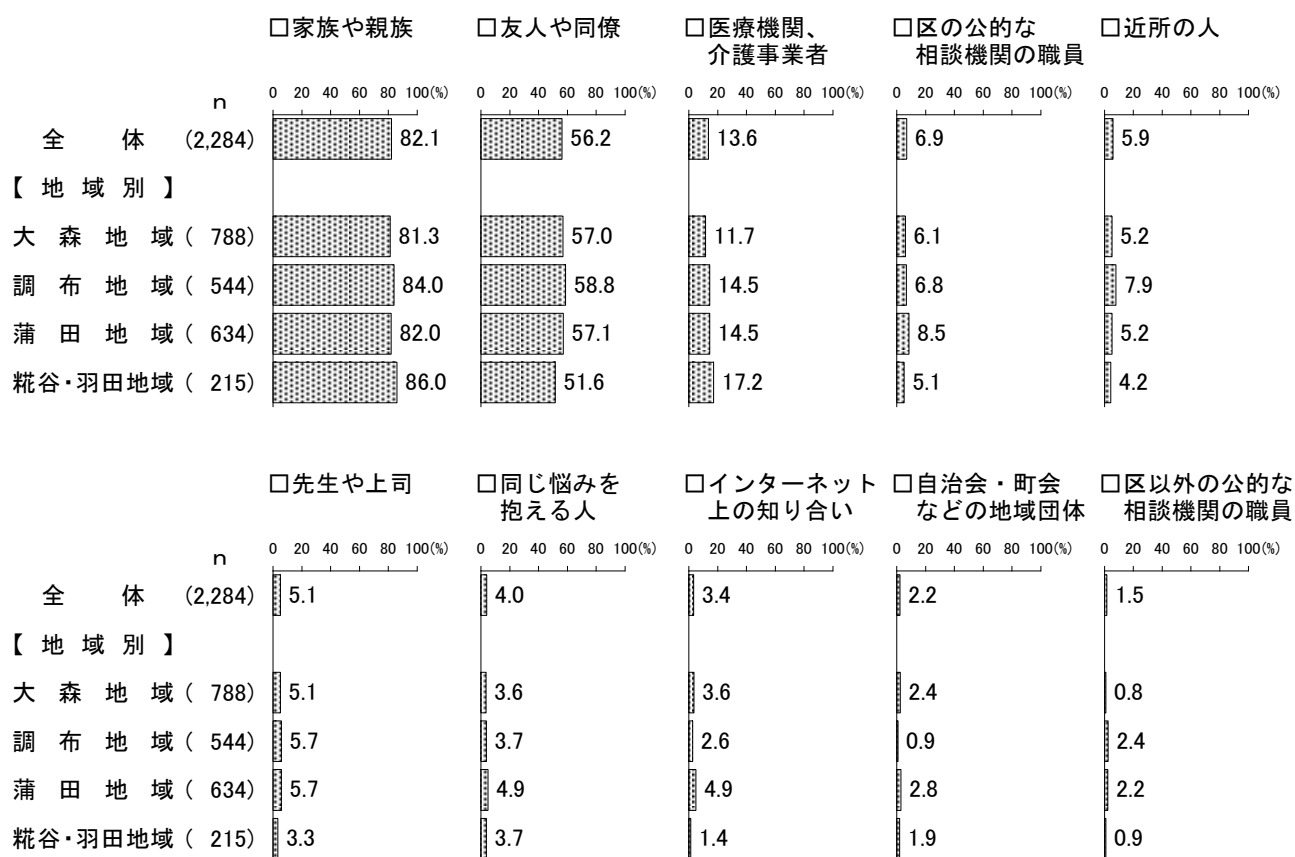
図5-2-2 困りごとや心配ごとがあった場合の相談先一性／年代別（上位10項目）



上位10項目を性別で見ると、「友人や同僚」は女性（62.1％）が男性（50.3％）より11.8ポイント、「家族や親族」は女性（86.7％）が男性（77.6％）より9.1ポイント、それぞれ高くなっている。

性／年代別で見ると、「家族や親族」は女性30代（90.6％）で約9割と高くなっている。「友人や同僚」は女性では年代が低くなるほど割合が高く、女性10・20代（78.0％）で8割近くとなっている。「医療機関、介護事業者」は男女ともにおおむね年代が高くなるほど割合が高く、女性70歳以上（25.5％）と男性70歳以上（24.1％）で2割半ばとなっている。（図5-2-2）

図5-2-3 困りごとや心配ごとがあった場合の相談先―地域別（上位10項目）



上位10項目を地域別でみると、「家族や親族」は糀谷・羽田地域（86.0%）と調布地域（84.0%）で8割半ばと高くなっている。（図5-2-3）

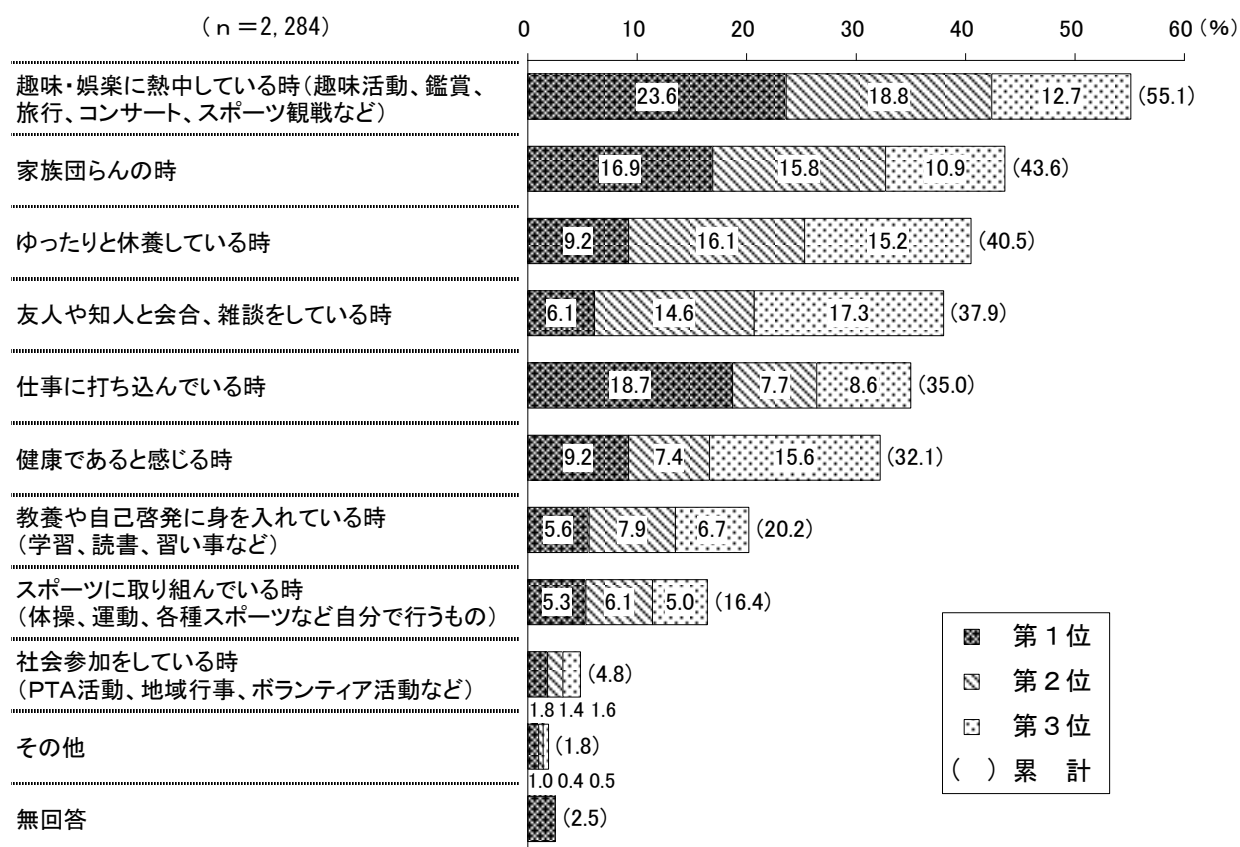
6. 学びやスポーツを通じて誰もが生きがいをもって暮らせるまち

(1) 日常生活のなかで充実感や張り合いを感じる時

◇第1位から第3位までを合わせた《累計》では「趣味・娯楽に熱中している時」が5割半ば

問11 日常生活のなかで、充実感や張り合いを感じるのはどのような時ですか。1位から3位までを選んで、下の回答欄に番号を記入してください。

図6-1-1

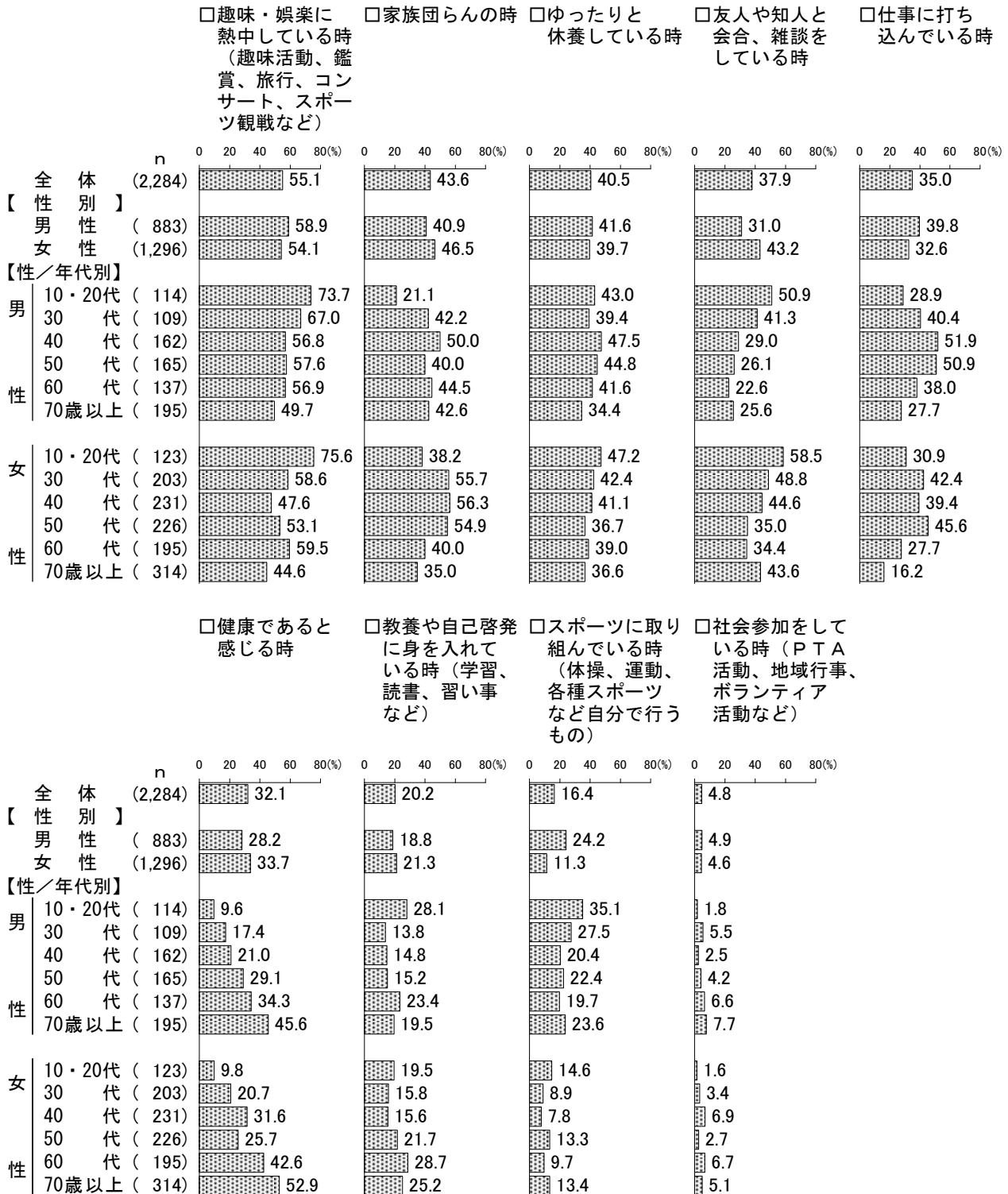


日常生活のなかで、充実感や張り合いを感じるのはどのような時か聞いたところ、第1位では「趣味・娯楽に熱中している時（趣味活動、鑑賞、旅行、コンサート、スポーツ観戦など）」（23.6%）が2割を超えて最も高く、次いで「仕事に打ち込んでいる時」（18.7%）、「家族団らんの時」（16.9%）などの順になっている。

また、第1位から第3位までを合わせた《累計》でみると、「趣味・娯楽に熱中している時（趣味活動、鑑賞、旅行、コンサート、スポーツ観戦など）」（55.1%）が5割半ばで最も高く、次いで「家族団らんの時」（43.6%）、「ゆったりと休養している時」（40.5%）、「友人や知人と会合、雑談をしている時」（37.9%）などの順になっている。

「その他」への回答として、「ペットと過ごしている時」、「子どもが笑顔で学校に通えているとき」などがあげられている。（図6-1-1）

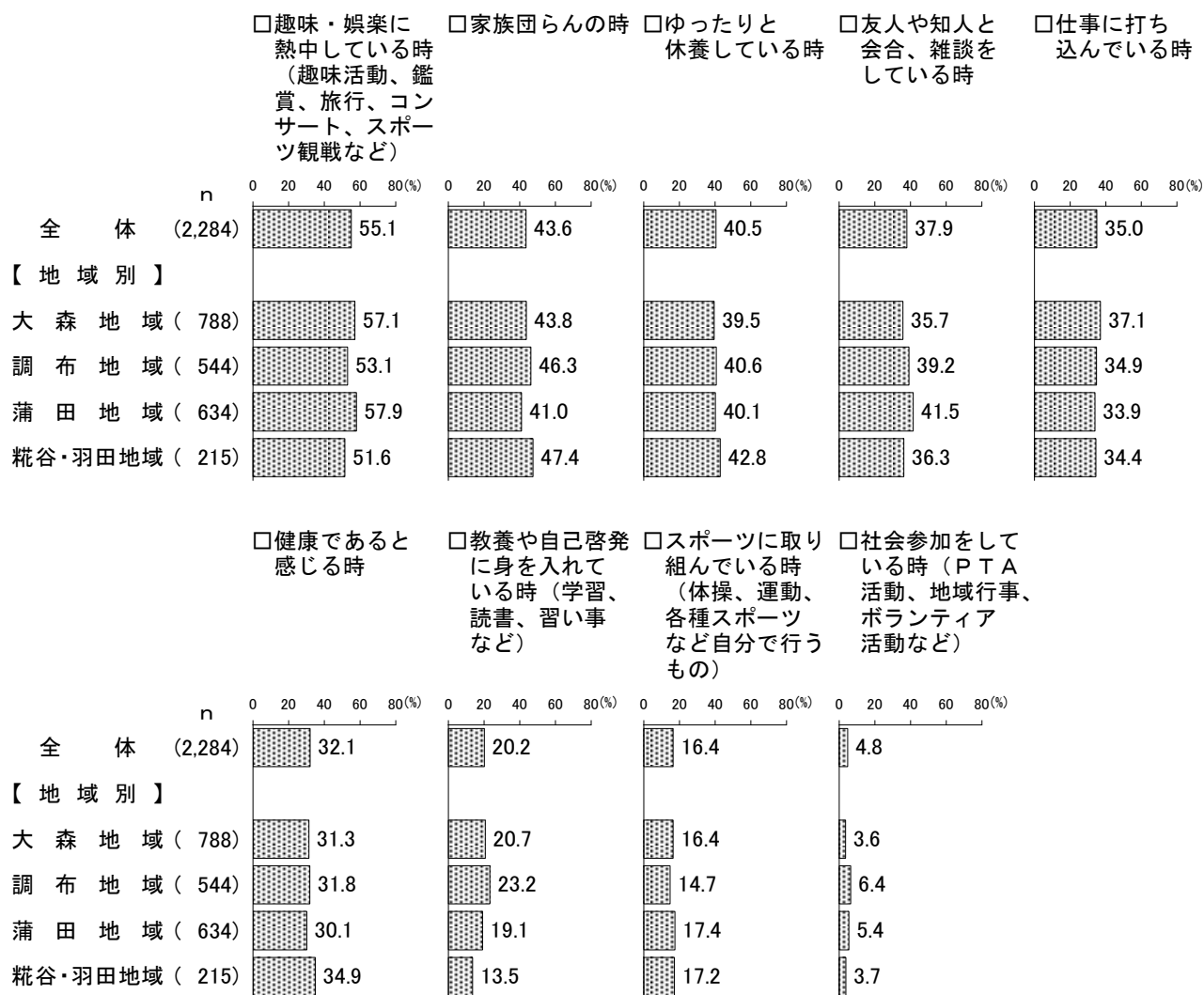
図6-1-2 日常生活のなかで充実感や張り合いを感じる時－性／年代別（累計）



性別でみると、「スポーツに取り組んでいる時」は男性（24.2%）が女性（11.3%）より12.9ポイント高くなっている。一方、「友人や知人と会合、雑談をしている時」は女性（43.2%）が男性（31.0%）より12.2ポイント高くなっている。

性／年代別でみると、「趣味・娯楽に熱中している時」は女性10・20代（75.6%）と男性10・20代（73.7%）で7割台と高くなっている。「友人や知人と会合、雑談をしている時」は女性10・20代（58.5%）で6割近くと高くなっている。「健康であると感じる時」は男女ともにおおむね年代が高くなるほど割合が高く、女性70歳以上（52.9%）で5割を超えている。（図6-1-2）

図6-1-3 日常生活のなかで充実感や張り合いを感じる時―地域別（累計）



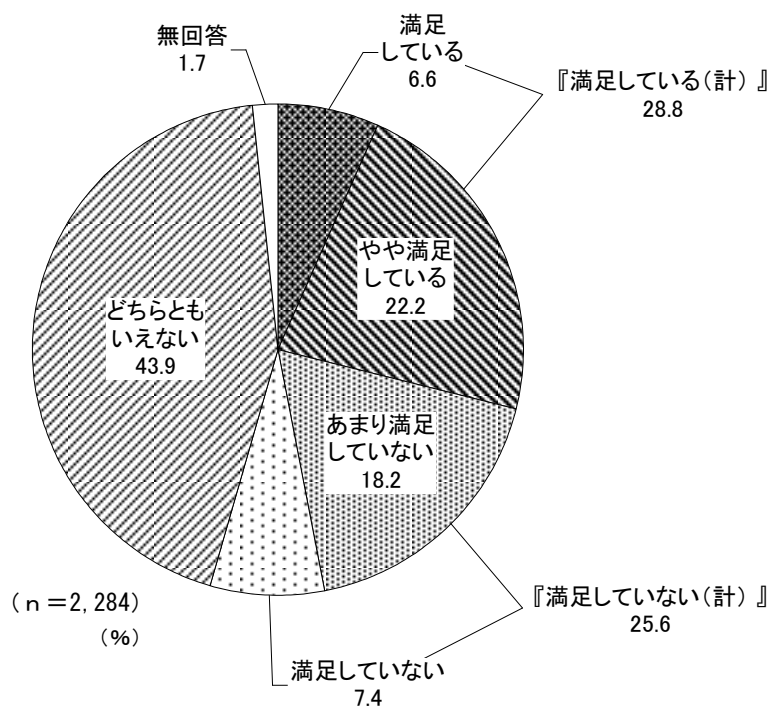
地域別でみると、「趣味・娯楽に熱中している時」は蒲田地域（57.9%）と大森地域（57.1%）で6割近くと高くなっている。「家族団らんの時」は糀谷・羽田地域（47.4%）で5割近くと高くなっている。「友人や知人と会合、雑談をしている時」は蒲田地域（41.5%）で4割を超えて高くなっている。（図6-1-3）

(2) 区内の歴史や文化、芸術に親しめる環境への満足度

◇「満足している」と「やや満足している」を合わせた『満足している(計)』は3割近く

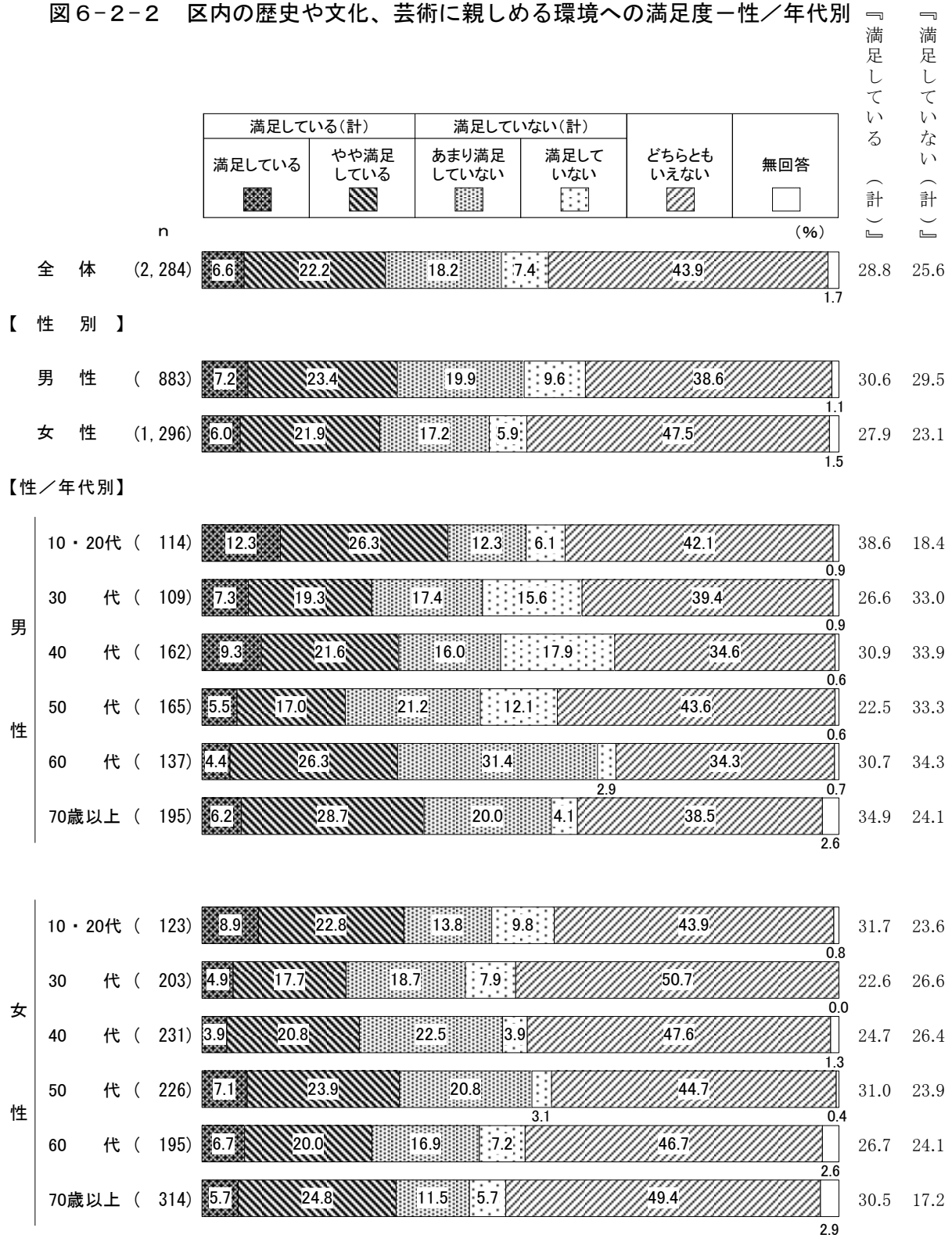
問12 あなたは、区内の歴史や文化、芸術に親しめる環境に満足していますか。(○は1つだけ)

図6-2-1



区内の歴史や文化、芸術に親しめる環境への満足度を聞いたところ、「満足している」(6.6%)と「やや満足している」(22.2%)を合わせた『満足している(計)』(28.8%)は3割近くとなっている。一方、「あまり満足していない」(18.2%)と「満足していない」(7.4%)を合わせた『満足していない(計)』(25.6%)は2割半ばとなっている。また、「どちらともいえない」(43.9%)は4割を超えている。(図6-2-1)

図6-2-2 区内の歴史や文化、芸術に親しめる環境への満足度－性／年代別

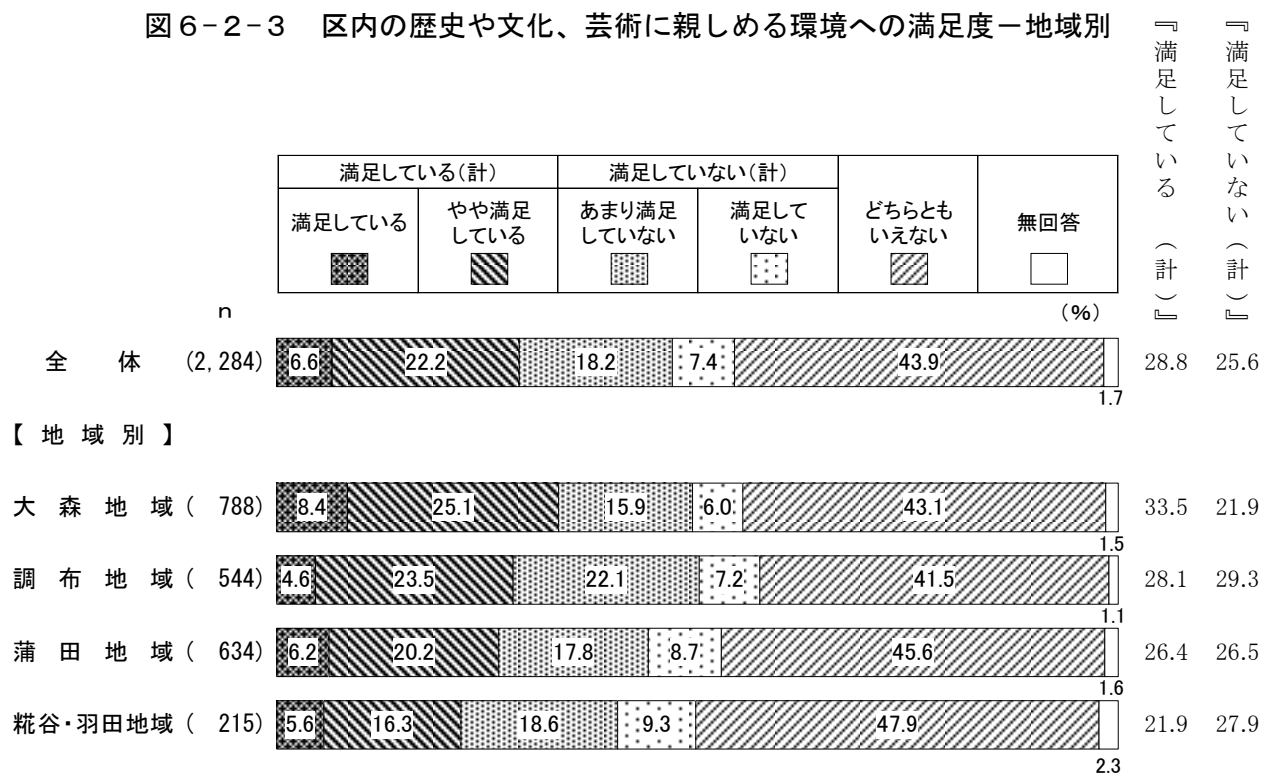


性別でみると、『満足していない(計)』は男性(29.5%)が女性(23.1%)より6.4ポイント高くなっている。

性／年代別でみると、『満足している(計)』は男性10・20代(38.6%)で4割近くと高くなっている。一方、『満足していない(計)』は男性60代(34.3%)で3割半ばと高くなっている。

(図6-2-2)

図 6-2-3 区内の歴史や文化、芸術に親しめる環境への満足度—地域別



地域別でみると、『満足している (計)』は大森地域 (33.5%) で3割を超えて高くなっている。一方、『満足していない (計)』は調布地域 (29.3%) で約3割と高くなっている。(図6-2-3)

《基本目標2 まちの魅力と産業が世界に向けて輝く都市》

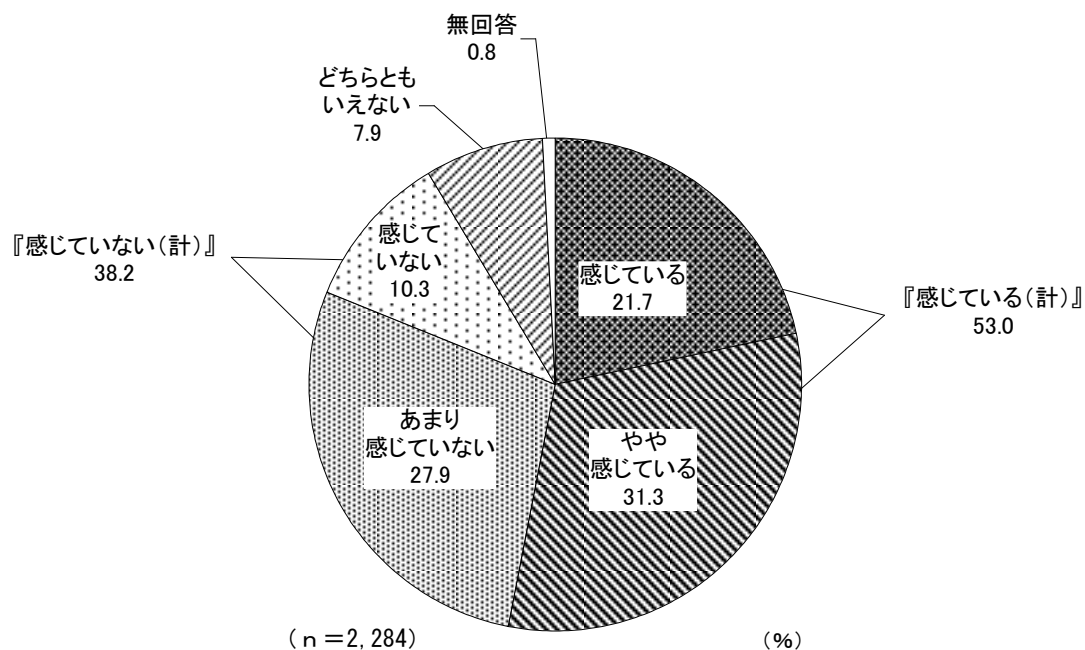
7. 身近な場所で水やみどりと触れ合える、潤いとやすらぎのあるまち

(1) 身近な場所で水や緑に親しめると感じているか

◇「感じている」と「やや感じている」を合わせた『感じている(計)』は5割を超える

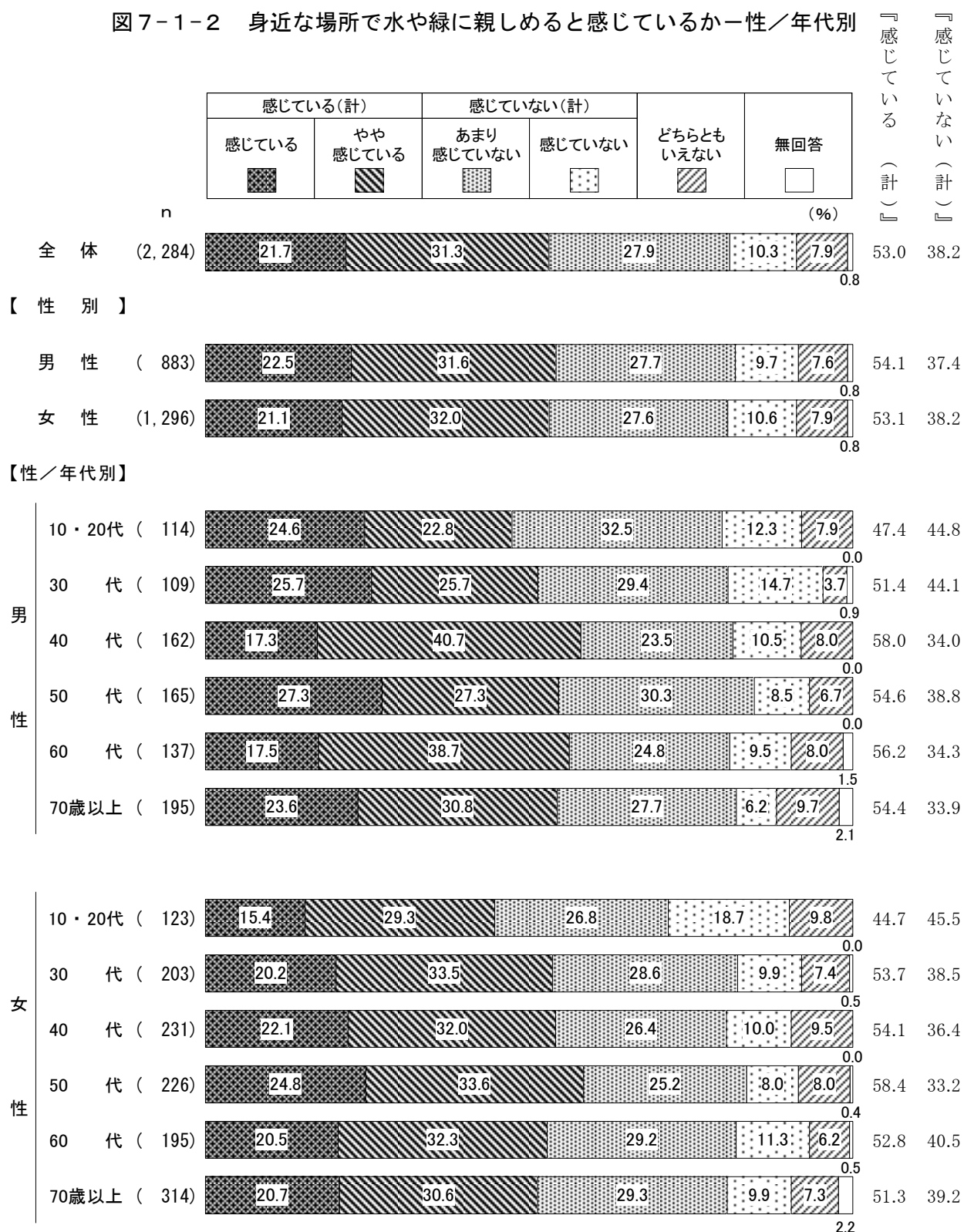
問13 身近な場所で水や緑に親しめると感じていますか。(○は1つだけ)

図7-1-1



身近な場所で水や緑に親しめると感じているか聞いたところ、「感じている」(21.7%)と「やや感じている」(31.3%)を合わせた『感じている(計)』(53.0%)は5割を超えている。一方、「あまり感じていない」(27.9%)と「感じていない」(10.3%)を合わせた『感じていない(計)』(38.2%)は4割近くとなっている。(図7-1-1)

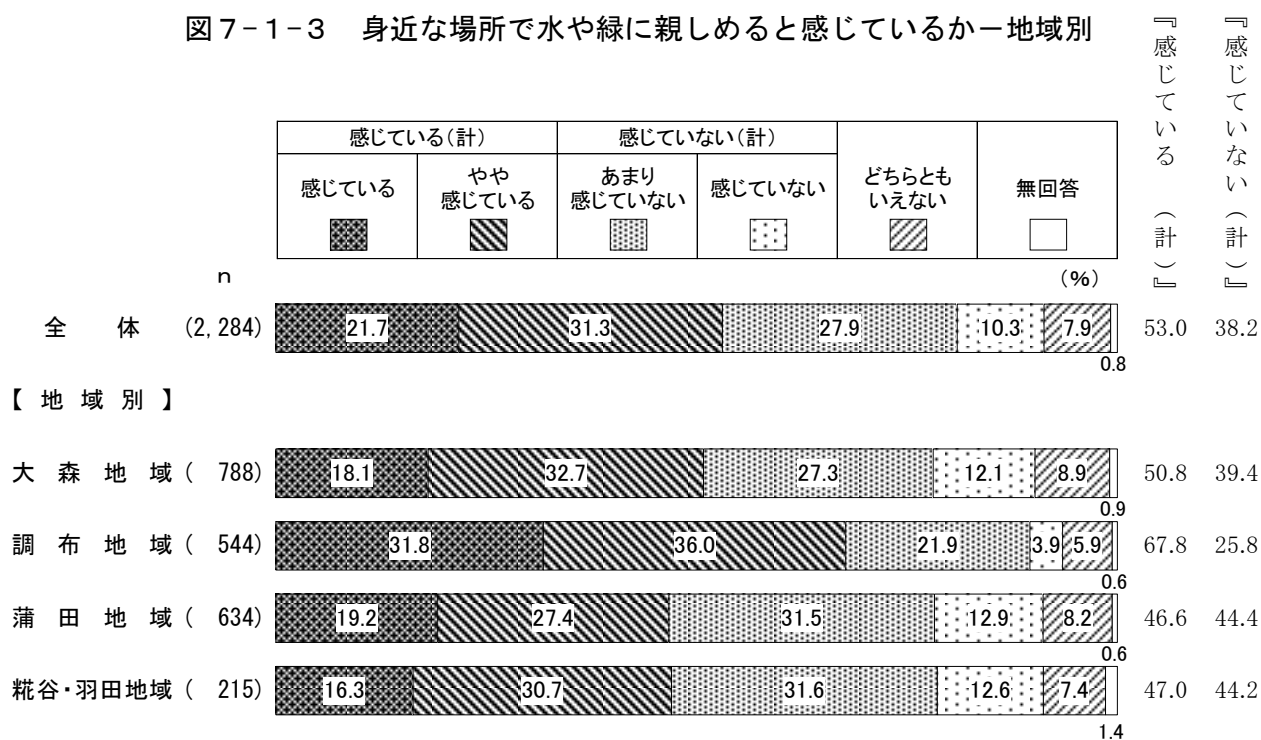
図 7-1-2 身近な場所で水や緑に親しめると感じているか—性／年代別



性別でみると、大きな違いはみられない。

性／年代別でみると、『感じている (計)』は女性50代 (58.4%) と男性40代 (58.0%) で6割近くと高くなっている。一方、『感じていない (計)』は女性10・20代 (45.5%)、男性10・20代 (44.8%)、男性30代 (44.1%) で4割半ばと高くなっている。(図 7-1-2)

図 7-1-3 身近な場所で水や緑に親しめると感じているかー地域別



地域別でみると、『感じている (計)』は調布地域 (67.8%) で7割近くと高くなっている。一方、『感じていない (計)』は蒲田地域 (44.4%) と糀谷・羽田地域 (44.2%) で4割半ばと高くなっている。(図 7-1-3)

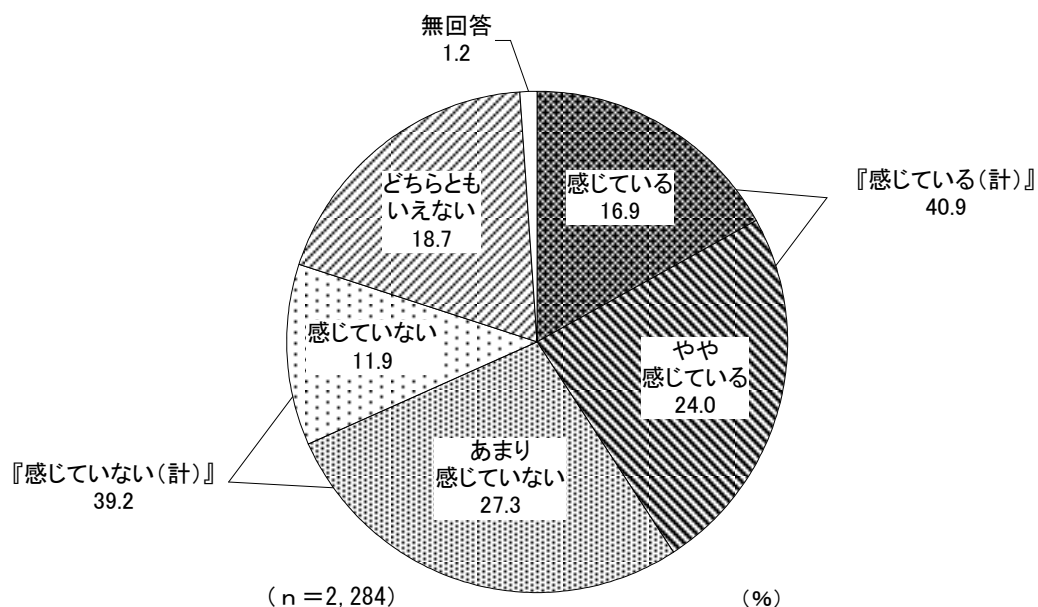
8. 空港臨海部の特性を活かし、世界にはばたき未来へつながるまち

(1) 羽田空港及び羽田空港跡地の地域経済活性化への貢献度

◇「感じている」と「やや感じている」を合わせた『感じている(計)』は約4割

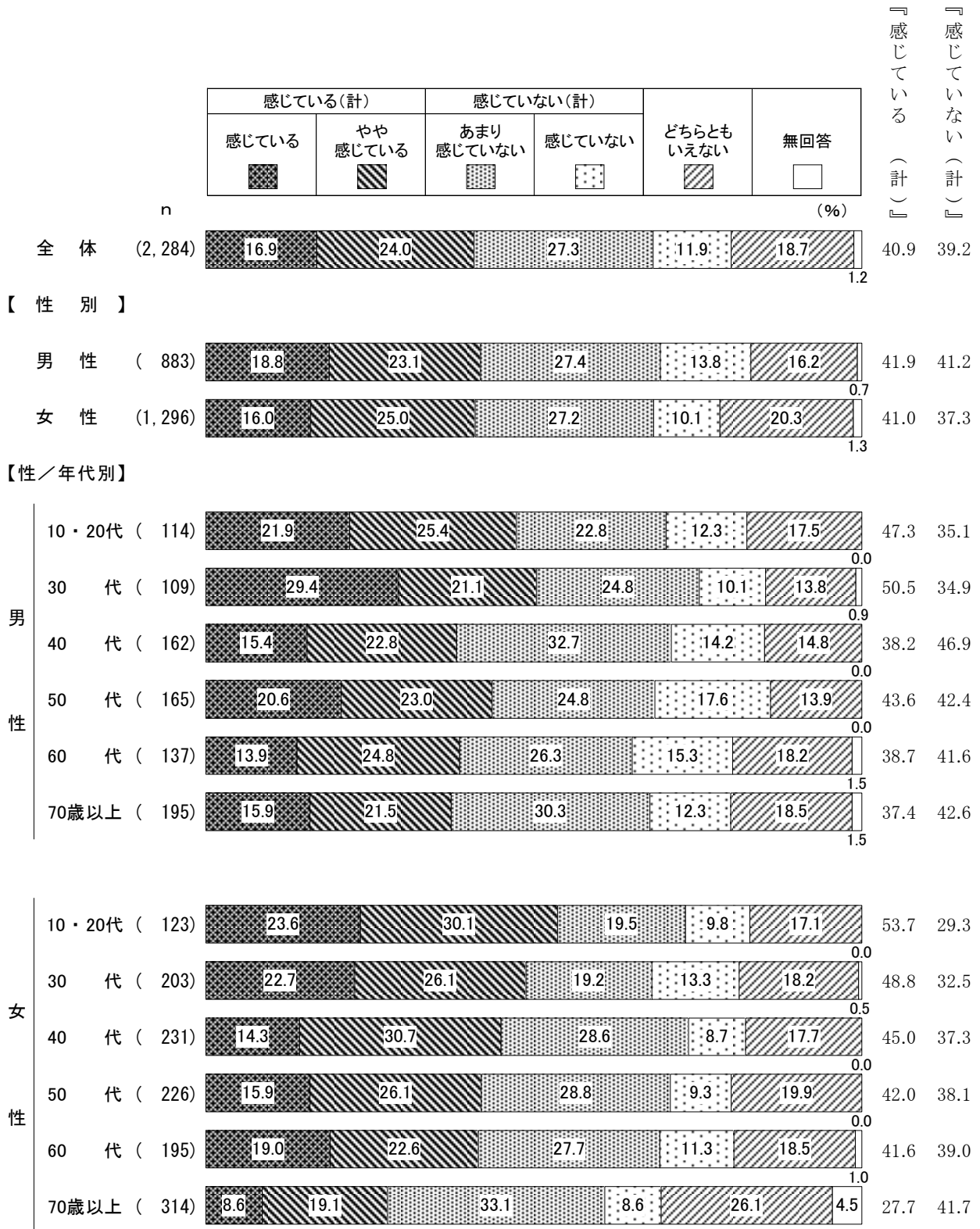
問14 羽田空港及び羽田空港跡地（HANEDA GLOBAL WINGS）が、地域経済の活性化に貢献すると感じていますか。（○は1つだけ）

図8-1-1



羽田空港及び羽田空港跡地が、地域経済の活性化に貢献しているか聞いたところ、「感じている」(16.9%)と「やや感じている」(24.0%)を合わせた『感じている(計)』(40.9%)は約4割となっている。一方、「あまり感じていない」(27.3%)と「感じていない」(11.9%)を合わせた『感じていない(計)』(39.2%)は約4割となっている。(図8-1-1)

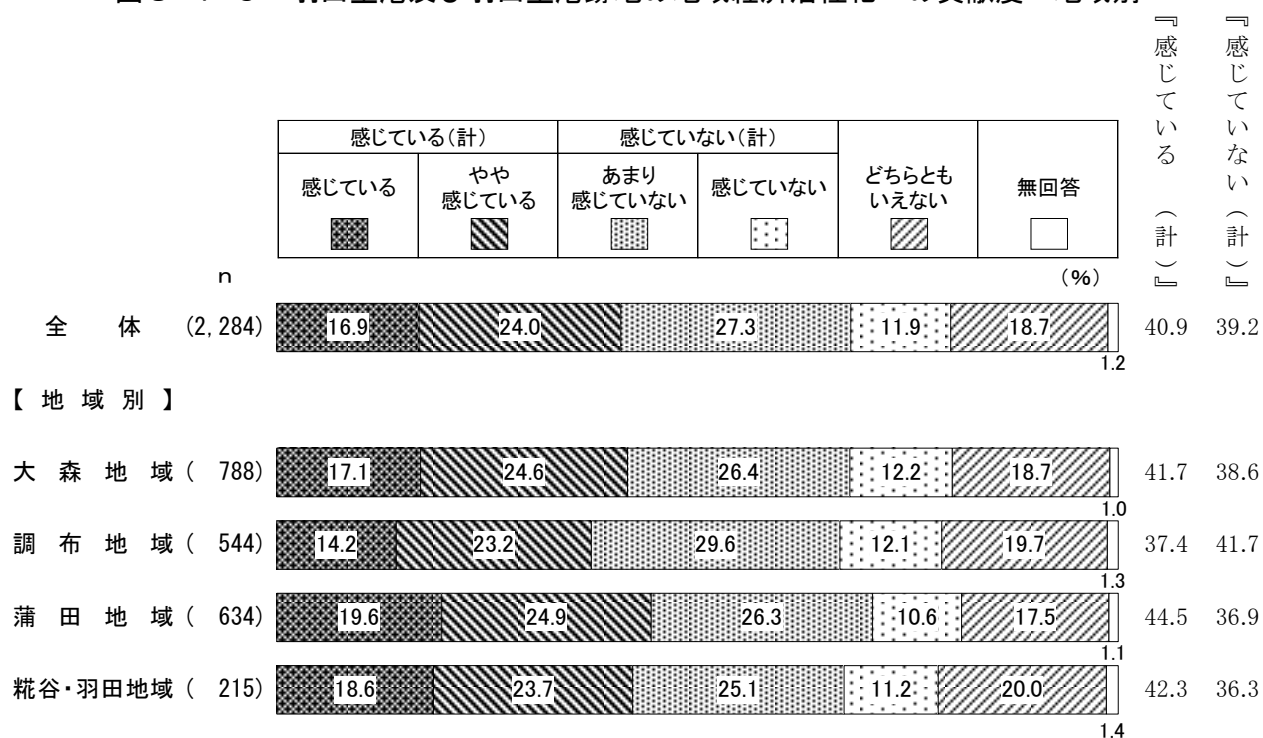
図 8-1-2 羽田空港及び羽田空港跡地の地域経済活性化への貢献度—性／年代別



性別でみると、『感じていない (計)』は男性 (41.2%) が女性 (37.3%) より3.9ポイント高くなっている。

性／年代別でみると、『感じている (計)』は女性10・20代 (53.7%) と男性30代 (50.5%) で5割台と高くなっている。一方、『感じていない (計)』は男性40代 (46.9%) で5割近くと高くなっている。(図8-1-2)

図 8-1-3 羽田空港及び羽田空港跡地の地域経済活性化への貢献度—地域別



地域別でみると、『感じている(計)』は蒲田地域(44.5%)で4割半ばと高くなっている。一方、『感じていない(計)』は調布地域(41.7%)で4割を超えて高くなっている。(図8-1-3)

9. 持続可能な国際交流・多文化共生

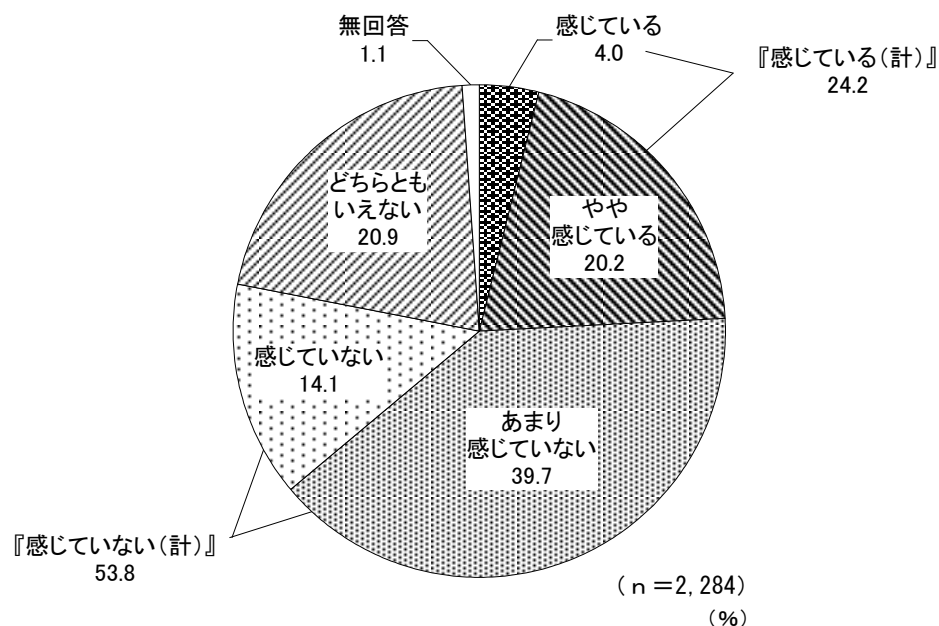
(1) 大田区は国際交流、多文化共生が進んだまちと感じているか

◇「感じている」と「やや感じている」を合わせた『感じている(計)』は2割半ば

問15 大田区は国際交流、多文化共生が進んだまちと感じていますか。(○は1つだけ)

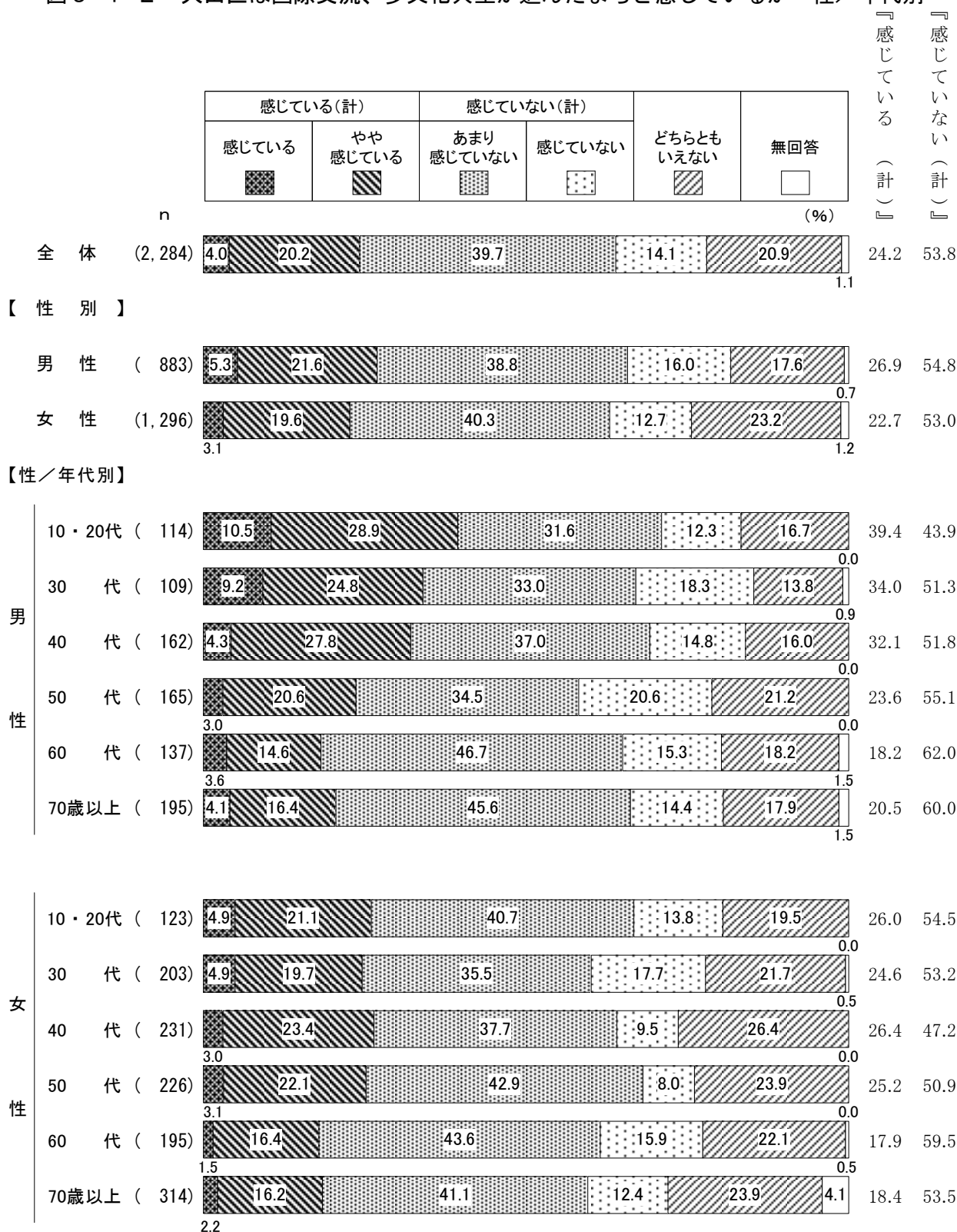
※多文化共生とは、国籍や民族などの異なる人々が、互いの文化的違いを認め合い、対等な関係を築こうとしながら、地域社会の構成員として共に生きていくことです。

図9-1-1



大田区は国際交流、多文化共生が進んだまちと感じているか聞いたところ、「感じている」(4.0%)と「やや感じている」(20.2%)を合わせた『感じている(計)』(24.2%)は2割半ばとなっている。一方、「あまり感じていない」(39.7%)と「感じていない」(14.1%)を合わせた『感じていない(計)』(53.8%)は5割を超えている。(図9-1-1)

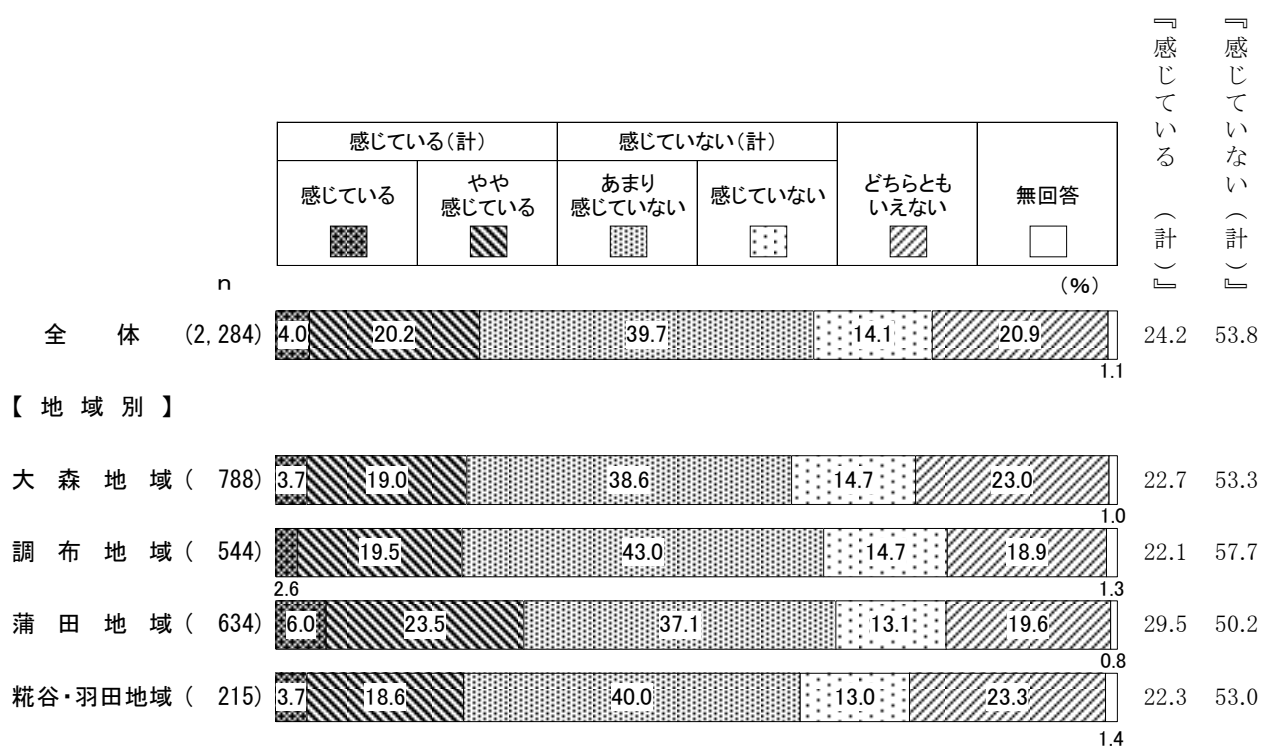
図9-1-2 大田区は国際交流、多文化共生が進んだまちと感じているかー性／年代別



性別でみると、『感じている(計)』は男性(26.9%)が女性(22.7%)より4.2ポイント高くなっている。

性／年代別でみると、『感じている(計)』は男性10・20代(39.4%)で約4割と高くなっている。一方、『感じていない(計)』は男性60代(62.0%)と男性70歳以上(60.0%)で6割台と高くなっている。(図9-1-2)

図 9-1-3 大田区は国際交流、多文化共生が進んだまちと感じているかー地域別



地域別でみると、『感じている(計)』は蒲田地域(29.5%)で3割と高くなっている。一方、『感じていない(計)』は調布地域(57.7%)で6割近くと高くなっている。(図9-1-3)

《基本目標 3 地域力と行政の連携がつくる人と地球に優しいまち》

10. 魅力的で住み続けたいまち

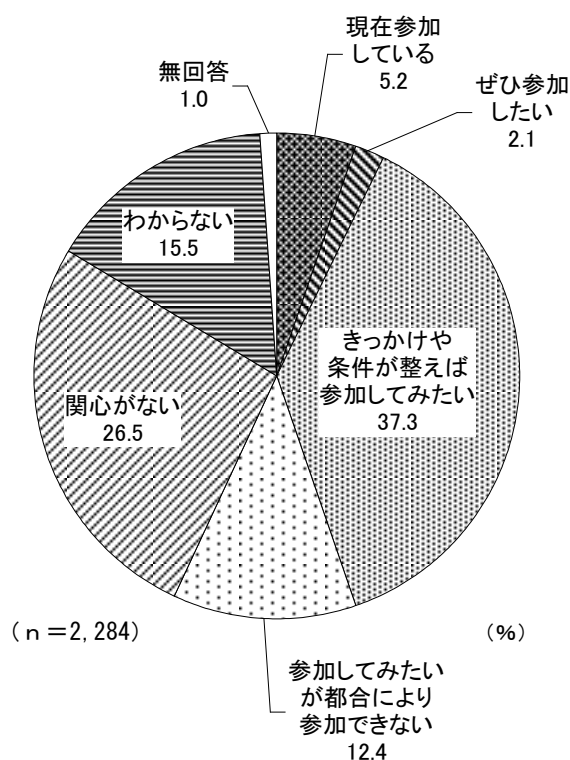
(1) 地域活動への参加意向

◇「きっかけや条件が整えば参加してみたい」が4割近く

問16 あなたは、現在住んでいるまちで何らかの地域活動に参加したいと思いますか。

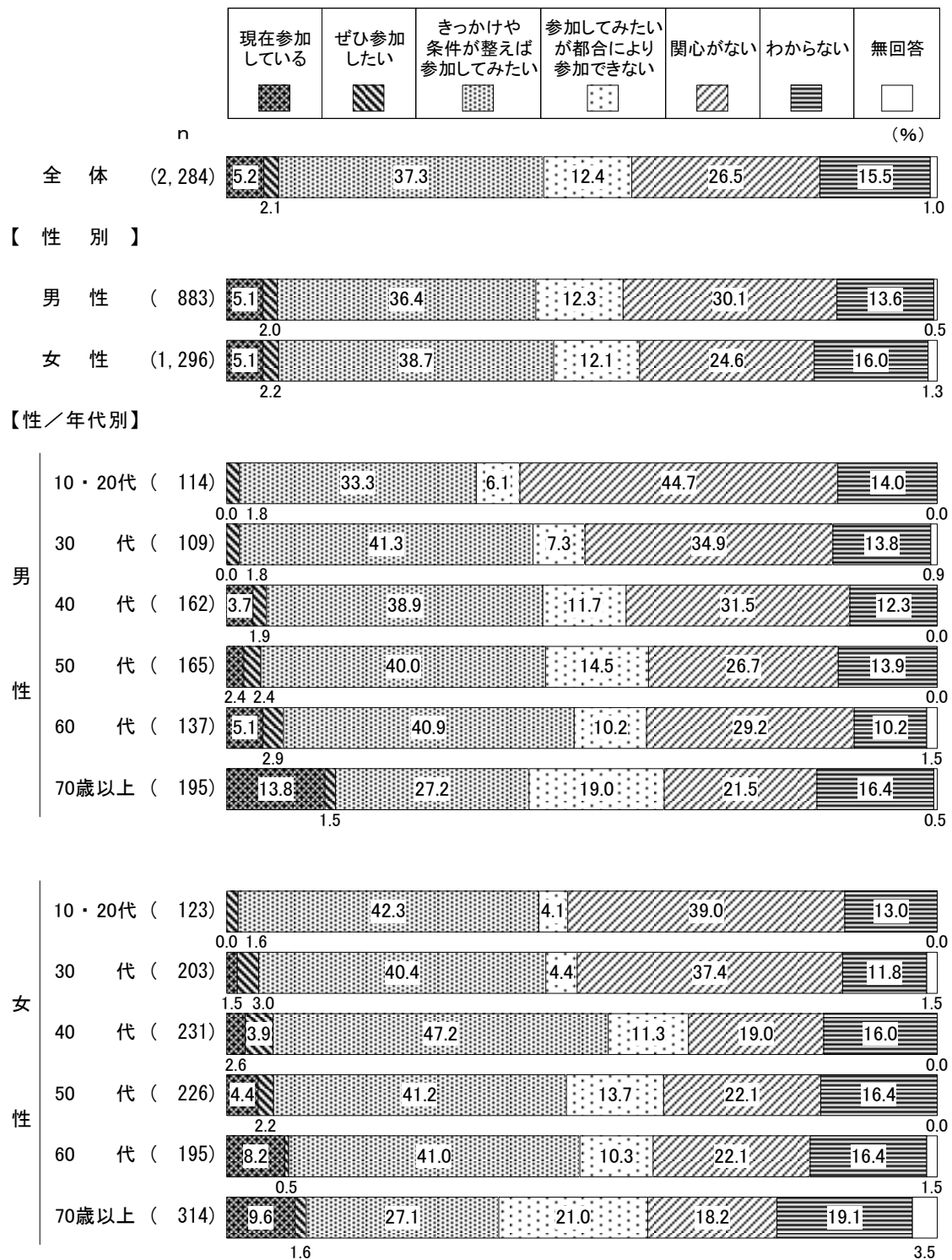
(○は1つだけ)

図10-1-1



現在住んでいるまちで何らかの地域活動に参加したいと思うか聞いたところ、「現在参加している」(5.2%)と「ぜひ参加したい」(2.1%)は1割未満、「きっかけや条件が整えば参加してみたい」(37.3%)が4割近くとなっている。一方、「参加してみたいが都合により参加できない」(12.4%)は1割を超え、「関心がない」(26.5%)は3割近くとなっている。(図10-1-1)

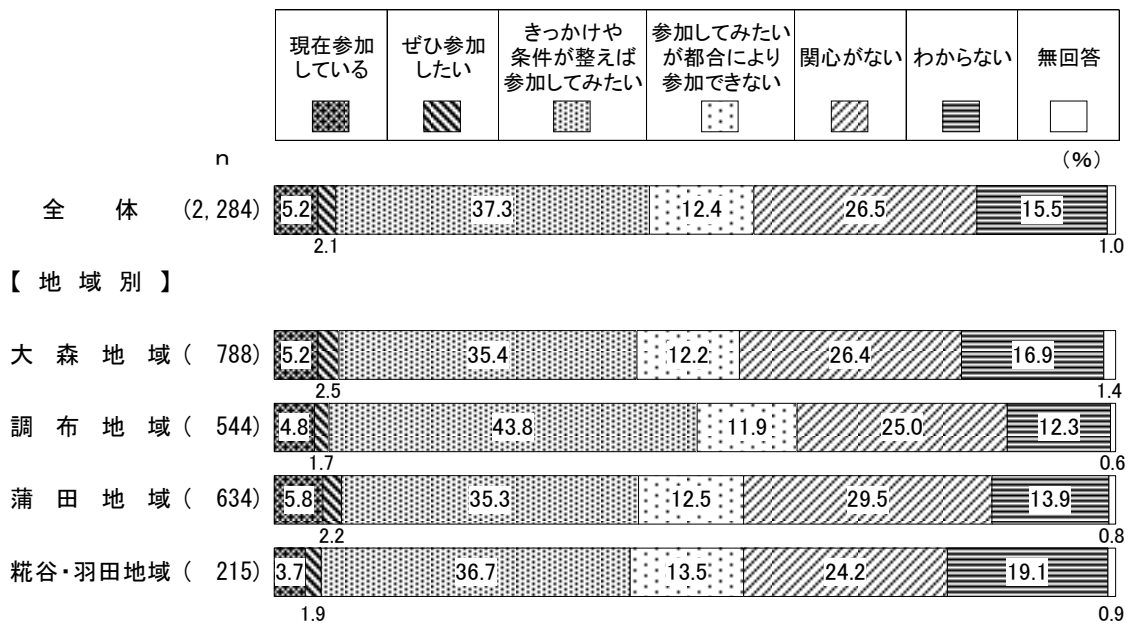
図10-1-2 地域活動への参加意向－性／年代別



性別でみると、「関心がない」は男性（30.1%）が女性（24.6%）より5.5ポイント高くなっている。

性／年代別でみると、「現在参加している」は男性70歳以上（13.8%）で1割を超えている。「きっかけや条件が整えば参加してみたい」は女性40代（47.2%）で5割近くと高くなっている。「関心がない」は男性10・20代（44.7%）で4割半ばと高くなっている。（図10-1-2）

図10-1-3 地域活動への参加意向－地域別



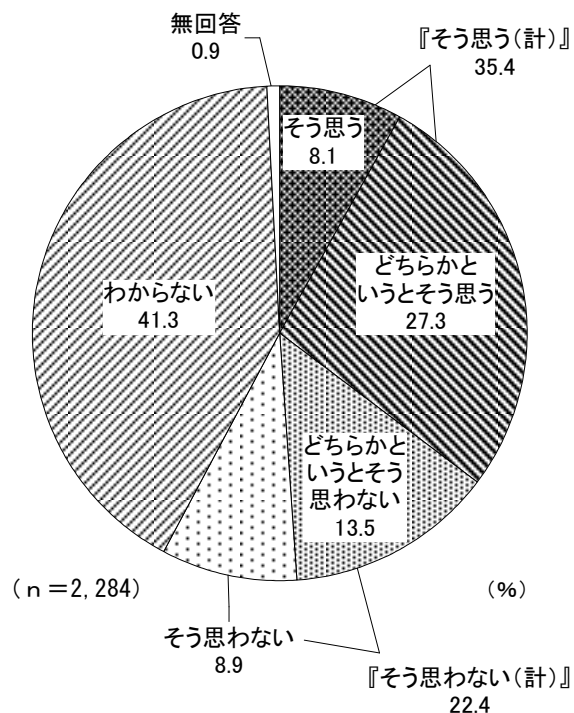
地域別でみると、「きっかけや条件が整えば参加してみたい」は調布地域（43.8％）で4割を超えて高くなっている。「関心がない」は蒲田地域（29.5％）で3割と高くなっている。（図10-1-3）

(2) 区や区民、さまざまな団体の連携・協働が進められることで、住みやすい地域づくりに繋がっていると感じているか

◇「そう思う」と「どちらかというと思う」を合わせた『そう思う(計)』は3割半ば

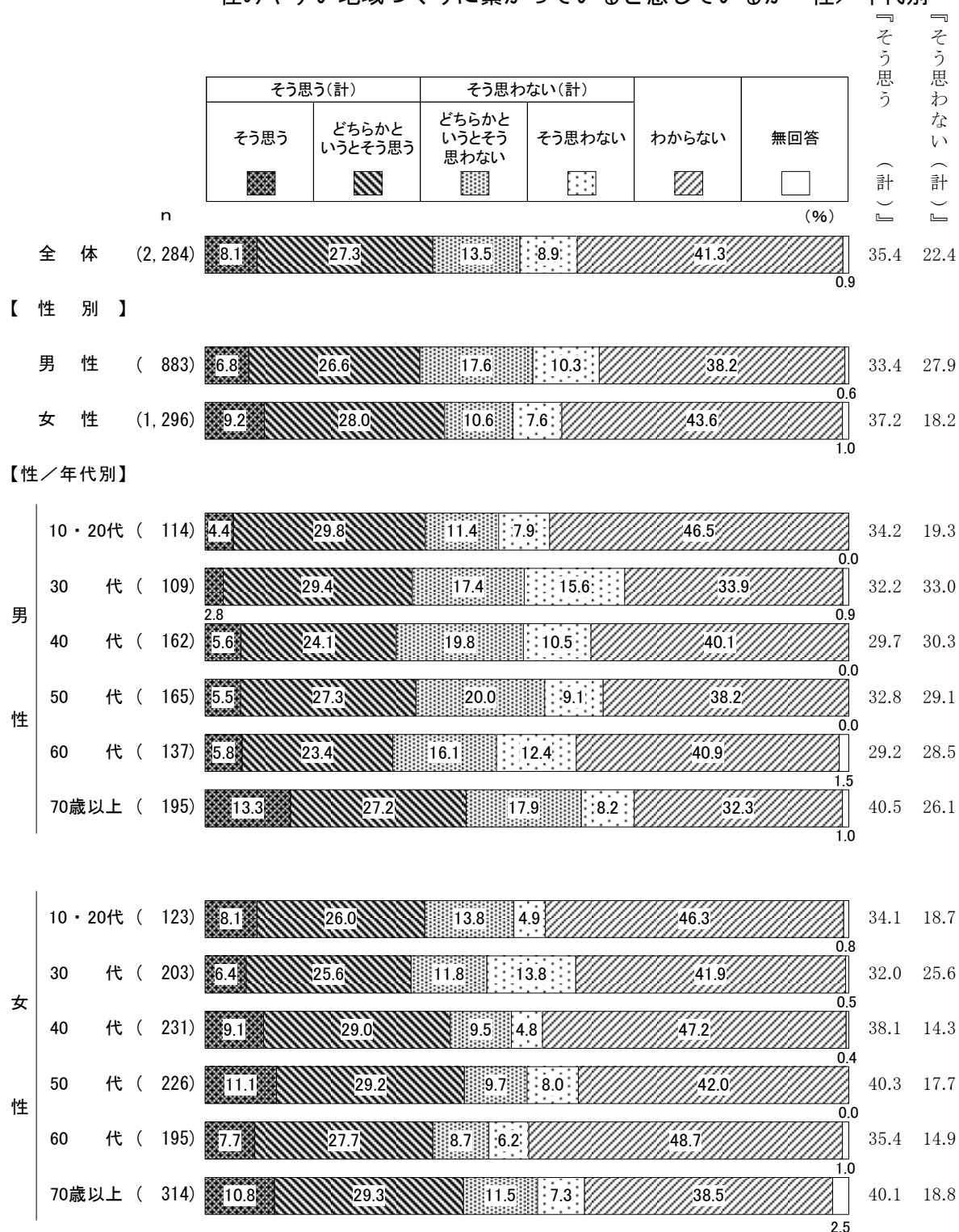
問17 あなたは、現在住んでいるまちで、区や区民、さまざまな団体（自治会・町会、ボランティアグループ、NPO、民間企業等）の連携・協働が進められることで、住みやすい地域づくりに繋がっていると感じていますか。（○は1つだけ）

図10-2-1



区や区民、さまざまな団体の連携・協働が進められることで、住みやすい地域づくりに繋がっていると感じているか聞いたところ、「そう思う」(8.1%)と「どちらかというと思う」(27.3%)を合わせた『そう思う(計)』(35.4%)は3割半ばとなっている。一方、「どちらかというと思わない」(13.5%)と「そう思わない」(8.9%)を合わせた『そう思わない(計)』(22.4%)は2割を超えている。(図10-2-1)

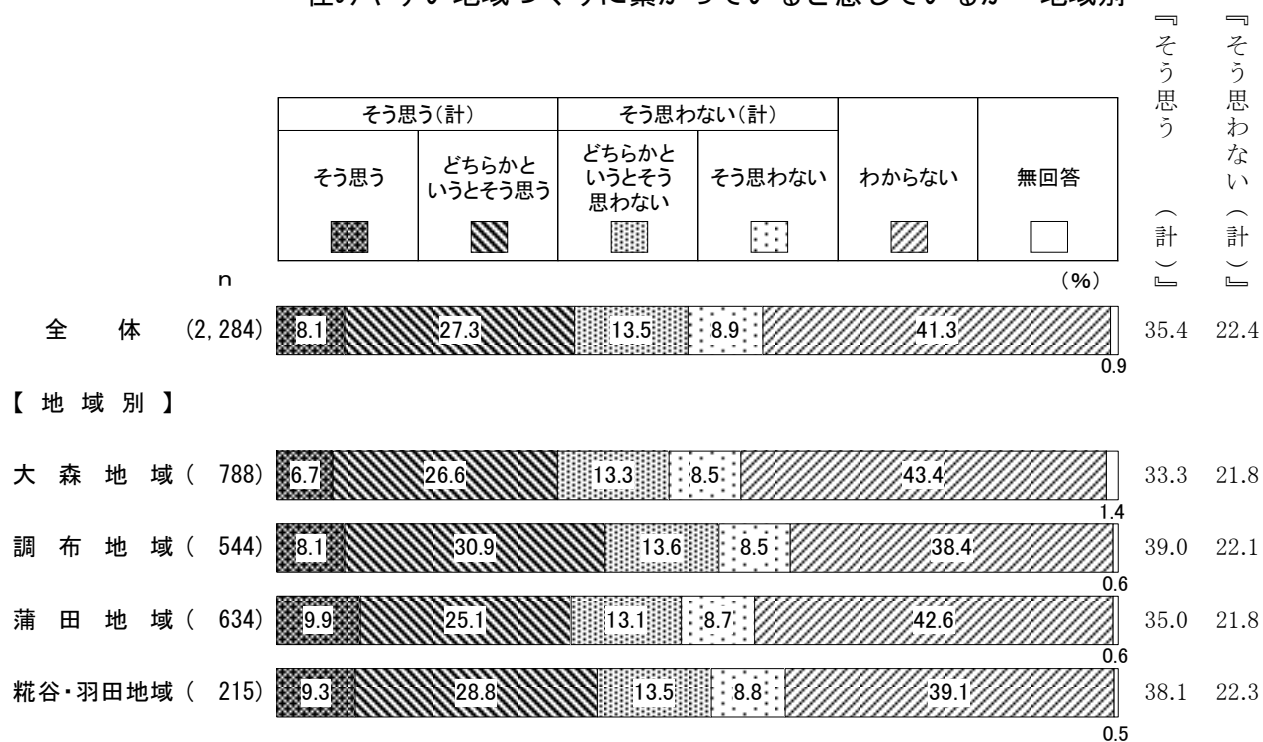
図10-2-2 区や区民、さまざまな団体の連携・協働が進められることで、
住みやすい地域づくりに繋がっていると感じているかー性／年代別



性別でみると、『そう思わない（計）』は男性（27.9%）が女性（18.2%）より9.7ポイント高くなっている。

性／年代別でみると、『そう思う（計）』は男性70歳以上（40.5%）、女性50代（40.3%）、女性70歳以上（40.1%）で約4割と高くなっている。一方、『そう思わない（計）』は男性30代（33.0%）と男性40代（30.3%）で3割台と高くなっている。（図10-2-2）

図10-2-3 区や区民、さまざまな団体の連携・協働が進められることで、
住みやすい地域づくりに繋がっていると感じているかー地域別



地域別でみると、『そう思う (計)』は調布地域 (39.0%) で約4割と高くなっている。

(図10-2-3)

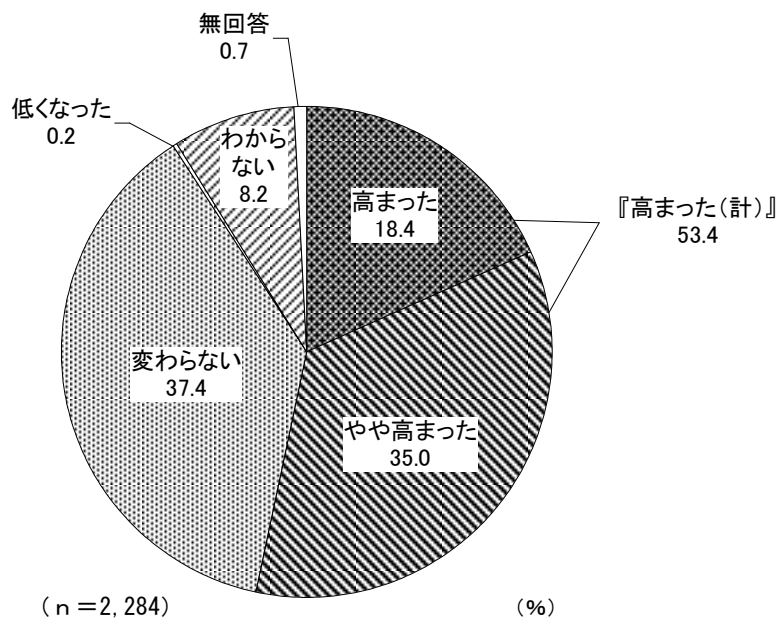
11. 災害に強く、防犯力の高い地域づくり

(1) 防災に対する意識

◇「高まった」と「やや高まった」を合わせた『高まった(計)』は5割を超える

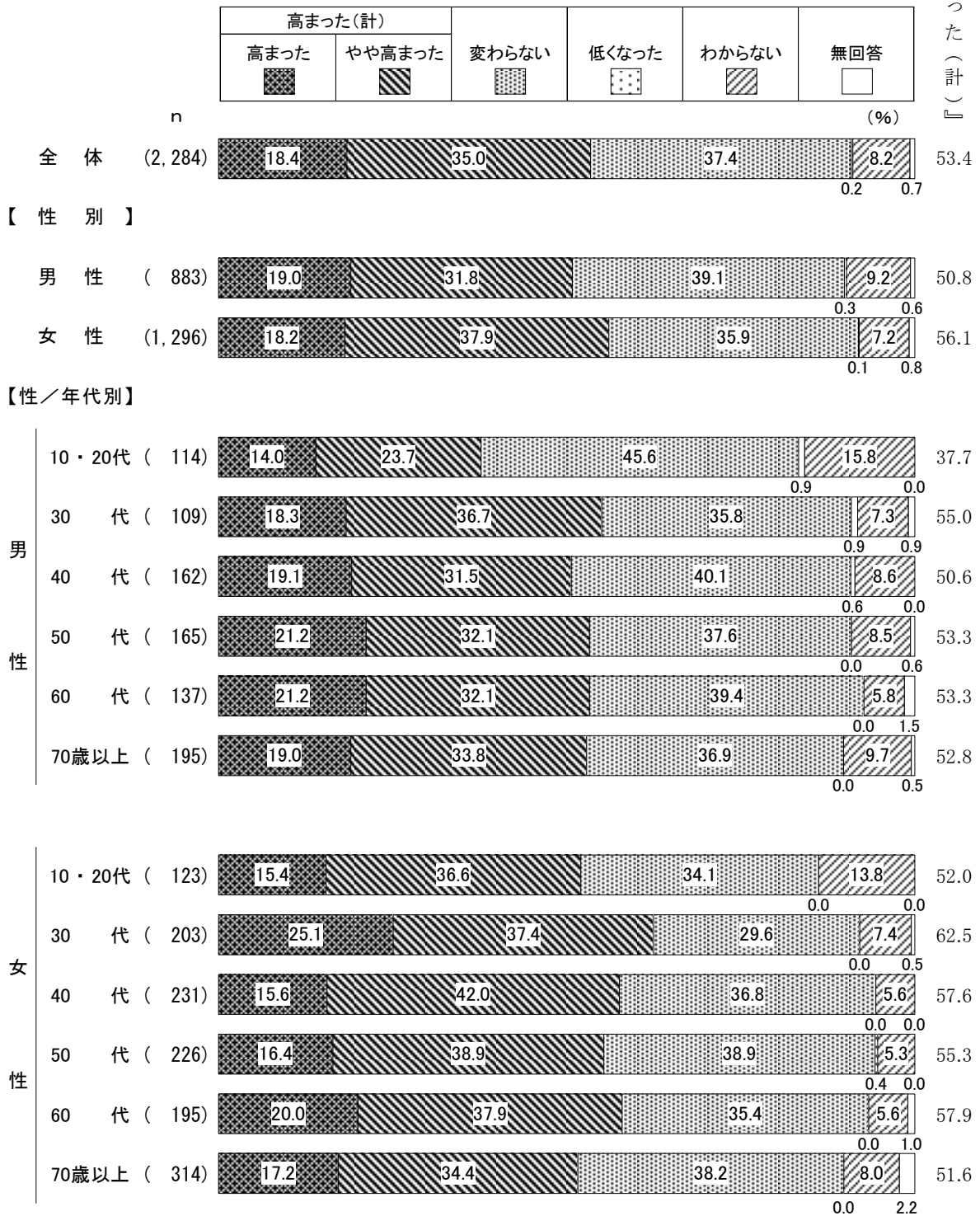
問18 あなたは、1年前に比べて防災に対する意識が高まったと思いますか。(○は1つだけ)

図11-1-1



1年前に比べて防災に対する意識が高まったと思うか聞いたところ、「高まった」(18.4%)と「やや高まった」(35.0%)を合わせた『高まった(計)』(53.4%)は5割を超えている。一方、「変わらない」(37.4%)は4割近く、「低くなった」(0.2%)はわずかとなっている。(図11-1-1)

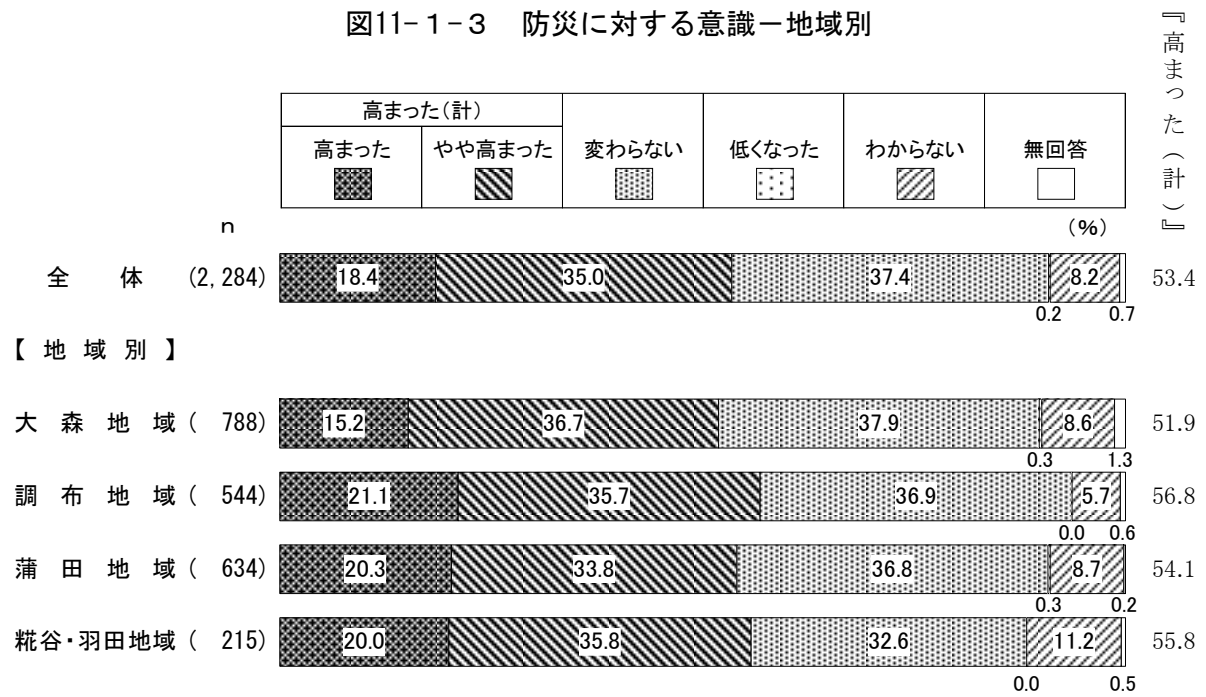
図11-1-2 防災に対する意識－性／年代別



性別でみると、『高まった（計）』は女性（56.1％）が男性（50.8％）より5.3ポイント高くなっている。

性／年代別でみると、『高まった（計）』は女性30代（62.5％）で6割を超えて高くなっている。「変わらない」は男性10・20代（45.6％）で4割半ばと高くなっている。（図11-1-2）

図11-1-3 防災に対する意識—地域別



地域別でみると、『高まった（計）』は調布地域（56.8%）で6割近くと高くなっている。

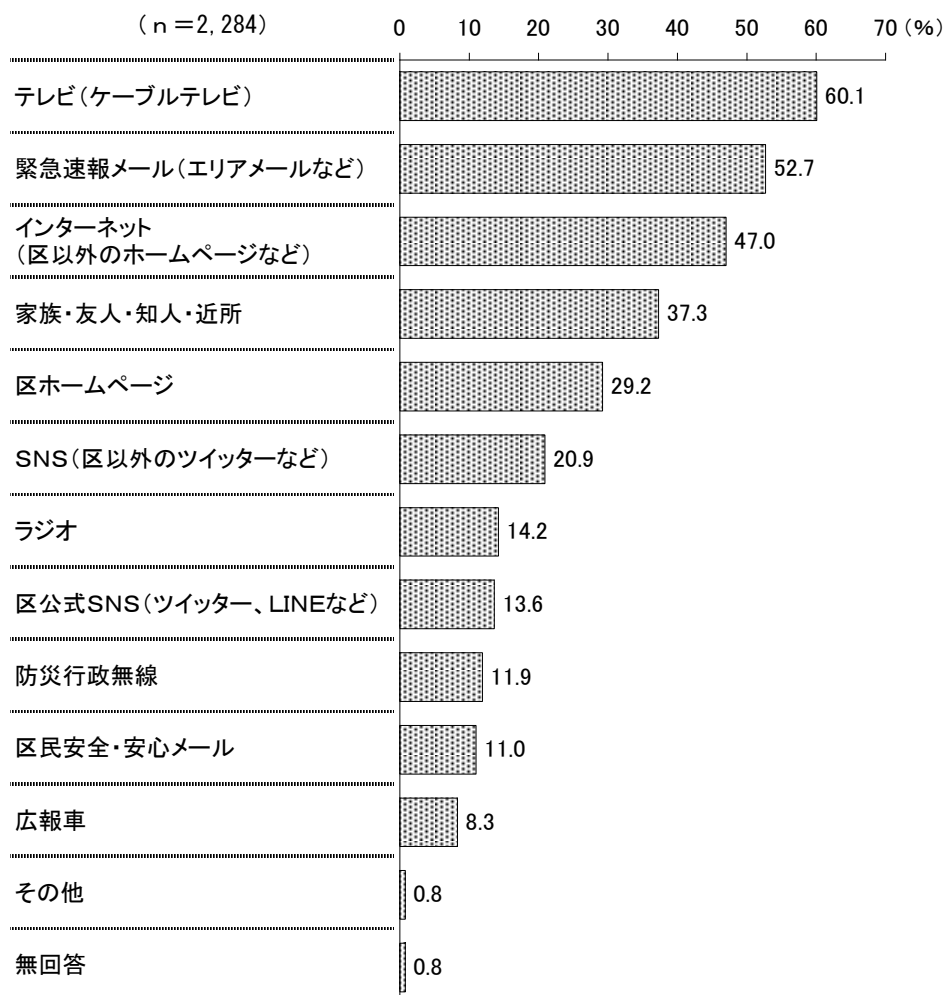
（図11-1-3）

(2) 災害情報の入手手段

◇「テレビ（ケーブルテレビ）」が6割

問19 あなたは、災害時における災害情報をどの手段で入手しますか。（〇はいくつでも）

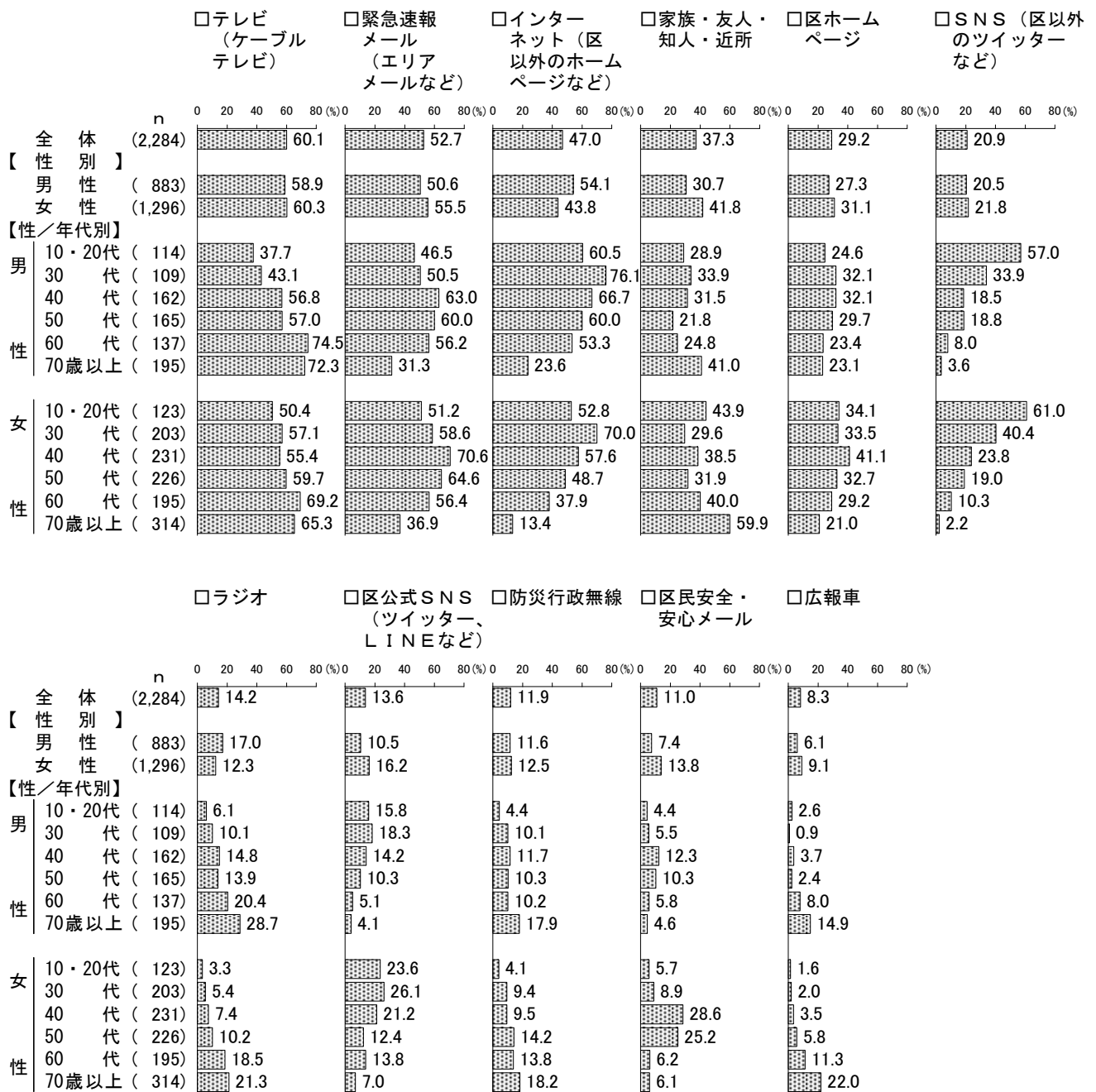
図11-2-1



災害情報の入手手段を聞いたところ、「テレビ（ケーブルテレビ）」（60.1%）が6割で最も高く、次いで「緊急速報メール（エリアメールなど）」（52.7%）、「インターネット（区以外のホームページなど）」（47.0%）、「家族・友人・知人・近所」（37.3%）などの順になっている。

「その他」への回答として、「職場」、「町会・自治会」などがあげられている。（図11-2-1）

図11-2-2 災害情報の入手手段－性／年代別



性別でみると、「家族・友人・知人・近所」は女性（41.8％）が男性（30.7％）より11.1ポイント高くなっている。一方、「インターネット（区以外のホームページなど）」は男性（54.1％）が女性（43.8％）より10.3ポイント高くなっている。

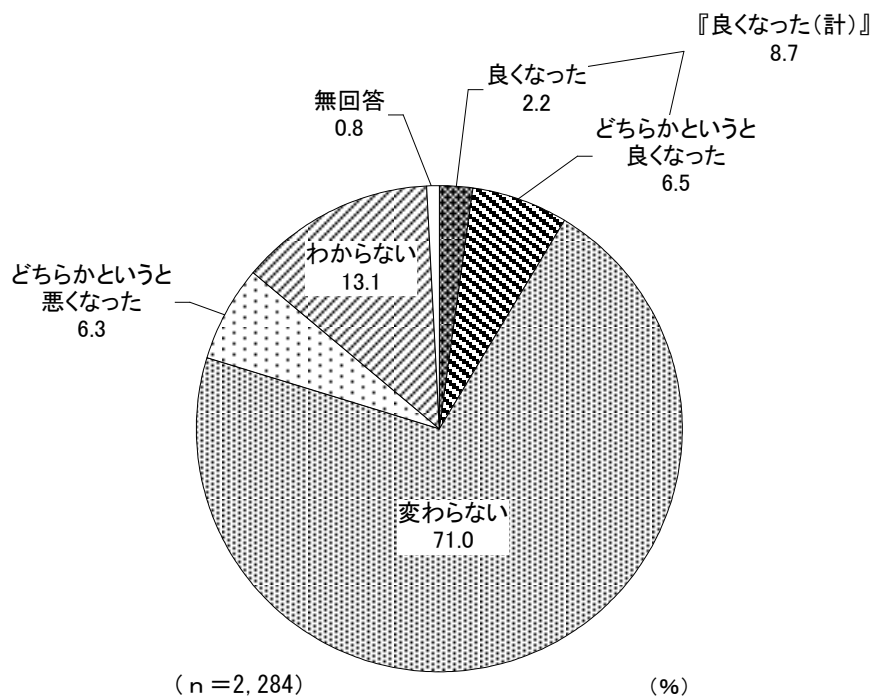
性／年代別でみると、「テレビ（ケーブルテレビ）」は男性60代（74.5％）と男性70歳以上（72.3％）で7割台と高くなっている。「緊急速報メール（エリアメールなど）」は女性40代（70.6％）で約7割と高くなっている。「SNS（区以外のツイッターなど）」は男性10・20代（57.0％）で6割近く、女性10・20代（61.0％）で6割を超えて高くなっている。（図11-2-2）

(3) 住んでいるまちの治安の変化

◇「変わらない」が7割を超える

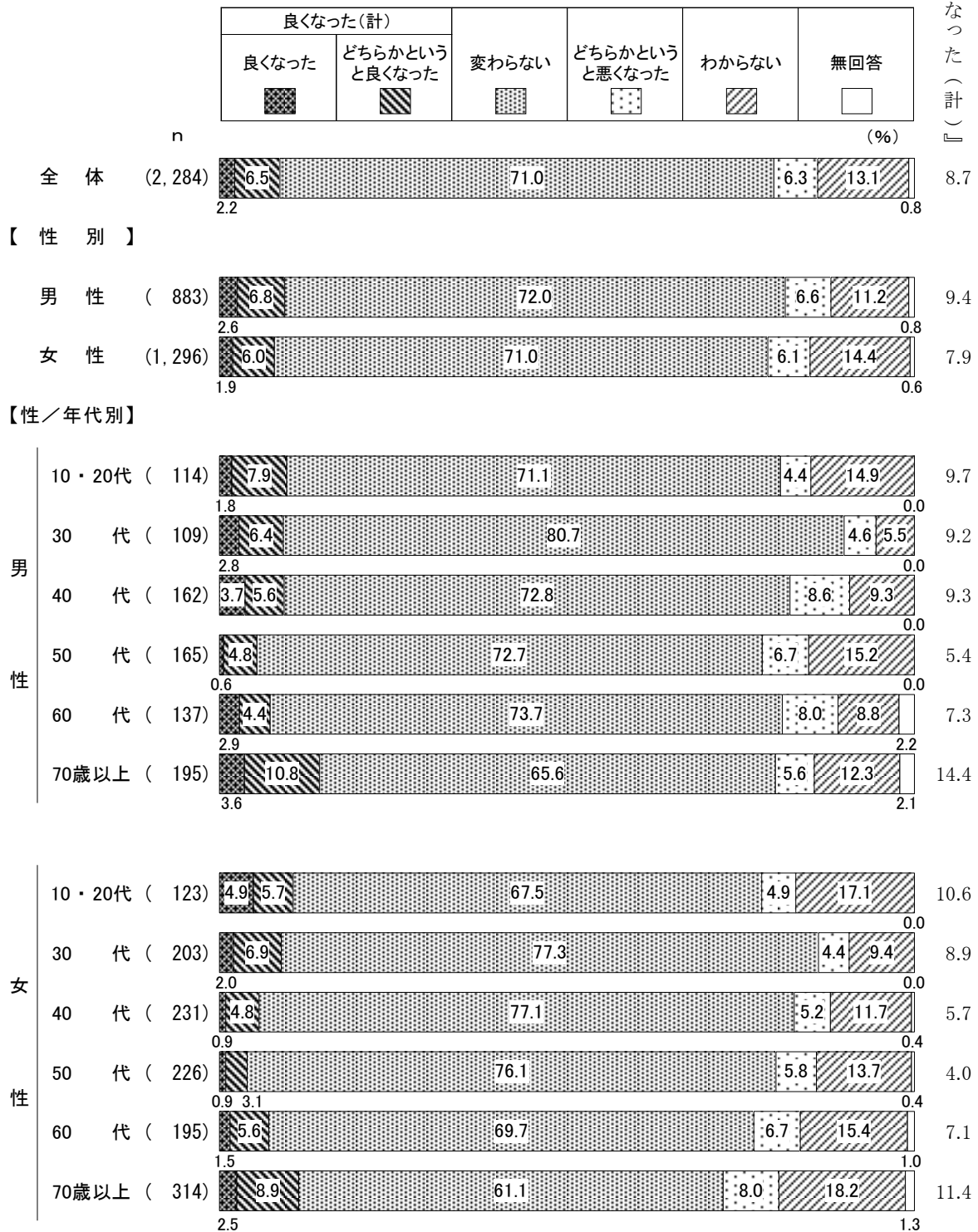
問20 あなたは、1年前に比べて現在住んでいるまちの治安はどのように変化したと感じていますか。(○は1つだけ)

図11-3-1



1年前に比べて現在住んでいるまちの治安はどのように変化したと感じているか聞いたところ、「良くなった」(2.2%)と「どちらかというと良くなった」(6.5%)を合わせた『良くなった(計)』(8.7%)は1割未満となっている。一方、「変わらない」(71.0%)は7割を超え、「どちらかというと悪くなった」(6.3%)は1割未満となっている。(図11-3-1)

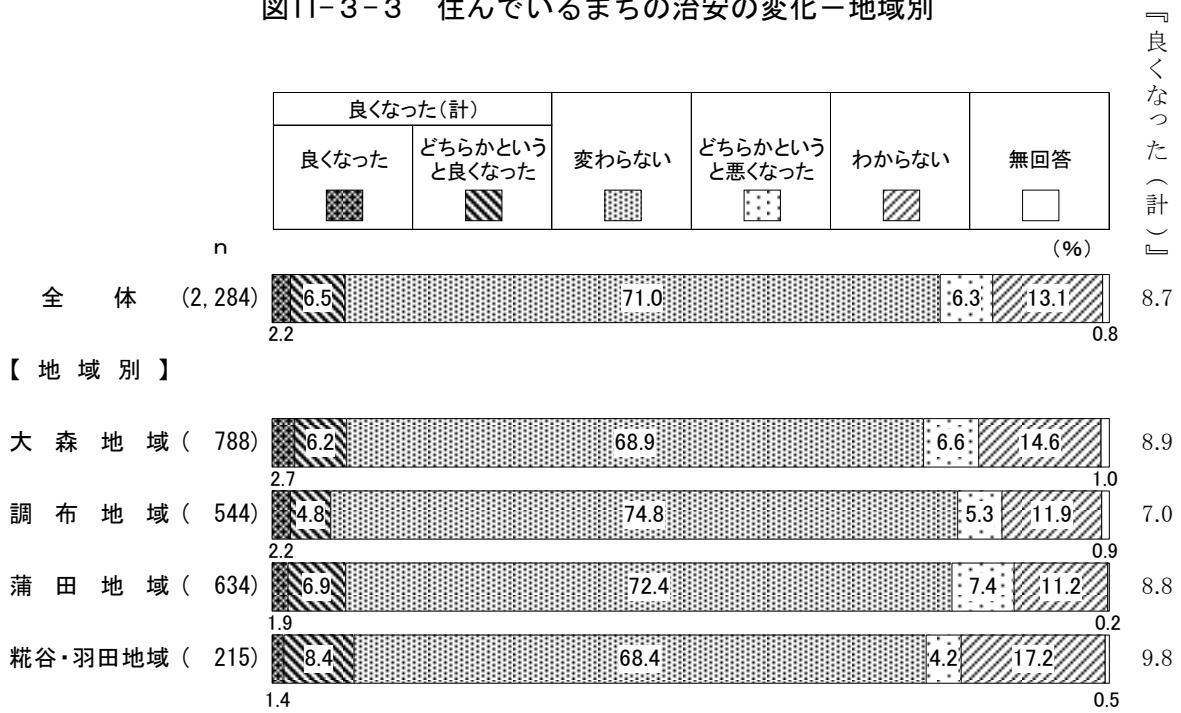
図11-3-2 住んでいるまちの治安の変化－性／年代別



性別でみると、大きな違いはみられない。

性／年代別でみると、『良くなった（計）』は男性70歳以上（14.4％）で1割半ばとなっている。
「変わらない」は男性30代（80.7％）で約8割と高くなっている。（図11-3-2）

図11-3-3 住んでいるまちの治安の変化―地域別



地域別でみると、「変わらない」は調布地域（74.8％）で7割半ばと高くなっている。

（図11-3-3）

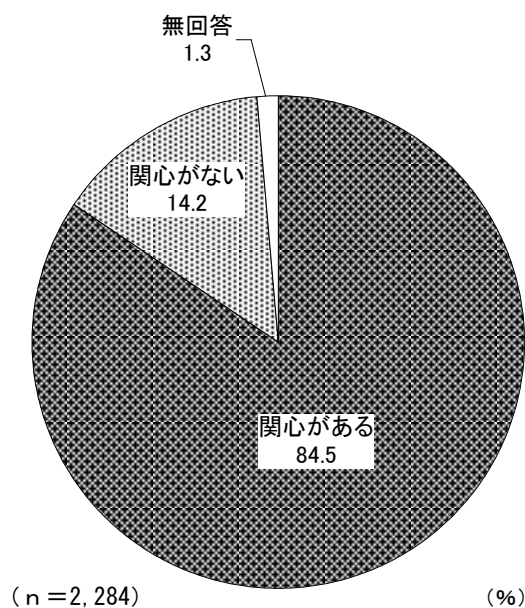
12. 持続可能な地球環境

(1) 地球温暖化防止への関心度

◇「関心がある」が8割半ば

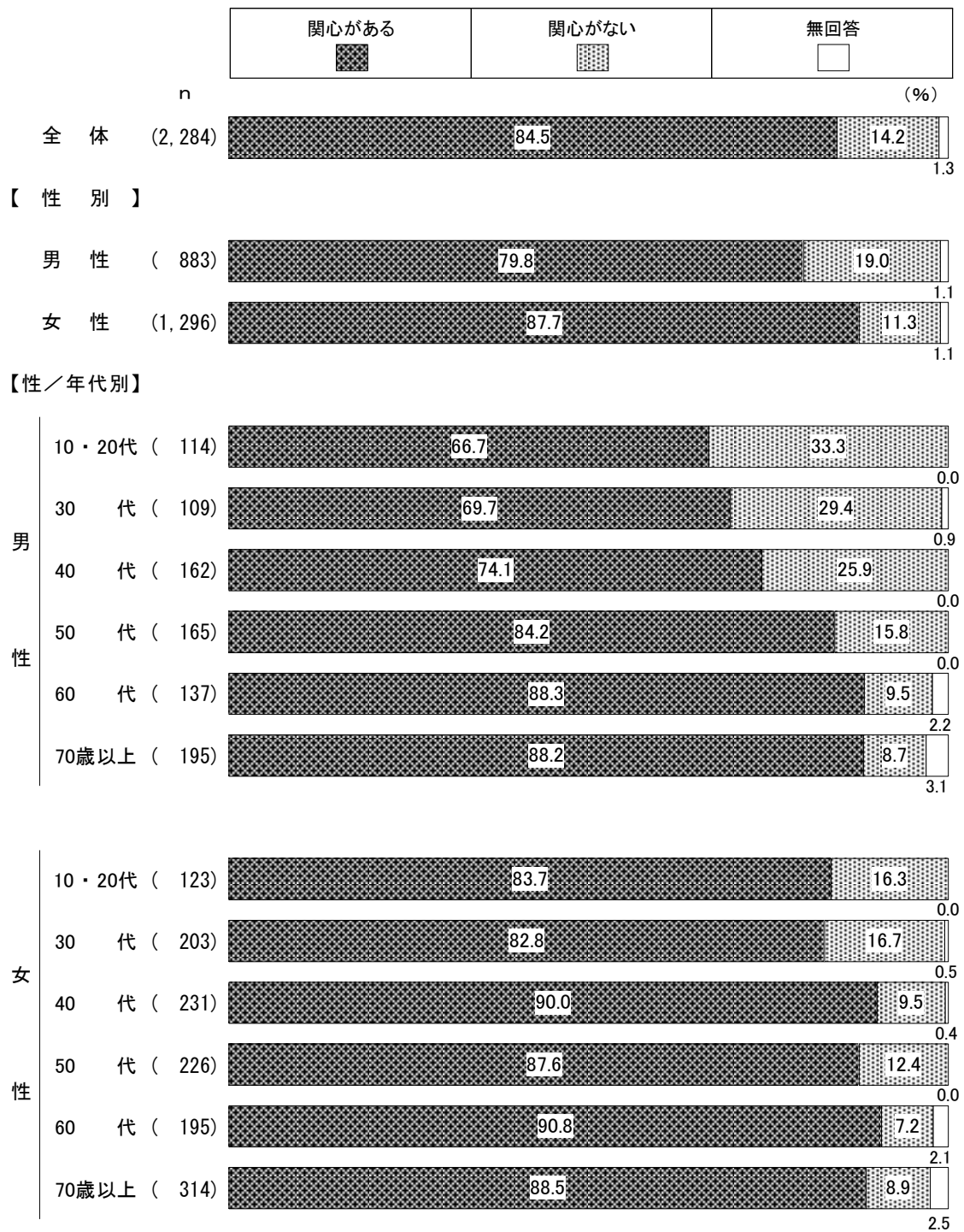
問21 あなたは、地球温暖化防止に関心がありますか。(○は1つだけ)

図12-1-1



地球温暖化防止に関心があるか聞いたところ、「関心がある」(84.5%)が8割半ば、「関心がない」(14.2%)は1割半ばとなっている。(図12-1-1)

図12-1-2 地球温暖化防止への関心度－性／年代別

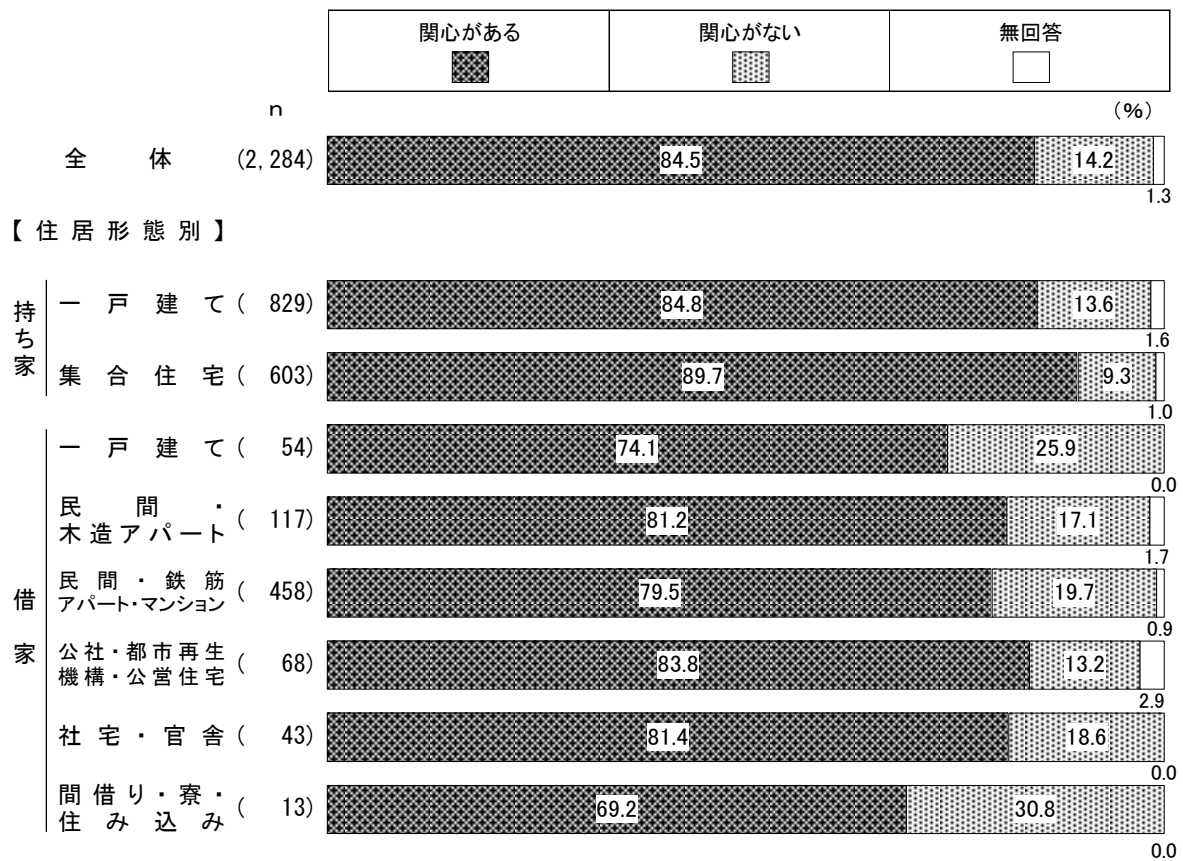


性別でみると、「関心がある」は女性（87.7%）が男性（79.8%）より7.9ポイント高くなっている。

性／年代別でみると、「関心がある」は女性40代（90.0%）と女性60代（90.8%）で約9割と高くなっている。一方、「関心がない」は男性10・20代（33.3%）で3割を超えて高くなっている。

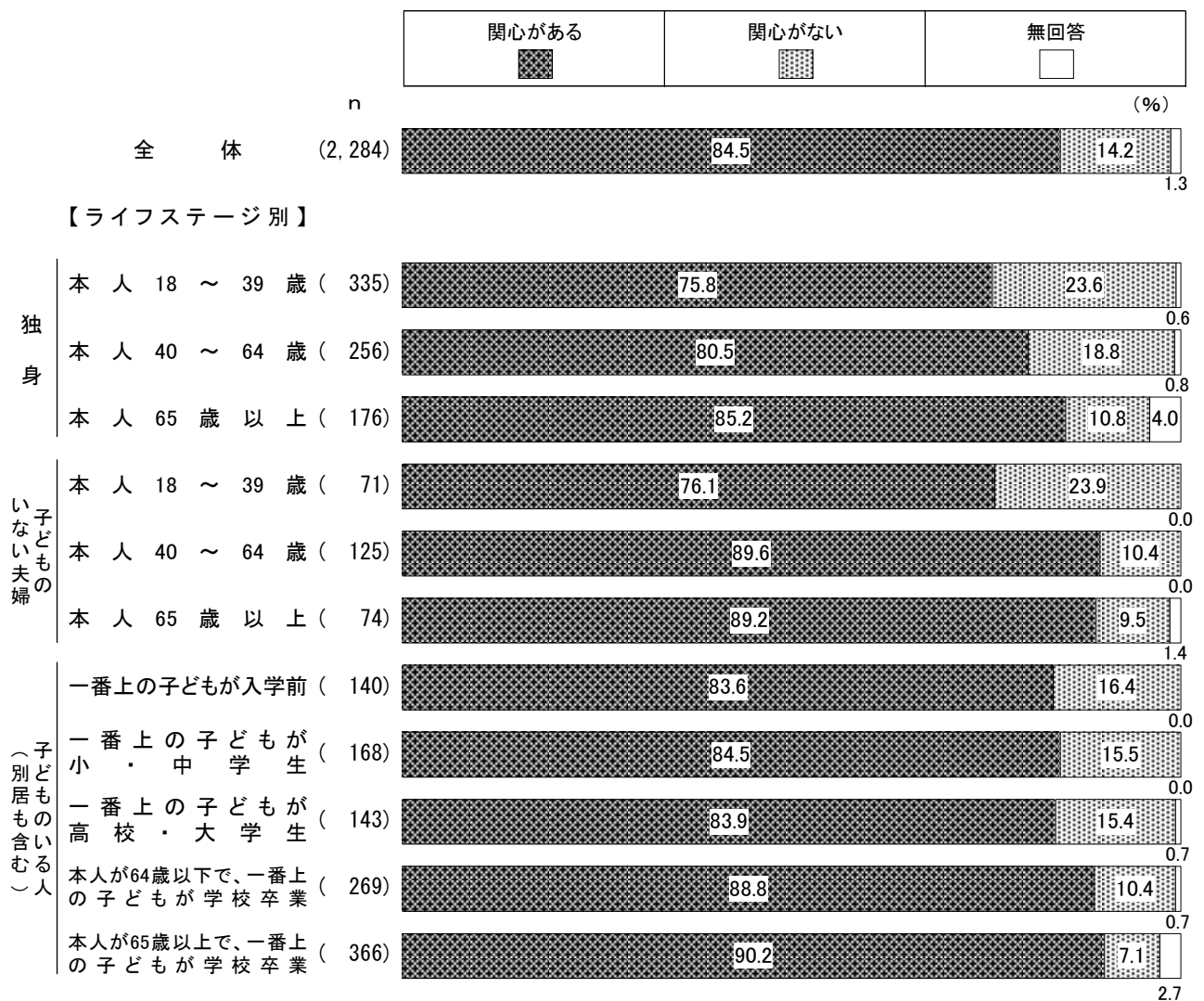
（図12-1-2）

図12-1-3 地球温暖化防止への関心度－住居形態別



住居形態別でみると、「関心がある」は“持ち家・集合住宅”（89.7%）で9割と高くなっている。
（図12-1-3）

図12-1-4 地球温暖化防止への関心度－ライフステージ別



ライフステージ別でみると、「関心がある」は“本人が65歳以上で、一番上の子どもが学校卒業”（90.2%）、“本人が40～64歳で、子どものいない夫婦”（89.6%）、“本人が65歳以上で、子どものいない夫婦”（89.2%）で約9割と高くなっている。一方、「関心がない」は“本人が18～39歳で、子どものいない夫婦”（23.9%）と“本人が18～39歳で、独身”（23.6%）で2割を超えて高くなっている。（図12-1-4）

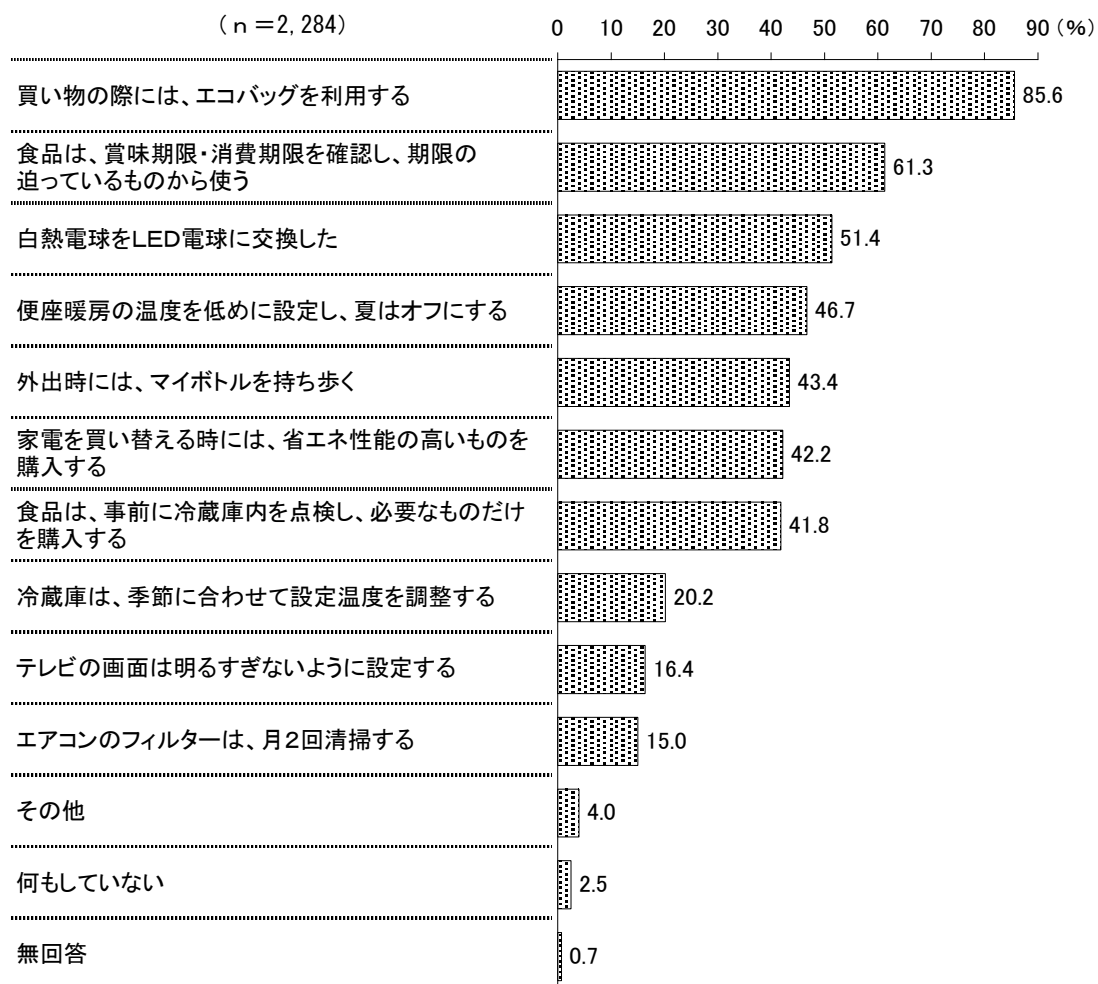
(2) 家庭で取り組んでいる省エネ行動

◇「買い物の際には、エコバッグを利用する」が8割半ば

問22 あなたのご家庭で実践している省エネ等の環境配慮行動を教えてください。

(○はいくつでも)

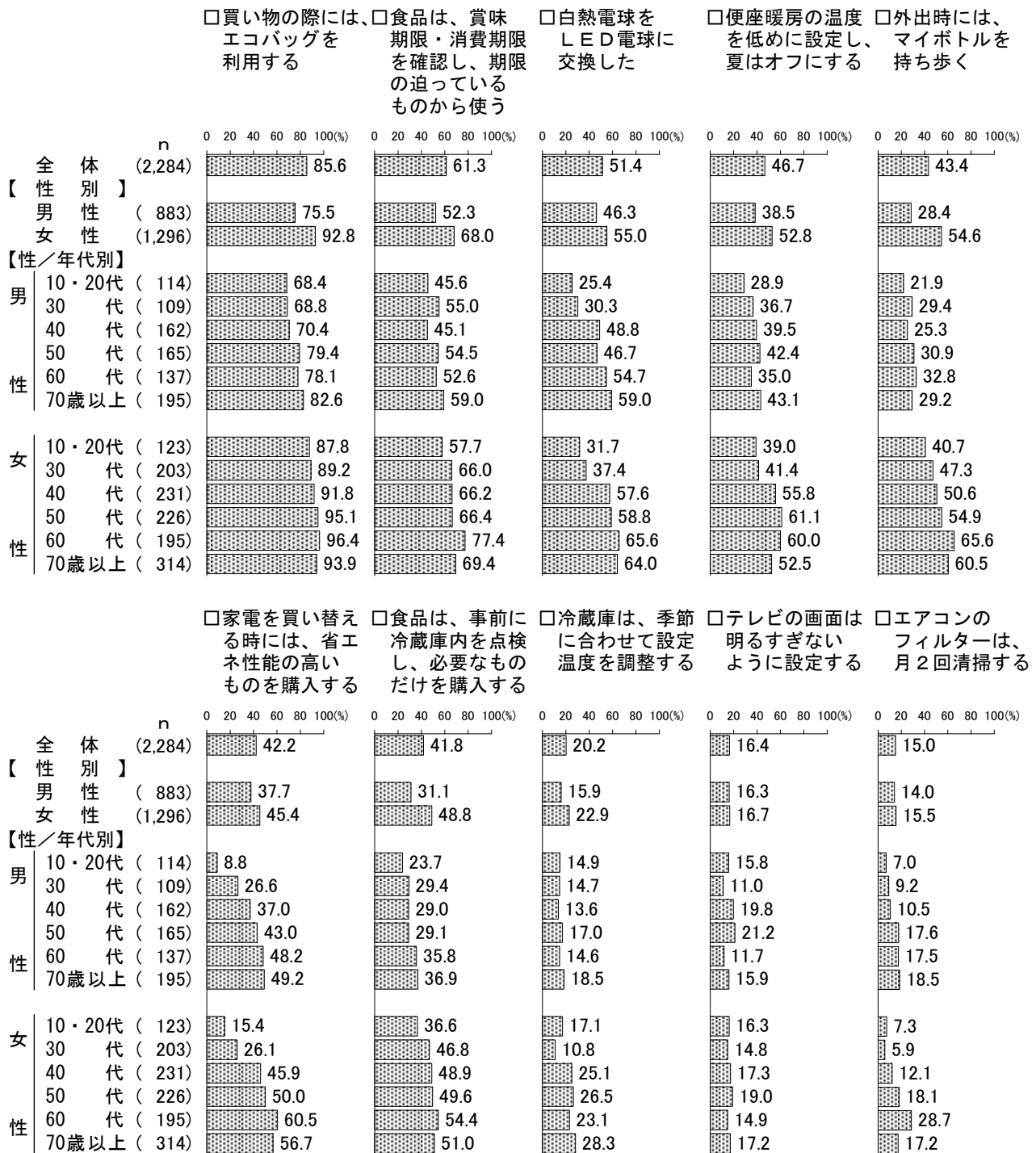
図12-2-1



家庭で取り組んでいる省エネ行動を聞いたところ、「買い物の際には、エコバッグを利用する」(85.6%)が8割半ばで最も高く、次いで「食品は、賞味期限・消費期限を確認し、期限の迫っているものから使う」(61.3%)、「白熱電球をLED電球に交換した」(51.4%)、「便座暖房の温度を低めに設定し、夏はオフにする」(46.7%)などの順になっている。

「その他」への回答として、「エアコンの温度設定」、「電気をこまめに消す」、「ゴミの分別」、「車をなるべく使わない」などがあげられている。(図12-2-1)

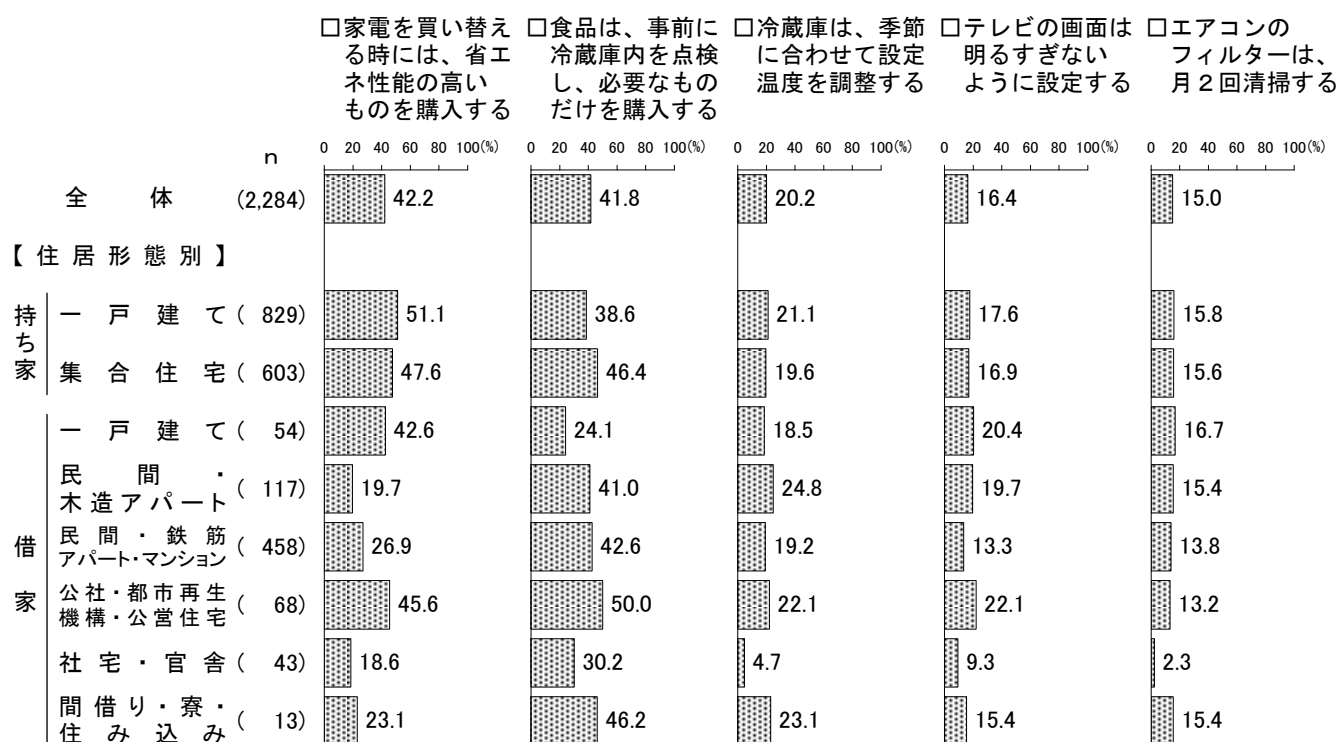
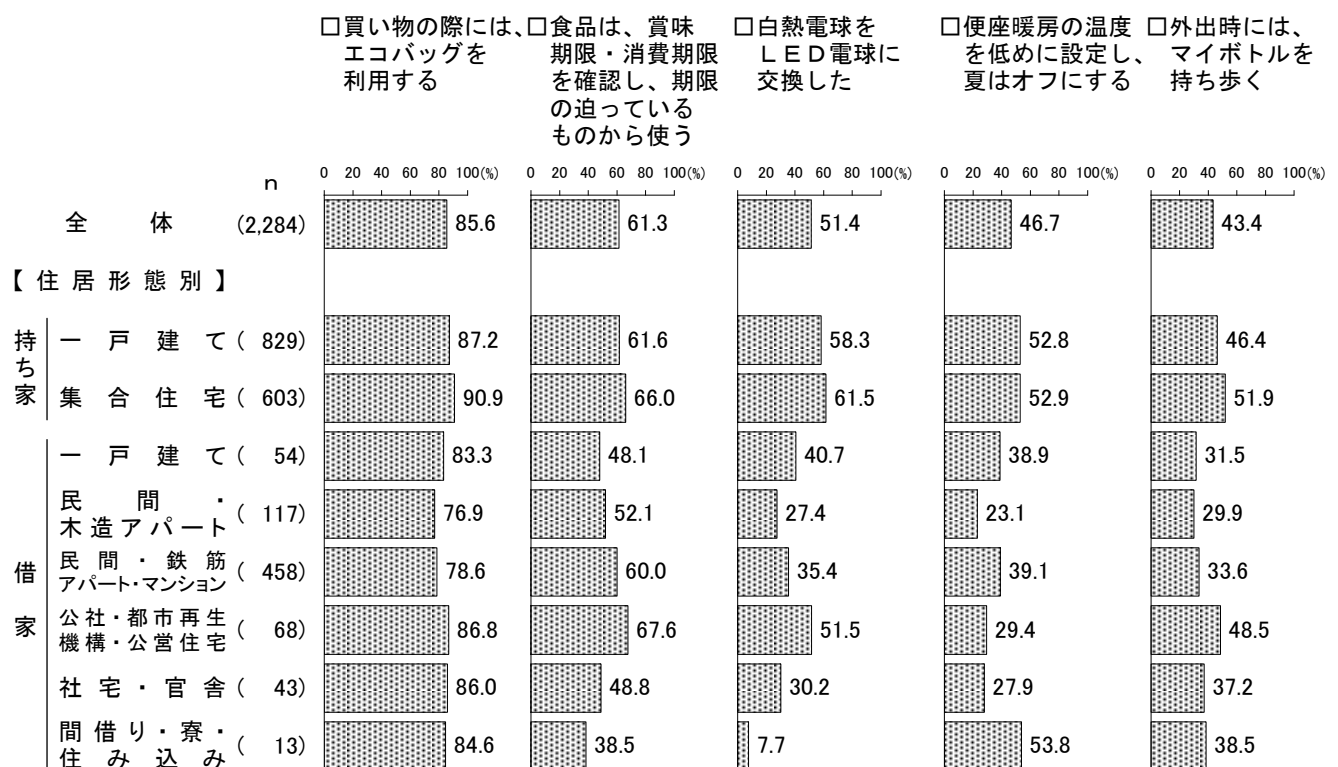
図12-2-2 家庭で取り組んでいる省エネ行動一性／年代別（上位10項目）



上位10項目を性別でみると、全ての項目で女性が男性を上回っており、「外出時には、マイボトルを持ち歩く」は女性（54.6%）が男性（28.4%）より26.2ポイント、「食品は、事前に冷蔵庫内を点検し、必要なものだけを購入する」は女性（48.8%）が男性（31.1%）より17.7ポイント、それぞれ高くなっている。

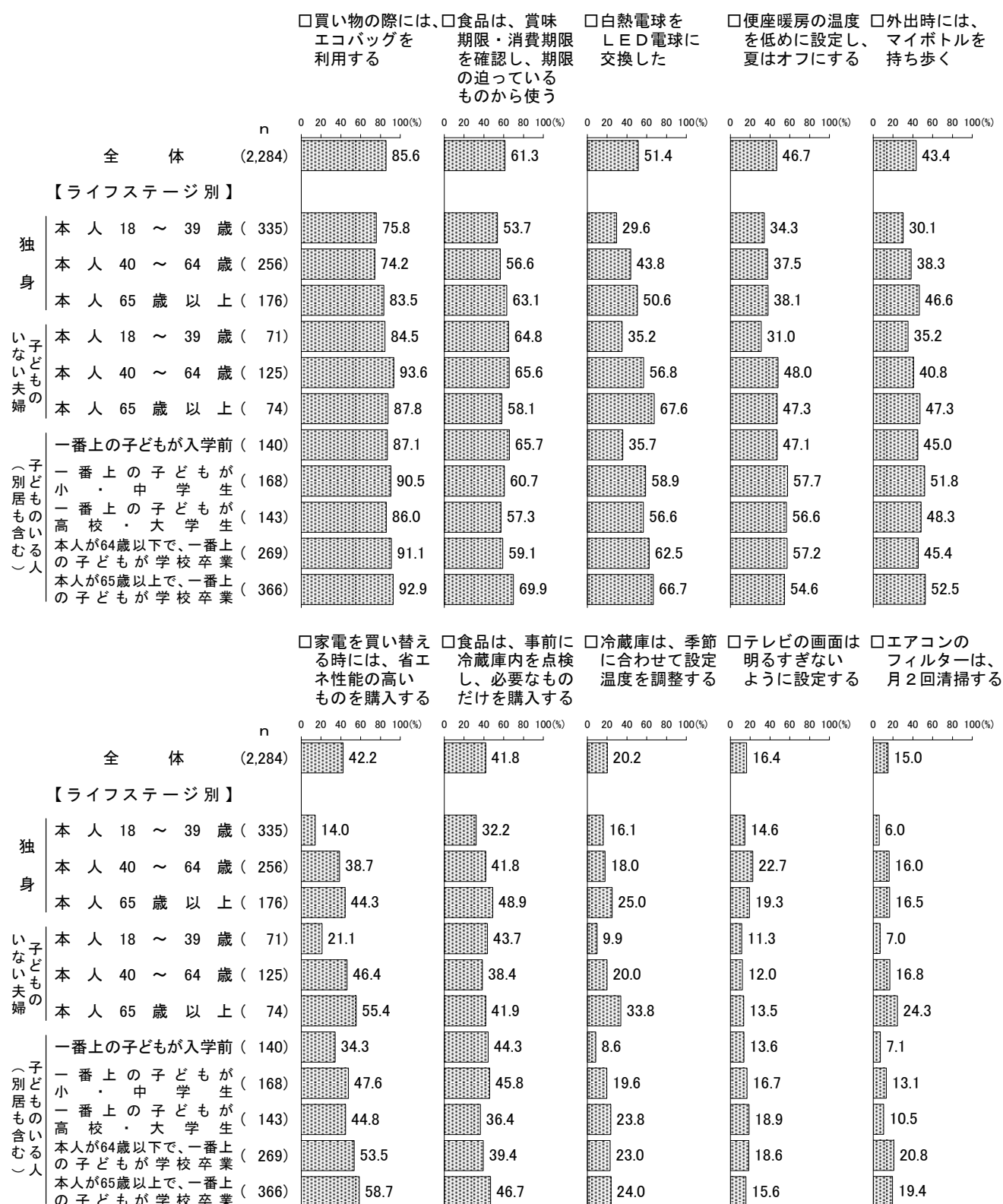
性／年代別でみると、「買い物の際には、エコバッグを利用する」は女性50代（95.1%）と女性60代（96.4%）で9割半ばと高くなっている。「食品は、賞味期限・消費期限を確認し、期限の迫っているものから使う」は女性60代（77.4%）で8割近くと高くなっている。（図12-2-2）

図12-2-3 家庭で取り組んでいる省エネ行動－住居形態別（上位10項目）



上位10項目を住居形態別でみると、「買い物の際には、エコバッグを利用する」は「持ち家・集合住宅」（90.9％）で約9割と高くなっている。「食品は、賞味期限・消費期限を確認し、期限の迫っているものから使う」は「借家・公社・都市再生機構（旧公団）・公営住宅」（67.6％）で7割近くと高くなっている。「白熱電球をLED電球に交換した」は「持ち家・集合住宅」（61.5％）で6割を超えて高くなっている。（図12-2-3）

図12-2-4 家庭で取り組んでいる省エネ行動－ライフステージ別（上位10項目）



上位10項目をライフステージ別でみると、「食品は、賞味期限・消費期限を確認し、期限の迫っているものから使う」は“本人が65歳以上で、一番上の子どもが学校卒業”（69.9%）で7割と高くなっている。「白熱電球をLED電球に交換した」は“本人が65歳以上で、子どものいない夫婦”（67.6%）と“本人が65歳以上で、一番上の子どもが学校卒業”（66.7%）で7割近くと高くなっている。（図12-2-4）

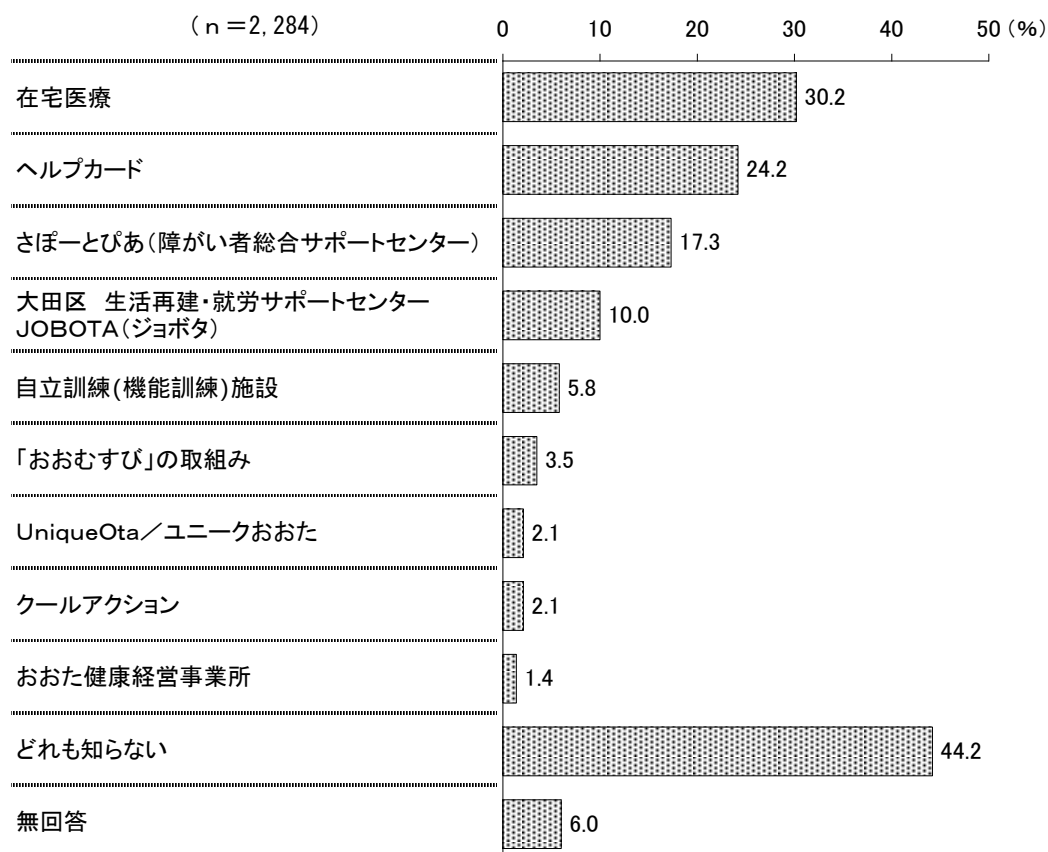
13. 区政への関心と要望

(1) 大田区等の制度・施策・施設の認知度

◇「在宅医療」が3割

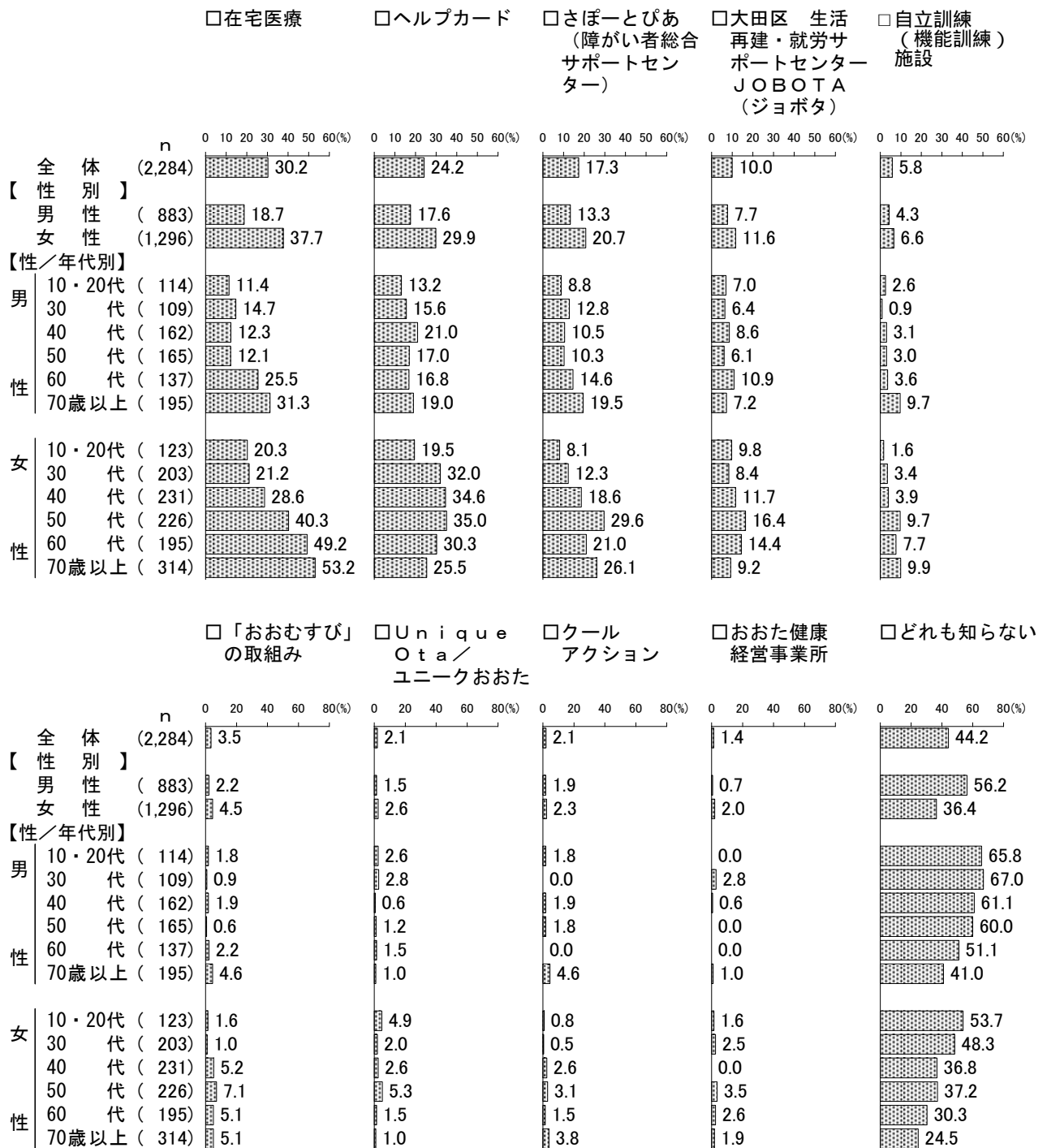
問23 以下の大田区等の制度、施策、施設のうち、あなたをご存知のものをすべて挙げてください。(○はいくつでも)

図13-1-1



区等の制度、施策、施設について知っているものを聞いたところ、「在宅医療」(30.2%)が3割で最も高く、次いで「ヘルプカード」(24.2%)、「さぽーとぴあ(障がい者総合サポートセンター)」(17.3%)、「大田区 生活再建・就労サポートセンター JOBOTA(ジョボタ)」(10.0%)などの順になっている。一方、「どれも知らない」(44.2%)は4割半ばとなっている。(図13-1-1)

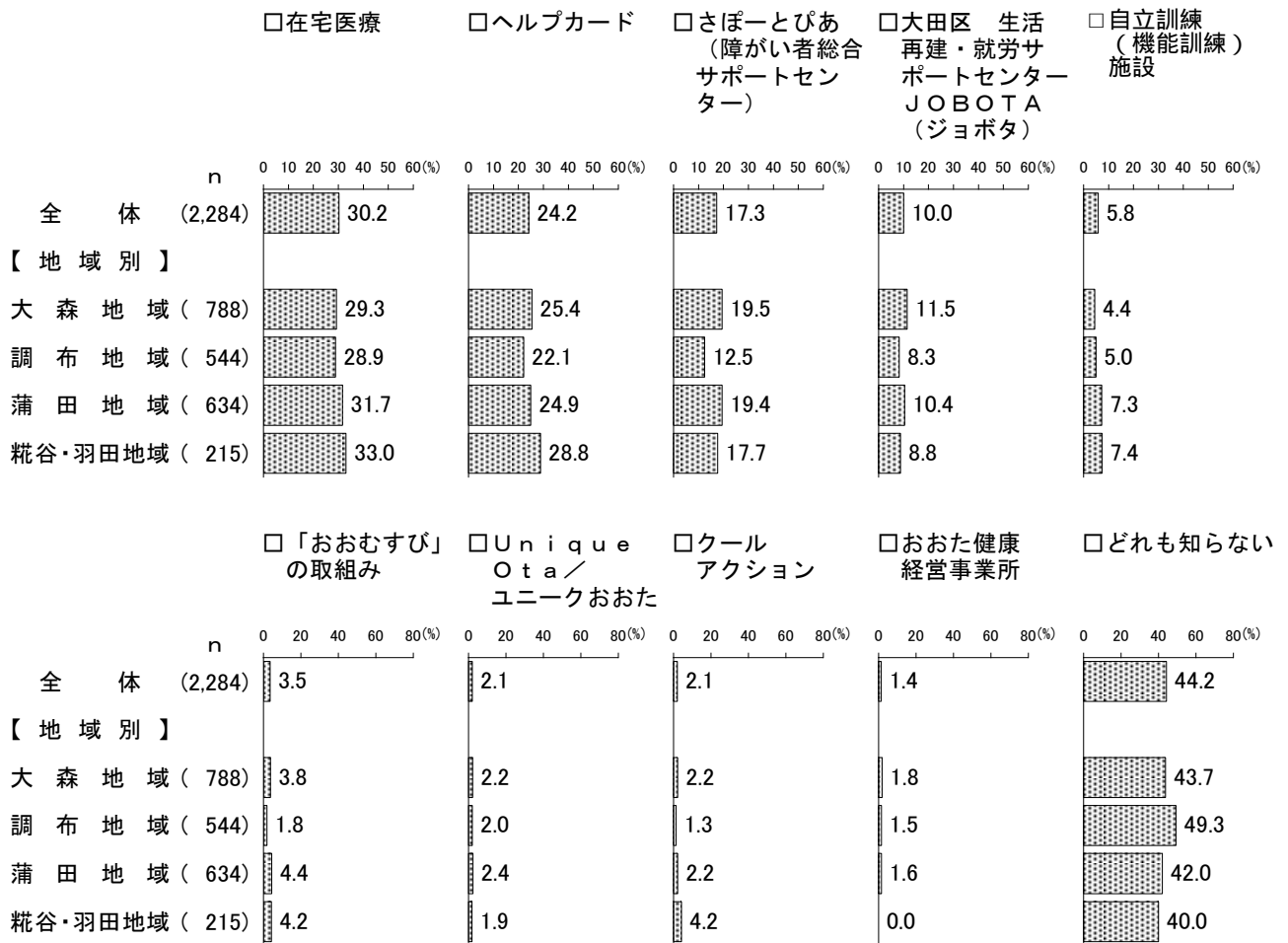
図13-1-2 大田区等の制度・施策・施設の認知度－性／年代別



性別でみると、全ての項目で女性が男性を上回っており、「在宅医療」は女性（37.7%）が男性（18.7%）より19.0ポイント、「ヘルプカード」は女性（29.9%）が男性（17.6%）より12.3ポイント、それぞれ高くなっている。

性／年代別でみると、「在宅医療」は女性では年代が高くなるほど割合が高く、女性70歳以上（53.2%）で5割を超えている。「ヘルプカード」は女性40代（34.6%）と女性50代（35.0%）で3割半ばと高くなっている。「さぼーとぴあ（障がい者総合サポートセンター）」は女性50代（29.6%）で3割と高くなっている。（図13-1-2）

図13-1-3 大田区等の制度・施策・施設の認知度―地域別



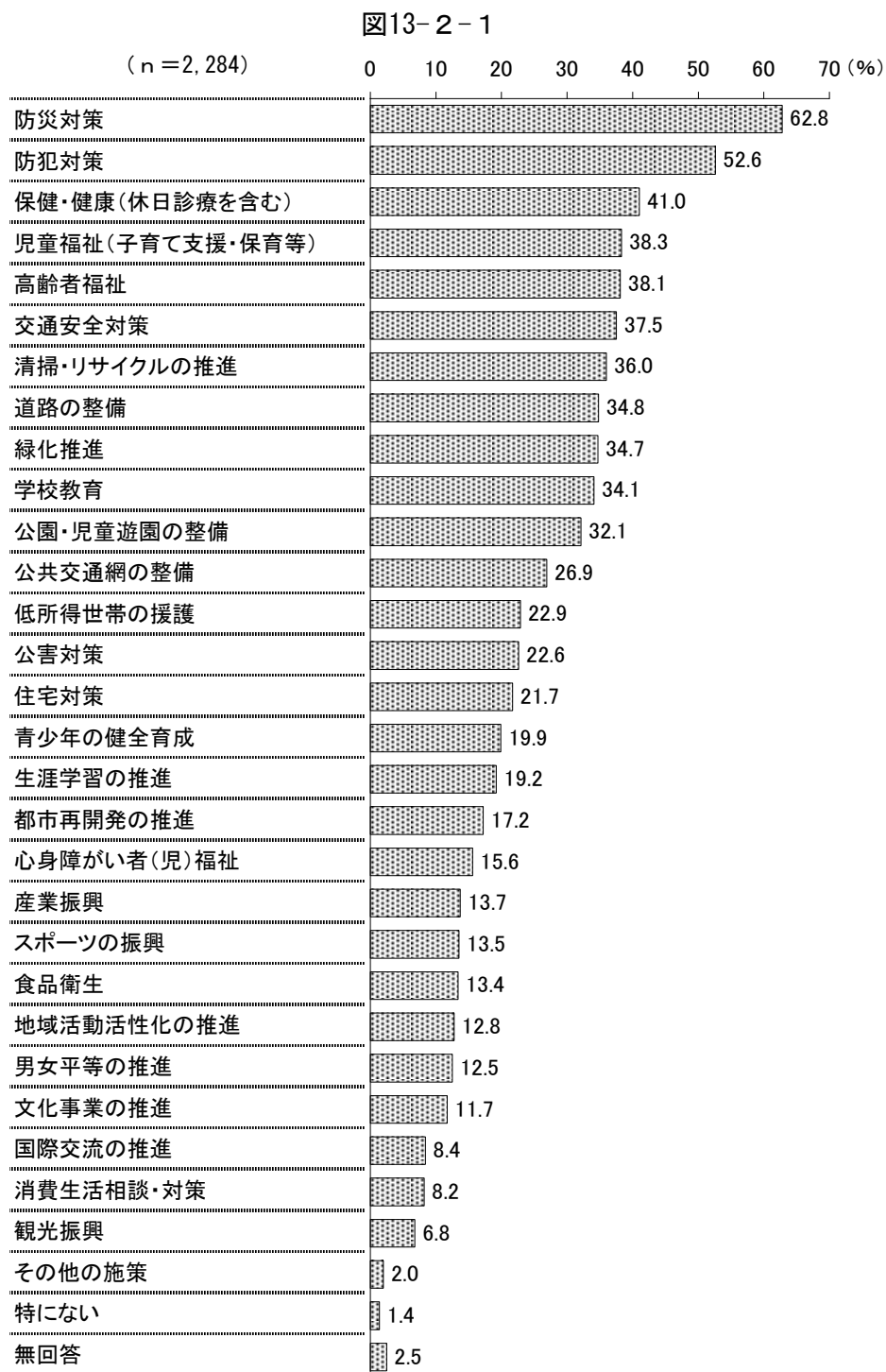
地域別でみると、「在宅医療」は梶谷・羽田地域（33.0％）と蒲田地域（31.7％）で3割を超えて高くなっている。「ヘルプカード」は梶谷・羽田地域（28.8％）で3割近くと高くなっている。

（図13-1-3）

(2) 施策要望

◇「防災対策」が6割を超える

問24 大田区の施策の中で、特に何に力を入れてほしいと思いますか。(〇はいくつでも)



区の施策の中で、特に力を入れてほしいことを聞いたところ、「防災対策」(62.8%)が6割を超えて最も高く、次いで「防犯対策」(52.6%)、「保健・健康(休日診療を含む)」(41.0%)、「児童福祉(子育て支援・保育等)」(38.3%)、「高齢者福祉」(38.1%)などの順になっている。

「その他の施策」への回答として、「コロナ対策」、「SDGsの取組」などがあげられている。

(図13-2-1)

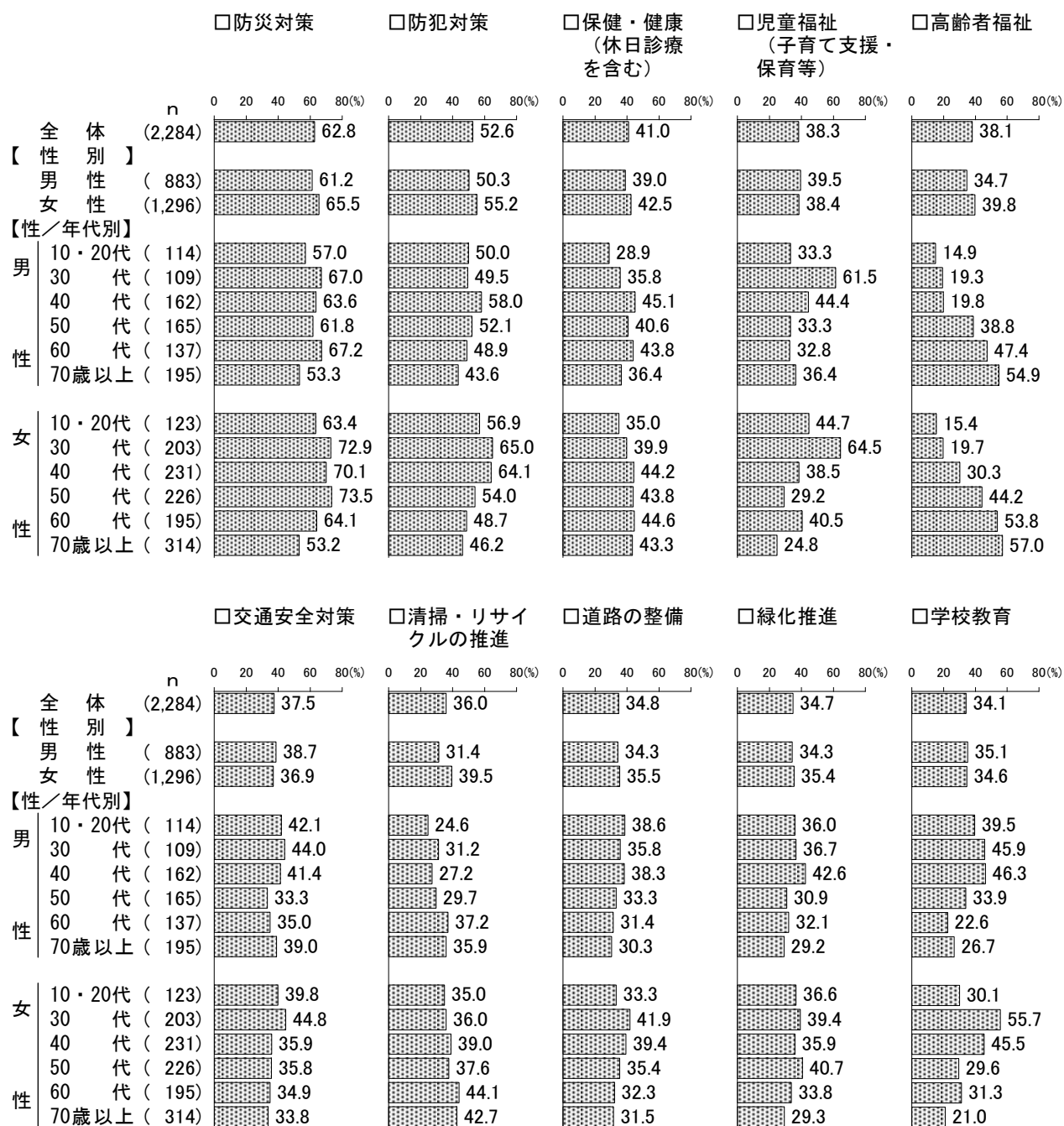
表13-2-1 施策要望一経年比較（上位10項目）

	令和3年	平成30年	平成29年	平成28年	平成27年
1位	防災対策 (62.8)	防災対策 (53.5)	防犯対策 (51.9)	防災対策 (54.7)	防災対策 (54.5)
2位	防犯対策 (52.6)	防犯対策 (49.7)	防災対策 (51.0)	防犯対策 (53.4)	防犯対策 (51.5)
3位	保健・健康(休日診療を含む) (41.0)	児童福祉(子育て支援・保育等) (38.6)	高齢者福祉 (37.9)	児童福祉(子育て支援・保育等) (42.6)	高齢者福祉 (43.4)
4位	児童福祉(子育て支援・保育等) (38.3)	高齢者福祉 (38.2)	児童福祉(子育て支援・保育等) (36.1)	高齢者福祉 (39.8)	児童福祉(子育て支援・保育等) (41.9)
5位	高齢者福祉 (38.1)	緑化推進 (30.5)	保健・健康(休日診療を含む) (34.6)	保健・健康(休日診療を含む) (34.1)	保健・健康(休日診療を含む) (38.3)
6位	交通安全対策 (37.5)	保健・健康(休日診療を含む) (30.4)	緑化推進 (31.7)	学校教育 (32.2)	緑化推進 (34.7)
7位	清掃・リサイクルの推進 (36.0)	学校教育 (29.1)	交通安全対策 (31.6)	交通安全対策 (29.3)	学校教育 (32.2)
8位	道路の整備 (34.8)	交通安全対策 (28.4)	公園・児童遊園の整備 (28.4)	緑化推進 (29.0)	清掃・リサイクルの推進 (29.3)
9位	緑化推進 (34.7)	公園・児童遊園の整備 (27.4)	道路の整備 (27.6)	清掃・リサイクルの推進 (29.0)	公園・児童遊園の整備 (28.3)
10位	学校教育 (34.1)	清掃・リサイクルの推進 (27.2)	清掃・リサイクルの推進 (27.5)	公園・児童遊園の整備 (28.8)	交通安全対策 (28.2)

※同ポイントの項目は選択肢の順に記載している。

上位10項目の経年比較をみると、前回調査に引き続き「防災対策」は1位、「防犯対策」は2位となっている。また、「保健・健康（休日診療を含む）」は前回調査では6位であったが、今回調査では3位となっている。（表13-2-1）

図13-2-2 施策要望一性／年代別（上位10項目）



上位10項目を性別で見ると、「清掃・リサイクルの推進」は女性（39.5%）が男性（31.4%）より8.1ポイント、「高齢者福祉」は女性（39.8%）が男性（34.7%）より5.1ポイント、それぞれ高くなっている。

性／年代別で見ると、「防災対策」は女性30代（72.9%）、女性40代（70.1%）、女性50代（73.5%）で7割台と高くなっている。「防犯対策」は女性30代（65.0%）と女性40代（64.1%）で6割半ばと高くなっている。「児童福祉（子育て支援・保育等）」は女性30代（64.5%）と男性30代（61.5%）で6割台と高くなっている。（図13-2-2）

表13-2-2 施策要望―地域別（上位5項目）

(%)

	n	1 位	2 位	3 位	4 位	5 位
全 体	2,284	防災対策 (62.8)	防犯対策 (52.6)	保健・健康(休日 診療を含む) (41.0)	児童福祉(子育て 支援・保育等) (38.3)	高齢者福祉 (38.1)
大 森 地 域	788	防災対策 (62.1)	防犯対策 (52.8)	保健・健康(休日 診療を含む) (40.0)	高齢者福祉 (37.9)	道路の整備 (36.9)
調 布 地 域	544	防災対策 (63.8)	防犯対策 (55.3)	保健・健康(休日 診療を含む) (43.8)	児童福祉(子育て 支援・保育等) (40.6)	清掃・リサイクル の推進 (39.5)
蒲 田 地 域	634	防災対策 (64.4)	防犯対策 (52.5)	児童福祉(子育て 支援・保育等) (40.7)	保健・健康(休日 診療を含む) (40.1)	高齢者福祉 (38.0)
糀谷・羽田地域	215	防災対策 (64.7)	防犯対策 (50.2)	保健・健康(休日 診療を含む) (42.8)	交通安全対策 (41.4)	高齢者福祉 (40.9)

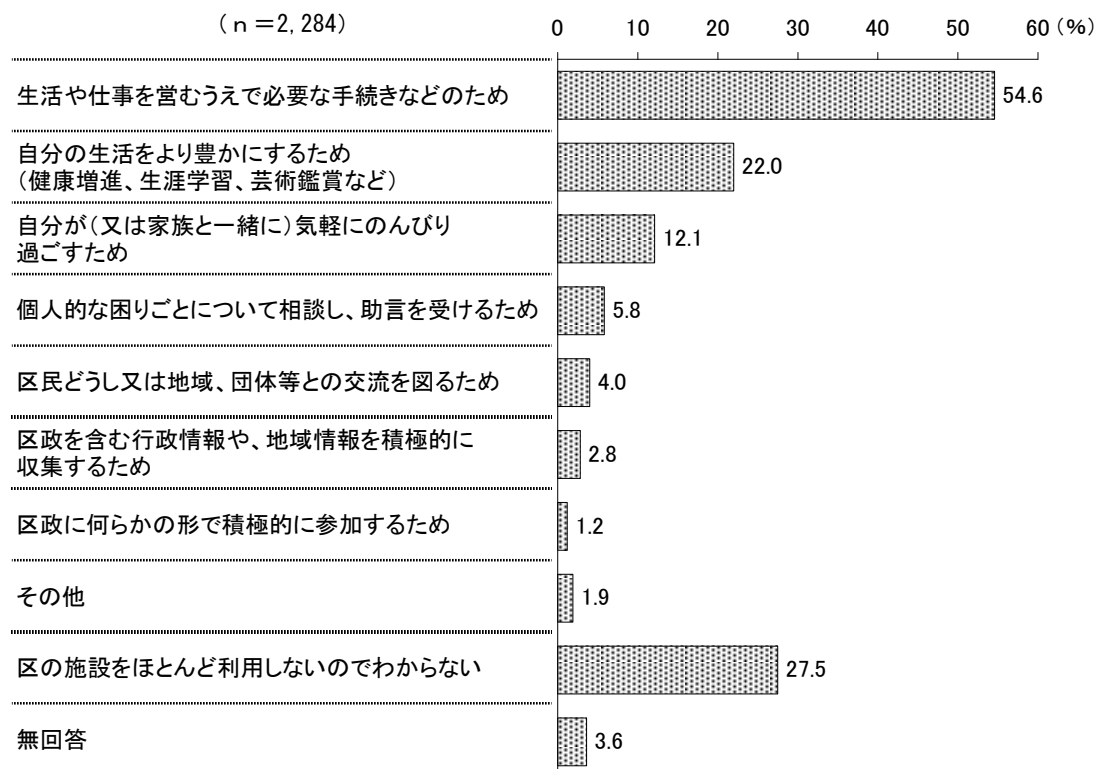
上位5項目を地域別でみると、全ての地域で「防災対策」が1位、「防犯対策」が2位となっている。「保健・健康（休日診療を含む）」は大森地域、調布地域、糀谷・羽田地域で3位、蒲田地域で4位となっている。「児童福祉（子育て支援・保育等）」は蒲田地域で3位、調布地域で4位となっている。（表13-2-2）

(3) 区内施設の利用目的

◇「生活や仕事を営むうえで必要な手続きなどのため」が5割半ば

問25 あなたは、どんな目的で大田区の施設を利用することが多いですか。(○は3つまで)

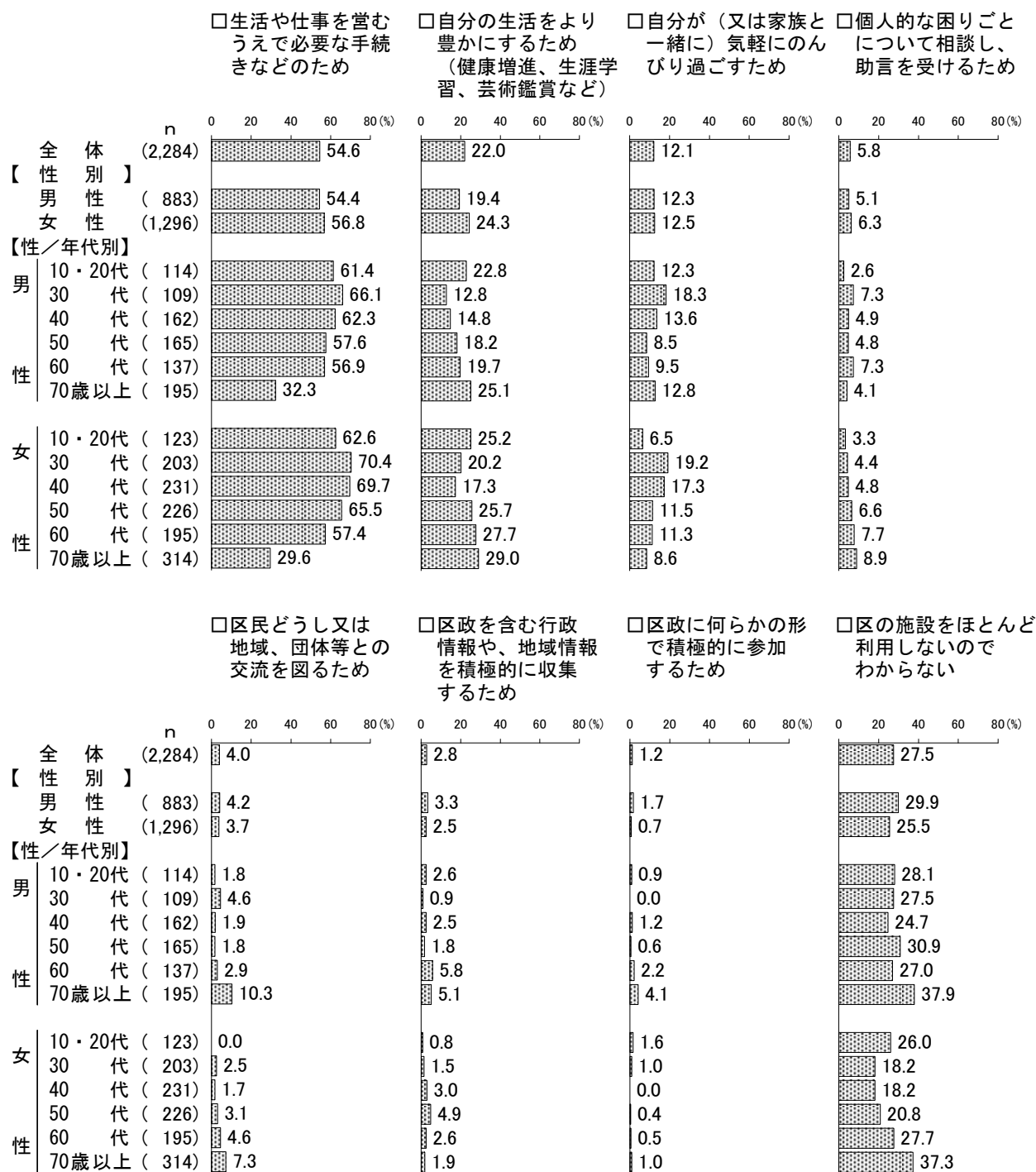
図13-3-1



どんな目的で大田区の施設を利用することが多いか聞いたところ、「生活や仕事を営むうえで必要な手続きなどのため」(54.6%)が5割半ばで最も高く、次いで「自分の生活をより豊かにするため(健康増進、生涯学習、芸術鑑賞など)」(22.0%)、「自分が(又は家族と一緒に)気軽にのんびり過ごすため」(12.1%)などの順になっている。一方、「区の施設をほとんど利用しないのでわからない」(27.5%)は3割近くとなっている。

「その他」への回答として、「図書館」、「スポーツ施設」などがあげられている。(図13-3-1)

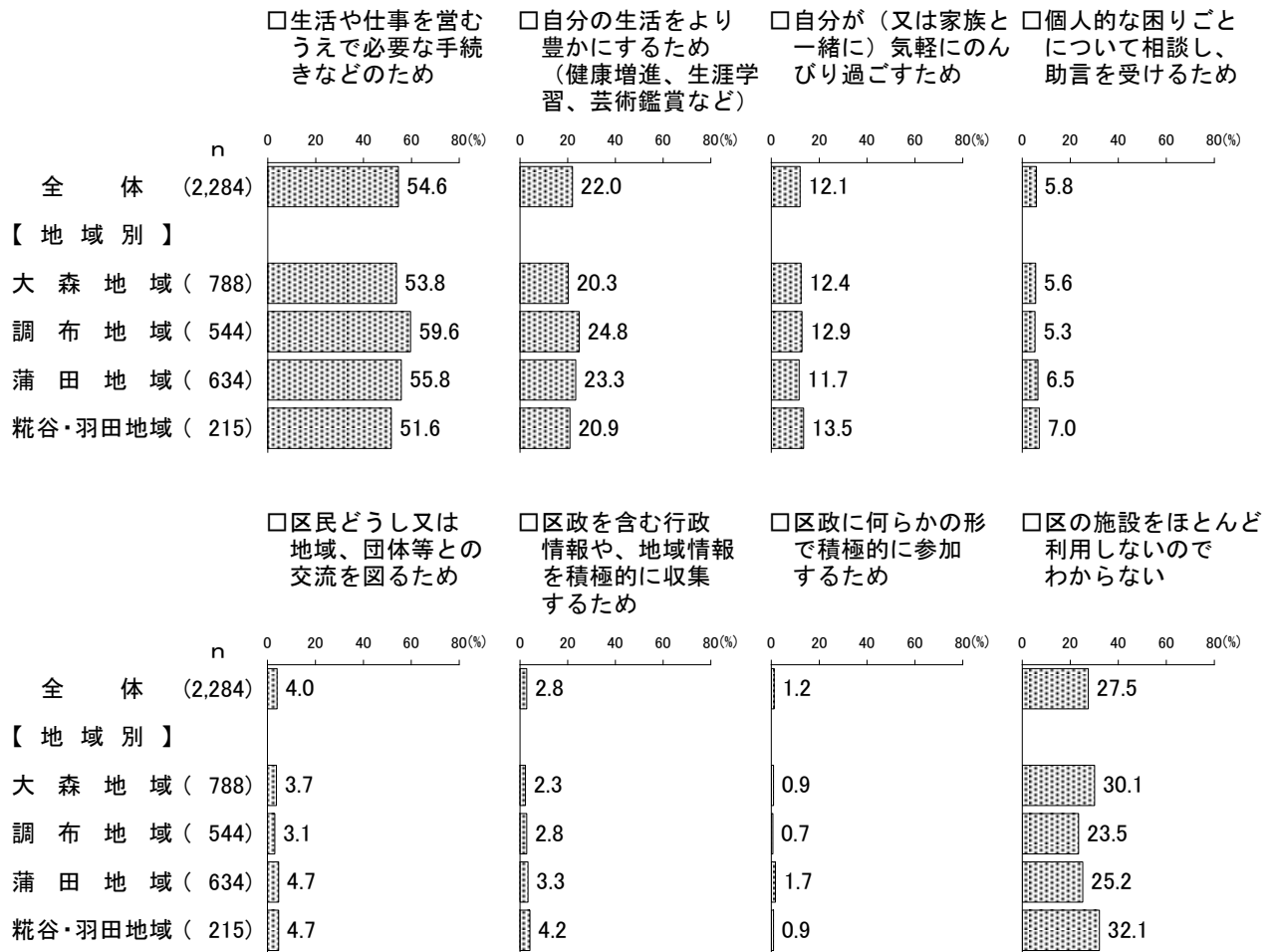
図13-3-2 区内施設の利用目的一性／年代別



性別でみると、「自分の生活をより豊かにするため」は女性(24.3%)が男性(19.4%)より4.9ポイント高くなっている。一方、「区の施設をほとんど利用しないのでわからない」は男性(29.9%)が女性(25.5%)より4.4ポイント高くなっている。

性／年代別でみると、「生活や仕事を営むうえで必要な手続きなどのため」は女性30代(70.4%)と女性40代(69.7%)で7割と高くなっている。「自分の生活をより豊かにするため」は女性70歳以上(29.0%)で約3割と高くなっている。(図13-3-2)

図13-3-3 区内施設の利用目的—地域別



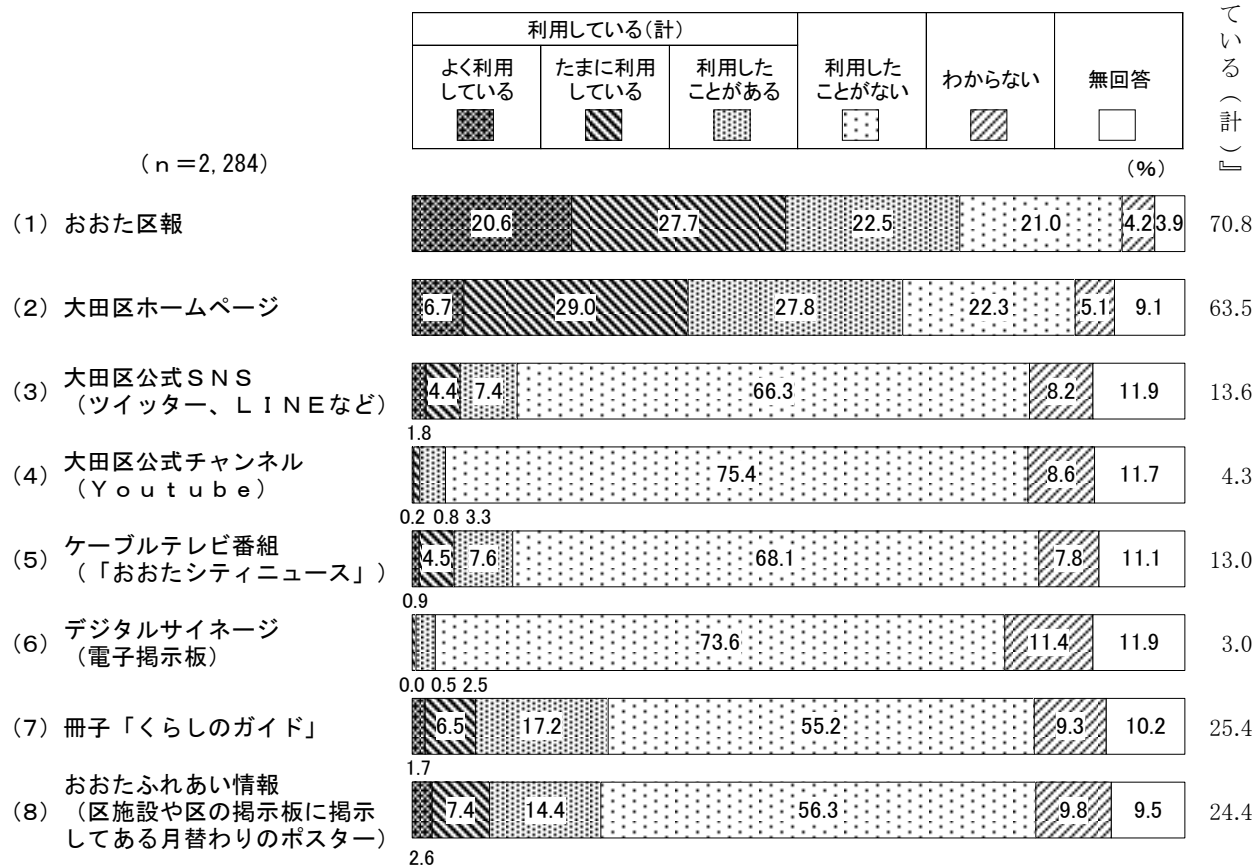
地域別でみると、「生活や仕事を営むうえで必要な手続きなどのため」は調布地域（59.6％）で6割と高くなっている。「自分の生活をより豊かにするため」は調布地域（24.8％）で2割半ばと高くなっている。（図13-3-3）

(4) 区の媒体の利用頻度

◇「よく利用している」、「たまに利用している」、「利用したことがある」を合わせた『利用している（計）』は“おおた区報”で約7割

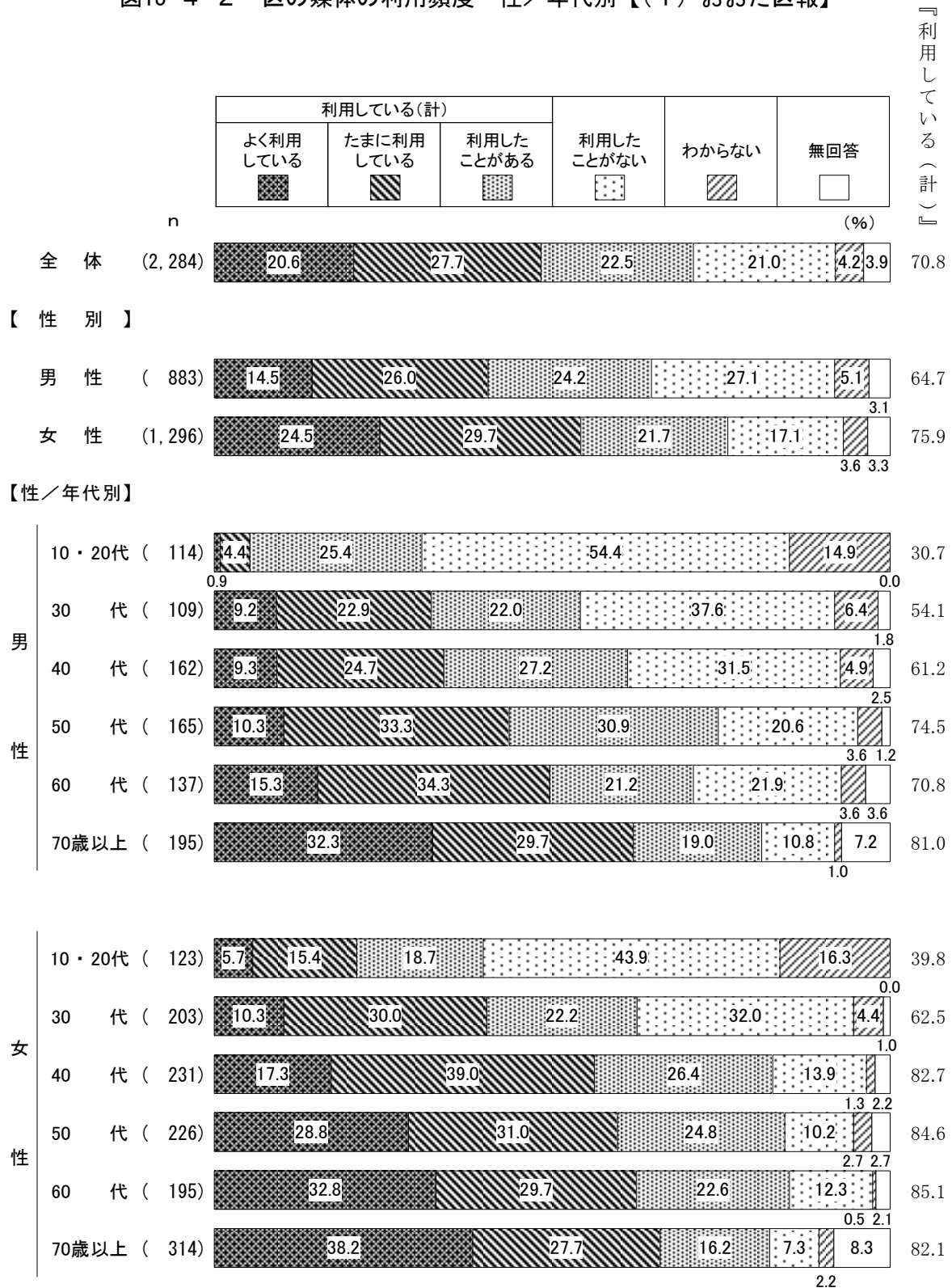
問26 あなたは区政に関する情報を知りたいとき、それぞれの媒体をどの程度利用して（見て）いますか。（〇はそれぞれ1つ）

図13-4-1



区政に関する情報を知りたいとき、それぞれの媒体をどの程度利用しているか聞いたところ、「よく利用している」、「たまに利用している」、「利用したことがある」を合わせた『利用している（計）』は“おおた区報”（70.8%）で約7割、“大田区ホームページ”（63.5%）で6割を超えて高くなっている。（図13-4-1）

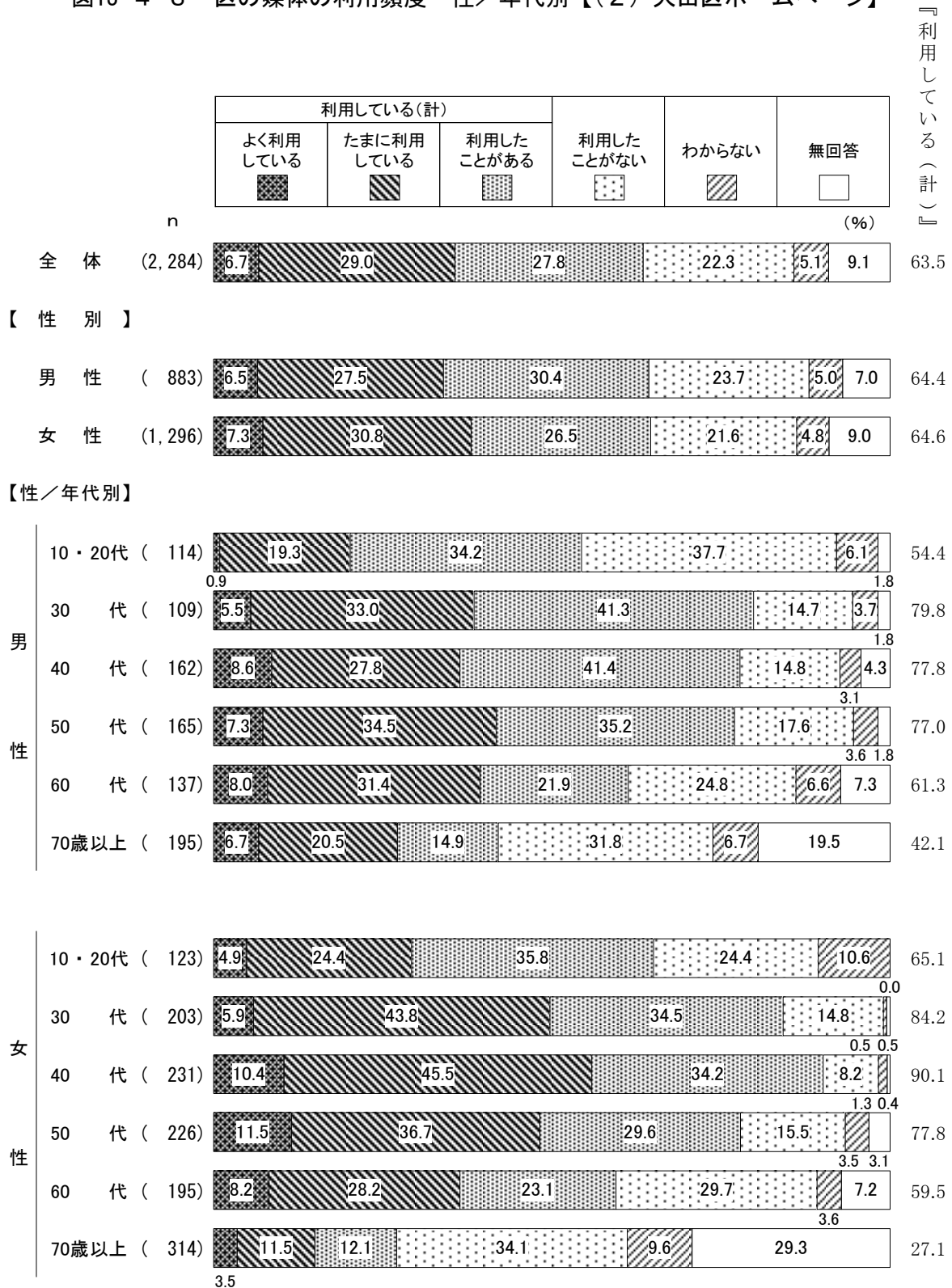
図13-4-2 区の媒体の利用頻度－性／年代別【（１） おおた区報】



“おおた区報”を性別でみると、『利用している（計）』は女性（75.9％）が男性（64.7％）より11.2ポイント高くなっている。

性／年代別でみると、『利用している（計）』は女性50代（84.6％）と女性60代（85.1％）で8割半ばと高くなっている。一方、「利用したことがない」は男性10・20代（54.4％）で5割半ば、女性10・20代（43.9％）で4割を超えて高くなっている。（図13-4-2）

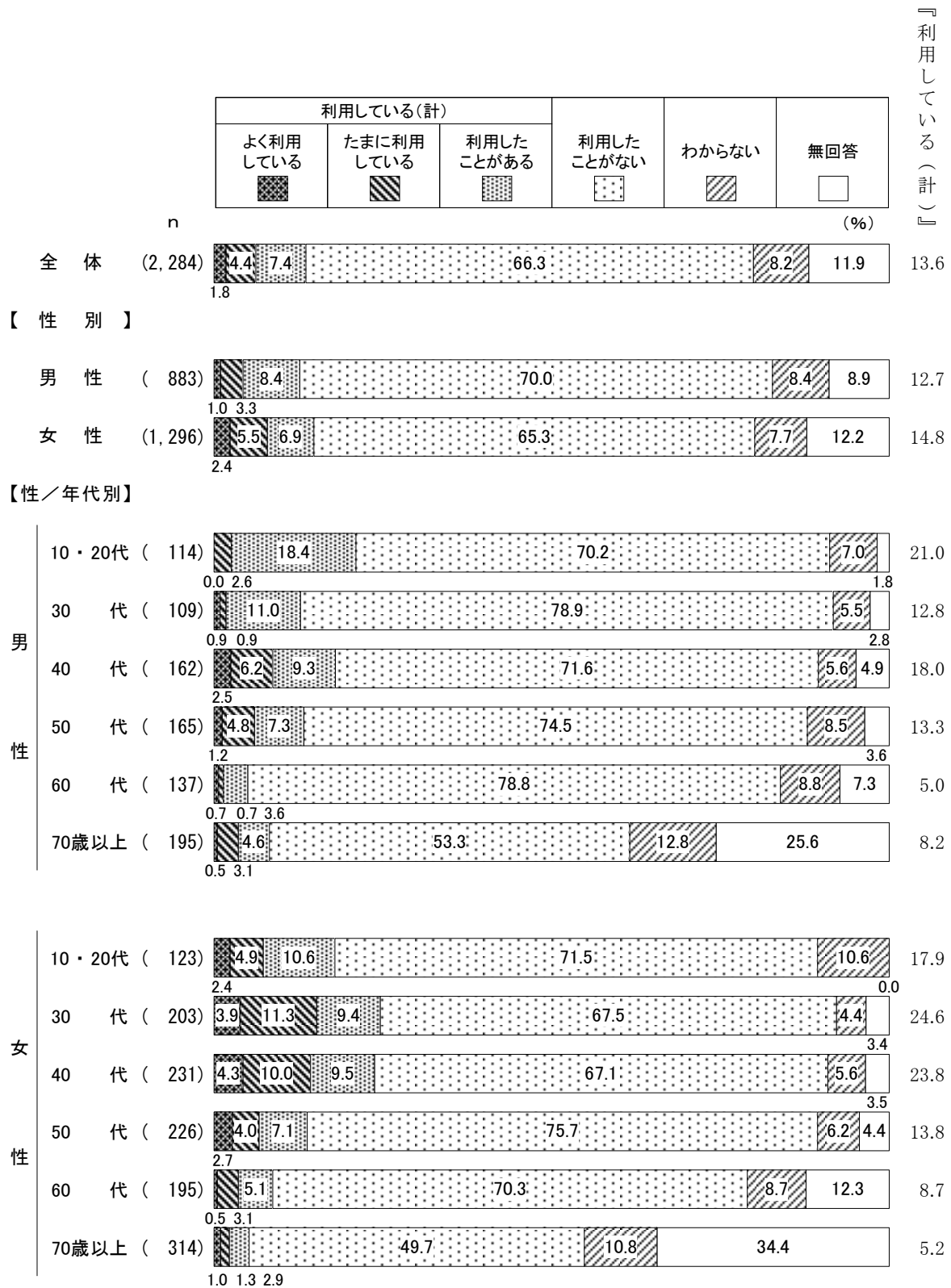
図13-4-3 区の媒体の利用頻度－性／年代別【(2) 大田区ホームページ】



“大田区ホームページ”を性別でみると、「たまに利用している」は女性（30.8％）が男性（27.5％）より3.3ポイント高くなっている。

性／年代別でみると、『利用している（計）』は女性40代（90.1％）で9割、女性30代（84.2％）で8割半ばと高くなっている。一方、「利用したことがない」は男性10・20代（37.7％）で4割近くと高くなっている。（図13-4-3）

図13-4-4 区の媒体の利用頻度－性／年代別【(3) 大田区公式SNS（ツイッター、LINEなど）】

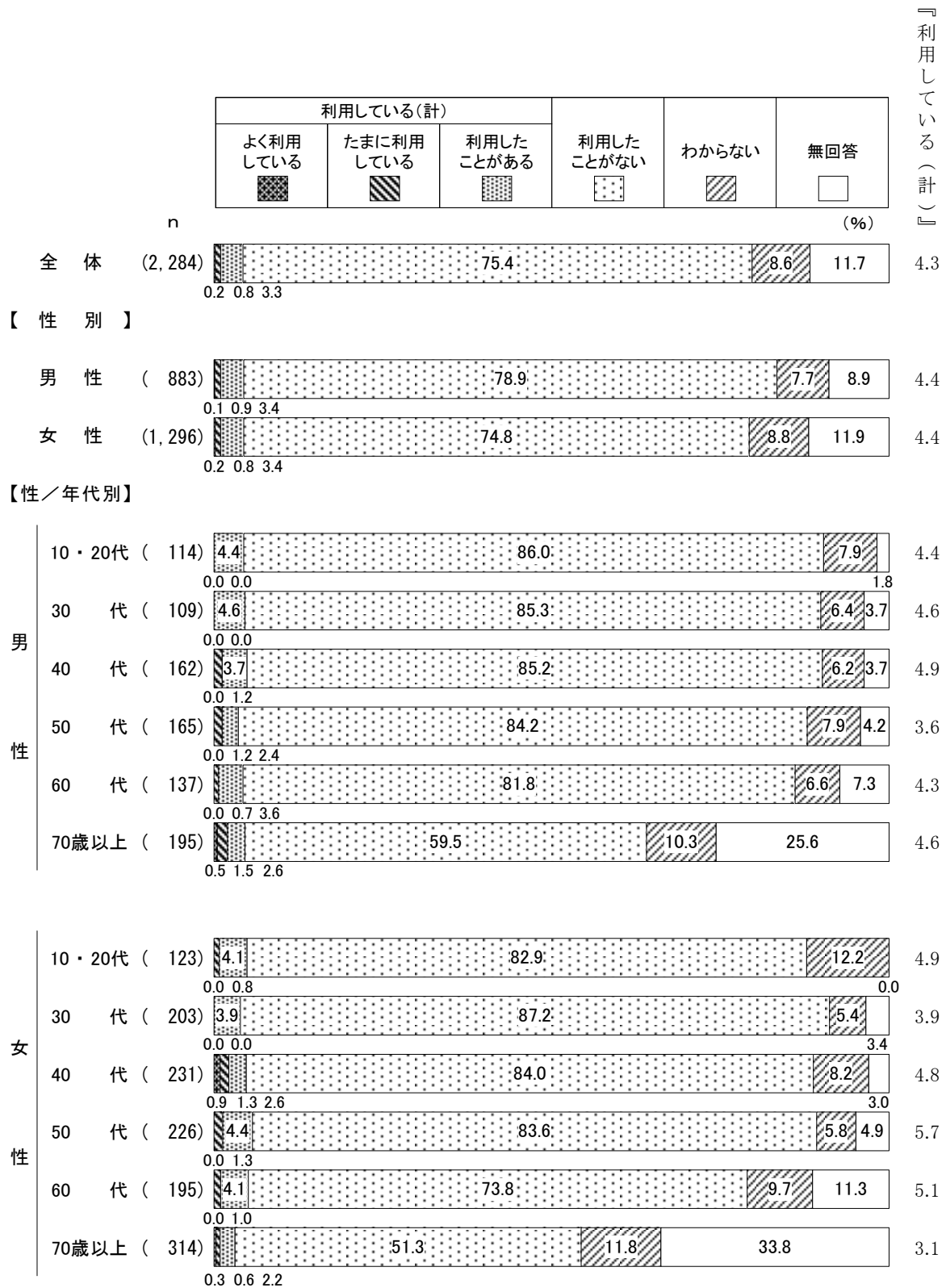


“大田区公式SNS（ツイッター、LINEなど）”を性別でみると、「利用したことがない」は男性（70.0%）が女性（65.3%）より4.7ポイント高くなっている。

性／年代別でみると、『利用している（計）』は女性30代（24.6%）で2割半ばと高くなっている。

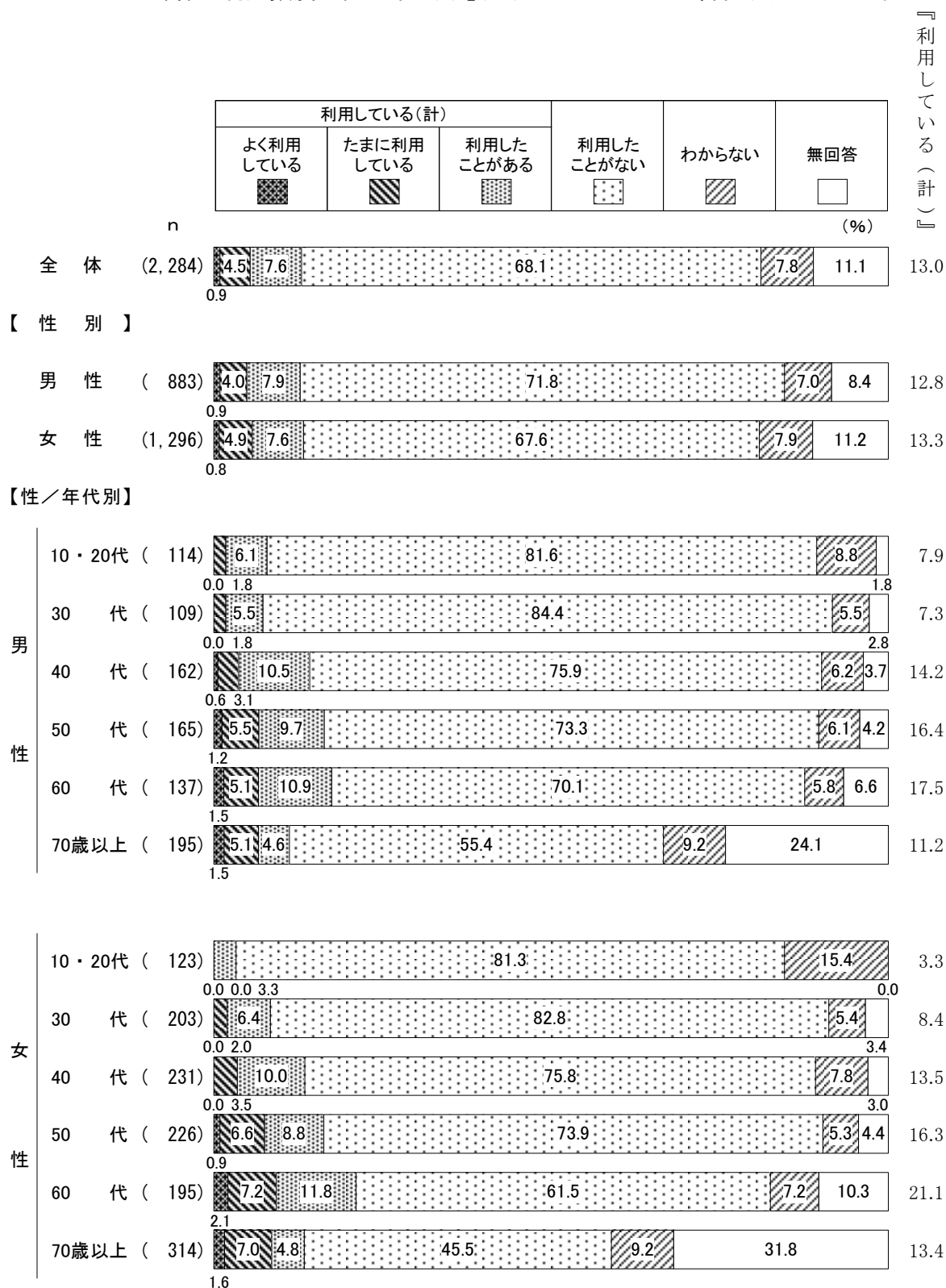
（図13-4-4）

図13-4-5 区の媒体の利用頻度－性／年代別【(4) 大田区公式チャンネル (YouTube)】



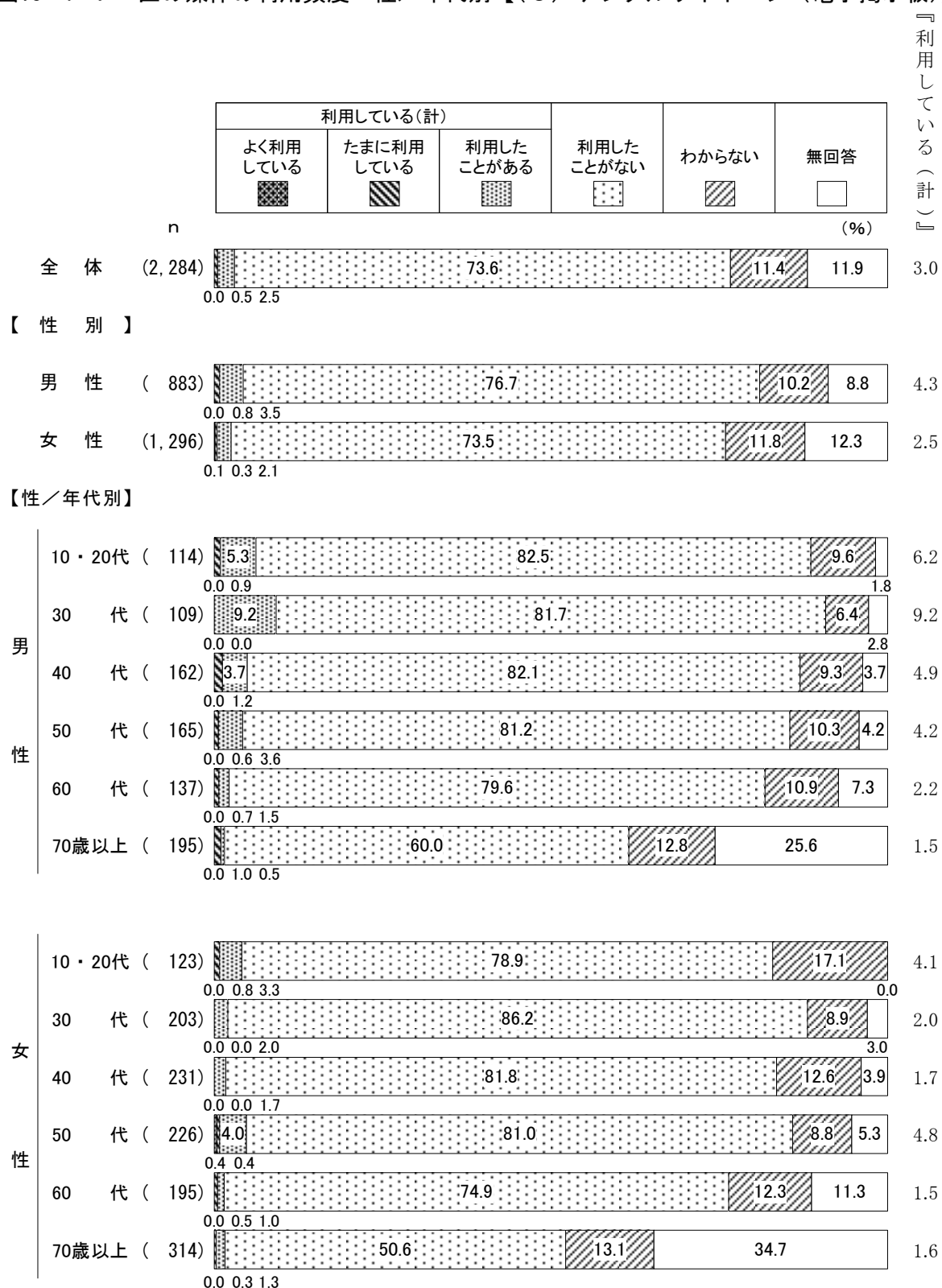
“大田区公式チャンネル (YouTube)” を性別で見ると、「利用したことがない」は男性 (78.9%) が女性 (74.8%) より4.1ポイント高くなっている。(図13-4-5)

図13-4-6 区の媒体の利用頻度－性／年代別【(5) ケーブルテレビ番組(「おおたシティニュース」)】



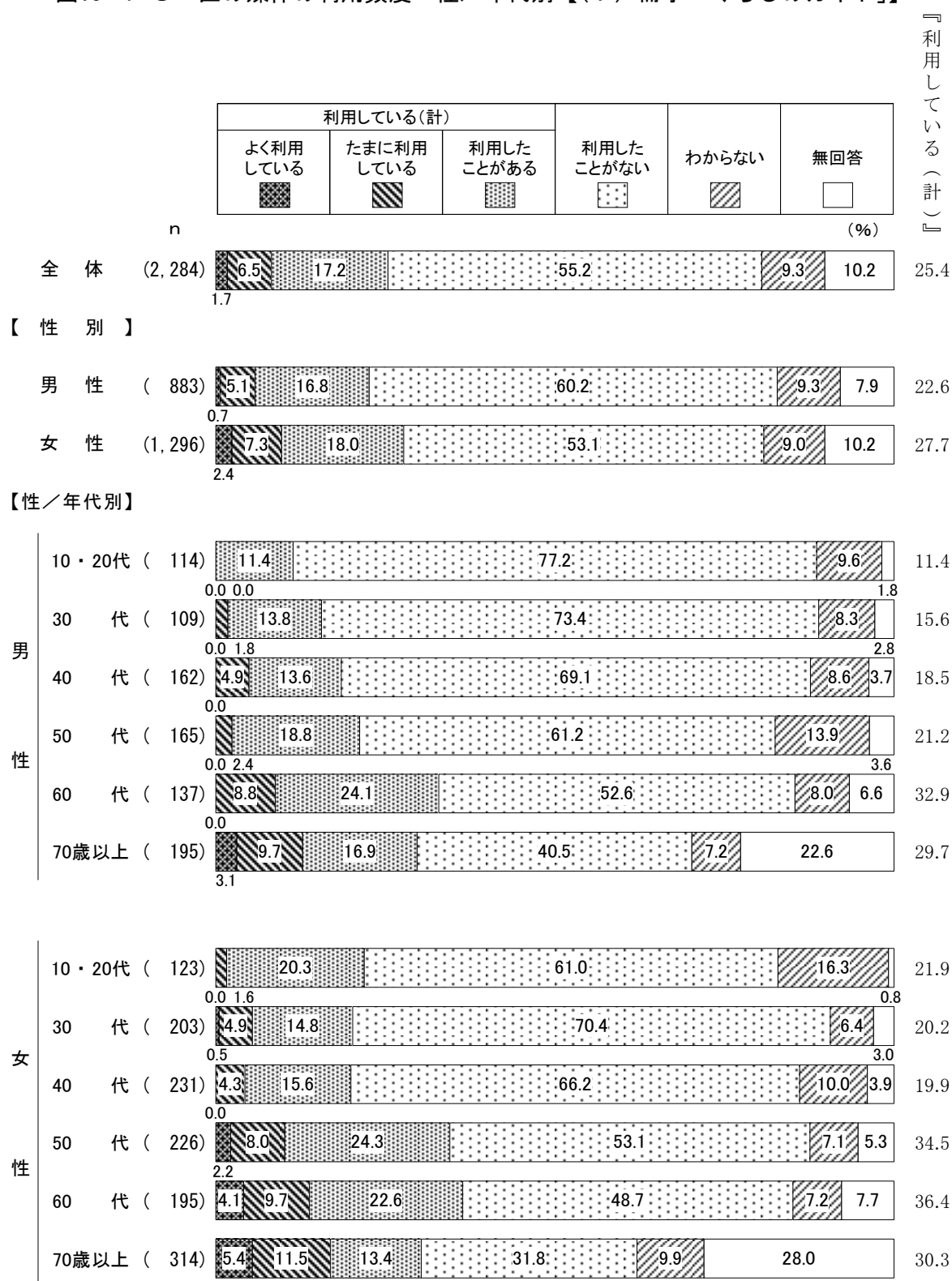
“ケーブルテレビ番組(「おおたシティニュース」)”を性別で見ると、「利用したことがない」は男性(71.8%)が女性(67.6%)より4.2ポイント高くなっている。(図13-4-6)

図13-4-7 区の媒体の利用頻度－性／年代別【(6) デジタルサイネージ（電子掲示板）】



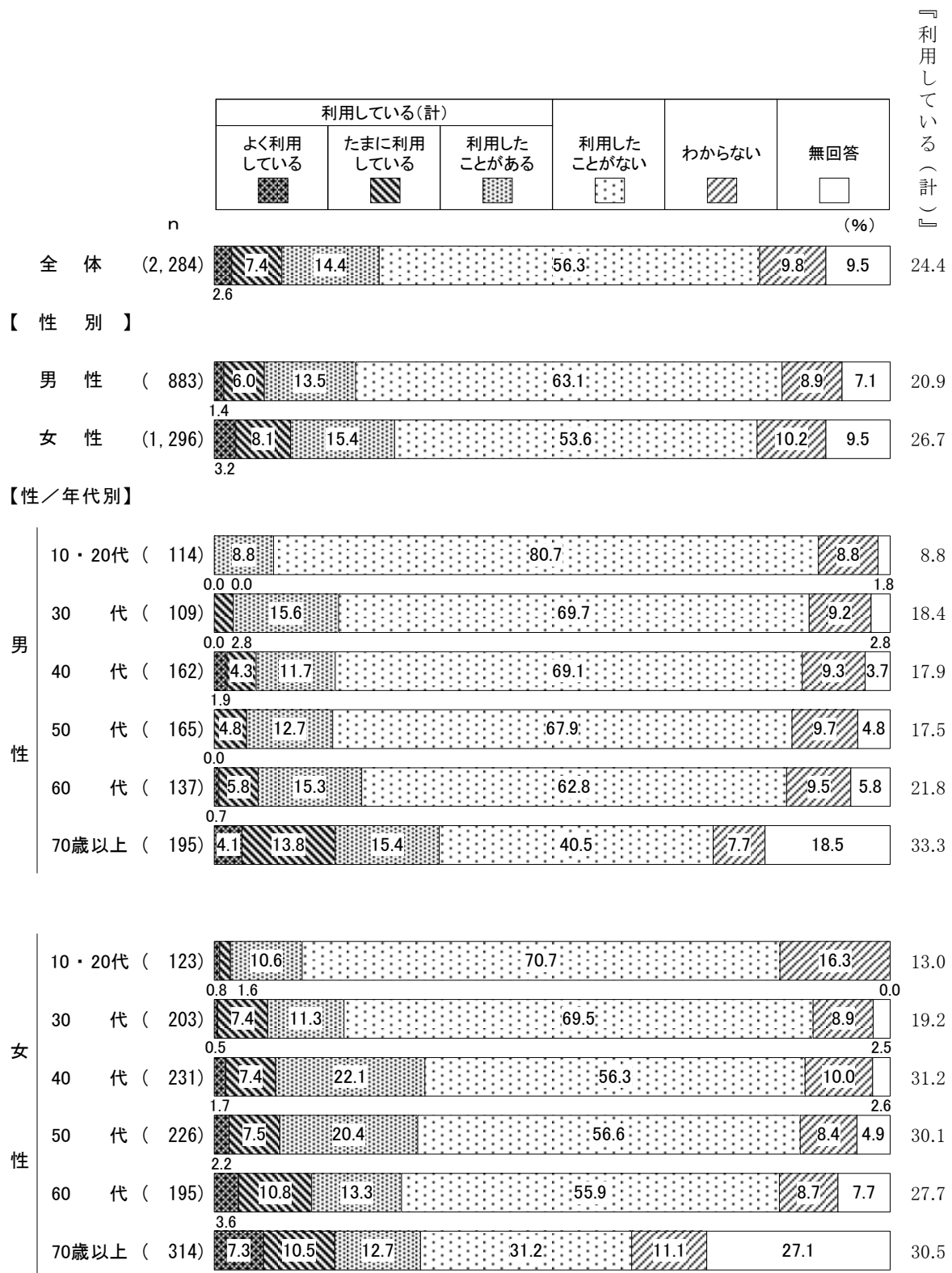
“デジタルサイネージ（電子掲示板）”を性別でみると、「利用したことがない」は男性（76.7%）が女性（73.5%）より3.2ポイント高くなっている。（図13-4-7）

図13-4-8 区の媒体の利用頻度－性／年代別【(7) 冊子「くらしのガイド」】



“冊子「くらしのガイド」”を性別で見ると、『利用している(計)』は女性(27.7%)が男性(22.6%)より5.1ポイント高くなっている。(図13-4-8)

図13-4-9 区の媒体の利用頻度－性／年代別【(8) おおたふれあい情報】



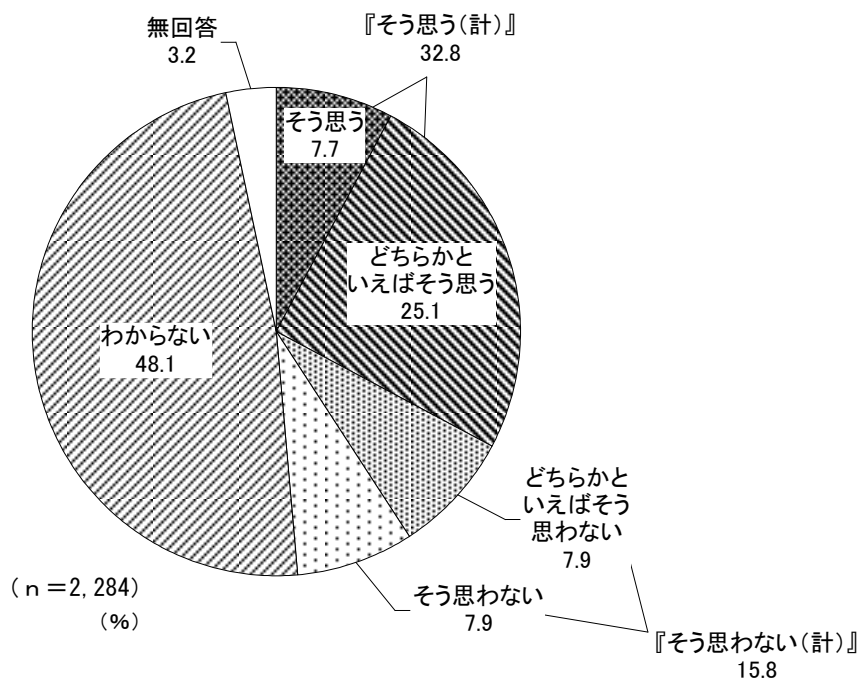
“おおたふれあい情報”を性別でみると、『利用している(計)』は女性(26.7%)が男性(20.9%)より5.8ポイント高くなっている。(図13-4-9)

（５）区の行政サービスや窓口への印象

◇「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた『そう思う（計）』は3割を超える

問27 あなたは、大田区の行政サービスや窓口は以前に比べて使いやすくなった、便利になったと思いますか。（○は1つだけ）

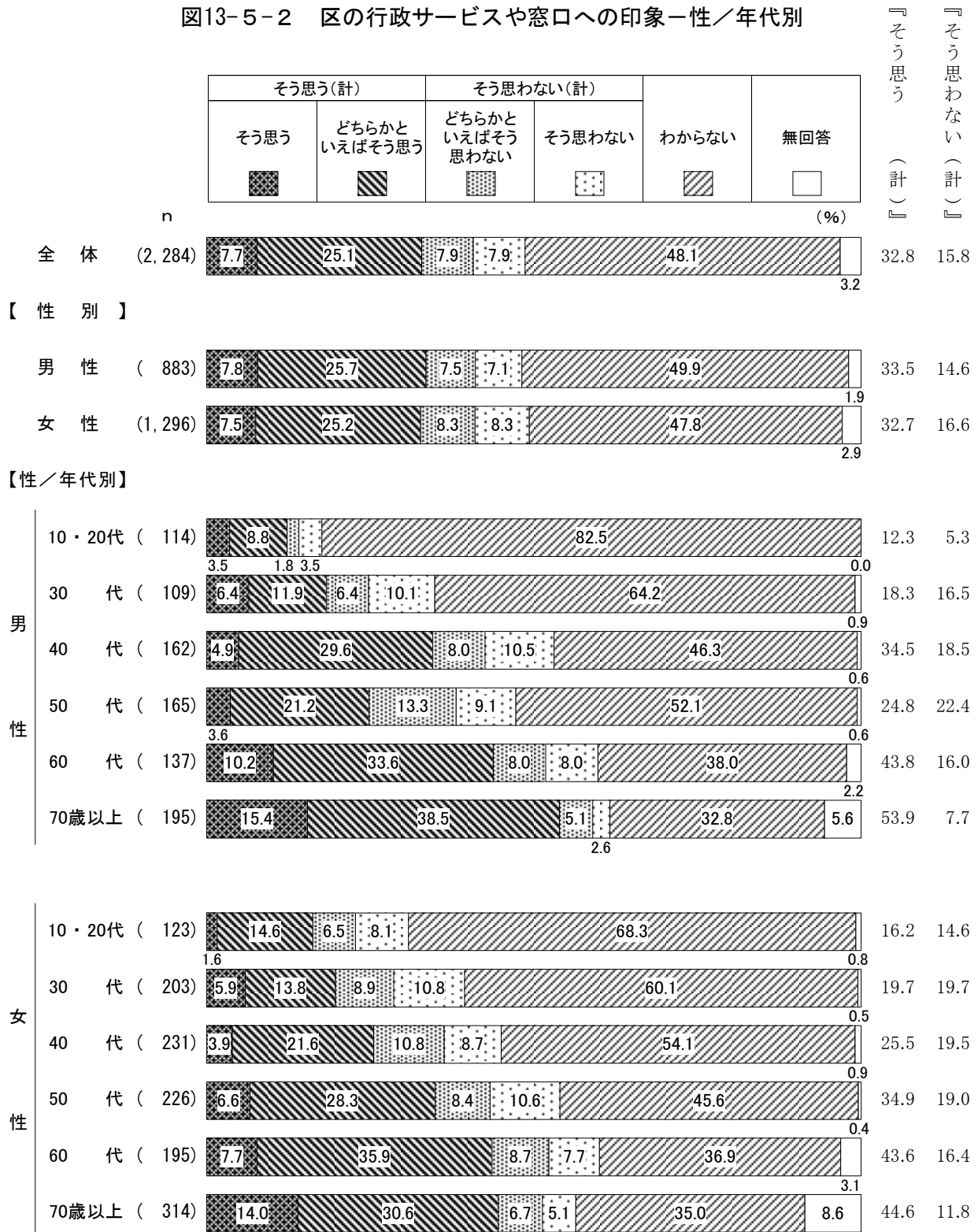
図13-5-1



大田区の行政サービスや窓口は以前に比べて使いやすくなった、便利になったと思うか聞いたところ、「そう思う」(7.7%)と「どちらかといえばそう思う」(25.1%)を合わせた『そう思う(計)』(32.8%)は3割を超えている。一方、「どちらかといえばそう思わない」(7.9%)と「そう思わない」(7.9%)を合わせた『そう思わない(計)』(15.8%)は1割半ばとなっている。

(図13-5-1)

図13-5-2 区の行政サービスや窓口への印象－性／年代別



性別でみると、大きな違いはみられない。

性／年代別でみると、『『そう思う (計)』は男女ともにおおむね年代が高くなるほど割合が高く、男性70歳以上 (53.9%) で5割を超え、女性70歳以上 (44.6%) で4割半ばとなっている。一方、『『そう思わない (計)』は男性50代 (22.4%) で2割を超えて高くなっている。(図13-5-2)

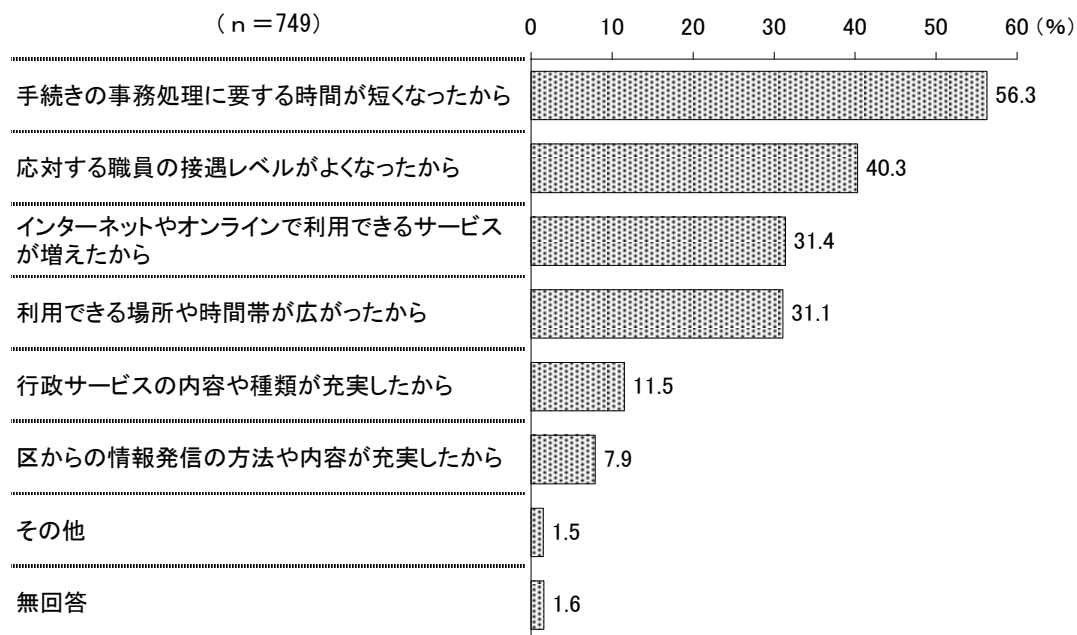
(6) 区の行政サービスや窓口が使いやすくなった、便利になったと思う理由

◇「手続きの事務処理に要する時間が短くなったから」が5割半ば

(問27で、「そう思う」または「どちらかといえばそう思う」と回答した方に)

問27-1 そのように思った理由は何ですか。(〇はいくつでも)

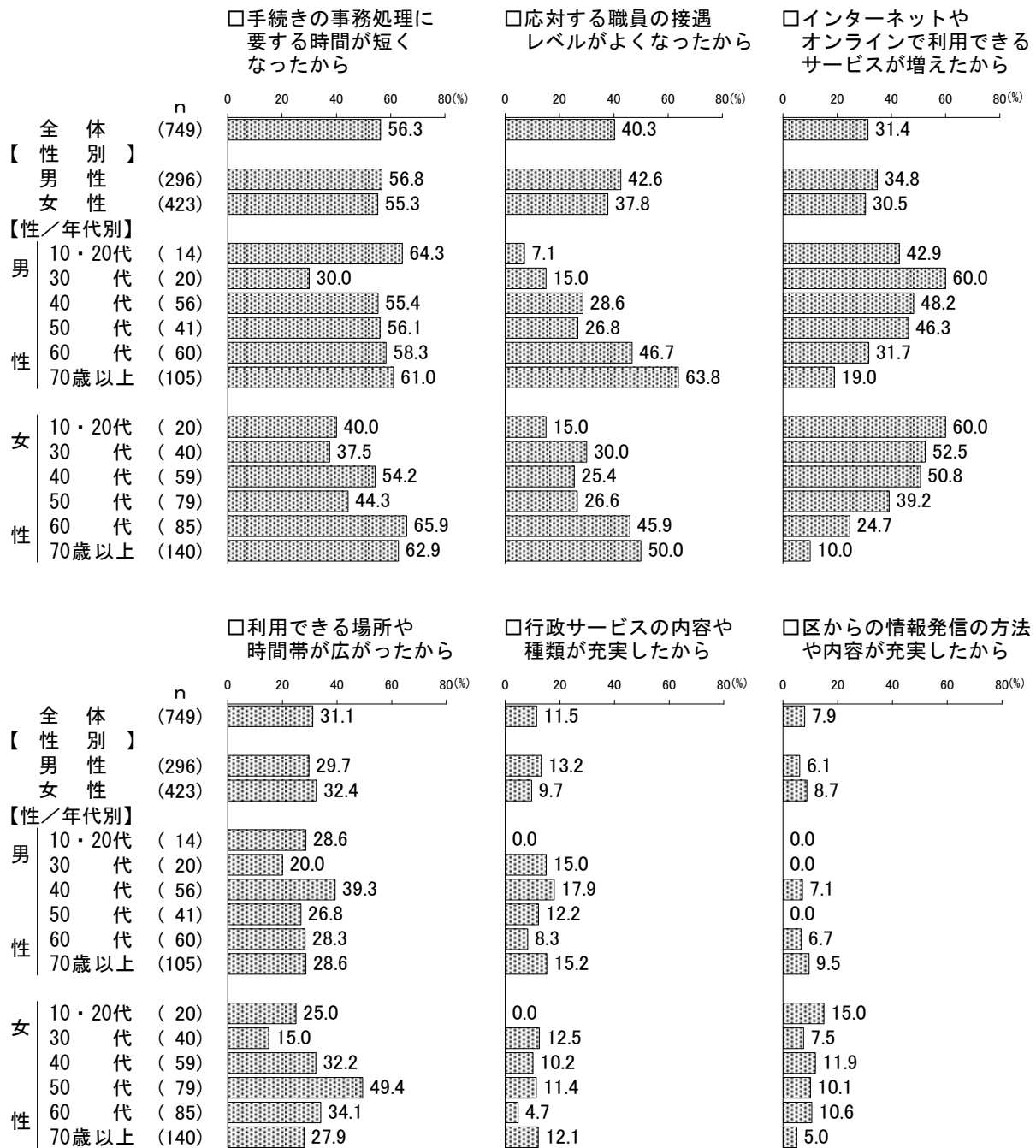
図13-6-1



区の行政サービスや窓口が使いやすくなった、便利になったと思うと答えた人(749人)に、その理由を聞いたところ、「手続きの事務処理に要する時間が短くなったから」(56.3%)が5割半ばで最も高く、次いで「応対する職員の接客レベルがよくなったから」(40.3%)、「インターネットやオンラインで利用できるサービスが増えたから」(31.4%)、「利用できる場所や時間帯が広がったから」(31.1%)などの順になっている。

「その他」への回答として、「職員が親切」などがあげられている。(図13-6-1)

図13-6-2 区の行政サービスや窓口が使いやすくなった、便利になったと思う理由－性／年代別



性別でみると、「対応する職員の接遇レベルがよくなったから」は男性（42.6％）が女性（37.8％）より4.8ポイント、「インターネットやオンラインで利用できるサービスが増えたから」は男性（34.8％）が女性（30.5％）より4.3ポイント高くなっている。

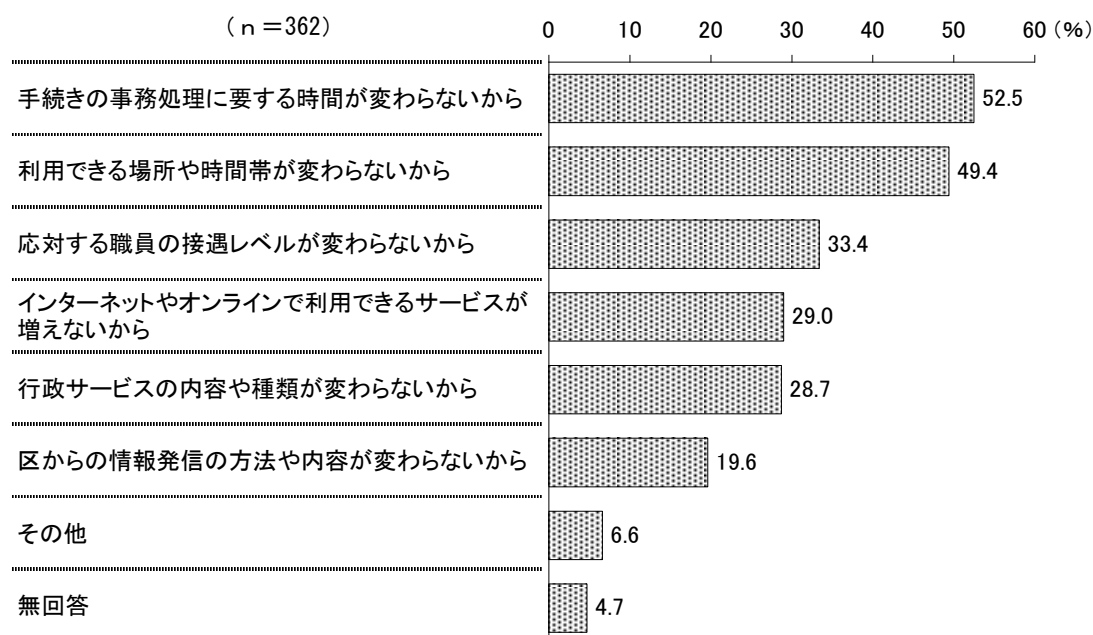
性／年代別でみると、「手続きの事務処理に要する時間が短くなったから」は女性60代（65.9％）で6割半ばと高くなっている。「対応する職員の接遇レベルがよくなったから」は男性70歳以上（63.8％）で6割を超え、女性70歳以上（50.0％）で5割と高くなっている。「利用できる場所や時間帯が広がったから」は女性50代（49.4％）で約5割と高くなっている。（図13-6-2）

(7) 区の行政サービスや窓口が使いやすくなった、便利になったと思わない理由

◇「手続きの事務処理に要する時間が変わらないから」が5割を超える

(問27で、「どちらかといえばそう思わない」または「そう思わない」と回答した方に)
問27-2 そのように思った理由は何ですか。(○はいくつでも)

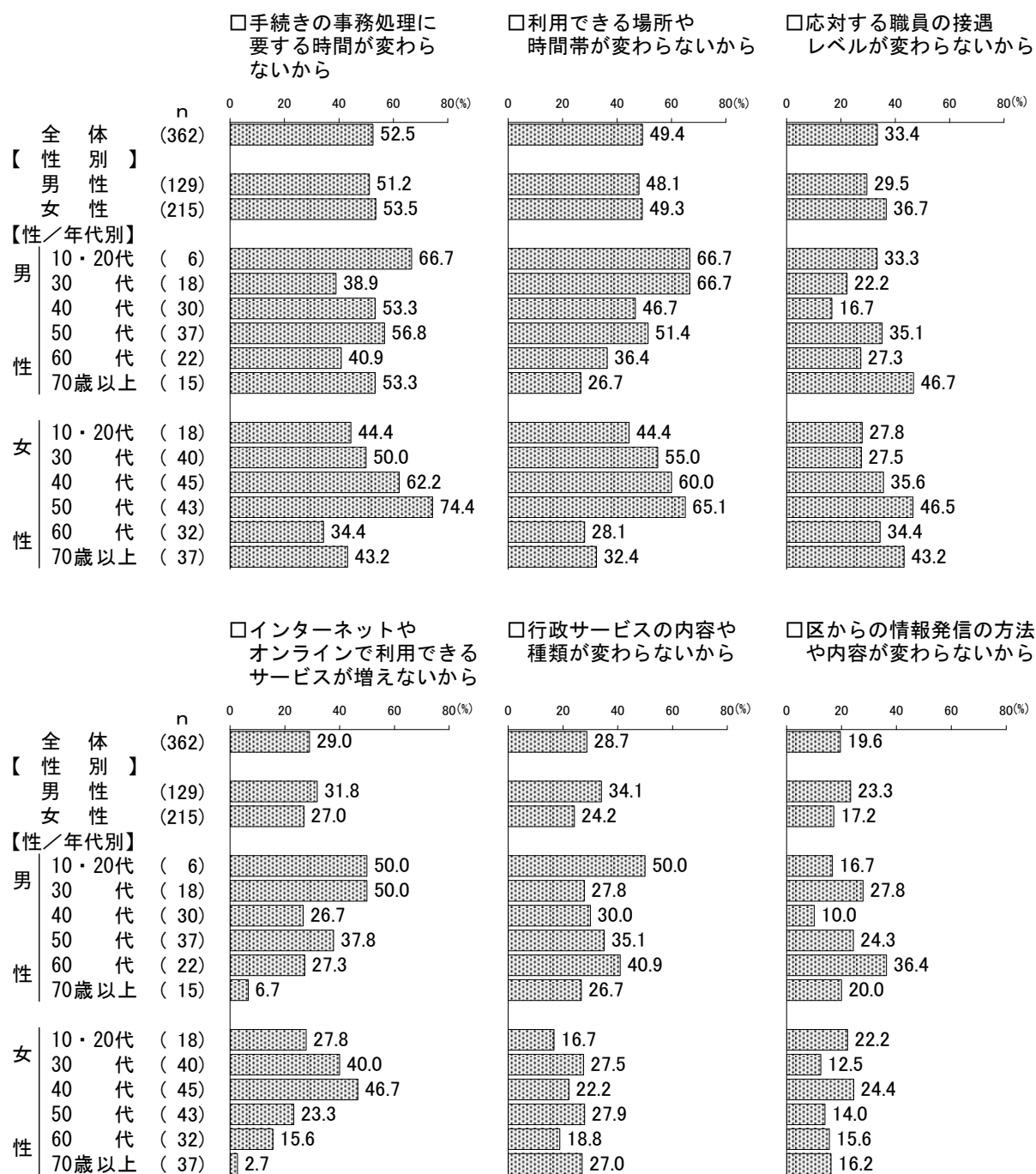
図13-7-1



区の行政サービスや窓口が使いやすくなった、便利になったと思わないと答えた人(362人)に、その理由を聞いたところ、「手続きの事務処理に要する時間が変わらないから」(52.5%)が5割を超えて最も高く、次いで「利用できる場所や時間帯が変わらないから」(49.4%)、「応対する職員の接遇レベルが変わらないから」(33.4%)、「インターネットやオンラインで利用できるサービスが増えないから」(29.0%)などの順になっている。

「その他」への回答として、「自身でインターネットを利用できないから」、「場所が遠いから」などがあげられている。(図13-7-1)

図13-7-2 区の行政サービスや窓口が使いやすくなった、便利になったと思わない理由－性／年代別



性別でみると、「行政サービスの内容や種類が変わらないから」は男性（34.1％）が女性（24.2％）より9.9ポイント、「区からの情報発信の方法や内容が変わらないから」は男性（23.3％）が女性（17.2％）より6.1ポイント、それぞれ高くなっている。一方、「応対する職員の接遇レベルが変わらないから」は女性（36.7％）が男性（29.5％）より7.2ポイント高くなっている。

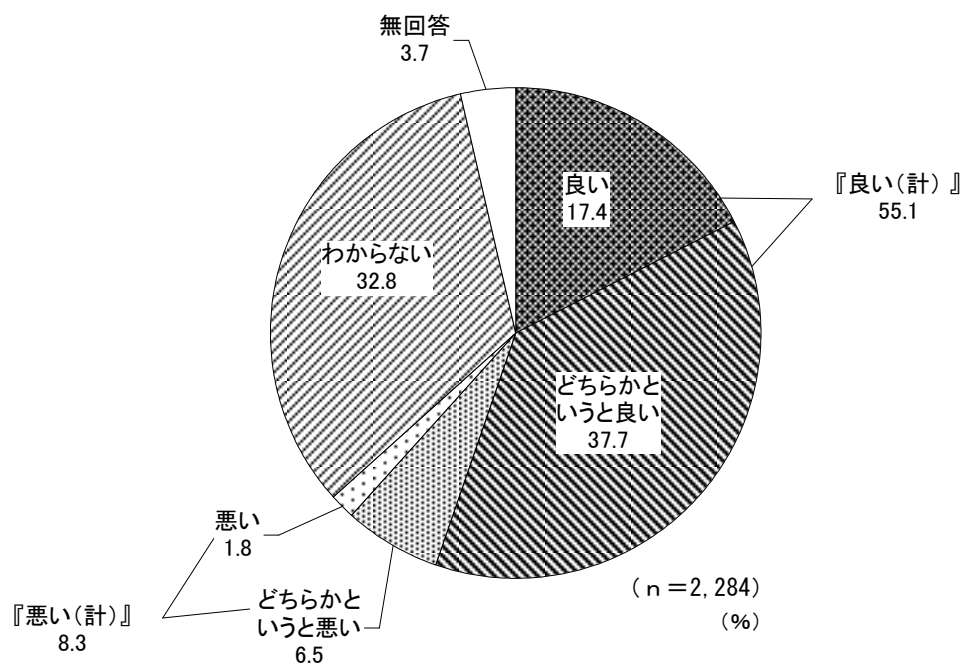
性／年代別でみると、「手続きの事務処理に要する時間が変わらないから」は女性50代（74.4％）で7割半ばと高くなっている。「利用できる場所や時間帯が変わらないから」は女性50代（65.1％）で6割半ばと高くなっている。（図13-7-2）

(8) 区の職員の窓口や電話対応への印象

◇「良い」と「どちらかというが良い」を合わせた『良い(計)』は5割半ば

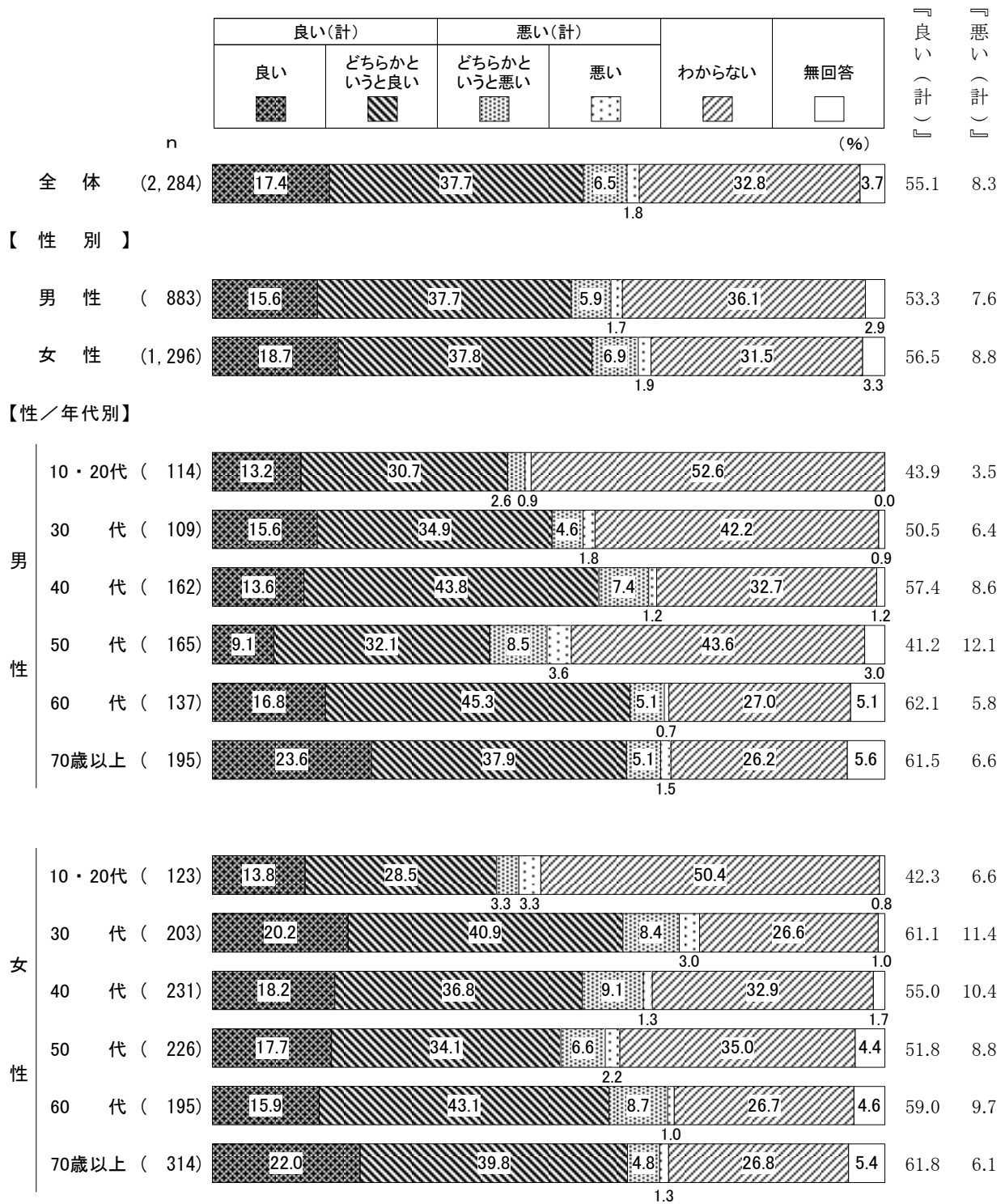
問28 あなたは、大田区の職員の窓口や電話での対応についてどのように感じていますか。
(○は1つだけ)

図13-8-1



区の職員の窓口や電話での対応について聞いたところ、「どちらかというが良い」(37.7%)が4割近くで最も高く、これに「良い」(17.4%)を合わせた『良い(計)』(55.1%)は5割半ばとなっている。一方、「どちらかというが悪い」(6.5%)と「悪い」(1.8%)を合わせた『悪い(計)』(8.3%)は1割未満となっている。(図13-8-1)

図13-8-2 区の職員の窓口や電話対応への印象－性／年代別



性別でみると、『良い(計)』は女性(56.5%)が男性(53.3%)より3.2ポイント高くなっている。

性／年代別でみると、『良い(計)』は男性60代(62.1%)、男性70歳以上(61.5%)、女性30代(61.1%)、女性70歳以上(61.8%)で6割を超えて高くなっている。(図13-8-2)

(9) 区政への参加意向

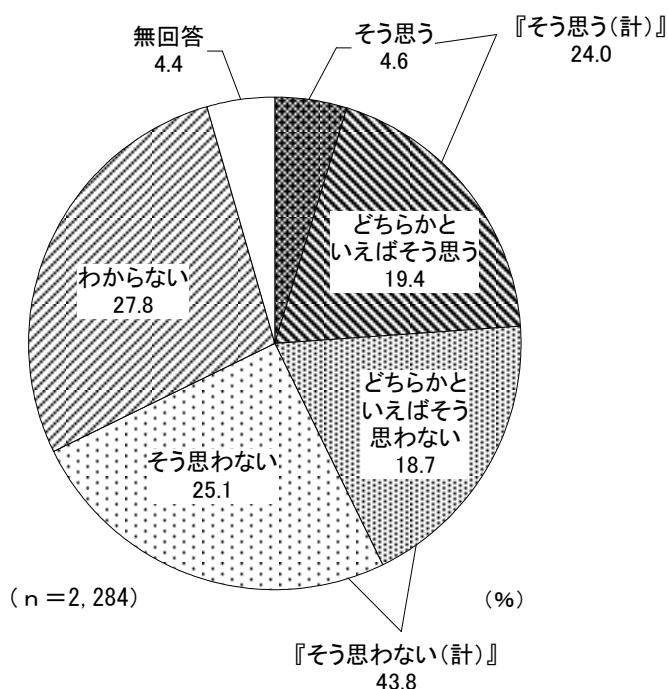
◇「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた『そう思う(計)』は2割半ば

問29 あなたは、何らかの機会や手段を通じて大田区政に参加したいと思いますか。

(○は1つだけ)

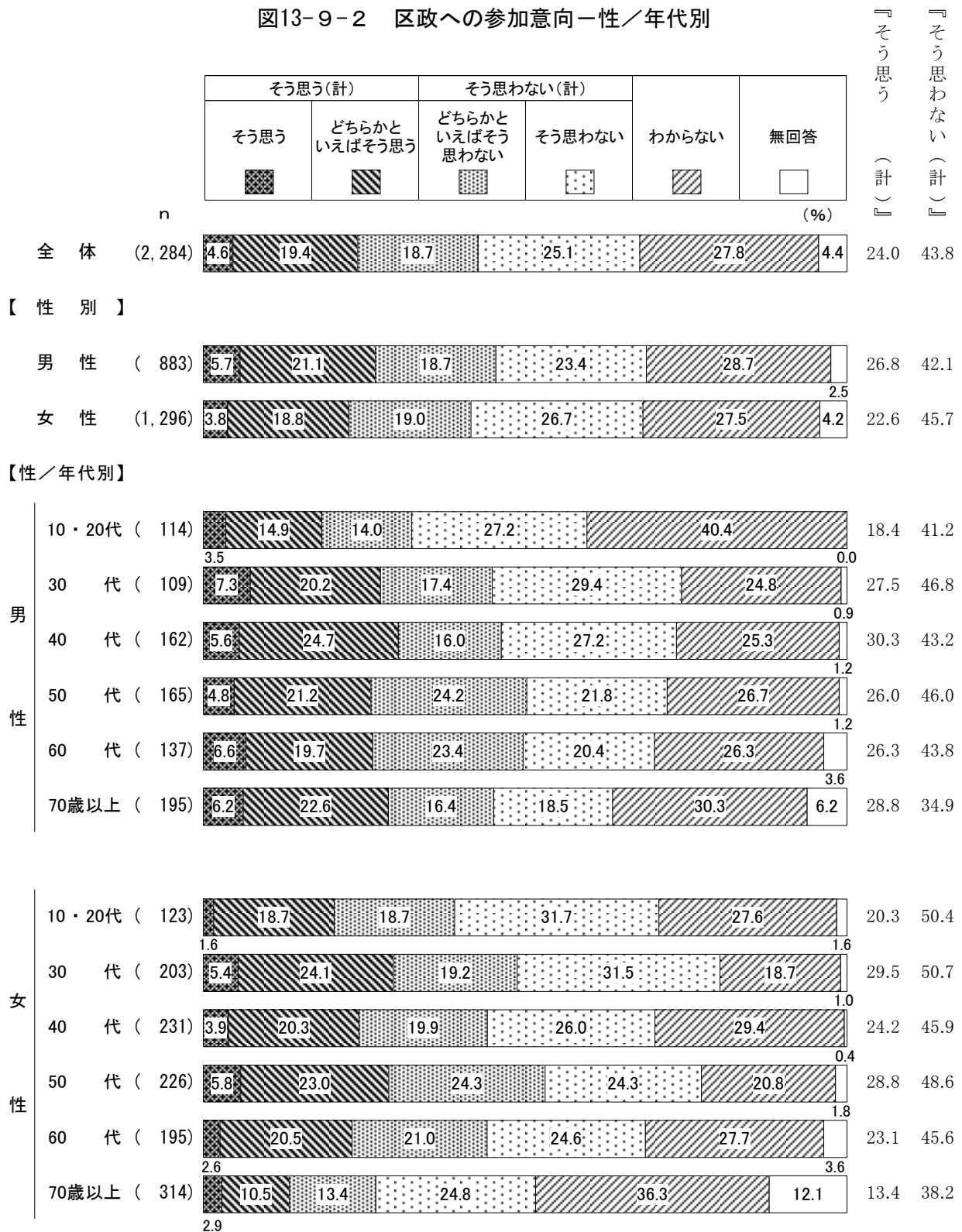
※ここでいう「区政への参加」とは、大田区が実施する区民向けのワークショップや委員会、審議会などの公募委員、区民意見公募手続き（パブリックコメント）への参加のほか、窓口・電話・メールなどを通じた区への意見・要望、住民説明会・意見交換会・シンポジウム・フォーラムへの参加、アンケートへの回答など、区が関係する幅広い機会・手段を指すものとします。

図13-9-1



何らかの機会や手段を通じて大田区政に参加したいと思うか聞いたところ、「そう思う」(4.6%)と「どちらかといえばそう思う」(19.4%)を合わせた『そう思う(計)』(24.0%)は2割半ばとなっている。一方、「どちらかといえばそう思わない」(18.7%)と「そう思わない」(25.1%)を合わせた『そう思わない(計)』(43.8%)は4割を超えている。(図13-9-1)

図13-9-2 区政への参加意向－性／年代別



性別でみると、『そう思う (計)』は男性 (26.8%) が女性 (22.6%) より4.2ポイント高くなっている。

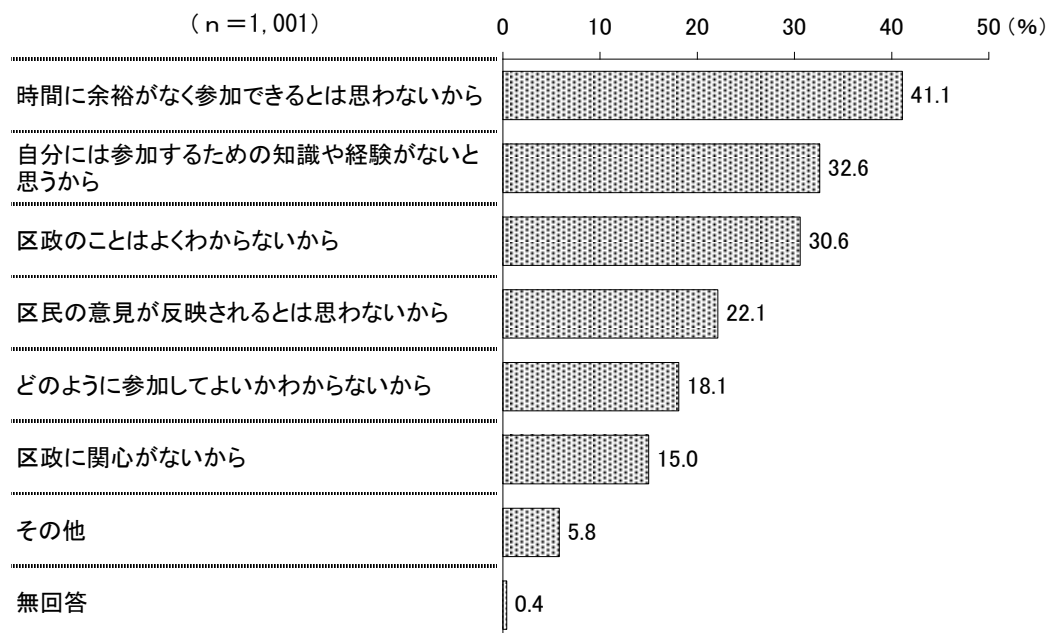
性／年代別でみると、『そう思う (計)』は男性40代 (30.3%) と女性30代 (29.5%) で3割と高くなっている。一方、『そう思わない (計)』は女性10・20代 (50.4%) と女性30代 (50.7%) で約5割と高くなっている。(図13-9-2)

(10) 区政に参加したいと思わない理由

◇「時間に余裕がなく参加できると思わないから」が4割を超える

(問29で、「どちらかといえばそう思わない」または「そう思わない」と回答した方に)
問29-1 そのように思った理由は何ですか。(○はいくつでも)

図13-10-1

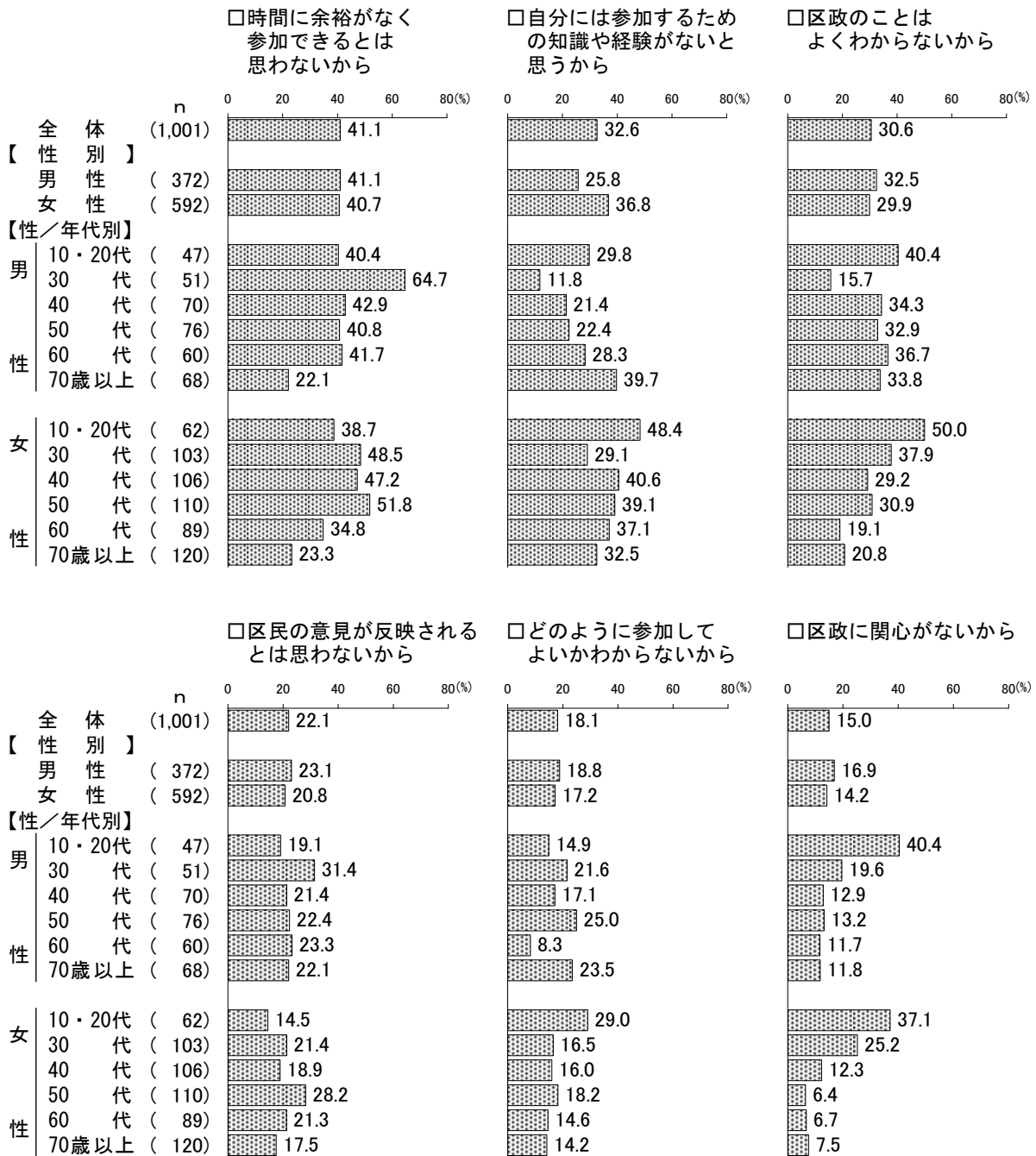


区政に参加したいと思わないと答えた人(1,001人)に、その理由を聞いたところ、「時間に余裕がなく参加できると思わないから」(41.1%)が4割を超えて最も高く、次いで「自分には参加するための知識や経験がないと思うから」(32.6%)、「区政のことはよくわからないから」(30.6%)、「区民の意見が反映されるとは思わないから」(22.1%)などの順になっている。

「その他」への回答として、「高齢のため」、「健康上の問題」などがあげられている。

(図13-10-1)

図13-10-2 区政に参加したいと思わない理由－性／年代別



性別でみると、「自分には参加するための知識や経験がないと思うから」は女性（36.8％）が男性（25.8％）より11.0ポイント高くなっている。

性／年代別でみると、「時間に余裕がなく参加できるとは思わないから」は男性30代（64.7％）で6割半ばと高くなっている。「自分には参加するための知識や経験がないと思うから」は女性10・20代（48.4％）で5割近くと高くなっている。「区政のことはよくわからないから」は女性10・20代（50.0％）で5割、男性10・20代（40.4％）で4割と高くなっている。（図13-10-2）

14. 自由意見

大田区政についてのご意見・ご要望を自由記述形式で聞いたところ539人の方から777件のご意見・ご要望をいただいた。「新おおた重点プログラム」の基本目標別に分類し、内容を抜粋したものは以下のとおりである。

<基本目標 1 生涯を健やかに安心していきいきと暮らせるまち>

1. 子育て支援

- ・ 子育て支援を充実して、安心して子どもを産める環境を早急に進めてほしい。（同様意見あり）
- ・ 子育て世帯への施策は、小さな子どもがいる家庭に手厚くなっているが、教育費が掛かる中・高・大学生の子どもがいる世帯にも何らかのサポートがあると嬉しいです。
- ・ 地域と行政が一体となって子育て支援に取り組む仕組みづくり。一人親の子育てや核家族化など、子育てに困った時の相談場所が少ない。元気な高齢者が提供できる資源を結集することや相談場所を作っていくなど、区民の思いが実現されるためのコーディネーター、区民と行政をつなぐ担当がどのように動いているのか。あまり透明化されていない。
- ・ 医療や今年からの幼稚園など無償化（小学校は一部補助）はとても助かりますし、安心して大田区で暮らすことができます。
- ・ 子育て世代にお金をかけてほしい。少子高齢化を止めるべく、子どもを1人でも多く産みたいと思える社会にしてほしい。
- ・ 子育てのサポートがもっと増えると嬉しいです。施設やサービスを利用しやすい環境にしてほしい。誰でも思い立ったらすぐサポートを受けられるような。大田区のホームページでも、子育てに関する情報を沢山載せてほしい。将来どこで暮らそうかと考えたときに、他の地域の方が子育てしやすいそうだな、と感じる事があります。
- ・ 小学校で、月ごとの学童一時利用の申込書が、その都度手書きになっています。先生達もこちらも時間を取られるので、エクセル管理にしてほしい。例えば子どもの生年月日や申請理由・子に対して気をつけることなど、不変のものを度々手書きするのは今の時代に合っていないので。
- ・ 専業主婦が子どもを“急遽預ける”公的手段がなくとても困っています（実家が遠く、近所付きあひもない…頼れる人がいない家庭もたくさんあります）。ファミサポや一時利用など『予約を前もってしないといけない』など、不便すぎます。体調不良などでどうしても預かってほしいのに、無理だったことが多々ありました。学童なども含め「働くお母さん（お父さん）」はとても優遇されているように常々感じています。その辺りの平等についても、もっと考えてほしいです。
- ・ 双子乳児子育て中に「キッズな」をよく利用させていただきました。保育士の方々がとても親切で、子育ての悩みも聞いてアドバイスをくださいました。最近では地域の保健所でさくらんぼクラブを設けていて、とてもいい活動だと思っております。
- ・ 子育て環境について、保育所の入所は以前より改善されたと実感します。しかし、今度は小学校の学童があふれ始めています。学区の小学校は児童数が増え、クラスが増えていますので、学童のスペース確保が今後どのようなようになるのか不安です。最低でも2，3年生までは学童を利用できる体制を望みます。
- ・ 子育て世代に優しい施策。
- ・ 高校生医療費無料化（他区で実施している）。
- ・ 児童医療費助成制度についてですが、中学卒業するまでではなく、せめて高校卒業までにしてほしい。高校で部活をしていて、ケガをして何度も病院に行くことがあり、こういう時に子医療証があれば本当に助かるなと思いました。よろしく願いいたします。
- ・ 未来を担う子ども達が安心して暮らせるまちづくりを希望します。
- ・ 児童館や保育施設の建物が古い所が多いので建て替えしてほしい。

2. 保育サービス

- ・ 保育園に行っていない1歳になる子どもがいます。私の体調不良時などに一時保育を利用しますが、大田区の一時保育営業時間だと仕事に行く夫に送迎を頼めません。8～20時など長時間預けられる一時保育があればいいなと思います。
- ・ 子どもを（親が仕事で不在時）預かってくれる施設があり助けられています。
- ・ 昨年、妻が出産で里帰りした際、息子は保育園に1日だけ登園した。理由は、都（もしくは区）の決まりで、3ヵ月に1度は登園が必要なため。コロナ禍において必要な決まりなのか、今でも疑問に思う。
- ・ 1歳から保育園を無償化してほしい。
- ・ 保育園の申込書について、できれば児童館にも置いてほしいです。以前、電話で要望したところ（若い男性が対応）、児童館は全員が利用するとは限らないので置いていないというよく分からない回答がありました。体調が優れない時は区役所まで行くのが大変です。土曜日に取りに行ったがありませんでした。誰でも取れるように土曜日にも1Fに置いておけないのか？コロナ対策としても、良いと思います。どうぞご検討ください。つわりの時、保育園の申込書を郵送で送ってもらいました。対応いただいた職員の方にとっても感謝しています。
- ・ 保育園をもっとたくさん造れ。
- ・ 出産支援、保育園幼稚園への重点強化を優先してほしい。
- ・ 保育園を拡充していただきたいです。一般的に大田区は保育園に入りにくいとよく耳にするので、切に願います。
- ・ 保育現場の待遇改善。私立保育園などへの区の補助金増。
- ・ 今は年齢がいますが、60歳の頃、保育園のボランティアをしたいと思いました。資格等大変なようなので、区報でも簡単にできるように載せてほしかった。

3. 学校教育

- ・ 学校の授業において、障がい者の理解促進を年間のスケジュールに何回か入れて、理解が具体的にするようにしてほしいです。
- ・ 昨年、コロナで小学校の自粛が急に決まった時、オンライン設備のない日本の公立学校は他国に比べて勉強が家任せになり、個人個人での差がついてしまいそうでしたが、その後大田区は早くにPCタブレットの導入をして下さり感謝しています。また、「ものづくりの街」としてこれからの未来を担う子どもたちへもっともっとその技術を伝承する場を設けていただけたらなと思っています。
- ・ この世の中、全ての人が相手を思いやれる心を持てる世の中になるといいですね。発達に偏りのある子どもたち、特に見た目、外から見ると全く困難さがわからない子どもたち（目立つ子より目立たない子は、後回しにされる。理解されにくい、辛い、しんどい、かなり我慢している。）、せめて学校の先生方、子どもたちにかかわる職業の方々だけでも理解してほしいです。本人がどれだけ辛いかを理解し、接してほしいと願っています。先生方が理解を深めていただけるよう、区の方で何か教員向けに発達障がいについて理解を深める何かを開催していただきたいです。
- ・ 他人への思い遣り、善悪の区別、暖かく広い心で幸福な人生が送れ、自分自身を育てられる様にご尽力を賜りたく思います。
- ・ 教育に力を入れ、自分達よりも次世代の人達がより良い環境で住める事を目標に進めるものだと私は思います。
- ・ 私も主人も都外出身です。仕事・会社の方からお話があり、今のマンションに住んでいます。10年くらい住み、特に感じた事は、区の小学校の学級崩壊。子ども達が荒れています、先生方も疲れ切っています。
- ・ 教育の充実（とくに小・中学生）。

- ・ 区内の中高年者のマナーは、大体が「親切・丁寧」で良い。若年層のマナーは悪い。例えば、エスカレーターを駆け走る、エスカレーターで人を押しのけて駆ける、体力があるので、自分で自信があり、自己中心になるのか。若者の再教育の場を増やしてほしい。
- ・ 義務教育への重点強化を優先してほしい。また、大学移転誘致。
- ・ もう少し子どもに目を向け、手厚い手当や、学習環境が整うようにしてほしいです。そのためにも教職員の方々の労働環境を整備していただきたいです。よい環境があれば、よい先生を集められ、よい教育環境を整えられるのではないのでしょうか。
- ・ 学校教育といった子育て環境の充実も進めていただきたいと思います。
- ・ 地域によって、公立小中学校の教育の取り組みや設備の充実に差を感じる。
- ・ 子どものことで、教育センターやサポートピアを利用させてもらっています。親としては専門性が高い職員の方々にアドバイスをいただけることが大変ありがたく思っています。学校との連携もすばらしいです。
- ・ コロナ禍でいろいろイレギュラーもあり、手探りの中頑張っていることに感謝しています。が、大田区は他区に比べてなんでも遅く（給付金のときもワクチンのときも）、後手後手であり保守的です。都からの命令を待っているのかな、と思います。子どもが小学生ですが、保守的すぎて何もできません。しかし、隣の小学校は遠足も行くし、移動教室も行く。不公平だと思います。ほんとに移動教室のような大きな行事は、学校ごとに差がつくのは納得がいきません。子どもがあきらめの気持ちを持ってあたりまえなのが残念です。
- ・ コロナの影響を受けて、どの世代よりも悲しい思いをしている子どもたち。特に小学校ではあらゆる学校行事が中止になっている。何でもかんでもすぐに中止にするのではなく、学校裁量にせず、区として、いかにできるかという方向にシフトしてほしい。子どもたちの小学校の大切な思い出が作れなくなっている。

4. 健康づくり

- ・ がん検診の予約がとりづらい（特に婦人科系の検診）。もう少し各病院の枠を広げてほしい。
- ・ 乳がん検診は、マンモグラフィーだけでなくエコーも受けられたらうれしい。
- ・ はねびょん健康ポイント、頑張っています！なのでお礼の品がとてうれしかったです。ありがとうございます。
- ・ 区と区の境に住んでいると行政サービスに差を感じます。せめて健康診断やがん検診などはいつものかかりつけの病院で受けてたいです。全く知らない先生にその時だけ家から離れている先生に診ていただいても、こちらのことを知らないなので形式的に検診をされ、意味がない。区境から 500m とか 1 km にある区外の医療機関でも検診を受けられるようにしてほしい。
- ・ はねびょん健康ポイントはおもしろい試みだと思います。はねびょんかわいいです！
- ・ 大森地域庁舎とか乳幼児健診の会場は、もっと交通の便の良い場所にすることはできないのでしょうか（駅やバス停から近いところとか）。悪天候の時は、特に大変だと思います。

5. 衛生

- ・ 地域猫活動をもっと積極的に行っていただきたいです。平和の森公園での猫の不審死など区民が不安になるようなことが今後ないようにしてほしいです。人間の身勝手によって生まれたものが野良猫という認識をすべての区民にもってもらいたいです。

6. 障がい者福祉

- ・ 重度の知的障がい者のグループホーム等を作ってほしい。また障がい者の就労支援を充実してほしい。（同様意見あり）
- ・ 病気や障がいのある人がもっと住みやすい街にしてください。
- ・ 私には障がいを持った子どもがいます。夫が国内にいない時はいつでも、助けを求めるのが難しいです。3人の子どものがいて、週末や病気のときの支援はありません。助けを求めようとしたのですが、ただ困惑しただけでした。障がいのある子どもをもつ私たちの為に、英語のサービスがあればいいのに、と思います。
- ・ 障がい児（グレーゾーン含む）及びその保護者への支援の不足を感じる。対応するスタッフ（医師含む）の人選、支援体制の拡充を求めます。

7. スポーツ

- ・ スポーツ広場等を充実させてほしい。
- ・ 平日は仕事をしており、区で行う（文化・スポーツなどの活動）ものは、平日日中が多くて参加が難しい。
- ・ スポーツ施設は高齢者向けの物や従来行なわれている競技の物が中心である。今年のオリンピックでも採用されたボルダリングやリードクライミング等、老若男女が参加可能な新しい設備を既存体育館の側面を利用するなどして、設置してほしい。
- ・ 運動できる施設を増やしてほしい。
- ・ サッカー場を増やしてほしい。子どもが小・中・高校とサッカーをやっていますが、公式戦の遠征は、ほぼ23区外へ行っています。時間も交通費も負担が大きいです。サッカースタジアムを作してほしい(23区内にJリーグがないので)。
- ・ スポーツする施設を増やして、簡単に借りられるようにしていただきたい。

8. 図書館

- ・ 図書滅菌機は大変良いが、多くの人が“取っ手”に触れるので機械の近くに消毒液を置いてほしい。図書館によっては置いてある館もあるが、全体的に感染対策がバラバラ。
- ・ 図書館、所蔵資料数を充実してほしい。
- ・ 池上駅のように図書館を駅に設置してほしい。
- ・ 図書館が沢山あって最高！
- ・ 池上図書館が新しくなり、とても利用しやすくなり本当に喜んで利用させていただいております。
- ・ 図書館は区の職員の運営に替わって民間委託になって便利になり、とても良くなりました。
- ・ 家族皆、本が好きで池上図書館を毎週末利用します。予約した本の受け取りを、基本的に自動受け取り機のみでしか受け取れない状況を改善してほしいです。自動受け取り機が1台しかないため、時によっては並んでいる人が多く、受け取りに時間がすごくかかってしまったり、家族の予約分も一緒に取りに行く際に、後ろに人が並ぶと続けて受け取らずに、貸出カードごとに列に並び直したりしています。本の予約時に、「予約の受け取り場所」を、自動受け取り機か、カウンターのいずれかを選択できるようにしてほしいです。我が家は絵本を借りることも多く、自動受け取り機に入らない本は結局カウンターへ取りに行かなくてはならないため、二重の手間となっています。
- ・ 図書館の貸出履歴を残すようにして、借りた本が後でわかるようにしてほしい。

9. 生活保護・支援

- ・ 大学生向けの手厚い経済的サポートをしてほしい。
- ・ 常に生活弱者に寄り添う区政をめざしてください。
- ・ 所得が減り生活がきつくなった。区民に給付金を出してほしい。
- ・ いつもお疲れ様です。弱者にやさしいまちになってほしいです(貧困者、女性、L G B T、障がい者の方など)。
- ・ 様々なカテゴリー（例えば 65 歳以上、要介護認定者、難病指定者等）に入っていないが、実際の生活で動けなくて困っている人への支援体制が無い。
- ・ 本当は困っているのに制度の間で対象にならず、相談しても対象外となってしまう場合の対応をできるような区政にしてほしい。
- ・ 大田区の公害医療、生活保護等よくやってくれていると思う。本当に必要な方が助かっていると思う。介護の医療等でも良いと思う。福祉はお金がかかる。大変だと思うが区民の為に大田区もがんばってほしい。
- ・ いろいろな要望がありますが、特に今は、コロナ禍ということを考え、緊急的に低所得の世帯や賃金下がった世帯などへの対応を優先させてほしいと思います。貸付金や、一時的な生活保護など、できるだけたくさんの区民を助けてあげてほしいです。
- ・ 何かと言うと、シングルマザーや子がいる人が優遇されている。一人で生きているのも大変です。
- ・ 区に行っている社会福祉関係の事業はもう少し区がリーダーシップを取って連携させるべきだと思う。各団体まかせは良くないのでは？特に福祉と医療は統一感が少ない。

10. 高齢者福祉

- ・ 高齢者の健康を保つための施設や機会が非常に少ない。区のプールやウェルネスジムの施設を安価で利用できるようにするなどの工夫がない。又、区報の体操教室や高齢者向き健康イベントは、募集人員が非常に少なく（コロナと関係なく）場所も遠くて参加できない。
- ・ 前期、後期の高齢者夫婦です。まず病気をしない様に食べる物、健診はきちんと受け、ほぼ健康です。高齢化が進むと、行政に頼らなければ成り立たなくなるのは想像できます。参加しているポールウォークに時々包括支援の人や協議会の人に参加されます。細かな所に気配りしていただいている感じがして心強く感じました。
- ・ 親が高齢化した時に家族の負担が大きくならないよう、福祉を充実してほしい。（同様意見あり）
- ・ 区内に高齢の母が独居しているが、高齢者に対する働きかけが不十分。
- ・ 区の高齢者施設に、必要な時に入居できるような安心がほしい。
- ・ 現在要介護4で訪問入浴を受けています。皆さんとても良くして下さって本当に感謝しています。
- ・ 高齢のため出かけることが無理になり、病院に行くことや買物に行くことで精一杯です。それを助けていただく方法などが必要となるのではないかと不安になります。
- ・ 高齢者に優しく、住みやすい大田区にしてほしいです。例えば学校の統合で廃校になった校舎をリノベーションなどして、高齢者が利用できる場を、又、多くの人が入所できる特養などを増やしてほしいです。（同様意見あり）
- ・ 寝たきりになった場合や要介護になった時のホームが少ない。特養のヘルパー人員の体制が、少なすぎる。自宅での介護は、無理。
- ・ 40 数年大田区に住んでいますが、今だかつて不満は有りません。後期高齢者の為か少しずつ不安な事もありますが、満足して生活しております。
- ・ 高齢者の職探し、アルバイト探しのサービスはないのか。
- ・ 高齢者の社会参加、社会貢献の場がもっとほしい。シルバー人材センターなどの職種が少ない。教育の場での補助、観光ボランティア、国際交流ボランティア等の活動の場がほしい。

- ・他区では、高齢者への予防接種に補助が多く無料もありますが、当区では実費がかかります。年金に余裕のある人は実費支払もよしとしますが、それならば、その分高齢者の健康づくりに、もっと積極的に取り組んでいただきたいと常々強く感じています。たくさん的高齢者をかかえる区であればこそ、医療費に投資するより、より有効とわかりきっているのではないのでしょうか、よろしくお願いいたします。
- ・おだやかに年を重ねる努力をこれからも続けます。高齢者の住みやすい大田区に期待しています。
- ・一人暮らしの高齢者に、もっとわかりやすい情報がほしい。困った時にどこに相談したら助かるのか、まったくわからない。現実、今困っていても、一人でどうしたら良いのかわからずにいます。一人暮らしの高齢者にもやさしい行政を望みます。

＜基本目標 2 まちの魅力と産業が世界に向けて輝く都市＞

1. まちづくり

- ・生まれ育った大田区を増々住みやすい、安全な区とするよう努力してほしい。大田区の発展を心より祈っています。
- ・社会人になるにあたり、地元から上京して2年間ずっと糺谷に住んでいるのですが、とても穏やかで暮らしやすくて気に入っています。今後も頑張ってください！
- ・大田区に住んで60年、昔より良くなったと思われる点がなく、発展性がないと思う。
- ・若い人達が仕事をして、いきいきとしたまちづくり。沢山住んでほしいですね！
- ・安全、安心のまちづくり。
- ・大田区に住んで12～13年になり、高齢になりました。お買物等やバス停・図書館等が近いと思います。住み易い方だと思います。
- ・今まで以上に住みよい大田区にしてほしい。
- ・とても暮らし易いと満足しています。
- ・田舎っぽさを改善してほしい。都心の割に地方都市感がすごい。幼い頃から風景が全く変わっていない。まちづくりにきちんと取り組んでほしい。
- ・動物に優しいまちづくりを期待する。
- ・蒲蒲線が実現するものなのか、全く実感を覚えません。なぜならば蒲田駅周辺が何も変わっていないからです。大田区は羽田空港という日本を代表する場所があるにも関わらず、街の状態とのギャップがあまりにもあり過ぎると感じます。まずは第一京浜の梅屋敷から大森町までの状態から考えてはいかがですか。ほったらかし過ぎです。
- ・大田区の西側と東側で地域開発に差があるように感じました。羽田空港近辺や京急線沿線に比べて、馬込や雪谷、千束近辺ではここ数年での変化はあまりみられないと感じました。
- ・困難な状況が多い大変な時代に入ってきましたが、ファミリー層が多い大田区に少しでも豊かで、健やかに笑顔になれる、生活の基盤を整えていただきたいと思います。
- ・今まで大田区に住んで、不便を感じることはなかったし、住んでいる者にしたら、結構生活しやすいと思います。大田区以外住んだことないので私には充分です。
- ・古い時代と、現在がうまく溶けあっている。
- ・再開発をどう進めるかにつきますのでは？
- ・大森在住ですが、開発等取り残されているのではとの印象があります。山王側の駅前が老朽化が進み、街のイメージが悪くなっているように感じます。緑豊かで、清潔感があり、日々の暮らしがイキイキするようなまちづくりを進めていただけるとありがたいです。
- ・子どもたちも長く住み続けたいと思うまちづくりをお願いします。
- ・魅力ある区にしてください。
- ・車いすの人が自由に動けるまちづくりをしてもらいたい。

- ・ 近所で行われるらしいリニアモーターカーの工事や、せせらぎ公園の開発に大変不安と関心があります。
- ・ 昨日より今日が良い、と感じるまちづくりを期待します。
- ・ 蒲田駅ビルをもっと魅力的な場所へ。
- ・ 大森駅前再開発案が出ていたが、早く進めてほしい。
- ・ 羽田から国内外の人が来るのに蒲田（京急蒲田）が全く発展していない。
- ・ 池上駅周りの再開発と沿線の開発連携が良かったです。
- ・ 平和島駅周辺の道路や町並みの整備を進めてほしいです。歩行者が歩きやすく、自転車も走りやすい歩道や道幅、もう少しスッキリとした町並みが理想です。
- ・ J R 蒲田駅の東西自由通路を早く整備してほしい。現状は不便過ぎる。
- ・ 高度商業施設の整備。蒲田駅東西地域の再開発により魅力的な施設整備を行い、国内からの観光客を集客する。
- ・ 災害に強いまちづくりを推進してください。
- ・ 災害に強く、自分達よりも次世代の人達がより良い環境で住める事を目標に進めるものだと私は思います。
- ・ 南馬込の桜並木通りの植込みの手入れが悪く、アブ・蚊が多くて困っています。美しい景観は街と大田区のイメージ、価値を高めるものと思います。
- ・ 他区等と比べて緑への取組等の遅れがあり、住居としては見劣りがするので、もっと緑の整備を充実してください。
- ・ 緑を多くしてほしい。
- ・ 緑が多く、良く管理されている。
- ・ 緑を残してほしい。
- ・ 蒲田地区の駅近辺の環境整備と住みやすい町だというアピールが必要。区外者のイメージが非常に悪い（汚い、危ないとか…。）宣伝不足。単身者の中で、実際に住むと非常に暮らしやすい町という声もよく耳にします。
- ・ 道路や景観の整備、もっとスピード感のある行政対応をしてほしい。

2. 交通網

- ・ 坂が多い土地柄なのに区の独自バスがなく、70代の妻が夫を車いすにのせて坂道をのぼっていたり、障がいのある成人の息子の車いすを高齢な母が押していたりするのをみるにつけ、小回りのきくバス運行があればいいのと思う。
- ・ 京急蒲田とJ R 又は東急蒲田駅をつなげてほしい。空港線路線に住んでいて一番不便に感じます。
- ・ 終バスが早いので駅から遠い場所に住んでいると非常に不便。
- ・ 蒲蒲線の実現に期待している。（同様意見あり）
- ・ 蒲浦線は必要がない。（同様意見あり）
- ・ 羽田空港へのアクセスの向上をお願いします。
- ・ 大田区内での電車の移動が横のラインばかりなので縦のラインを考えていただきたい。もっと生活速度が上がり、交通が便利になると思います。
- ・ 池上駅もとても綺麗になり、利便性も増しました。あと要望ですが、蒲蒲線の開業を宜しく願いいたします。
- ・ 羽田空港とJ R 蒲田駅の接続。
- ・ 公設バス路線の増設（私バス路線外を）。

- ・坂が多いので、自転車を置ける場所（スーパー等）を増やしたり、電動自転車の購入補助金やコミュニティバスの様なものなども考えてもらえると助かると思う。住みやすい便利な、安心して暮らしていける区であってほしい。
- ・城南島のバスの本数が少ない。通勤でしか使用しないから、というのは理解できるが、いつもかなりの満員状態なのはどうか？バス以外にも交通手段を考えては？
- ・交通網の整備。羽田空港に便利な鉄道網を整備。現在の「蒲蒲線計画」では不十分。蒲田駅からの新路線。
- ・浅草線生活圏とＪＲ池上線生活圏が交わらない。
- ・通勤時浅草線を利用しておりますが、大雪の際にはどのエリアにも出られず、バス・タクシーもパニック状態、陸の孤島となりました。もう少し利便性が高まると大変助かります。
- ・羽田空港へのアクセスの利便性改善。
- ・シェアサイクル等。

3. 道路

- ・公道（区道か都道かわかりません）の歩行者専用の白線が狭すぎて危険。車両優先の感じを受ける。歩行用の白線の幅をもっと広げるべきと考えています。買物等で出掛ける時、車を避ける等とても危ない時が多くある。
- ・一方通行や細い道が多い。ちょこちょこ道路を掘って、部分埋めをするので、道路がボコボコしていて歩きにくい。
- ・車通り、人通りのある道にガードレールや歩道を整備してほしい。またそのような道で路駐をしている工場の車などがあると危ないので取り締まってほしい。
- ・電線の地下埋設工事の促進を頼みます。せっかく道路を拡張しても電柱が邪魔している。
- ・家の近くの道路は、下水道工事等の影響か、でこぼこですごく歩きづらい。高齢の母は歩きやすい（平坦な）道路の真ん中をいつも歩いていて、危なかった。これから私も高齢になる上で、こういう街の道路整備が必要な所をピックアップして、住みやすい街作りをお願いしたいです。
- ・道路を整えてほしい。狭い道や、デコボコ道が多い。
- ・道路に関して不満がある。道路を拡張しないで自転車レーンがあつたり、あいまいだったり、裏道を含めセットバックできていない所や段差の多さ等、強制的にでも早く対処してほしい。
- ・大森駅のタクシー乗り場のバリアフリー化をお願いします。西口も東口も坂になっていてとても怖いです。蒲田駅はフラットになっているので乗りやすいです。
- ・ＪＲの高架化。
- ・近くの世田谷区等と比べて道路整備の遅れがあり、住居としては見劣りがするので、もっと道路をきちっと整備してください。
- ・上地台は坂が多いので車・自転車（電動）のガードレール、カーブミラーの取付けを希望する。
- ・道路改修工事、昔も今も相変わらず多すぎる。
- ・ＪＲの踏切が、朝夕なかなか開かなくて不自由。開くとたくさんの人が競って渡るので危険。京浜急行のように立体にするように提案することを区ではできないのですか。
- ・６年前まで区外に住んでいました。そこに比べ、大田区は道路（歩道）が歩きにくい。
- ・平和の森公園は、今年からマラソンコースができましたが、その道は自転車も走るので、道路を色分けしてほしい。マラソンコースと自転車コースと道路を分けたら、接触する事もないと思う。
- ・歩道の整備や自転車レーンの整備（環七沿い）。
- ・六郷土手周辺の道路は道路幅が狭い。また途中まで拡張されているが、そこから先は工事する気配もない。

- ・昔ながらの町並みでしょうがないですが、本当に道が狭い。最近は大車が多く、一方通行でもすれ違う際には恐怖を感じる。
- ・大森駅前の海側と山側の車や自転車での動線がJR線高架下に限定されている不便を解消してほしい。
- ・電柱の地中化を推進してほしい。
- ・道路が歩道と車道に分かれていないので狭い。歩いているとすぐ横を車や自転車がスピードを出して通るので怖い思いをする。
- ・道路が狭いので、火災等の時に消防車や救急車が通れないと思われる道路が多い。
- ・電柱などはなくしてほしいものですが、相当難しいのでしょうか？台風の強風や地震時の倒壊など、最近では危ない事故が増加しているようなのでぜひお願いしたいところです。
- ・道路を掘り返しては何かの工事。道を埋めたかと思えば翌月にはまた掘り返して何かの工事。まったく税金の無駄。

4. 公園

- ・公園内を自転車で乗り入れる親子や学生等がいて危ないので、区として呼びかけ等してほしい。
- ・遊具のない公園に遊具を設置してほしい。
- ・多摩川1丁目に、小さな子ども達が遊べる公園が無いに等しい。他のエリアは遠出の散歩をすると公園をよく見かけるが。
- ・公園のトイレは2ヶ所にしてほしい。
- ・数ある暗い、汚いイメージの公園を明るく美しく。
- ・ドッグランがほしい。
- ・近所の公園を子ども達と利用させてもらい、帰りにごみ拾いをして戻ることがあります。新しい公園ですし、花や木々も多く植えられているので、きれいに利用する方が増えるといいなと感じています。
- ・子どもがボール遊びのできる公園が増えるといい。
- ・子育て中に、近くの公園は小さくてボールも使えないため、子ども達はゲームばかりだったので、公園の使い方を考えてほしい。
- ・コロナ禍で子どもを公園ぐらいいしか行かせることができないのに、周辺住民による苦情などで“静かに”遊ばせないといけないうことを区としてはどのようにお考えでしょうか？「在宅ワークの人の気持ちを考えろ」という投書があったようですが、子どもたちはどこまで我慢すればいいのでしょうか。
- ・公園のトイレをきれいにしてほしい。
- ・街中に誰にも利用されない小さな児童公園的なところをかなり見かけますが、手入れも必要かと思えますので、それならばもっと緑化に力をいれた場所にして、憩いの場にされたいのに、と思います。
- ・児童公園や野球場の管理・清掃をしっかりと行っており、子ども達の遊び声が高齢者の気持ちを明るくしてくれています。ありがとうございました。
- ・公園を充実させてほしい。
- ・公園が酷い。汚い、整備されていない。
- ・小学生が子どもだけで川へ遊びに行かないように気を付けて見守っていますが、たまに児童だけにいる姿を見かけます。犬の散歩の時に、知っている子には声をかけたりしていますが、川沿いは子どもだけでいるのは危険だと思い勝手に心配しています。子どもが広々と遊べる公園がもっとあると良いなあと思います。
- ・大田区は公園が少ない気がします。

- ・ 大田区の公園はどんなに小さくてもトイレがあり、非常に良い。
- ・ 環境的にペットを飼っている人が多いが（自分を含め）、ペットと一緒に遊べる所が全くないのがとても残念。多摩川に大型のドッグランなどがあればもっと地域は活性化すると思います。ペットと一日一緒に過ごせる施設があればもっと大田区に魅力を感じる。
- ・ 公園を利用したいが、児童公園ばかりで大人が憩える公園が地域には少ない。
- ・ 聖蹟蒲田梅屋敷公園が小さくなるのはちょっと残念。
- ・ 子どもが遊べる公園は大事ですが、都心の方では子どもがボール遊びなどで遊べるエリアと大人がくつろげるエリアに分かれている公園があることと比べると、子どもだけでなく大人も憩える公園が少ないと感じる。また、夜の公園では中高生が騒ぐことが多く、騒音で困ることが多い。中高生が夜にボール遊びをして音が響くこともあります。
- ・ 子どもが走り回って遊べる場所がほしい。
- ・ 公園での喫煙や歩きタバコが多いのでもっと取り締まってほしい。
- ・ 京浜国道拡幅で消滅寸前の「聖蹟蒲田梅屋敷公園」の保存。歴史遺産を重視する区政が問われる。

5. 自転車対策

- ・ 250cc 以上の大型バイクの駐車が蒲田東口駅前や周辺に 1 つも無いです。公共の時間貸バイク駐車場を作ってください。又は、バイクが駐車できる場所を作ってください。
- ・ 西馬込駅の自転車置き場を梅田小学校側にも作ってほしい！第二駐輪場は遠い。駅前の駐輪場は朝の 9:00 でいっぱいになり、馬込駅までいかないといけな。蒲田西口の駐輪場（無料）も空いている所を見つけた順ではなく、東口のように並ばせたほうが良いと思う。子どもづれや妊婦さんはなかなか停められない。
- ・ J R 蒲田駅を出て線路沿いに北に向かうと、駐輪場があります。東口側にもありますし、西口側にもあります。その 2 つの駐輪場を、たまに利用させていただいています。便利です。
- ・ 駐輪スペースが少なすぎるので、どの駅も駅前に放置自転車が常にある。
- ・ 駅前の自転車整理の方は必要なのか？駐輪場を整備した方が利用者也使いやすいと思う。雇用の問題で必要なら、もっと多くの自転車を停められるよう頑張ってもらいたい。せっかく何人もおじさんが立っているのに自転車がすっきり整列されていて、その幅で停めるならスタンドを設置すれば良いのと思う。
- ・ 大森駅前の自転車置き場、特に山王側のスペースを確保してほしい。L u z 大森のような区の施設を山王側にも設けて、自動車の駐車スペースを確保してほしい。

6. 住宅

- ・ 60 歳より公営住宅の申し込みをしています。一度も入居できずにおります。
- ・ 糀谷、空港線エリアにワンルームマンションが多すぎる。駅から 10 分以内のファミリー向けマンションの拡充をお願いしたい。街の発展・活性化には、ファミリーを呼びよせた方が明るい街になると思う。
- ・ ワンルームマンション、アパートだけではなく、定住を見込めるファミリータイプの住宅（マンション）をつくるべきだ。人口減少の懸念。
- ・ 大田区は人口の流入が続いているようですが、もう十分だと思います。住宅環境の規制を厳しくして、マンションの乱立や土地の細分化に歯止めをかけてもらいたいと思います。
- ・ 年金で入れるアパートを区で作ってください。

- ・ 6年前に大田区に転入し、妻と子ども2人の4人家族で暮らしています。今後も大田区に住み続けたいと考えていますが、やはり住宅の確保が難しい状況ですので、大田区内に住宅を持ちたいと考えている者に対する補助事業等の住宅対策の拡充を希望します。
- ・ 空き家（人が住んでいない）が家の周りで増えてきている。木が伸びてそのままである。古くなって白アリ、羽アリが心配である。
- ・ 空き家や使われていない会社の建物をどうにかしてほしいです。
- ・ 空き家が隣にあり、30年以上も放置されたままである。天災などによる危険が増している。このような状況を区として対策をしっかりとしてほしい。

7. 交通安全

- ・ 自転車で車道を走るのは、こわいです。
- ・ 車を運転する方々が通行人（歩行者）に優しくしてくれる街であってほしい。私は自転車に乗る者として、歩行者優先と考えています。自転車に乗る方々もマナーが悪い。（同様意見あり）
- ・ 歩道を走る自転車を日々怖いと思っています。大森駅近くに住んでいます。私、68歳。若い時のような身のこなしができず、そのうち事故になるでしょう！
- ・ 自転車が多い地域ですが、毎日危ないと感じる場面があり、個人のマナーやモラルだけに頼るには限界を感じています。大田区として安全に力を入れてもらえると助かります。道路の整備や交通ルールのリーフレット等の配布、自転車の交通違反に対するパトロール等。
- ・ 自転車、歩行者が安全に安心して通行できる道路は無理でしょうか？交通ルールがめちゃくちゃなのは本人の自覚しかないのでしょうか。
- ・ 自転車専用道路を充実してほしい（歩道を走る自転車が怖い）。
- ・ 大きな道路の端に、自転車のマークだけをつけ白線内を走るとは大変危険です。きちんと整備してください。
- ・ 大田区は、自転車に乗る方が沢山いらっしゃいます。私もその1人です。自転車での移動は地球環境への配慮にもつながり良いと思うのですが、自転車道の整備や、お店に駐輪場が設けられていません。小さな改善が大きなエコにつながっていくと思います。又、事故も減らせると思います。
- ・ 自転車走行でのトラブルに遭うことが多いので、環境整備に力を入れてほしい。
- ・ 私は平和島大森間を徒歩で通勤しているが、当然のように歩道を走る自転車が多すぎるのを何とかしてほしい。3年程住んでいるが、最初来た時自転車が多すぎて驚いた。ここは歩行者にとって良い環境ではない。将来的には自転車専用道路を作った方が良い。
- ・ 自転車を購入し、はじめて自転車が乗りづらい道路事情だと分かりました。歩行者や自動車との共生や自転車に乗る人のモラルも課題だと思いました。このあたりのルールが浸透すると良いなと感じています。

8. 空港臨海部

- ・ 羽田空港の飛行機利用（南風時の離陸）を再考してほしい。従来の離陸体制に戻してほしい。騒音が大きくなっている。
- ・ 羽田空港は大田区だともっとアピールすべき。

9. 国際交流

- ・ 羽田空港を利用した、国際化を進めてほしい。
- ・ 大田区は、新宿区などと同じで外国人が多い割に広報やポスター等のメディアの内容が日本語のみの多い。ごみや公共の掲示物を多言語化する事を望みます。これは、無意味なコミュニティー阻害を防げると思います。ごみの分別等にアジアの言語（ベトナム・タイ語など）、韓国語・中国語・英語だけでは無理です。
- ・ 治安を守りつつ、羽田空港がある町として国際交流が盛んな、活気あふれる大田区にしていきたい。
- ・ 国際交流はいいが、日本人と外国人のカルチャーの違いをお互いが理解した上で、尊重し合わないとは前向きな成長がされません。

10. 産業

- ・ 買い物が不便。多摩川駅付近に適当な店がない。
- ・ これからも地域の産業を大切にしていってほしい。地域の産業を支援し、職人の持つ技術を守り受け継げるように。また、区民と関わる機会をもって広報の一環とする等。これからの期待しています！
- ・ 大きいスーパーやコンビニを増やしていただけるとありがたいです。
- ・ 喫茶店の様なおしゃべりができる場所がほしいです。大森駅迄行かなければコーヒー、ケーキ等はありません。高齢者のおしゃべり場所があれば住み心地は良い方だと思います。
- ・ ペットを連れてお買い物等できる空間がほしい。
- ・ 蒲田・大森など特定の場所以外の商店街に活気がない。そういった点で不便。洗足池周辺は良い店（カフェ、レストラン、スーパー等）が増えれば活気がある場所になれると思う。
- ・ 年齢に応じた労働の場の確保。健康高齢者の労働の場の確保。技術、考案（発明）等への参加の確保。
- ・ 京急側の商業施設を増やしてほしい。買い物に不便。大型ショッピングモールを誘致してほしい。
- ・ 高齢者でも働けるところがほしい。
- ・ 横浜の実家と職場の間間だったので住み始めて、40年。リタイア後は特に住み易く、気に入っています。理由として、まわりの工場、商店等の経済活動が盛んであるから。
- ・ 自宅から行きやすい所にちょっと立ち寄れるショッピングモールがほしいです。
- ・ テレワークなどしっかり対応している中小企業にサポートを！
- ・ ぜひ中馬込にも大型のスーパーを作してほしい。
- ・ 地域に根づいていた米屋、魚屋、八百屋等が次々と廃業している。糀谷などの商店街が減びないようお願いしている。
- ・ 雑色商店街は道が長いわりに店が少なく、利用する店も少ない。整備して、もっと暮らしやすくしたら良いのと思う。子どもが多く、学校も多いのに、子ども服などを取り扱う店がとても少なく、区外や神奈川県へ行かないと買えない。
- ・ 小さな商店街が他より多いと思う。そういう商店街をうまく利用するようにできればいいと思います。子ども達の見守りとか、地域に密着した。せつかくの商店街がもったいない。
- ・ 商店街を活性化させてほしい。コロナ禍において、子ども連れでスーパーに行くのはなるべく避けたい。
- ・ 日本産業の窓口的な産業の「秋葉原化」。日本の産業技術をいつでも紹介する窓口としての紹介施設を作してほしい。
- ・ 利便性には満足している。しかし無理だと承知だが大型スーパーが駅の近くで、営業が25時位まであれば共働き世代にはありがたい。
- ・ 家庭菜園を増やしてください。

11. 観光

- ・ 大田区のキャラクターであるはねぴょんが大好きです。区の観光振興や国際交流推進にもっとはねぴょんを活用していただきたいです！
- ・ はねぴょんは、とても可愛いです。マスコット人形を作ってください。

<基本目標 3 地域力と行政の連携がつくる人と地球に優しいまち>

1. 地域社会・文化

- ・ あまり機能していない自治会をどうかしてほしい。又、自治会を通じての寄附活動が、強制的になっていて、やめてほしい。自治会もコロナで止まっているのに、会費や寄附だけ回ってくる。
- ・ 大田フェスタを年に2回開催してほしい。
- ・ アプリコやプラザでやるコンサートの演目が昔よりつまらない。
- ・ 家族構成が変わり、それぞれが個々の問題を抱えていて今までのような穏やかな付き合いができていない。これに対する行政としての姿勢を明示してほしい。
- ・ 子どものいない夫婦、独身でも住みやすい環境や、交流の場を作してほしい。
- ・ 新規居住者と長年にわたり暮らしている住民との間に軋轢が生じている為か、コミュニケーションが地域内で希薄になってきています。
- ・ 花火大会を是非開催できるようになってほしい。
- ・ 文化は隣の川崎市の方が力を入れていると思うので、そちらに行ってしまう。音楽や娯楽がもっと充実してほしいと思う。
- ・ 私は、大田区で生まれ育って56年経ちました。この街が好きです。仕事も忙しく、なかなか実現しなかったのですが、大田区が行っている事に積極的に参加したいと思っていました。今後のお願いなのですが、いっぱい企画して、区民として参加できる事を我々に教えてください。宜しくお願いします。
- ・ 大田区に来て約4年。知り合い（友だち）がいないので情報がない。話をする場が無い。
- ・ 文化、特に美術や舞台芸術の振興をお願いします。
- ・ 今回のアンケートに回答して、50年も大田区に在住しているが、学校や仕事をしていると能動的に地域や行政に参加ができていないことを痛感しました。労働者でも参加できるような日時に活動する行政を考慮していただければと考えます。
- ・ 成人式をしなかったところに区の姿勢を感じる。何を見て、どこを向いて区行政が行われているか。
- ・ 出張所のコロナ対策は不十分です。外部者が触れるパソコンの画面を消毒していません。
- ・ コロナでの成人式の扱いについて、とても不満に思いました。
- ・ 特別出張所で可能な手続範囲の拡充。

2. 区民施設

- ・ 「羽田いこいの家」は畳部屋があったのに、特別出張所に移転してからは畳部屋が無い。畳は文化です。
- ・ コロナ禍で宣言がでるたびに小中学校の体育館や施設などが利用できず、とてもとても親子でガッカリして困りました。もっと柔軟に、いろんなことをしてほしい。ほとんどが利用でき、中止にしなければいい気がします。
- ・ 屋内で子どもが遊べる施設があるといい（コロナ禍では難しそうですが）。
- ・ 世田谷美術館のような大きな区立美術館の建設を希望。
- ・ 大田区は広いので、利用できる行政機関が遠く、不便に感じる。

- ・ J R 蒲田駅（ビル）の中に、区役所出張所、図書館、スポーツ施設、シングルマザー（ファザー）等に対する支援センター（児童館 e t c を含む）などの設置が必要。
- ・ 大田区の本庁舎を別の地域へ移設（都会的な所へ）。蒲田は田舎すぎる。調布地域へ！
- ・ 箱モノばかり。
- ・ 区の施設が、京急エリアにしかないので、北エリアの住民には使いにくい。
- ・ 昔から大田区は箱物好きと言われていますが、後世に負の遺産にならぬ様、建物の維持費などを考慮し専門家の意見を取り入れてほしい。
- ・ 区民センター・文化センターの体育室の冷房機器設置。
- ・ 大田区内の施設や区政等で、蒲田地区近辺と調布地域との差が大きい。

3. 防災

- ・ 洪水対策（多摩川の洪水）をしてほしい。（同様意見あり）
- ・ 河川氾濫時の避難先が少ない。
- ・ 最近では災害のことが心配です。川や浜辺が家の近くにあるので津波や氾濫が少し心配です。もっと災害時の対策をお願いします。
- ・ 多摩川の氾濫や地震など、災害時の不安が多い。
- ・ 台風など大雨時の川の水量等がかなり気になる。
- ・ 防災無線の内容が聞きとれない。音量は十分であるのに、内容がエコーなどでわからない。河川の水量などのリアルタイムに見たい情報を、いつでも閲覧できるようにしてほしい。（同様意見あり）
- ・ 個人個人が備蓄や災害時における対策をとれるようなシステム、情報を流してください。
- ・ 今一番の気がかりは多摩川の氾濫です。水害にならないか、どのタイミングで避難したら良いのか、その時が来たら的確な判断ができるのかなどに不安を感じます。
- ・ 多摩川の洪水等、人命に関わる災害の危険性が増している。国や都に働きかけるだけでなく、基礎自治体として、主体的に防災に取り組んでほしい（排水施設の強化、堤防の強化、耐震化の推進等）。
- ・ ハザードマップが見づらい。もっとわかりやすいものにしてほしい。
- ・ 災害時、震度 6 以上になると我が家は完全にアウト。以前からそうなる前にと考えてはいるものの先立つものがなく、いつも不安です。耐震対策がある事は分かっていますがそれもどの位の費用なのか？
- ・ 令和元年台風 19 号の時ですが、多摩川の土手近くに住んでいるため避難命令が出ても遠くて行かれる状態ではなかったので、我が家の 2 階に生活用品を上げて過ごす事とした。近くに避難場所を作っていただくと大変うれしいです。高齢で遠くに行かれないのでお願いします。
- ・ 多摩川の近い所の 2 階建てに住んでいますが、決壊した場合の避難場所が不安。近くの高層マンション（ドアロックがかかっているため？）等の確保など区としてどの様に対策を考えている？
- ・ 台風が来て避難勧告が出ても避難場所はすでに満員で避難する所が有りません。避難場所が少なすぎます。今の避難場所に何人収容できますか？そしてその周辺の住人は何人いると思いますか？おおた区報で発表してください。
- ・ 区内には私有地含め老朽化した建物が多い。災害の面からも建て替え促進をお願いしたい。まずは道路に面した側壁からでもぜひ。災害（台風接近など）時に防災無線で呼びかけているのはよいが、そのようなときには轟音となっており、また窓を閉め切っているため声は聞こえない。通知方法を再考してほしい。もう少し D X（デジタル・トランスフォーメーション）の活用をお願いしたい。
- ・ 喫緊の心配は、コロナよりは災害。防災マップはよく確認しているが、本当に何か災害が起きたとき、うまく機能するのかが心配。自分自身の問題もあるが、地域として、訓練はもとより、老人・障がい者をキチンと把握して、彼らへの手助けができるように工夫されているのか？などを心配している。
- ・ 町中に公園が少なく、学校を入れても災害時の避難場所にこの人口が収まるとは到底思えない。
- ・ 津波が発生した場合に多摩川沿いの住民が受ける被害範囲の想定が知りたい。

- ・ 体幹、膝等が不自由な身体障がい者です。災害の時、1人で避難所へ行くことができません。普段はほとんどタクシーで移動しています。ケアマネージャーさんはそれを知っています。

4. 防犯

- ・ 大田区の一部の地域は治安が悪いというイメージがある。このようなイメージを少しずつでも無くしていければ良いのではないかと思う。人々にとって暮らし易い、住みたい街ランキングにランクインするような街になっていたら嬉しい。(同様意見あり)
- ・ 自分はあまり区政とかに興味がないので分からないですが、蒲田の治安が悪いのは地方の人が知っていました。私はとても住みやすくて好きです。
- ・ 日中でも不審者が歩いていることが多く、不安を感じる。
- ・ 品川区の「まもるっち」のように、子どもに電話を貸与してほしい。防犯対策にもなるので。
- ・ 街灯が少なく暗い住宅地が多いので、夜は危険を感じる人が多い。羽田・蒲田・平和島など、治安の悪いイメージが強いので、大田区のイメージも悪い。イメージを変えてもらいたい。今後外国人が増えていく(住民として)と思われるが、治安が心配。
- ・ スーパーや商店街の充実度は素晴しかったですが、中高年者の歩きタバコ、歩き飲酒、駅前にたむろしたり(酒有)、自転車に乗りながらのタバコなど、治安の悪さが目立ちました。資源物も毎週盗まれました。
- ・ 飲食店の夜間営業に伴う騒音や治安の悪さ・マナーの悪さに対して、行政指導の強化と警察との連携の定例化をお願いしたい。
- ・ 多摩川河川敷の夜間照明の整備。
- ・ 呑川に街灯・防犯カメラを付けてほしい。暗すぎる。
- ・ 大田区内でも治安の良い地域・悪い地域があり、悪い地域の治安改善に努めてほしいです。蒲田駅周辺など…。マナーの悪い外国人などが多数居住しているのも気になります。
- ・ 街灯が少なく仕事から帰る際に不安である。学校の近くの明かりが暗い。変質者が出るため明るくしてほしい。
- ・ 大田区外に住む友人から「蒲田は治安が悪い」と言われることがよくあります。JR蒲田駅周囲で路上飲みしている人や、道で寝ている人などの対策にもっと力をいれてほしいです。大田区は空港や海浜公園、池上本門寺など魅力的な場所が多いので、大田区の悪いイメージを払拭してもっと大田区の良さを広めて行ってほしいです。
- ・ 蒲田駅周辺の環境・治安に不安を感じています。パチンコ店やネットカフェ等が多く、景観を損ねていたり治安悪化の原因にもなっていると感じており、駅周辺の再開発・整備による安心できるきれいな街づくりを強く希望いたします。
- ・ 国際化推進の裏側で治安に対する不安も出てきているのは事実です。日本人が住み易い街作りをお願いします。
- ・ 暗い道があるので、街灯の少ない場所を点検して設置してほしい。明るいと言犯罪の抑止にもなると思います。
- ・ 外国人の増加はいいが、犯罪の増加を許さない事を徹底していただきたい。
- ・ 治安について、以前に比べて近隣の不審者情報が多くなっており、治安の悪化を感じます。社会的に問題を抱える人が阻害されることなく、救済されることで、世の中への不満は減り、治安も保たれると思います。弱者に対する、行政の手厚いサポートを望みます。
- ・ 住んでいる地域の商店街はさびれて街路灯は少なく、駅から徒歩8分の距離なのに寂しく危険を感じます。もう少し行政がまちづくりに提案などできないものではないでしょうか？
- ・ 防犯に力を入れてほしい(住んでいる久が原は問題ない)。

5. 環境・地球温暖化対策

- ・ 町の緑化は大いに結構ですが、皆それぞれがきれいにして、ポイ捨てをなくしたいものです。
- ・ 大きな道路沿いに住んでいるためか、空気が汚い。家がすぐに汚れる。
- ・ 西蒲田地区呑川沿い環境改善。
- ・ 外でタバコを吸う人が多すぎます。隣の家も最悪です。
- ・ 結婚までは田舎に住んでいたのが多くきれいな空気の中で暮らしていました。大田区に住んでから（40年以上）風邪をひくとすぐ咳になり、咳が長引きます。やはり羽田空港の対岸に住んでいるのが原因の一つではないかと思ってしまう（大森南）。もう少しきれいな空気の中で老後を過ごせたらと思います。
- ・ タバコ、ごみのポイ捨て防止が不十分です。
- ・ 呑川を埋め立ててほしい（小さい虫がたくさん出る）。
- ・ 現在生活している人だけでなく、次の世代のことも考え、環境問題に積極的に取り組む区を目指していただきたいです。
- ・ 喫煙所を作ったのは残念でした。大田区は多摩川が近く、とても自然が身近で好きです。
- ・ 喫煙者の歩きや自転車に乗りながらのタバコを、もっと厳しく注意してほしい。ポイ捨てが目立ちます。
- ・ 住民自身による周辺の道路美化活動の推奨を。汚れが目立つ。
- ・ 多摩川土手の草は定期的に刈り、みんなが楽しめる場所にしてほしい。
- ・ 現在、たばこを吸う場所が減ってきていることで、道端で吸う方や、仕事の休憩中に公園で吸う方をよく見かけます。全員ではないですが、吸いがらのポイ捨てもよくあります。子どもがいるので、吸う方の近くに行くのも戸惑いますし、公園で吸ってはいけないことになっていますが、声をかけることはできません。なので、喫煙スペースがもっとあれば、そういった方が減ると思います。
- ・ 喫煙のマナーについて、もう少し厳しく指導をしてほしいです。喫煙場所以外で喫煙される方やポイ捨てが多くて驚きます。（同様意見あり）
- ・ 呑川の水はいつになったら綺麗になるのか。何故、川なのに流れないのか。夏になるととても臭いの困る。改善されないのか？
- ・ 最近は夜の爆音バイクが気になる。爆音バイクが常識のような土地なら別に気にならないが、ここは人口密度の高い都内である。
- ・ 大森駅付近で夜中から明け方にかけてのバイク等がうるさいので何とかしてほしい。

6. ごみ・リサイクル

- ・ プラスチックの分別回収をしてほしい。
- ・ ごみの分別について…プラスチック容器の回収がありません。紙ごみ、生ごみと並んでプラスチックごみの量は膨大です。リサイクルが必要だと思います。
- ・ ごみの収集について、カラスに荒らされている所が多くみられます。カラス対策をもっと強力にしてほしい。
- ・ ごみ収集に関する要望です。現在、曜日ごとの収集時刻にばらつきがあり、回収されなかったごみが残されたり、季節によっては悪臭・カラス等の被害が発生しています。8時までに出す原則は承知していますが、日によってあまりに回収する時刻に開きがあると、住民にも負担になるように感じます（次の回収日に大量のごみが道路を覆うこともしばしばです）。また、数年に一度は回収曜日の見直し（変更）をしてはどうでしょうか。
- ・ ごみの収集のルール違反の増加による近隣住民の被害救済。
- ・ 可燃ごみ収集の日が週2回では少なすぎる。来る時間が早すぎる。

- ・ 区政と言って良いか分かりませんが…最近、カラスの数が増えているように思います。ごみの収集日には、よくあちこちでごみが荒らされているのを目にします。カラス対策をお願いしたいです。また、プラスチックごみなど、他の行政では資源ごみとして扱っている物が可燃ごみ扱いですが、もう少し資源として回収できないものでしょうか。ごみを玄関先で回収していただけるのはとてもありがたいと思っています。
- ・ リサイクルの場として神社や大きなロータリー場などでフリーマーケットができる場を作ってほしい。
- ・ ごみ集めは各家の前でしてください。袋から汁が出ているなど、とてもひどい出し方をする人がいます。自宅の前でしたら、多分気を付けるでしょう。それに妊婦さんとか足腰の弱った方も助かると思います。他区ではとくにやっています。又、他県では夜に集めている所もある様です。テレビで見ました。
- ・ 缶の回収日に持ち去る人が沢山いるので見回りをしてほしい。
- ・ 内川のごみをもっと取り除いてほしい。資源の日にトレイなど軽い物が飛んでごみになってしまう。
- ・ 粗大ごみの料金が高すぎる（どんどん値上げされていく）。
- ・ 不要品をリサイクルする場を身近に設けて貰えると助かります。
- ・ ごみ出しのルールを守らない人がいて困っています。日時関係なく大量に放置されるので、不衛生な上、車も出しづらく大変迷惑しています。半年近く続いているので、そもそもごみ置き場を廃止してほしいです。
- ・ ペットボトル、ビニールなどごみのポイ捨てされたものを、そのまま見過ごすのが心苦しいけど、自分の家のごみとして回収して捨てるのはもっと嫌です。本当はポイ捨てそのものがない方が良いけど、そういったごみを放置しない環境または施策があればいいなって思います。
- ・ 最近、以前に比べて街が汚れてきていると感じます。ごみの収集後の集積所がいつも乱れているので、もう少し丁寧をお願いできると嬉しいです。
- ・ 多摩川沿いにごみがよく落ちているが定期的に清掃があるのか気になる。自分も多摩川沿いに住んでいるので、もしボランティアが必要なら参加したい。

7. 広報

- ・ おおた区報はカラーで読みやすい大きさの字でもあり、ポストに入っているため、情報を得やすく感じています。
- ・ 今どんな事をやっていてどのように良くしているのか、分かるようにしてくれると大田区をもっと知ることができて何か役に立ちたいと思う人も増えると思います。
- ・ 不勉強のせいか特に大田区としての区政の特徴を感じません。羽田空港跡地の利用についても以前は大々的に宣伝がありましたが、経過報告や現状をあまり耳にしなくなりました。区は、「このような事をしている」という報告を、ホームページを見るまでもなく、もっと知らせてほしいと思います。
- ・ 区のサービスを知りませんでしたし、ほとんど利用したことがありませんでした。例えば質問 23 (制度・施策・施設の認知度) に列挙されているサービス・施設は、これから当面きつと利用しないでしょう。ただし、JOBOTAについては今後利用の機会があるかもしれません。全般的に市民が参加しやすいように、周知・広告をもっとするべきかもしれません。ただ、高齢の家族と同居しているので医療費等のサービスを今後、多用する可能性はあると思います。質問に回答させて頂いたことによって区には、サービスが色々あると気づくことができました。
- ・ 公共の宣伝コーナーやお知らせコーナーがあればよい。(駅、バス停、公営施設)
- ・ おおた区報にもっとくわしい情報がほしい。
- ・ 紙のおおた区報はなくさないでください。

- ・ 大田区が区民に対して、今できること、今何をしているのかをもっとアピールしてほしい。大田区イコール大人しい区では他区の友人と話をし引け目を感じる。コロナの対策でも、もっともっと大きい声でアピールしてください。
- ・ おおた区報が細かすぎて特に高齢者にとって必要な情報を探しづらいと思います。他の区の区報はもっと見やすいものもあるので参考にさせていただき、改善していただけるとありがたく存じます。
- ・ コロナになり「おおた区報」がポスティングされるようになり、区報の存在が身近になりましたが、それ以前は町内会にも加入しておらず、見たことがありませんでした。役所まで出向かなくても、どこで手に入れられるのかなど、広くお知らせしてもらえれば良いと思いました。
- ・ 以前に比べますと、台風や地震に関する地域の状況、コロナに関する医療やワクチンについて等、居住区の情報に頼る機会が増えました。
- ・ 大田区長による大田区の国内外に向けての発信活動が消極的だと感じます。
- ・ 相談窓口などもっとわかりやすい、検索しやすいホームページにしてほしい。
- ・ おおた区報などの定期刊行物に知りたい情報が掲載されていない(保育園についての情報など)。
- ・ 区のホームページがナビゲートしにくい。せめて検索結果から必要な情報により簡単にアクセスできるように、検索精度の向上にも併せて取り組んでほしい。
- ・ 色々な政策がある事に驚きました。知れば私のように興味を持つ者もいるので、もっとアピールして周知させると活性化したり協力したりとより良い方向へ進むと思いました。
- ・ 大田いきいき写真コンクールに参加し、秋山先生の講演会で勉強になりました。コロナが済んだら、また、このような文化交流の場をお願いいたします。
- ・ 良いサービスがあっても利用できなければ意味がありません。どんな区民も情報を得やすいということが、多くの人の生活をサポートする上で重要なことだと思いますので、ぜひ分かりやすく、すぐに手に入れることができる情報発信をお願いいたします。

8. 広聴

- ・ 大田区民となって(転居して)半年強の為、わからない事が多く、意見・要望とも思い浮びません。他の区民の時は、このようなアンケート調査は無かったと思うし、大田区政の意欲は認められるので、さらに頑張ってもらいたいと思います。
- ・ 行政の職員で検討するのではなく、区民の意見を聞いてほしい。
- ・ この様な調査は頻繁に行うべきです。良いと思います。
- ・ 調査項目を縮小してほしいと思いました。
- ・ 区政への関心は4年間持ったことがありませんでした。これからはHPとかのぞいてみようと思います。
- ・ 区政や都政又は、国に対し関心を持っていても、今のそれらを見ていて個人の意見が反映されるとは思えなくなっている。国政が抜本的に悪くなっていると感じる日々が多く、区政に物申したところで同様ではないかと考えてしまう。しかし、期待している。是非参考願いたい。
- ・ 一区民の意見や要望が反映されるとは全く思っていないので、何も無い！
- ・ この世論調査に設問に対して、決まった設問しか無く、その他を記載するところが無い設問がある。
- ・ 区政に関心無かったが、今回アンケート回答して少し興味をもちました。自分には関係ない事だろうな～と思っていましたが、せっかく大田区に住んでいるし、このアンケートをきっかけに、SNSをよく利用するので大田区のSNS見たりして、日常生活に少しずつでも、区政に関わっていきたいなと思いました。
- ・ 世論調査の目的が、具体的でなく分からない。
- ・ 区民の声を反映した暮らしやすい大田区を望みます。

- ・ この世論調査が本当に役に立つことを願います。設問が少し不親切のように感じました。答えるための情報が少なく、当てはまる選択肢を選ぶのが難しいと思いました。
- ・ アンケートはとても良い取り組みだと思うが所要時間の目安や設問数を最初に記載してほしい。
- ・ フェイスシートの最初の質問に性別が男性か女性かという質問が苦痛。それが必須になっているのも苦痛。女性でも男性でもないと思っている人がいることも知ってほしい。
- ・ 今回の調査結果を区報で知りたい。
- ・ このアンケートには相当の税金が使われているはず。役所というところは、どうも「経費」という概念が乏しいと思う。アンケートの為に投入した税金はくれぐれも無駄になる事はない様、今後の区政に役立ててください。

9. 職員

- ・ 区の窓口へ行った際、全員がPCに向かっていて誰も来訪に気づいてもらえないことが多々あり残念です。「区民のため」のお仕事なら、ご案内係のような人がいても良い。
- ・ 大田区役所を利用する際は、ほどよいタイミングで声をかけてくださるので、質問しやすく助かっています。
- ・ 主人が障害者手帳等の手続きに伺いますが、いつも親切にしてください助かります。
- ・ 大田区役所に行った時、わからない時は案内の人が教えて下さるので、すごく助かります。
- ・ 役所の対応（電話や施設等）がすごく良いと思いました。例えば、区役所・出張所・施設等、どの窓口対応も良いと思いました。
- ・ 職員の人の知識が不足している様に思える。出張所などに行ってもわからない事が多く、あまりたよりにならない事がある。
- ・ 困った事に電話をしても縦割り行政で何度も電話する事になります。
- ・ 人口が多いので業務量が多いと思いますが、効率的にしかし丁寧に対応してほしいと思います。
- ・ 区役所での対応、縦割り行政だなあと感じる事が多いです。大田区に限ったことではないとは思いますが、区民からの質問等に対して、もう少し柔軟な対応をできないものか？と思います。
- ・ 窓口の担当がよくわかっていないケースが多い。
- ・ 子どもが公園で怪我をした鳩を拾って連れて帰って来てしまい、困ったので大田区役所へ電話して取り次いでいただきました。担当の方の回答が丁寧でした。
- ・ 区役所のなかに、“大田区の顔”となっている部署が見受けられません。例えば、他の自治体では“なんでもやる課”など、市民・住民と直接向き合う部署を置いているところもあります。コロナワクチンの対応をみても、23区中下位の部類です。
- ・ 相談事があると、出張所・蒲田の区役所を利用させていただいております。親切、丁寧に教えていただきサポートしてもらい、ほんとうに感謝しております。
- ・ 人件費やコロナの問題はあるが、対面受付は重要だと思う。
- ・ 以前、自宅前にごみの不法投棄があり大田区に電話相談したところ、直ぐに対応していただき、ありがとうございました。大田区で日々、安らかに暮らしている事に感謝申し上げます。
- ・ 大田区保健所の方には、コロナ感染の時に大変お世話になりました。ちょうど感染者が増えてきたところだったのですが、お忙しかった時でも電話で親切にしてくださいありがとうございました。
- ・ 区役所に出向いて感じた事です、職員さん達の数（人数）が多く、何の仕事をしているかと疑問に思っております。
- ・ 先日、コロナに感染しましたが、保健所の方々と接し、みなさん大変な中とても親身にご対応いただきました。ありがとうございました。
- ・ 役所に電話してどこでお尋ねして良いかわからない時など、こちらの希望する事を説明したところ、部署を案内し電話もまわしていただいたのでとても助かりました。

- ・ 区役所の対応をもう少し優しくしてほしい。
- ・ 窓口や案内係の対応があまり良くない。二度手間になることがある。もっとわかりやすくできないのか考えてほしいです。
- ・ 手続きなどで窓口に行く事がありますが、一度で済む様に説明しない場合が多く、何度も行く事になってしまう。事務的な対応なので、人材教育をすべきである。他の区と比べると知識のない方が窓口対応しています。
- ・ 今年の3月末のことですが、自宅前の道路のアスファルトの劣化について、相談したくて、区役所にお電話をいたしました。電話案内の方にお話すると、担当の方につないでくださり、地域担当の方がすぐに見に来てくださりました。アスファルトの劣化で日々、細かい砂に悩んでおりましたが、排水口にうまく水が流れるようにアドバイスをいただき、対処法を教えていただき、落ち着きました。又、数日後には、排水溝内の流れをよくするように排水溝を掃除してくださいました。年度末のお忙しい中、迅速で丁寧な対応に大変感動し、大田区に住んでいることへの喜びを感じました。
- ・ 子どもが生まれた際に提出する書類が多く、重複した内容がある。担当窓口が異なり個人情報保護の観点から情報共有できないとのことだが、ユーザー目線で一元化してほしい。コロナ禍での臨機応変な対応を検討してほしい(子育てにおいて窓口まで行かないといけないことが多かった)。区の職員の横串がささっておらず、「それはこちらの担当ではない」とたらい回しにされることが多いが、一般企業では有り得ない。
- ・ 申請主義の体制を改善してほしい。役所の人間はわかっている、利用したい人こそがその情報を知らなかったり、言っている意味がわからなかったりするものなのに、役所の人間はあぐらをかいている。役所の人間にとって、知らないほうが悪い、申請しないほうが悪い、というようなことが当たり前なのが納得いかない。そのような体制が改善されない限り、暮らしやすい街だとは思わないし、かかわりたいと思わない。縦割りなのも改善してもらいたい。
- ・ 自分には人口が多すぎて、緑も少なく生涯この地域に住みたいとは今の所感じていない。しかし転居届けの際の区役所の方の対応(女性の方皆)がとても良かったのが印象的だ。

10. 税金

- ・ 減税してほしい。(同様意見あり)
- ・ 個人事業主などコロナで苦しんでいるのに、区民税などの取り立てが頻繁に来て、補助金が出てもそのまま税金に持っていかれるので役に立たない。生活費にまわすこともできない(国税もいっしょです)。
- ・ 同じような制度があるので、制度の整理をして税金を有効に使ってほしいです。
- ・ 所得による、いろいろな給付の制限をなくしてほしい。税金を払山払っている人が給付時は制限されるのは不公平。
- ・ 低所得の方への税金の見直しをしてほしい。
- ・ 区民の支払っている税金で生活が成り立っている意識を今一度持ってほしい。尚、これは10年前に感じたことが変化したと思えないためであり、変化したならそれを「明確に」教えてほしい。
- ・ 税と使う事業について、本当に必要か再検討してほしい。ボランティアの活用を。
- ・ 現実の問題や矛盾というのは、日々新たにできてくるものです。それらに優先順位をつけ、解決していけば良いと思います。払った税金は充分に取り返していると感じています。
- ・ 区民にあまり必要ではない物(例えば大きな建物)に区費を使わず、区民が希望する事に区費を使ってほしい。
- ・ 税金を多く払っている方が払わない人より優遇されない様にしてほしい。
- ・ 外国人の増加はいいが、税金を納める事を徹底していただきたい。
- ・ 住民税がどう使われているのか可視化してほしい。

11. 議会

- ・ 区政に関して申し上げる事として、区議が何をしているのか全くわからない。
- ・ 少々、身勝手な見解かも知れませんが、区民が選んだ、議員（区議会）の方が、実績も無いまま都議会議員、国会議員になったりしているのを、なんとなく不快に思っています…。しっかりと、仕事（区のため）をして下さっている議員さんも当然いらっしゃると思いますが、やはり、選ぶわたし達が賢明な判断をして行かなくてはいけないのかも知れませんが…。
- ・ 区議の数がまだ多い。減らせ！区長の退職金も多いはず。除々に減らしてください。
- ・ 大田区議会議員の中にホームページ上でご自身の履歴を公開していない人がいます。するべきではないでしょうか。公開できない理由があるのでしょうか（公人なのだからするべき）。
- ・ 区議の働きが全く見えない。選挙の時しかこちらのエリアでは姿を見ません。
- ・ 区政は身近に感じられず、選挙の時だけ演説しているだけに思われる。国政・都政・区政、政治家が勝手にやっていて、庶民には関係なく進んでいる。
- ・ 区長はじめ議員は力を発揮していると思う。
- ・ 大田区政に興味を持ってもらうには、提供・待つのではなくもっと区民に歩み寄ってもらいたい。区議会議員・職員の積極的なリーダーシップが無いと感じる。本気度が足りない。
- ・ 正直、いつも何の活動をしているか分かりません。選挙のときだけ駅前で演説して、それ以外のときは何をしているのですか？何を見れば分かりますか？どこに行けば、会ってお話を聞いてくださるのですか？

12. 選挙

- ・ 選挙カー等がうるさい(昼寝中の子どもが起きる。在宅ワークでの会議に支障がでる)。

13. 国保・年金

- ・ 外国人の国保保険料の支払いについて、大田区内に住んでいる住民で国保保険料を払わない（あるいは未加入の）外国人に対して、厳しい対応をしてもらいたいです。大田区内では未納の外国人がたくさんいます。このようなことはきちんと払っている外国人にとって不公平です。また、国保保険料の支払いを条件として（未納にすること）、その外国人のビザの更新許可をしてもらいたいです。分割払いにしたとしても、最後まで払わない外国人が多いのでしっかり対応してもらいたいです。そして、国保に加入しない外国人もありますが、国保加入は日本の法律上義務となっているので、徹底的に加入する・させるよう指導してください。外国人からもきちんと徴収することができれば、大田区も財政的により良くなり、大田区行政のサービスの質をアップさせることができると思われます。
- ・ 健康保険料の負担軽減を要望します。

<基本目標以外>

1. 新型コロナウイルス感染症対策への対応

- ・ 日々お世話になります。ありがとうございます。コロナ対策については本当にいろいろと、大変かとは思いますが、よろしくお願いいたします。予防接種の予約や、マイナンバーカードの配布待ちについては、「とても、遅いなあ、時間がかかるなあ」と思いました。正直、「システムがあまりよくないのでは？」と思いました。是非強化してください。

- ・ コロナ感染対策、感染者数、重症者数、入院可能病院、ベッド数等のリアルタイム情報、PCR検査対応の充実等大田区の独自の行動を示してください。
- ・ コロナ対策をもっと厳しく対策してほしい。学校やお店、まだまだ対策が甘い所が多い。マスクをしていない人（コンビニやスーパー）もまだまだいる。人の流れを止めてほしい。また、スーパーなどソーシャルディスタンスをとってくれない人が多くみられます。私達家族は1年以上前から週に1度の買い物以外、外出もせず、外食も一度もしていない者です。こういった対策を町でみかけるたびに、むなしくなります。コロナ対策の徹底、どうかお願い申し上げます。
- ・ コロナ対策の手厚さがない。税金が区民のために使われているという実感が得られない。
- ・ 大田区は感染者が多いため、コロナ対策の強化。他の区のように早く行動してほしい。
- ・ コロナ禍での対応（給付金やワクチン接種など）が他の区に比べて遅いと感じました。（同様意見あり）
- ・ 規模や人口が多いからだと思うが、コロナ禍の対応が何事につけて対応が遅いあるいは後手だなあと感じることが多くなった。学校でのタブレットの配布、休校や再開判断、ワクチン接種など。
- ・ コロナに対する区の対応が納得できません。対応のスピードが非常に悪く、他の区政サービスの良さがあっても大田区から転出したい。
- ・ コロナウイルス感染防止対策について個人の差はあると思いますが、自宅から蒲田駅周辺間でマスクの着用をしていない方が多く見られます。また自宅の前に出ている方もノーマスクで会話をされている方もいます。特にご年配の方や男性の方が多く感じます。猛暑が続くなか、マスクを外したくなる気持ちもわからなくはないのですが、素人ながらデルタ株の感染威力も考慮するときちんとマナーを守っている人にとっては感染の拡大やクラスターの発生もあるのではないかと不安に思います。またノーマスクの方も警戒心が以前にも増して薄れているのもあるかと思います。大田区としてどのような対策をされているか把握していなくて申し訳ないのですが、大田区在住の人に周知する対策が必要なのかなと思います。
- ・ これからのコロナ対策について、早く高齢者に知らせてください！
- ・ 例えば、今はコロナ禍が大ニュースだが、区が何を発信しているかわからない。情報が少ない。
- ・ コロナに関して、HP上でもっと見解を出してほしい。
- ・ コロナウイルス感染防止対策について、マスクの着用とアルコール消毒の呼びかけももちろんですが、現在流行しているコロナウイルスがどんなウイルスなのか、大田区のリアルタイムの医療現場の状況など、改めて伝える必要があるかと思います。インターネットやSNSではなくアナログの方法も取り入れるなど老若男女問わず情報共有することが大切なのではないのでしょうか？大田区だけでは解決できない問題ではありますが、少しでも安心して暮らせる地域になればと思います。
- ・ 23区の中でもコロナに関しての対応が遅いと思う。行政の体質が古く、時代に合っていないのではないと思う。緊急時にこそ、行政の対応が問われる、と思うので、改革が必要だと思う。

2. 新型コロナウイルス感染症のワクチン接種について

- ・ ワクチンの接種券の配布が他の区より遅い。アクションが遅い。（同様意見あり）
- ・ コロナのワクチンの際思いましたが、もう少しスピードのある対応、やりやすい方法で行って下さるとより良いなと思いました。よろしくお願い致します。
- ・ ワクチン接種の会場での対応は、整然と行なわれ、区民への気づかいなど適切に行われていると思います。
- ・ 新型コロナワクチン接種について、基礎疾患、高齢者施設等従業者の次は、年齢の高い順に受け付けをすべきだったのでは？年齢が高いほど重症化しやすいという科学的根拠に基づいて決定してほしい。（同様意見あり）
- ・ コロナワクチン対応等が他区に比べて遅いのでもっと素早い判断をしていただきたいです。
- ・ コロナ予防接種・予約問題で、国と自治体の連携があまり良くなかった。

- ・ 今回の初ワクチン接種について、大田区は特にアジア系の外国人が多く日本語のわかる方も多いと思いますが、今回の接種の流れはわかりにくく、外国語しかわからない人には厳しいと思っています。大田区ケーブルテレビや、テレビのCMのように専用ダイヤルや予約代行システム、外国人用のページを作って、何度も目にするようなことができれば良いと思います。
- ・ コロナワクチンの対応ありがとうございます。接種券は届いています。
- ・ コロナワクチンの接種に関しても、大田区ではコールセンターで予約をとるのに、回線が混雑して何日も待たされた。今後、同様の事態発生の際は、今回他市が実施したように、行政側で接種日や接種会場等を指定する等区民の負担軽減を図ってもらいたい。大田区には、住民サービスの向上により一層取り組んでもらいたい。(同様意見あり)
- ・ コロナワクチン接種について、予約できる順番が 40～50 歳を一番後回しにされたことに疑問を感じます。現在最も重症化している年代で、尚かつ働き盛りでもある為、高齢者の次に打てるようにすべきでした。非常に腹立たしいです。
- ・ ワクチンの予約ネットが使いづらい。病院独自や電話のみなどバラバラだった。
- ・ ワクチン接種はもっと高齢者に優しい案内をした方がよいと思います。
- ・ 今回の新型コロナウイルスワクチンの接種券の配布開始時期もそうだったが、非常時の対応は臨機応変に素早く対処してほしい。
- ・ コロナに関する給付金やワクチンの対応が遅いし酷すぎます。人口の多い区で大変かもしれませんが、人手を増やして最優先で対応いただきたい。
- ・ 今回のコロナウイルスのワクチン接種については、大田区は他の 23 区に住む人と情報交換し比較した感じだと、対策の出遅れを感じ、大変残念に思います。予約の取りにくさ、分かりにくさがありました。高齢者の両親も大田区在住ですが、区では予約できず、自衛隊大規模接種会場を最終的に選択しました。また私は 40 代ですが、重症になりやすいにも関わらず接種が一番後回しになり、大変憤りを感じます。接種順番の選択を誤ったという印象です。コロナウイルスのワクチン接種の予約、接種計画等をどうして選択したのか、それによってどのような結果となったのか、今後のためにも検証を行い、区民に説明する義務があるのではないのでしょうか。
- ・ インターネットは不慣れのため、またインターネットは見にくいと感じるので、おおた区報などで紙ベースでの情報提供をお願いしたいです。特に最近ではコロナワクチンの予約方法で「接種会場をホームページで検索してください」にはがっかりしました。個別接種の医院の表など紙ベースで情報提供してくれないと大変困ります。今の時代何でもインターネットなので困ります。未だに紙ベースを必要としている人もいるのを考慮していただけると助かります。

3. その他

- ・ 率直に言うと「区民」という意識はあまり無い。世田谷区・品川区・川崎市あたり、皆生活圈なので。
- ・ 大田区にしか住んだ事がないので、満足しています。他の区と比べる事ありません。あまり参考になるか分かりませんが調査に参加させていただきました。
- ・ 大田区が、人権尊重、文化・環境の重視など、積極的な施策をとることによって、住んでいる人が誇りに思え、他の地域に住んでいる方からも魅力のある区という認識を持ってもらえるとうよいと思います。
- ・ 他の区に比べて、何事も判断・決定が遅いように感じています。区民に必要なサービス・意志決定を適切に、素早くしていただきたいと思っています。(同様意見あり)
- ・ 生まれ育った大田区で高額で持家を購入したが、高齢になって、過ごしやすい区とは思えない。
- ・ 公的な場所に管理をしっかりして、募金箱を設置する。「いざ」の時に役立たせる。
- ・ デジタル化、オンライン化をもっと急いだほうがよい。区役所に行かないとできない事が多くある。働いている人は、なかなか行けない。(同様意見あり)

- ・ 当方居住地区は他区に近く、大田区の施設の方が自宅から遠くて不便。他の区で行なっている事をもっと勉強し、よいものは取り入れる等努力してほしい。
- ・ I Tを使用できない方への電話対応の充実を希望します。
- ・ 働いている人もきちんと、テレワーク進んでいますでしょうか。デジタル化がすすまない。
- ・ 石橋をたたいても渡らない大田区と言われているのを改善してほしい。
- ・ 大田区に住んで60年。何かとお世話様になりました。キャッシュレスとかA Iチャットボットとか老人はついていけなくなりました。若い方々の活躍を！
- ・ 大田区に誇りをもっている。
- ・ 国の施策に対する初動が遅すぎるのでは？
- ・ 大田区に住んでとても安心しています。働いていますが、職場で、住んでいる地域の話になると大田区の良さを実感しますし、周りの人たちがうらやましいと言ってくれます。つい最近では、コロナ接種券の封筒にいろいろな言語で案内が印字されていたことに、周りの人たちは驚いていました。「さすが大田区」とほめてくれました。小さなことでも大田区ってすごいなと実感しました。
- ・ 別にないです。今の所満足しています。
- ・ 以前に比べて役所は全ての面で良くなった。
- ・ どの特別区よりも先進的であってほしい。
- ・ デジタル化しすぎると、年配の人はついていけない。
- ・ 大田区政にはとても満足しています。
- ・ 子どもさんが多く、おまけに治安が良いせいか、外でのびのび遊んでいる姿を沢山見かけ、皆活々しているように見える。また、あらゆる年代層で、比較的御自身のペースで生活できているように見える。偏見・固定観念が少ないと思う。
- ・ 区政というものが、選挙のみで身近に感じたことがない。
- ・ 少しずつでもこれからは区政についても関心を持ちたいと考えます。
- ・ あらゆる世代において希望を持てる区政を行ってほしい。
- ・ 区政についてはわからない。自分が困っている時、区役所に相談する事にしている。
- ・ 数十年住んでいますが区政の中身があまり変化を感じません。
- ・ 多選自粛条例案は守るべきだったと思っています。区民の要望が伝わる区政であってほしいです。
- ・ 全国区で争う必要は全くないが、せめて東京の中では上位（願わくば1番）を目指してほしい。東京の中で1番ナントカ、とか、都内で1番最初にナントカ、なのがあり報道されて羨ましがられるようなものだ、と、住んでいてよかったな、と思える。区政に携わる人は後手ではなく先手となる事をもっともっと考えてほしい。
- ・ D X（デジタル・トランスフォーメーション）のへ取り組みについて知りたいです。
- ・ 言うまでもないが、人口密度が高すぎる。東京一極集中は国全体の問題でどうしようもないが。はっきり言って息苦しい。都内に昔から住んでいる人間にとっては大田区は住みやすい街というイメージがあるのかもしれないが、私にはとてもそう思えない。
- ・ 東京23区、他の区との違いが知りたいです。
- ・ マイナンバーカードを使用して、大田区のサービスの提供を増やしていただきたい。
- ・ 土日休みの仕事だと区役所等に行くために有給を使う必要があり、申請等はインターネットで24時間受付を実施してほしい。
- ・ 上京してずっと蒲田に住んでいます。この街が好きです。良い所も駄目な所も共に共有しできる事は協力改善し、好きであり続けたいと思っています。
- ・ 区庁舎前のミストいりません。お金大切に使ってほしいです。
- ・ 犬を飼っています。ペットを飼っている家庭向けの施策やサービスが充実していると嬉しいです。
- ・ 区役所の業務の電子化を推進し、効率化とサービスレスポンスを向上してほしい。
- ・ 同性パートナーシップの導入。

- ・ 東京は人口流入が多いにもかかわらず出生率が少なく、少子化の原因の1つだと思われます。大田区でできる事はわかりませんが、出生率が高くなるような施策をしてほしいです。
- ・ 行政への申請件数が多く、年をとると忘れて手遅れになる。個人の申請（前年等）のポートフォリオみたいな台帳がほしい。申請等の年間カレンダーがあると便利。
- ・ 普段、おおた区政の活動を目にすることはありません。変化を求めているなら、もっと目に見える活動を行ってください。
- ・ 働く人達のためにも、公共の手続きが土・日にできる様にしてほしい。

IV 調査結果の概観

Ⅳ 調査結果の概観

1. 生活環境の満足度

ここでは、生活環境の満足度（問5）と定住意向（問2）をクロス集計し、定住意向・転出意向を持つ区民の満足・不満足的项目を明らかにしていく。

問2の選択肢を下記に置き換えて集計する。

「ずっと住み続けたい」と「当分は住み続けたい」：定住意向のある人

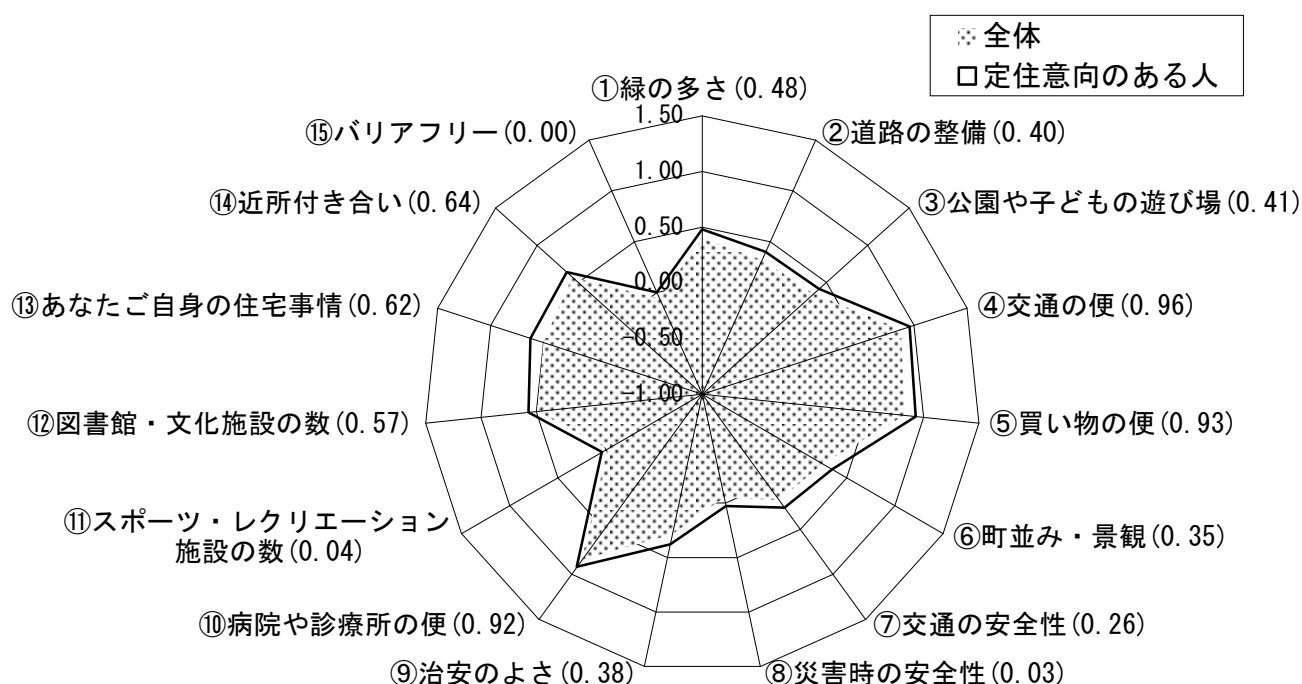
「できれば大田区外へ移りたい」と「大田区外へ移りたい」：転出意向のある人

また、52ページで求めたのと同様に、15項目にわたる生活環境の満足度の比較をしやすいするため、それぞれの回答を点数化し、下記の計算式で各項目の評価点を求めた。

$$\begin{aligned} & \text{(再掲)} \\ \text{評価点} = & \frac{\text{「満足している」} \times 2 + \text{「ほぼ満足している」} \times 1 + \text{「少し不満である」} \times (-1) + \text{「不満である」} \times (-2)}{\text{回答者数}} \end{aligned}$$

(1) 定住意向のある人

問2：「ずっと住み続けたい」、「当分は住み続けたい」と回答した人（n=1,890）

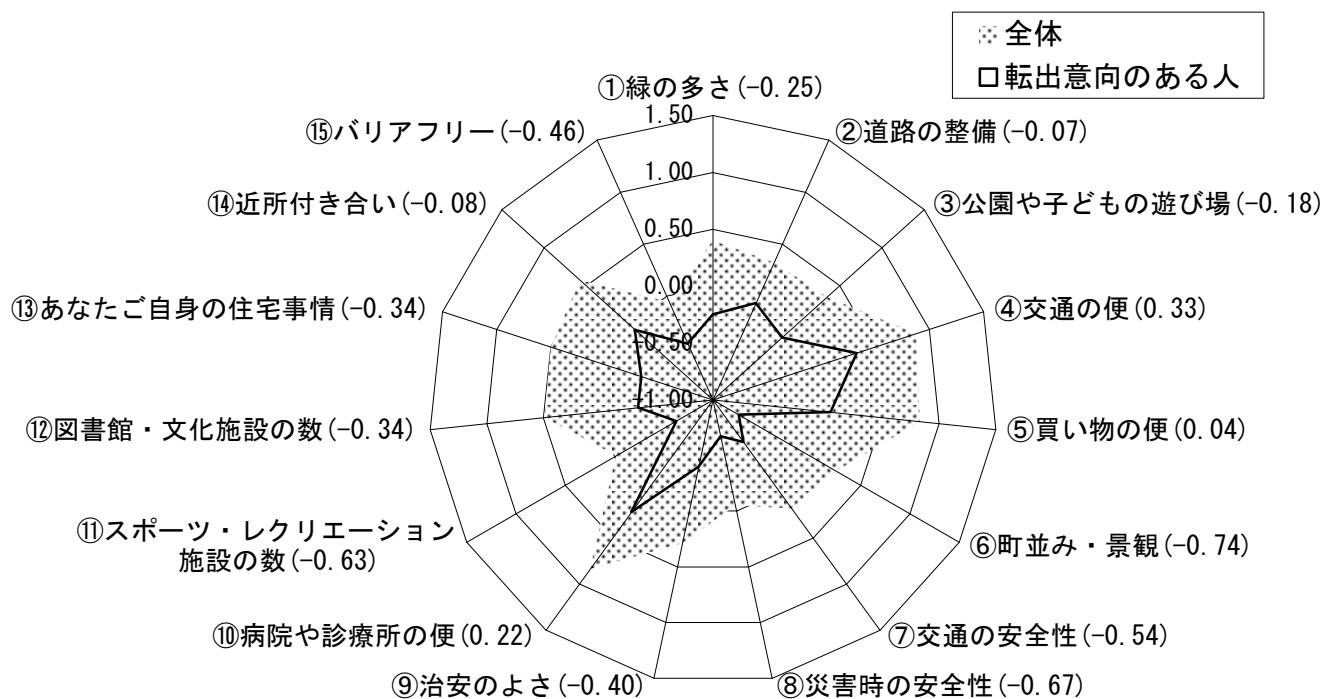


15項目の生活環境の満足度の評価点を全体と比較すると、「定住意向のある人」では、全ての項目で全体を上回っている。特に「あなたご自身の住宅事情」(0.62)が0.12ポイント、「買い物の便」(0.93)と「町並み・景観」(0.35)がともに0.10ポイント上回って、評価が高くなっている。

一方、全体より評価は高いものの、「定住意向のある人」の中で評価の低い項目は、「バリアフリー」(0.00)、「災害時の安全性」(0.03)、「スポーツ・レクリエーション施設の数」(0.04)の順となっている。

(2) 転出意向のある人

問2：「できれば大田区外へ移りたい」、「大田区外へ移りたい」と回答した人（n=133）



15項目の生活環境の満足度の評価点を全体と比較すると、「転出意向のある人」では、全ての項目で全体を下回っている。特に「町並み・景観」(-0.74)が0.99ポイント、「あなたご自身の住宅事情」(-0.34)が0.84ポイント、「図書館・文化施設の数」(-0.34)が0.83ポイント下回って、評価が低くなっている。

一方、全体より評価は低いものの、「転出意向のある人」の中で評価の高い項目は、「交通の便」(0.33)、「病院や診療所の便」(0.22)、「買い物の便」(0.04)の順となっている。

(3) 評価点一覧

問5 生活環境の満足度	全 体 評価点	定住意向のある人 評価点	転出意向のある人 評価点
①緑の多さ	0.40	0.48	-0.25
②道路の整備	0.32	0.40	-0.07
③公園や子どもの遊び場	0.35	0.41	-0.18
④交通の便	0.88	0.96	0.33
⑤買い物の便	0.83	0.93	0.04
⑥町並み・景観	0.25	0.35	-0.74
⑦交通の安全性	0.18	0.26	-0.54
⑧災害時の安全性	-0.05	0.03	-0.67
⑨治安のよさ	0.29	0.38	-0.40
⑩病院や診療所の便	0.84	0.92	0.22
⑪スポーツ・レクリエーション 施設の数	-0.02	0.04	-0.63
⑫図書館・文化施設の数	0.49	0.57	-0.34
⑬あなたご自身の住宅事情	0.50	0.62	-0.34
⑭近所付き合い	0.57	0.64	-0.08
⑮バリアフリー	-0.06	0.00	-0.46

「交通の便」、「買い物の便」、「病院や診療所の便」は定住意向の有無にかかわらずプラスの評価となっており、今後もこの水準を維持していきたい点と考えられる。

大田区政に関する世論調査

令和3年12月発行

発行 大田区 企画経営部 広聴広報課

〒144-8621 東京都大田区蒲田五丁目13番14号

電話：03-5744-1135

FAX：03-5744-1504

実施機関 株式会社エスピー研

〒102-0072 東京都千代田区飯田橋三丁目11番20号

電話：03-3239-0071（代表）

FAX：03-3239-0072
